

世田谷区小学生・中学生調査 報告書

令和6年3月

世田谷区

目次

第1章 調査概要	1
I 小学生調査	3
1 調査目的	3
2 調査対象	3
3 調査方法	3
4 調査時期	3
5 回収数(回収率)	3
6 調査項目	4
II 中学生調査	5
1 調査目的	5
2 調査対象	5
3 調査方法	5
4 調査時期	5
5 回収数(回収率)	5
6 調査項目	6
第2章 調査結果	7
I-1 小学生低学年調査	9
1 基本属性	9
2 ふだんの生活	11
3 子どもの権利など	20
4 子どもの参加・参画・意見表明	25
5 放課後の過ごし方	30
6 日ごろの思いや悩み	41
7 自由意見	43
I-2 小学生高学年調査	48
1 基本属性	48
2 ふだんの生活	50
3 子どもの権利など	60
4 子どもの参加・参画・意見表明	68
5 放課後の過ごし方	77
6 日ごろの思いや悩み	93
7 自由意見	99
II 中学生調査	107
1 基本属性	107
2 ふだんの生活	109

3 学校生活と放課後の過ごし方	133
4 将来	160
5 子どもの権利など	167
6 子どもの参加・参画・意見表明	176
7 日ごろの思いや悩み	185
8 自由意見	200
資料編	209
I-1 小学生低学年調査	211
I-2 小学生高学年調査	223
II 中学生調査	238

第1章 調査概要

I 小学生調査

1 調査目的

本調査は「(仮称)世田谷区子ども・若者総合計画(第3期)」の策定にあたり、小・中学生の生活実態、悩み・不安、子どもが求めていること等を把握し、今後の子ども・若者施策の検討に資することを目的とする。

2 調査対象

調査名	調査対象
小学生調査(低学年)	区立小学校に通う児童 1,519人(5校)
小学生調査(高学年)	区立小学校に通う児童 1,533人(5校)

3 調査方法

調査依頼文のみ学校を通じて配布・インターネットによる回答

4 調査時期

令和5年10月2日(月)～10月23日(月)

5 回収数(回収率)

調査名	配布数	回答数	回答率
小学生調査(低学年)	1,519	743	48.9%
小学生調査(高学年)	1,533	717	46.8%

6 調査項目

項目	質問	問番号	
		低学年	高学年
基本属性	性別	1	1
	学年	2	2
	同居家族	3	3
ふだんの生活	ふだんの活動(低学年:①~④、高学年:①~⑥) ① ゲームをする ② YouTubeなどで動画を見る ③ 勉強をする(学校の授業以外の宿題など) ④ 公園などの外で遊ぶ ⑤ 親に代わって家事(洗濯、掃除、料理、片付け等)をする ⑥ 親に代わってきょうだいなどの世話をする	4	4
	自分への思い、家族と学校、周囲への思い	5	5
子どもの権利など	子どもの権利は守られているか	6	6
	世田谷区子ども条例の認知度		7-1
	せたホッと認知度	7	7-2
	子どもの権利を守るための仕組みであるとよいと思うこと		8
子どもの参加・参加意図 参加・意見表明	世田谷区に意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会への参加意図		9
	世田谷区に意見を伝えやすい方法		10
	子どもにとって「こんなまち(世田谷)になったらいいな」、「こんなまち・社会にしたいな」など、意見・願い<自由回答>	8	11
放課後の過ごし方	学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごす場所別日数	9	12
	学校に行く月曜日から金曜日の夜間(6~8時)過ごす場所別日数		13
	学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごしたい場所		14
	ホッとでき、安心していられる場所(付問:どのような場所か)	10	15
	児童館の利用頻度(付問:利用しない理由)	11	16
	新 BOP の利用経験の有無(付問:利用して楽しかったか、その理由)	12	17
日ごろの思いや悩み	困っていること、悩んでいること、つらいこと		18
	困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無(付問:それは誰か)	13	19
自由意見	アンケートの感想、大人に言いたいこと<自由回答>	14	20

※平成 25 年調査の調査概要

平成 30 年度調査は、実施方法(児童館・新 BOP を通じて配布・回収)が異なるため、比較として平成 25 年度調査を活用している。

調査対象	区立小学校に通う児童 2,933 人(低学年5校 1,573 人、高学年5校 1,360 人)
調査方法	学校を通じて配布・回収
調査時期	平成 25 年 11 月 25 日(月)~12 月 13 日(金)
有効回収数(率)	低学年 1,541(98.0%)、高学年 1,331(97.9%)、合計、2,872(97.9%)

Ⅱ 中学生調査

1 調査目的

本調査は「(仮称)世田谷区子ども・若者総合計画(第3期)」の策定にあたり、小・中学生の生活実態、悩み・不安、子どもが求めていること等を把握し、今後の子ども・若者施策の検討に資することを目的とする。

2 調査対象

世田谷区に居住する12～14歳の子どもの各年齢1,000人ずつ 計3,000人

3 調査方法

調査依頼文のみ郵送配布・インターネットによる回答

4 調査時期

令和5年10月2日(月)～10月23日(月)

5 回収数(回収率)

発送・配布数	回答数	回答率
3,000	809	27.0%

6 調査項目

項目	問番号	質問
基本属性	1	性別
	2	学校の種類と学年
	3	学校の場所
	4	同居家族
ふだんの生活	5	最近の身体や心の調子
	6	自分への思い、家族と学校、周囲への思い
	7	ふだんの活動
学校生活と放課後の過ごし方	8	学校の授業が理解できるか
	9	学校の授業が理解できないときに聞ける人の有無(付問:それは誰か)
	10	平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数
	11	平日夜間(夕方6～8時)過ごす場所別日数
	12	平日放課後(夕方6時まで)過ごしたい場所
	13	ホッとでき、安心できる場所(付問:どのような場所か)
	14	児童館の利用頻度(付問:利用しない理由)
	15	青少年交流センターの利用頻度(付問:利用しない理由)
将来	16	将来の進学先の希望
	17	20年後の自分のイメージ
子どもの権利など	18	子どもの権利は守られているか
	19	世田谷区子ども条例、せたホッと認知度
	20	子どもの権利を守るための仕組みであるとよいと思うこと
子どもの参加・参画・意見表明	21	世田谷区に意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会への参加意向
	22	世田谷区に意見を伝えやすい方法
	23	子どもや若者にとって「こんなまち(世田谷)になったらいいな」「こんな社会にしたい」など、意見・願い<自由回答>
日ごろの思いや悩み	24	困っていること、悩んでいること、つらいこと
	25	自分の悩みを話す方法
	26	困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無(付問:それは誰か)
	27	不登校、いじめ等の経験
	28	新型コロナウイルス感染症により、生活の中で悩んだり、難しかったことの有無(付問:それはどのようなことか)
自由意見	29	区に求めることや期待すること、大人や社会に言いたいこと、世田谷区にあったらいいなと思う場所 <自由回答>

※平成30年度調査の調査概要

調査対象	世田谷区に居住する12～14歳の子ども各年齢1,000人ずつ計3,000人
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	平成30年11月21日(水)～12月12日(水)
有効回収数(率)	1,092(36.4%)

第2章 調査結果

<図表のみかた>

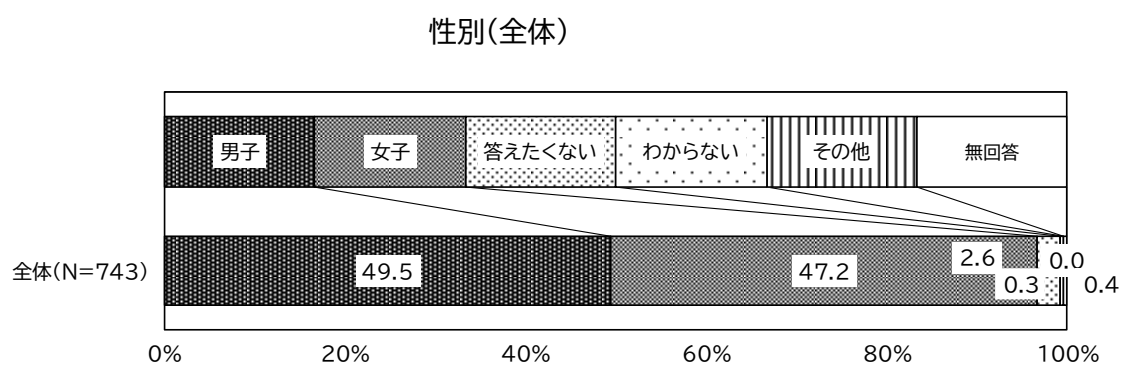
- 1 回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示している。それぞれの質問の回答者数は、全体の場合はN(Number of case)、それ以外の場合にはnと表記している。
- 2 %は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。従って、回答の合計が必ずしも100.0%にならない場合(例えば99.9%、100.1%)がある。
- 3 回答者が2つ以上回答することのできる質問(複数回答)については、%の合計は100%にならないことがある。また、グラフは原則多い順に並び替えている(「その他」、「ない」、「無回答」以外)、順番に意味がある場合は、選択肢順としている。
- 4 本文及びグラフ中の設問文ならびに選択肢の表現は一部省略されている。

I-1 小学生低学年調査

1 基本属性

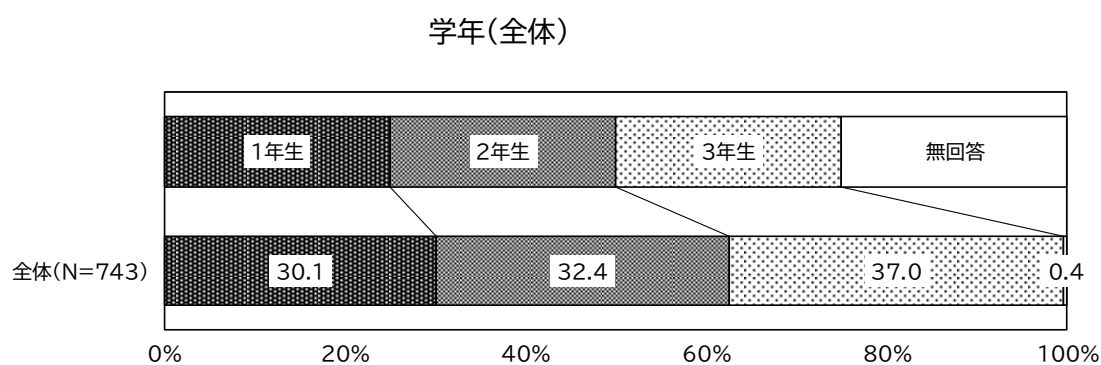
(1) 性別(問1)

性別は、「男子」が 49.5%、「女子」が 47.2%、「答えたくない」が 2.6%、「わからない」が 0.3%、「その他」が 0.0%となっている。



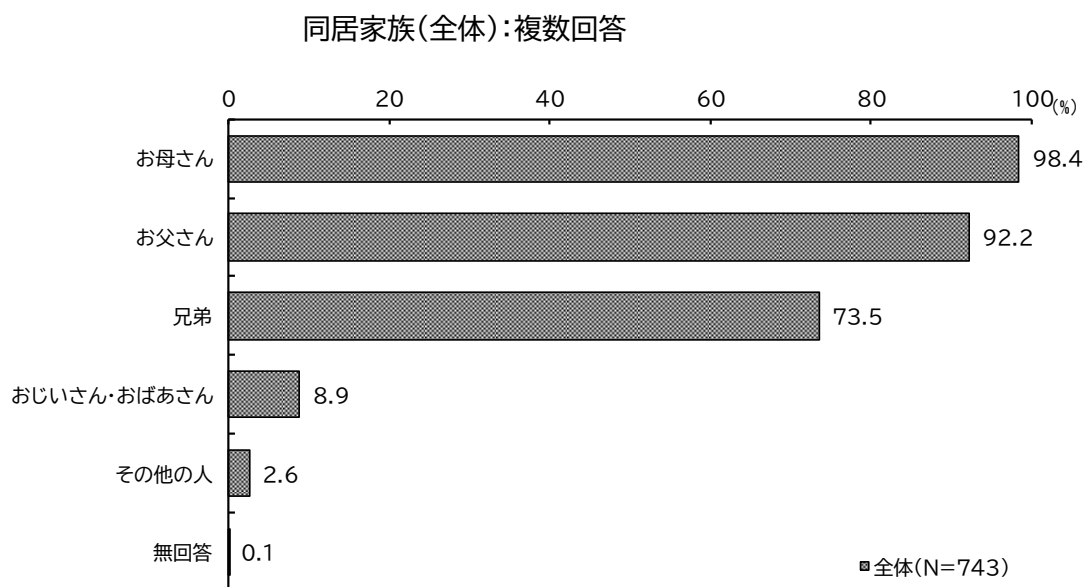
(2) 学年(問2)

学年は、「1年生」が 30.1%、「2年生」が 32.4%、「3年生」が 37.0%となっている。



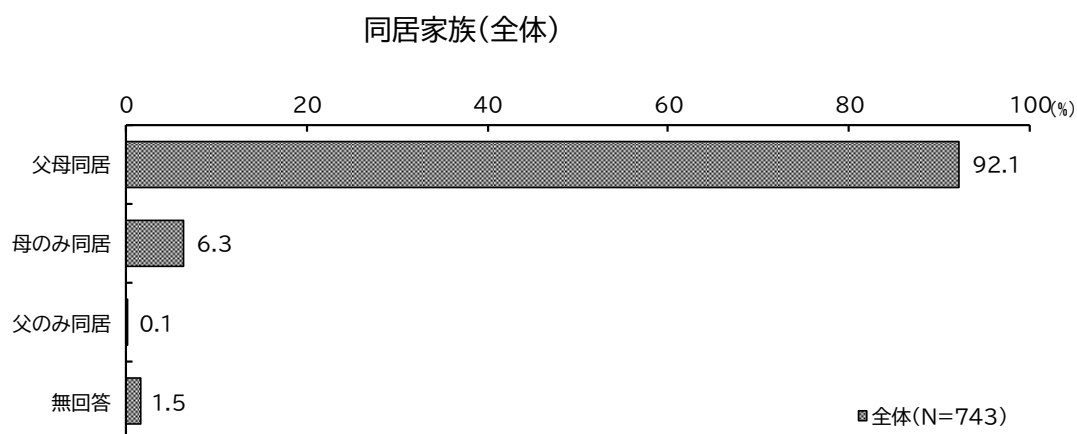
(3)同居家族(問3)

同居家族は、「お母さん(98.4%)」が最も高く、「お父さん(92.2%)」、「兄弟(73.5%)」が続いている。



(4)同居家族(問3をもとに集計)

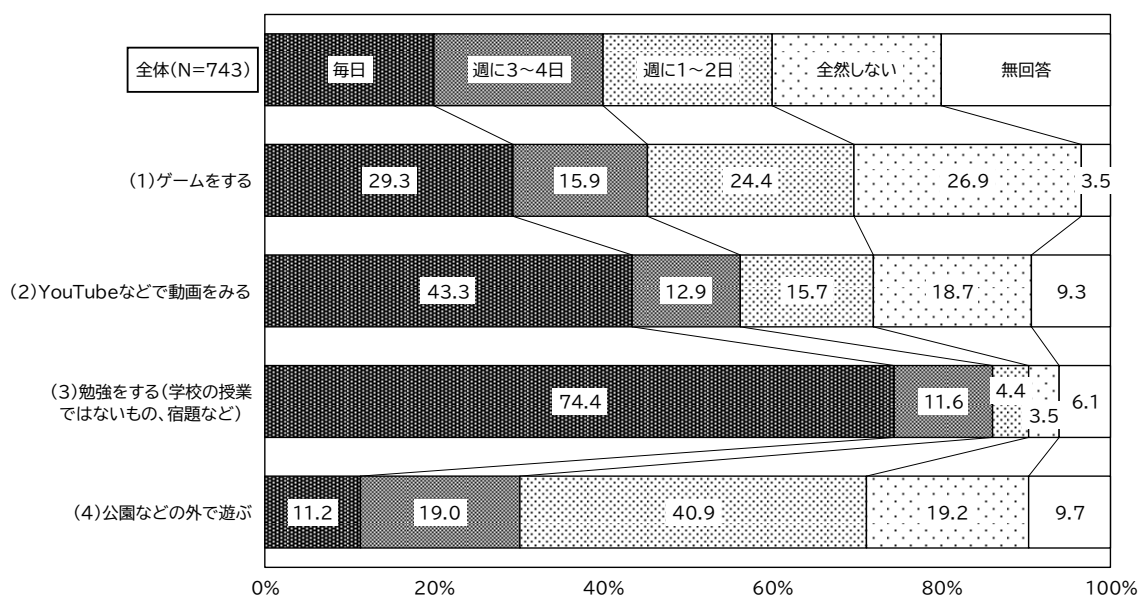
同居家族は、「父母同居(92.1%)」が最も高く、「母のみ同居(6.3%)」、「父のみ同居(0.1%)」となっている。



2 ふだんの生活

ふだんの活動は、「毎日」の割合が『(3)勉強をする(学校の授業ではないもの、宿題など) (74.4%)』で最も高く、『(2)YouTubeなどで動画をみる(43.3%)』、『(1)ゲームをする(29.3%)』が続いている。

ふだんの活動(全体)



◆(1)ゲームをする(学年別)

『(1)ゲームをする』について学年別にみると、学年が上がるほど「毎日」の割合が高くなり、「ぜんぜんしない」の割合が低くなっている。平均日数は、1年生で2.2日、2年生で2.4日、3年生で2.8日となっている。

ふだんの活動:(1)ゲームをする(全体、学年別)

		毎日	週に3~4日	週に1~2日	ぜんぜんしない	無回答	平均日数
		(%)					
全	体 (N=743)	29.3	15.9	24.4	26.9	3.5	2.5
学 年 別	1 年 生 (n=224)	23.7	17.0	23.7	32.6	3.1	2.2
	2 年 生 (n=241)	28.2	15.8	24.5	27.8	3.7	2.4
	3 年 生 (n=275)	34.9	15.3	25.1	21.1	3.6	2.8

※平均は「毎日を5.0、「週に3~4日」を3.5日、「週に1~2日」を1.5日、「ぜんぜんしない」を0日で算出している。

第2章 調査結果

◆(2)YouTubeなどで動画をみる(学年別)

『(2)YouTubeなどで動画をみる』について学年別にみると、傾向に大きな違いはない。平均日数は、1年生で3.2日、2年生で3.1日、3年生で3.1日となっている。

ふだんの活動:(2)YouTubeなどで動画をみる(全体、学年別)

			(%)					
			毎日	週に3～4日	週に1～2日	ぜんぜんしない	無回答	平均日数
全 体 (N=743)			43.3	12.9	15.7	18.7	9.3	3.1
学 年 別	1	年 生 (n=224)	45.5	12.1	12.9	18.8	10.7	3.2
	2	年 生 (n=241)	41.5	12.4	19.5	16.6	10.0	3.1
	3	年 生 (n=275)	43.3	14.2	14.9	20.4	7.3	3.1

◆(3)勉強をする(学校の授業ではないもの、宿題など)(学年別)

『(3)勉強をする(学校の授業ではないもの、宿題など)』について学年別にみると、傾向に大きな違いはないが、2年生で「毎日」が69.7%と他の学年に比べて低くなっている。平均日数は、1年生で4.6日、2年生で4.3日、3年生で4.5日となっている。

ふだんの活動:(3)勉強をする(学校の授業ではないもの、宿題など)(全体、学年別)

			(%)					
			毎日	週に3～4日	週に1～2日	ぜんぜんしない	無回答	平均日数
全 体 (N=743)			74.4	11.6	4.4	3.5	6.1	4.5
学 年 別	1	年 生 (n=224)	77.2	12.5	3.1	1.3	5.8	4.6
	2	年 生 (n=241)	69.7	13.7	5.4	5.0	6.2	4.3
	3	年 生 (n=275)	76.7	9.1	4.7	3.6	5.8	4.5

※平均は「毎日を5.0、「週に3～4日」を3.5日、「週に1～2日」を1.5日、「ぜんぜんしない」を0日で算出している。

◆(4)公園などの外で遊ぶ(学年別)

『(4)公園などの外で遊ぶ』について学年別にみると、「ぜんぜんしない」の割合は、1年生で15.2%、2年生で21.2%、3年生で21.1%となっている。平均日数は、1年生で2.1日、2年生で2.0日、3年生で2.0日となっている。

ふだんの活動:(4)公園などの外で遊ぶ(全体、学年別)

		(%)					
		毎日	週に3～4日	週に1～2日	ぜんぜんしない	無回答	平均日数
全	体 (N=743)	11.2	19.0	40.9	19.2	9.7	2.0
学 年 別	1 年 生 (n=224)	12.1	16.5	45.1	15.2	11.2	2.1
	2 年 生 (n=241)	12.0	19.1	38.2	21.2	9.5	2.0
	3 年 生 (n=275)	9.8	20.7	40.0	21.1	8.4	2.0

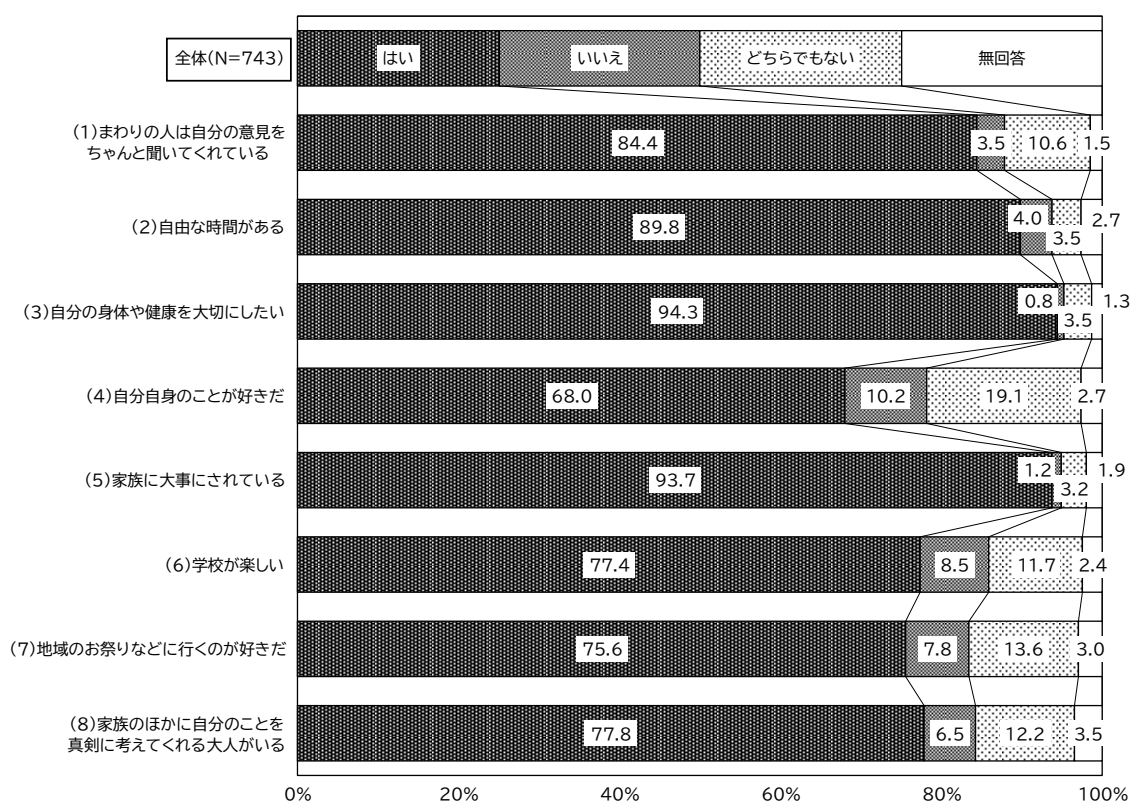
※平均は「毎日を5.0、「週に3～4日」を3.5日、「週に1～2日」を1.5日、「ぜんぜんしない」を0日で算出している。

(2)自分への思い、家族と学校、周囲への思い(問 5)

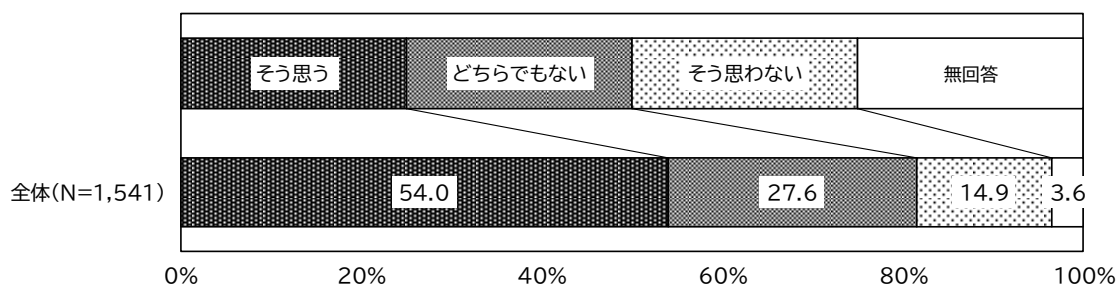
自分への思い、家族と学校、周囲への思いは、「はい」の割合が『(3)自分の身体や健康を大切にしたい(94.3%)』で最も高く、『(5)家族に大事にされている(93.7%)』、『(2)自由な時間がある(89.8%)』が続いている。

『(4)自分自身のことが好きだ』を平成 25 年度調査と比較すると、「はい(そう思う)」の割合が 54.0%から 68.0%に高くなっている。「いいえ(そう思わない)」、「どちらでもない」の割合は相対的に低くなっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い(全体)



自分への思い、家族と学校、周囲への思い『私は自分自身のことが好きだと思う』
(全体)【平成 25 年度調査】



◆(1)まわりの人は自分の意見をちゃんと聞いてくれている(自己肯定感別)

『(1)まわりの人は自分の意見をちゃんと聞いてくれている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「どちらでもない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「いいえ」の割合が高い。また、自分のことが好きな人と比べて、「どちらでもない」の割合が高い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：

(1)まわりの人は自分の意見をちゃんと聞いてくれている(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全	体 (N=743)	84.4	3.5	10.6	1.5
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=505)	89.3	2.8	7.7	0.2
	自分のことが好きではない (n=76)	68.4	13.2	18.4	0.0
	どちらでもない (n=142)	81.0	1.4	16.2	1.4

◆(2)自由な時間がある(自己肯定感別)

『(2)自由な時間がある』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「いいえ」の割合が高い。また、自分のことが好きな人と比べて、「はい」の割合が低い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：(2)自由な時間がある(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全	体 (N=743)	89.8	4.0	3.5	2.7
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=505)	94.3	3.0	2.4	0.4
	自分のことが好きではない (n=76)	82.9	11.8	5.3	0.0
	どちらでもない (n=142)	86.6	4.2	6.3	2.8

◆(3)自分の身体や健康を大切にしたい(自己肯定感別)

『(3)自分の身体や健康を大切にしたい』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「いいえ」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「いいえ」の割合が高い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：

(3)自分の身体や健康を大切にしたい(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全	体 (N=743)	94.3	0.8	3.5	1.3
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=505)	98.6	0.2	1.0	0.2
	自分のことが好きではない (n= 76)	82.9	3.9	13.2	0.0
	どちらでもない (n=142)	89.4	1.4	7.7	1.4

◆(5)家族に大事にされている(自己肯定感別)

『(5)家族に大事にされている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「どちらでもない」の割合が低い。自分のことが好きではない人は自分のことが好きな人と比べて、「はい」の割合が低く、「どちらでもない」の割合が高い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：(5)家族に大事にされている(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全	体 (N=743)	93.7	1.2	3.2	1.9
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=505)	97.6	0.6	1.4	0.4
	自分のことが好きではない (n= 76)	85.5	3.9	10.5	0.0
	どちらでもない (n=142)	88.7	2.1	6.3	2.8

◆(6)学校が楽しい(自己肯定感別)

『(6)学校が楽しい』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「どちらでもない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「いいえ」の割合が高い。どちらでもない人は自分のことが好きな人と比べて、「どちらでもない」の割合が高い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い:(6)学校が楽しい(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全 体 (N=743)		77.4	8.5	11.7	2.4
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=505)	83.2	6.9	9.3	0.6
	自分のことが好きではない (n=76)	65.8	15.8	18.4	0.0
	どちらでもない (n=142)	69.0	11.3	16.9	2.8

◆(7)地域のお祭りなどに行くのが好きだ(自己肯定感別)

『(7)地域のお祭りなどに行くのが好きだ』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「どちらでもない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「いいえ」の割合が高い。どちらでもない人は自分のことが好きな人と比べて、「どちらでもない」の割合が高い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い:

(7)地域のお祭りなどに行くのが好きだ(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全 体 (N=743)		75.6	7.8	13.6	3.0
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=505)	80.8	7.7	11.1	0.4
	自分のことが好きではない (n=76)	64.5	13.2	18.4	3.9
	どちらでもない (n=142)	69.0	6.3	21.1	3.5

第2章 調査結果

◆(8)家族のほかに自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる(自己肯定感別)

『(8)家族のほかに自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「どちらでもない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「いいえ」の割合が高い。どちらでもない人は自分のことが好きな人と比べて、「どちらでもない」の割合が高い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：

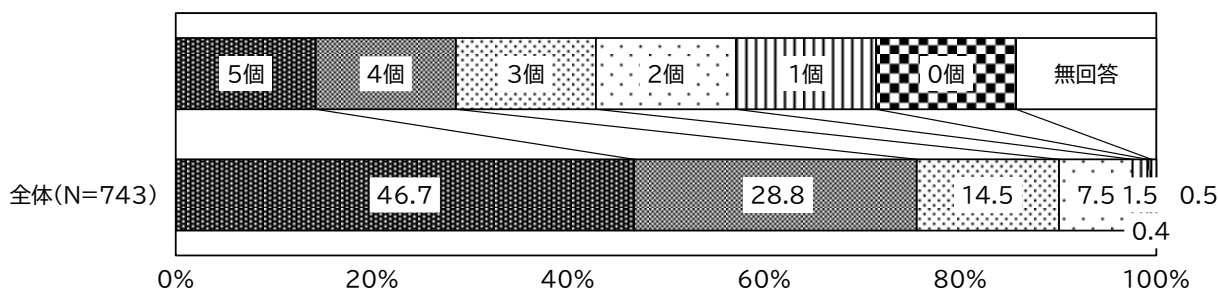
(8)家族のほかに自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全	体 (N=743)	77.8	6.5	12.2	3.5
定自 感己 別肯	自 分 の こ と が 好 き (n=505)	84.2	5.0	9.5	1.4
	自 分 の こ と が 好 き で は な い (n= 76)	67.1	17.1	14.5	1.3
	ど ち ら で も な い (n=142)	64.8	7.0	22.5	5.6

◆家族・学校・周囲との肯定的な5つの体験について「はい」と回答した項目数

『(1)周りの人は自分の意見をちゃんと聞いてくれている』、『(5)家族に大事にされている』、『(6)学校が楽しい』、『(7)地域のお祭りなどに行くのが好きだ』、『(8)家族のほかに自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる』の5つの体験について、「はい」と回答した項目数は、「5個」が46.7%で最も高くなっており、平均は4.1個となっている。

家族・学校・周囲との肯定的な体験について「はい」と回答した項目数(全体)



自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人は「5個(56.0%)」が5割台だが、自分ことが好きではない人では「5個(26.3%)」は2割台となっている。平均個数は、自分のことが好きな人は4.4個、自分のことが好きではない人は3.5個となっている。

家族・学校・周囲との肯定的な体験について「はい」と回答した項目数(全体、自己肯定感別)

		(%)							平均 個数
		5 個	4 個	3 個	2 個	1 個	0 個	無 回 答	
全	体 (N=743)	46.7	28.8	14.5	7.5	1.5	0.4	0.5	4.1
定自 感己 別肯	自 分 の こ と が 好 き (n=505)	56.0	28.5	10.7	4.0	0.8	0.0	0.0	4.4
	自 分 の こ と が 好 き で は な い (n=76)	26.3	27.6	23.7	17.1	3.9	1.3	0.0	3.5
	ど ち ら で も な い (n=142)	28.9	33.1	21.8	14.8	0.7	0.7	0.0	3.7

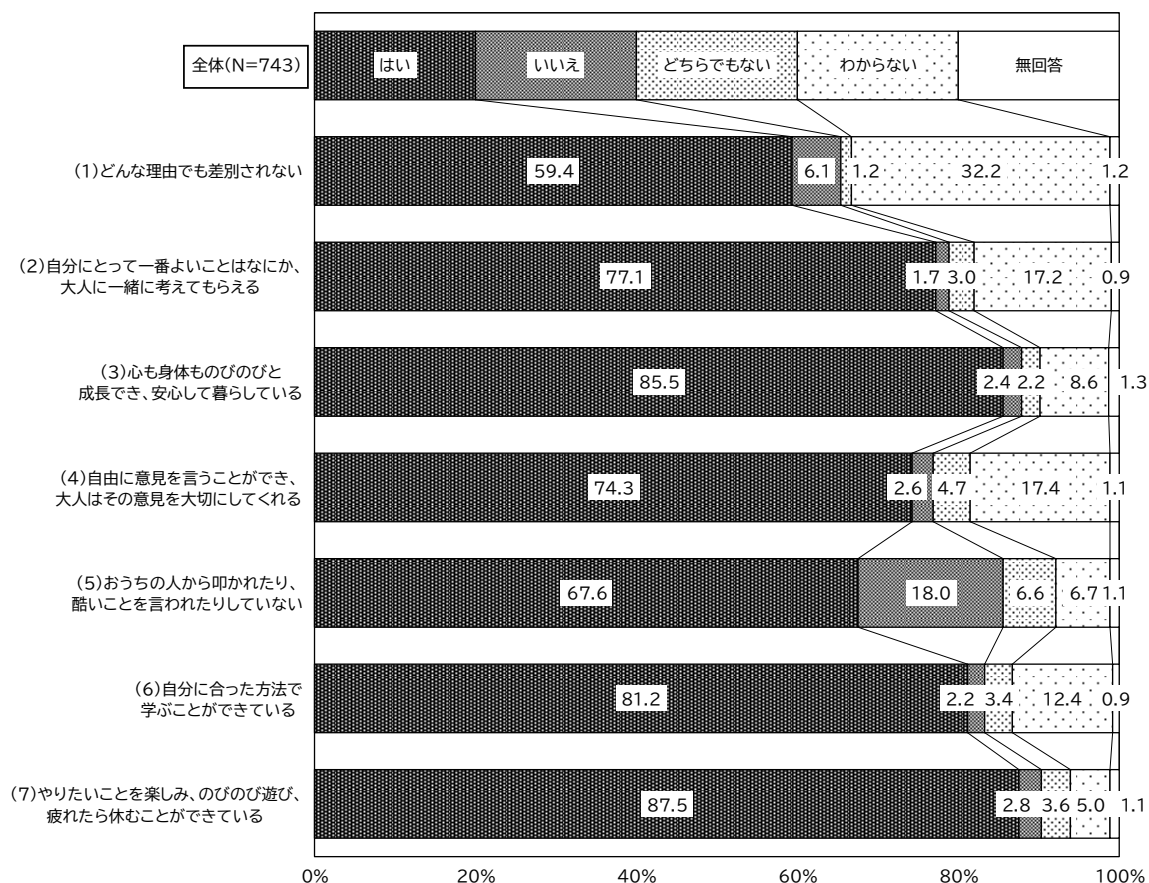
3 子どもの権利など

(1)子どもの権利は守られているか(問6)

子どもの権利は守られているかは、「はい」の割合が「(7)やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができる(87.5%)」で最も高く、「(3)心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている(85.5%)」、「(6)自分に合った方法で学ぶことができる(81.2%)」が続いている。

「いいえ」の割合は、『(5)おうちの人から叩かれたり、酷いことを言われたりしていない(18.0%)』で最も高く、『(1)どんな理由でも差別されない(6.1%)』が続いている。

子どもの権利は守られているか(全体)



◆(1)どんな理由でも差別されない(自己肯定感別)

『(1)どんな理由でも差別されない』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「わからない」の割合が低い。自分のことが好きではない人は自分のことが好きな人と比べて、「いいえ」、「わからない」の割合が高い。

子どもの権利は守られているか:(1)どんな理由でも差別されない(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=743)	59.4	6.1	1.2	32.2	1.2
定 自 感 己 別 肯	自分のことが好き (n=505)	67.5	5.0	1.4	25.3	0.8
	自分のことが好きではない (n=76)	44.7	10.5	1.3	42.1	1.3
	どちらでもない (n=142)	40.8	7.7	0.0	50.0	1.4

◆(2)自分にとって一番よいことはなにか、大人と一緒に考えてもらえる(自己肯定感別)

『(2)自分にとって一番よいことはなにか、大人と一緒に考えてもらえる』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「わからない」の割合が低い。自分のことが好きではない人は自分のことが好きな人と比べて、「いいえ」、「わからない」の割合が高い。

子どもの権利は守られているか:

(2)自分にとって一番よいことはなにか、大人と一緒に考えてもらえる(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=743)	77.1	1.7	3.0	17.2	0.9
定 自 感 己 別 肯	自分のことが好き (n=505)	83.2	0.6	2.2	13.3	0.8
	自分のことが好きではない (n=76)	61.8	6.6	3.9	26.3	1.3
	どちらでもない (n=142)	65.5	3.5	4.9	25.4	0.7

第2章 調査結果

◆(3)心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている(自己肯定感別)

『(3)心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「わからない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「いいえ」の割合が高い。

子どもの権利は守られているか：

(3)心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全 体 (N=743)		85.5	2.4	2.2	8.6	1.3
定 自 感 己 別 肯	自分のことが好き (n=505)	90.1	1.4	2.0	5.3	1.2
	自分のことが好きではない (n= 76)	71.1	9.2	2.6	15.8	1.3
	どちらでもない (n=142)	77.5	2.8	2.8	15.5	1.4

◆(4)自由に意見を言うことができ、大人はその意見を大切にしてくれる(自己肯定感別)

『(4)自由に意見を言うことができ、大人はその意見を大切にしてくれる』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「わからない」の割合が低い。自分のことが好きではない人は自分のことが好きな人と比べて、「はい」の割合が低く、「わからない」の割合が高い。

子どもの権利は守られているか：

(4)自由に意見を言うことができ、大人はその意見を大切にしてくれる(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全 体 (N=743)		74.3	2.6	4.7	17.4	1.1
定 自 感 己 別 肯	自分のことが好き (n=505)	79.8	2.6	4.2	12.7	0.8
	自分のことが好きではない (n= 76)	53.9	5.3	2.6	35.5	2.6
	どちらでもない (n=142)	64.8	1.4	7.7	25.4	0.7

◆(5)おうちの人から叩かれたり、酷いことを言われたりしていない(自己肯定感別)

『(5)おうちの人から叩かれたり、酷いことを言われたりしていない』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「いいえ」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「わからない」の割合が高い。また、自分のことが好きな人と比べて「いいえ」の割合が高い。

子どもの権利は守られているか：

(5)おうちの人から叩かれたり、酷いことを言われたりしていない(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=743)	67.6	18.0	6.6	6.7	1.1
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=505)	71.9	15.2	5.9	6.1	0.8
	自分のことが好きではない (n= 76)	53.9	25.0	5.3	13.2	2.6
	どちらでもない (n=142)	57.0	24.6	10.6	6.3	1.4

◆(6)自分に合った方法で学ぶことができている(自己肯定感別)

『(6)自分に合った方法で学ぶことができている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高い。どちらでもない人はそれ以外の人と比べて、「わからない」の割合が高い。

子どもの権利は守られているか：

(6)自分に合った方法で学ぶことができている(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=743)	81.2	2.2	3.4	12.4	0.9
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=505)	85.5	1.8	2.0	10.3	0.4
	自分のことが好きではない (n= 76)	75.0	2.6	6.6	13.2	2.6
	どちらでもない (n=142)	69.0	3.5	6.3	19.7	1.4

第2章 調査結果

◆(7)やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができる(自己肯定感別)

『(7)やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができる』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「わからない」の割合が低い。

子どもの権利は守られているか：

(7)やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができる(全体、自己肯定感別)

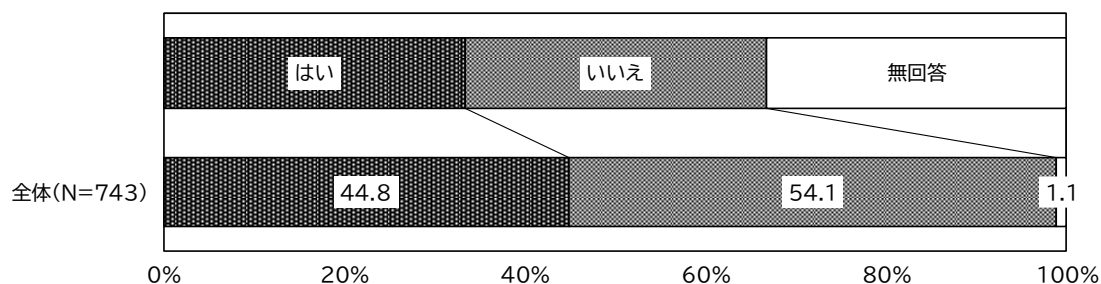
		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全 体 (N=743)		87.5	2.8	3.6	5.0	1.1
自 己 肯 定 感 別	自分のことが好き (n=505)	90.7	2.2	3.2	3.2	0.8
	自分のことが好きではない (n=76)	78.9	2.6	6.6	9.2	2.6
	どちらでもない (n=142)	81.7	4.2	4.2	9.2	0.7

(2)せたホツとの認知度(問7)

せたホツとの認知度は、「はい」が44.8%、「いいえ」が54.1%となっている。

学年別にみると、学年が上がるほど「はい」の割合が高くなり、1年生が21.0%、2年生が45.6%、3年生が63.6%となっている。

せたホツとの認知度(全体)



せたホツとの認知度(全体、学年別)

		(%)		
		はい	いいえ	無 回 答
全 体 (N=743)		44.8	54.1	1.1
学 年 別	1 年 生 (n=224)	21.0	78.6	0.4
	2 年 生 (n=241)	45.6	53.5	0.8
	3 年 生 (n=275)	63.6	34.9	1.5

4 子どもの参加・参画・意見表明

(1)子どもにとってこんなまち(世田谷)になったらいいな、と思うこと (問 8)

子どもにとって「こんなまち(世田谷)になったらいいな」、「こんなまちにしたいな」などについて、意見や願いを自由記述形式でたずねたところ、全体で 452 件の回答があった。すべての意見について確認したうえで分類を行い、全件を掲載することは難しいことから、個人や所属が特定される可能性がある意見、配慮が必要となる意見、類似した意見等は除き、一部を紹介する。

1. 遊び場・公園

◇公園の遊具に関するもの(20 件)

- ・ もっと遊具がいっぱいあって広い公園がみんなの家の近くにあって自転車なしで行ける公園など、楽しいところがいっぱいみんなの家の近くにある街にしたいです。(3年生)
- ・ 公園に障がいの子も遊べるような遊具が欲しい。(3年生)
- ・ 大型遊具がある広い公園があったらいいです。(3年生)
- ・ 普通の公園にはない遊具がある公園や、雨の日でも暑い日でも、遊べる室内公園が、欲しいです。(3年生)

◇公園に関するもの(44 件)

- ・ ボールあそびをしてよい公園がもっとあればいい(2年生)
- ・ 公園が少ない。小さい公園がいろんなところにほしい。家の近くに公園があるとひまな時に遊べるから。(3年生)
- ・ 公園で大人に遠慮しないで思いっきり遊べるまち。(1年生)
- ・ 公園を、もっと楽しくしてほしい。(1年生)
- ・ 公園をもっと増やして欲しい。誰でも何時でも行ける広場を作って欲しい。(3年生)
- ・ 野球やサッカーなどのボールあそびができる公園が欲しい。(2年生)
- ・ 体が不自由な子たちも遊べる公園が欲しい(3年生)

◇遊びや遊び場に関するもの(22 件)

- ・ もっと友達と遊びたい(2年生)
- ・ みんながげんきいっぱいであそべるまち(2年生)
- ・ 子どもだけでも安心して遊べる場所(1年生)
- ・ こどものあそびばをふやしてほしい、なつでもすずしいところ(1年生)
- ・ 遊ぶところが多くて、お花や草や木がたくさんあるまちがいいです。(2年生)
- ・ 遊べるところを増やしてほしいです。(2年生)

2. 居場所(5件)

- ・ じどうかんがいっぱいある世田谷になったらいいな。(2年生)
- ・ たくさん勉強ができる場所があったらよい(1年生)

第2章 調査結果

- ・ 川崎市の子ども夢パークみたいなところをつくってほしい(2年生)
- ・ 遊園地みたいなまち。遊び場をもっと多く、可愛い建物でわくわくするまち。たまにお勉強ができるところが欲しい。(1年生)

3. 施設(19件)

- ・ ゆうえんちができてほしい(2年生)
- ・ れきしのびじゅつかんがほしい(2年生)
- ・ 外国人と交流できる場所があったらいい(3年生)
- ・ 小さな、遊園地や、小さな、動物園(水族館)(3年生)
- ・ 色々な施設があり緑の多い区になってほしい(3年生)
- ・ 世田谷区にテーマパークを作ってほしい(2年生)
- ・ 鉄道の博物館があったらいい(1年生)
- ・ 友達と体験できる街(魚釣りや農業など)(2年生)
- ・ ゲームセンターがほしい。(1年生)

4. 運動(9件)

- ・ サッカーができるまちがいい(2年生)
- ・ 運動がたくさんできる町がいい(3年生)
- ・ みんながつかえる体育館がいっぱいほしい(2年生)
- ・ 子どもが楽しめるスポーツのやるところが家の近くにあるといいと思う。(野球、テニス、バスケなど)(2年生)

5. 学校(23件)

- ・ 学区にとらわれず、個性ややりたいことの特徴にあった学校へ通えるようになってほしいと思います。(2年生)
- ・ しゅくだいなくしてください。やりたいことにじかんをつかって、すごいいろいろなことにちょうせんしているこがいっぱいいるばしょがいいです(3年生)
- ・ 学校で勉強もちよつとしたいけど、もっと遊びたい。(1年生)
- ・ 先生にもう少しちゃんと話を聞いてほしい。(1年生)
- ・ 学校のみんなでもっとたくさん遠足に行きたいです。もっと生活や図工の学習ををして色々な事を知りたいです。(2年生)
- ・ 学校までの道がもっとすずしかったらいいです。学校のイベントをふやしてほしいです。(3年生)
- ・ えいごのじゅぎょうがもっとあったほうがいいと思う。(2年生)
- ・ 子どもが学校でトイレに行きやすい環境(3年生)
- ・ どようじゅぎょうがなくなったほうがせんせいがつかれないし、こどももつぎのげつようびのときしっかりべんきょうができるとおもう。(2年生)
- ・ 学校が楽しくなるためには先生がもっとおもしろくなればいい。あと、すこしでもこどもが

やりたいっていう授業をつくったほうがいい。(3年生)

- ・ 楽しいまいにちがいい、友達のことをいっぱい聞く良い学校がいい(1年生)
- ・ 登校拒否とかで、学校に通えない子どもが通えるスクールを作る。(1年生)

6. 祭り・イベント(5件)

- ・ 子どものためのイベントや行事が多いまち(3年生)
- ・ ゲーム大会(1年生)
- ・ お祭りを増やしたら楽しい(1年生)

7. 店・まちづくり(6件)

- ・ 駅前の歩道を広くして欲しい(1年生)
- ・ 世田谷では、いろいろなものがあるけど、色々なお店がたくさんあるようにしてほしい。住宅とお店を同じぐらいにしてほしい。(3年生)
- ・ しょうてんがいがあるまち。いろいろなともだちにあえるかもしれないから。(2年生)
- ・ 生活に必要な所や物などがいっぱいあって、便利な街にしたいし、して欲しいです。(2年生)

8. 自然(12件)

- ・ しぜんゆたかなまちになってほしいです。(2年生)
- ・ 自然豊かにしてほしい緑を増やしてほしい(3年生)
- ・ 人間だけではなく自然にもいい町(3年生)
- ・ 緑がいっぱいで自然もいっぱいきれいな世田谷(2年生)
- ・ 綺麗で、自然とふれあえる(3年生)
- ・ 本物の星空が見える場所が欲しい(1年生)

9. いじめ・暴力・犯罪等がない(51件)

- ・ けんかや暴力などが無くてみんながゆったり平和な暮らしをできる。(3年生)
- ・ イジメがなく、親からもぎゃくたいされなく、みんながびょうどうで、平和な、世田谷。(2年生)
- ・ 悪い人がいない世田谷に、なってほしいです。(3年生)
- ・ 犯罪のないまち。(3年生)
- ・ いじめっ子がいない。みんななかよく。(1年生)
- ・ 差別されない(2年生)
- ・ 暴力や暴言などを少なくしたい(3年生)
- ・ いじめや悪いことをする人がいないせたがやにしたい。(2年生)
- ・ けんかやとものをとったり、ぬすんだりするような大人がいない幸せなまち(3年生)
- ・ じけんやこわいことがないまち、だれかがかなしむことがないまち(1年生)
- ・ みんなが楽しく元気に暮らして殺人のような事故がないような清潔な街で誰もが笑って楽

第2章 調査結果

しんでいる世田谷区。(2年生)

- ・ みんなが楽しめるケンカやあらそいがないいい世界にしたい(2年生)
- ・ 怒ったりたいたり、らんぼうをしないせかい、優しく楽しい世田谷にしたいです。(1年生)
- ・ みんながしあわせで、じけんがないあんしんのまちに、わたしはなってほしいです。(2年生)

10.ごみのない・きれいなまち(21件)

- ・ ごみを分別して世田谷区をもっと綺麗にして欲しいです。(3年生)
- ・ 町にあるごみを少なくして、きれいな町にしたい。(3年生)
- ・ ごみがないきれいなまちにしてほしいです。(1年生)
- ・ きれいな(ゴミを道に捨てる人がいない、お花がいっぱいあって虫がたくさんいる)町にして欲しい。(1年生)

11. 楽しい・優しい・明るいまち(104件)

- ・ わくわく楽しくなってほしい。(1年生)
- ・ 一人一人が好きなことができるような世田谷がいいです(1年生)
- ・ いつもみんなが楽しい世田谷区にしたいです。(1年生)
- ・ みんなが楽しく幸せに過ごせるような町(1年生)
- ・ みんながもっとやさしくなるせたがやにしたいです。(1年生)
- ・ いつもみんなが、ニコニコして、あかるくて、やさしいほうがいいです。(2年生)
- ・ いろんな人にたいせつにして、おとしよりやこどもにやさしくする(1年生)
- ・ すぐおだやかなまちになってほしい。(3年生)
- ・ みんながケンカをしない楽しい元気ななかのいい「みんな友だち」な町にしたいです。(3年生)
- ・ みんな喧嘩などをしないで仲良くできる。自分らしく考えたり発言したりできる。(3年生)
- ・ 一人一人が誰かのことを思いあって一人一人が助け合って、優しい街にしたいです。(1年生)
- ・ 子どもが元気にそだつ町(2年生)
- ・ 子どもたちがいいなあと思う町にできたたらいいと思います。(2年生)
- ・ 自分だけじゃなくて、ほかの方のことも考える町にしたい。(3年生)
- ・ 人々が親切で困っている人を助けてくれる街にしたい(3年生)
- ・ 毎日につこりできるたのしいまち(1年生)
- ・ みんなが幸せになる世田谷区になったらいいなと思います。(2年生)
- ・ みんなが安心してすごせて差別がなく、大人たちも楽しく、そして運動会で負けても勝っても拍手をしてくれる世田谷区がいいです(3年生)
- ・ みんなが笑顔で明るいまち(3年生)
- ・ 優しい町。親切な町。元気な町。(2年生)

- ・ どうぶつたちにやさしくして、いっしょにすごせるまち(1年生)
- ・ みんながじゆうにらせるまちにしたい。(1年生)

12.平和(31件)

- ・ いつもへいわなまち(1年生)
- ・ みんながニコニコできて楽しくてへいわな町。(3年生)
- ・ みんなが楽しく生活をして、学んで、遊んで、さべつされずに生きていけるそんな平和な、世田谷区。(2年生)
- ・ 平和で、子どもと大人が楽しめる世田谷になったらいいな(3年生)
- ・ 「戦争などが起きない平和な街にしたいです。」(2年生)
- ・ みんなで仲良くして、たのしくあんしんですこやかな、平和な世田谷区。(2年生)

13.安心・安全(27件)

- ・ こまっている人がいないまち。事故がないまち。バリアフリーのまち。(3年生)
- ・ みんなが安心安全である楽しい街にしていきたいです。(3年生)
- ・ あんしんしてらせる町(1年生)
- ・ のびのびできて、安全な世田谷になったらいいな。(3年生)
- ・ 事件などおきないで大人と子どもがよりよく過ごせる世の中になってほしい。(3年生)

14.物価・税金(3件)

- ・ 物価が安い(1年生)
- ・ すべてのもののねだんをもっとねさげしてほしいです。(2年生)
- ・ お金持ちの人たちは貧乏の人たちにお金を分けてあげて欲しい。(1年生)

15.いまのままでよい(6件)

- ・ 今のままでも十分楽しいから今のままでいいと思います。(1年生)
- ・ 今が一番いいです。(2年生)

16.その他の意見(19件)

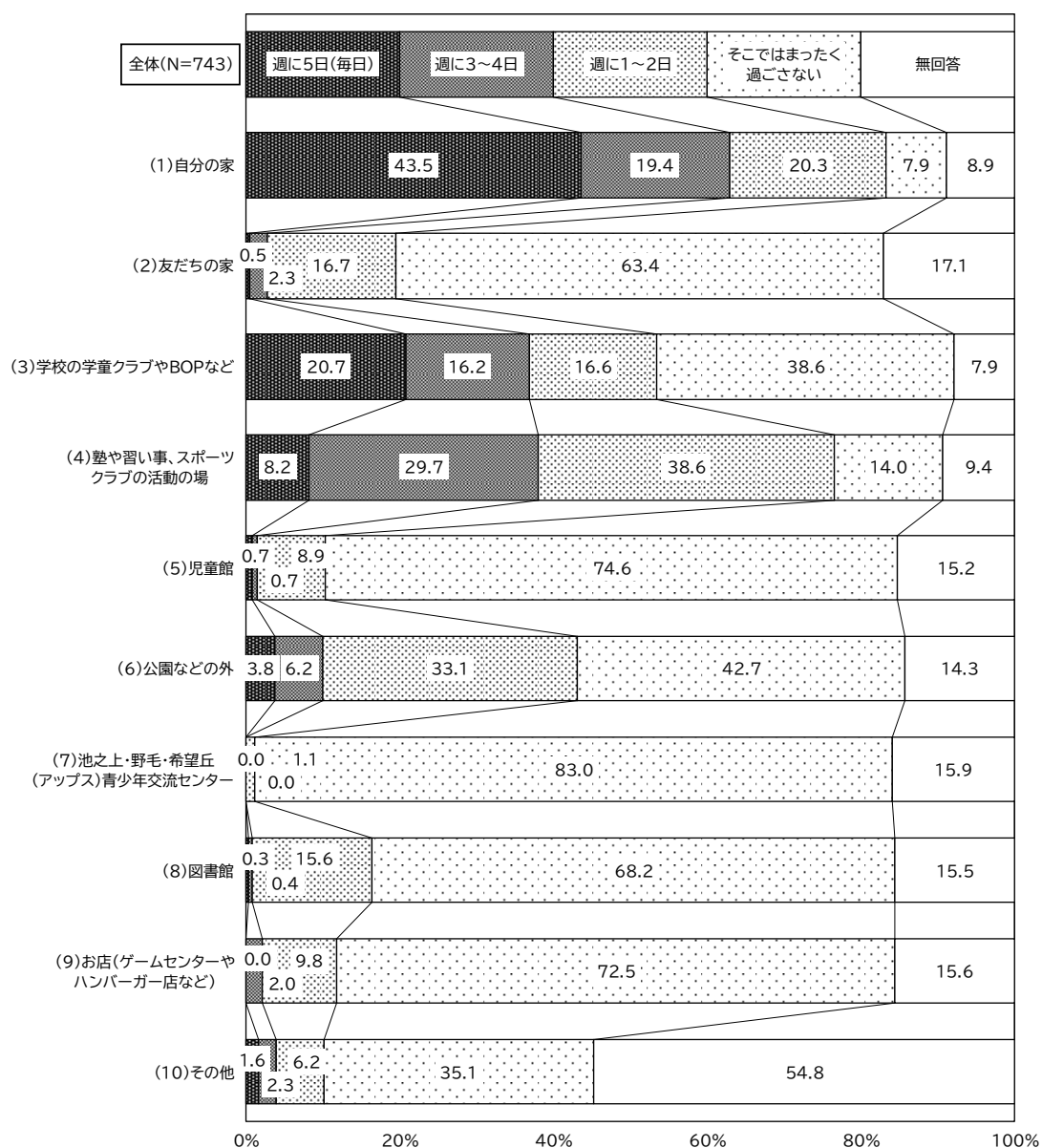
- ・ みんなの考えを大切にしながら、活動する街(1年生)
- ・ みんな病気がない町(1年生)
- ・ ルールが守られる世界になったらいいな。(1年生)
- ・ みんなが、自分の、意見を大切にしてくれる町(2年生)
- ・ お菓子のまち(2年生)
- ・ お客さんがたくさん来る。観光スポットにしたい。(3年生)
- ・ みんなが美味しい食べ物を食べる世界(2年生)

5 放課後の過ごし方

(1)学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごす場所別日数(問9)

学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごす場所別日数は、《週に3日以上》(「週に5日(毎日)」と「週に3~4日」の合計)の割合が『(1)自分の家(62.9%)』で最も高く、『(4)塾や習い事、スポーツクラブの活動の場(37.9%)』、『(3)学校の学童クラブやBOPなど(36.9%)』が続いている。

学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごす場所別日数
(全体)



『(4)塾や習い事、スポーツクラブの活動の場』について学年別にみると、学年が上がるほど「そこではまったく過ごさない」の割合が低くなり、平均日数は1年生で2.0日、2年生で2.2日、3年生で2.5日となっている。

学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごす場所別日数:

(4)塾や習い事、スポーツクラブの活動の場(全体、学年別)

			(%)					平均日数
			週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	そこではまったく	無回答	
全	体	(N=743)	8.2	29.7	38.6	14.0	9.4	2.2
学年別	1	年生 (n=224)	7.1	21.0	40.2	18.3	13.4	2.0
	2	年生 (n=241)	6.6	32.0	39.8	12.9	8.7	2.2
	3	年生 (n=275)	10.5	35.3	36.7	11.3	6.2	2.5

『(6)公園などの外』について学年別にみると、2年生で「そこではまったく過ごさない」が47.7%であり全体より5.0ポイント高くなっている。平均日数は1年生で1.0日、2年生で0.9日、3年生で1.2日となっている。

学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごす場所別日数:

(6)公園などの外(全体、学年別)

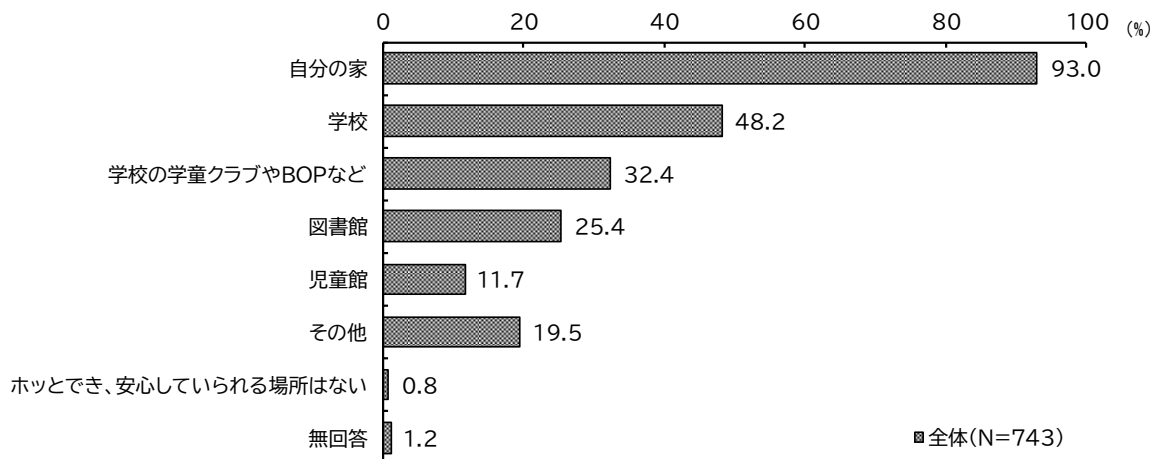
			(%)					平均日数
			週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	そこではまったく	無回答	
全	体	(N=743)	3.8	6.2	33.1	42.7	14.3	1.1
学年別	1	年生 (n=224)	4.0	5.4	27.7	42.9	20.1	1.0
	2	年生 (n=241)	3.7	5.4	29.5	47.7	13.7	0.9
	3	年生 (n=275)	3.6	7.6	40.7	38.2	9.8	1.2

※平均は「週に5日(毎日)」を5.0、「週に3~4日」を3.5日、「週に1~2日」を1.5日、「そこではまったく過ごさない」を0日で算出している。

(2) ホットでき、安心していられる場所(問 10)

ホットでき、安心していられる場所は、「自分の家(93.0%)」が最も高く、「学校(48.2%)」、「学校の学童クラブやBOPなど(32.4%)」が続いている。

ホットでき、安心していられる場所(全体):複数回答



自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「自分の家」、「学校」の割合が低い。どちらでもない人はそれ以外の人と比べて、「学校の学童クラブや BOP など」の割合が低い。

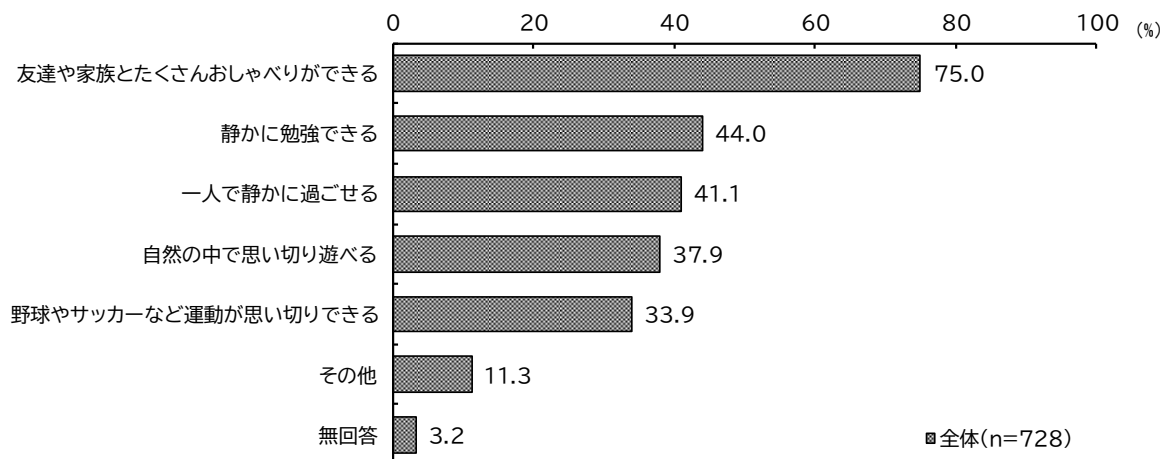
ホットでき、安心していられる場所(全体、自己肯定感別)

		(%)							
		自分 の家	学 校	B学 O校 Pの な学 童ク ラブ や	図 書 館	児 童 館	そ の 他	い ホ ッ と で き 、 あ ん し て い ら れ る 場 所 、 あ ん し て い ら れ な い	無 回 答
全	体 (N=743)	93.0	48.2	32.4	25.4	11.7	19.5	0.8	1.2
定自 感己 別肯	自 分 の こ と が 好 き (n=505)	94.3	49.3	34.1	26.1	13.1	20.0	0.8	1.2
	自 分 の こ と が 好 き で は な い (n= 76)	85.5	43.4	32.9	21.1	10.5	23.7	1.3	2.6
	ど ち ら で も な い (n=142)	93.0	48.6	26.8	25.4	7.7	15.5	0.7	0.7

(3) ホットとでき、安心していられる場所はどのような場所か(問 10-1)

問 10 で「1. 自分の家」から「6. その他」と回答した人にホットとでき、安心していられる場所はどのような場所かたずねたところ、「友達や家族とたくさんおしゃべりができる(75.0%)」が最も高く、「静かに勉強できる(44.0%)」、「一人で静かに過ごせる(41.1%)」が続いている。

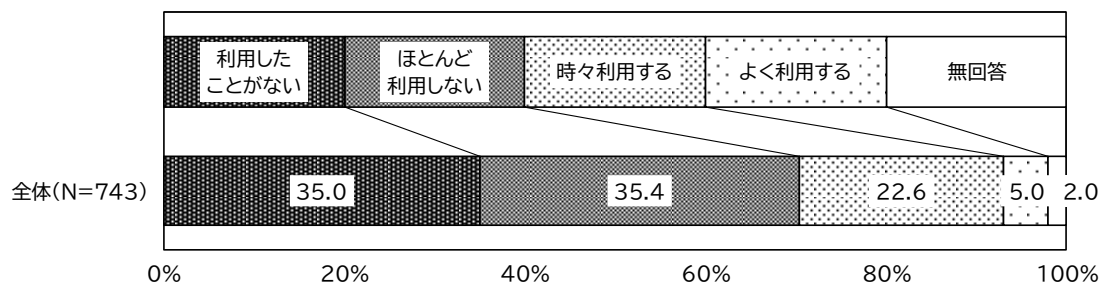
ホットとでき、安心していられる場所はどのような場所か(全体):複数回答
 <ホットとでき、安心していられる場所がある人>



(4)児童館の利用頻度(問 11)

児童館の利用頻度は、「ほとんど利用しない(35.4%)」が最も高く、「利用したことがない(35.0%)」、「時々利用する(22.6%)」が続いている。

児童館の利用頻度(全体)



学年別にみると、3年生は 1～2年生と比べて、「ほとんど利用しない」の割合が高く、「利用したことがない」の割合が低い。

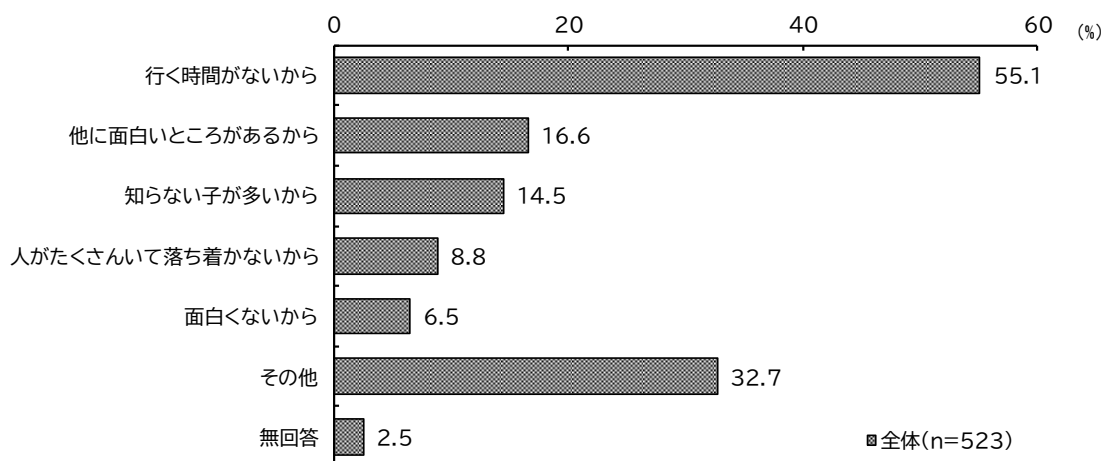
児童館の利用頻度(全体、学年別)

				(%)				
				こ と 用 が し な た い	利 用 と し ん な ど い	利 と 用 き す ど る き	利 よ く す る	無 回 答
全	体	(N=743)		35.0	35.4	22.6	5.0	2.0
学 年 別	1	年	生 (n=224)	37.5	33.9	20.5	5.4	2.7
	2	年	生 (n=241)	36.9	33.6	24.1	4.1	1.2
	3	年	生 (n=275)	31.3	38.2	23.3	5.5	1.8

(5) 児童館を利用しない理由(問 11-1)

問 11 で「1. 利用したことがない」か「2. ほとんど利用しない」と回答した人に、児童館を利用しない理由についてたずねたところ、「行く時間がないから(55.1%)」が最も高く、「他に面白いところがあるから(16.6%)」、「知らない子が多いから(14.5%)」が続いている。

児童館を利用しない理由(全体):複数回答
 <児童館を利用したことがない又はほとんど利用しない人>



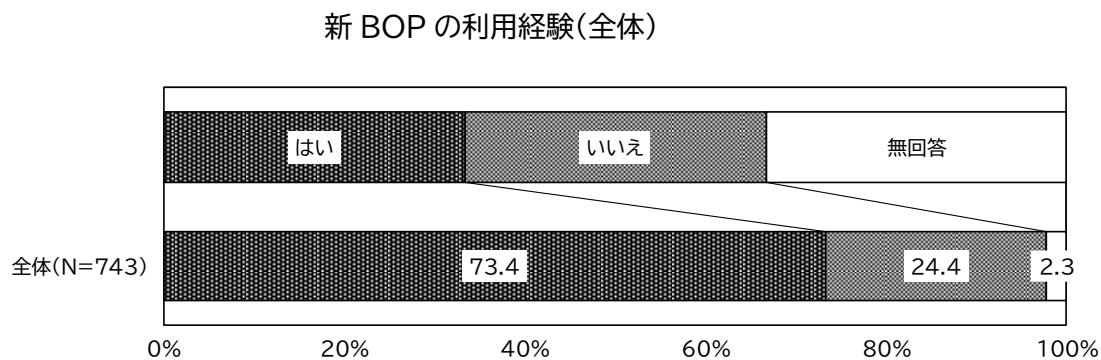
学年別にみると、1～2年生は3年生と比べて、「行く時間がないから」の割合が高い。1年生は3年生と比べて、「面白くないから」の割合が高い。

児童館を利用しない理由(全体、学年別)

			(%)						
			な行く いか か時 ら間 が	と他 こに ろ面 が白 あ い る か ら	多知 いら かな らい 子 が	落人 ちが 着た か く な さ い ん か い ら て	面 白 く な い か ら	そ の 他	無 回 答
全	体	(n=523)	55.1	16.6	14.5	8.8	6.5	32.7	2.5
学 年 別	1	年 生 (n=160)	58.1	18.8	13.8	10.0	9.4	28.8	1.3
	2	年 生 (n=170)	57.1	14.1	12.4	9.4	6.5	36.5	2.9
	3	年 生 (n=191)	50.8	17.3	17.3	7.3	4.2	33.0	2.6

(6)新 BOP の利用経験(問 12)

新 BOP の利用経験は、「はい」が 73.4%、「いいえ」が 24.4%となっている。



学年別にみると、2年生は1年生と3年生と比べて、「はい」の割合が高く、「いいえ」の割合が低い。

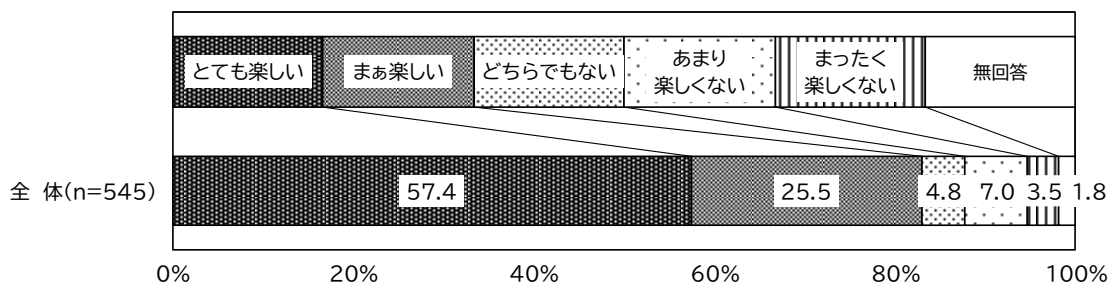
新 BOP の利用経験(全体、学年別)

				(%)		
				はい	いいえ	無回答
全	体	(N=743)		73.4	24.4	2.3
学 年 別	1	年 生	(n=224)	71.4	26.3	2.2
	2	年 生	(n=241)	77.6	20.7	1.7
	3	年 生	(n=275)	71.6	25.8	2.5

(7)新 BOP を利用した感想(問 12-1)

問 12 で「1. はい」と回答した人に、新 BOP を利用した感想をたずねたところ、《楽しい》(「とても楽しい」と「まあ楽しい」の合計)の割合が 82.9%となっている。

新 BOP の利用した感想(全体)



学年別にみると、1年生は 2～3年生と比べて、「まあ楽しい」の割合が高い。2年生は1年生と3年生と比べて、「とても楽しい」の割合が高い。《楽しい》の割合は、1年生が 85.1%、2年生が 87.2%、3年生が 77.1%となっており、3年生は 1～2年生と比べて低い。

新 BOP を利用した感想(全体、学年別)

			(%)					
			とても楽しい	まあ楽しい	どちらでもない	あまり楽しくない	まったく楽しくない	無回答
全	体	(n=545)	57.4	25.5	4.8	7.0	3.5	1.8
学年別	1	年生 (n=160)	53.8	31.3	3.8	7.5	2.5	1.3
	2	年生 (n=187)	62.6	24.6	3.2	7.0	2.1	0.5
	3	年生 (n=197)	55.3	21.8	7.1	6.6	5.6	3.6

第2章 調査結果

新 BOP 学童クラブについて、どのような気持ちで過ごすことが多かったのか、1. とても楽しい、2. まあ、楽しい、3. どちらでもない、4. あまり楽しくない、5. まったく楽しくない の5択から当てはまるもの1つとその理由を自由回答方式でたずねた。

以下、主なものを掲載する。なお、回答には、複数回答や重複回答も含める。また、回答件数の多かった「とても楽しいと回答した理由」と「まあ楽しいと回答した理由」については、表形式で掲載する。

◇とても楽しい理由(276 件)

理由		件数(件)
遊べるから		119
友達(みんな)がいるから		131
外や体育館で身体を動かす遊びができるから	体育館	9
	サッカー	6
	運動	6
	校庭	4
	ドッジボール	4
	外で遊べる	3
	野球	1
	合計	33
おもちゃがあるから		22
楽しい		21
ゲーム・レゴ・メンコ・カードゲームなどがあるから	ゲーム	8
	レゴ	5
	メンコ	2
	カードゲーム	2
	合計	17
本・漫画・勉強・将棋などができるから	本	8
	漫画	5
	勉強	7
	将棋	1
	合計	19
イベントがあるから		7
工作ができるから		6
おやつ・お菓子が食べられるから		5

○その他

- ・ 色々なおもちゃがある。先生も一緒に遊んでくれるから。
- ・ 自由だから
- ・ 1ばんのともだちがいるから など

◇まあ楽しい理由(103件)

理由		件数(件)
遊べるから・友達と遊べるから		55
本(絵本)・漫画・勉強・将棋などが できるから	本(絵本)	3
	漫画	3
	勉強	7
	将棋	1
	合計	14
本・漫画・勉強・将棋などが できるから	サッカーをする	4
	鬼ごっこ・一輪車	2
	運動	2
	外で遊べる	1
	ドッチボール	1
	合計	10
おもちゃがあるから		8
工作ができるから		6
レゴ・カードゲームがあるから	レゴ	4
	カードゲーム	1
	合計	57
イベントがあるから		7
工作ができるから		6
おやつ・お菓子が食べられるから		5

○その他

- ・ 知っている友達が少ないから
- ・ たのしいけどたまにおにいちゃんにいじわるをされて、さいきんはいきたくない
- ・ ぜんぶともだちにきめられる
- ・ 騒がしくて落ち着かないので行かない
- ・ 人が多くてやりたいのにやれない時もあるから
- ・ おもちゃが沢山あって楽しいけどすぐに飽きる など

◇どちらでもない理由(18件)

- ・ 集中できなくてうるさい、けんかがおおい
- ・ 行ったことがない
- ・ 先生がこわい 友達と遊ぶのはたのしい きまりごとが多すぎる 過ごし方がみつからない
- ・ 工作のイベントだけが好き など

◇あまり楽しくない理由(31件)

- ・ 嫌いな人が居るからです
- ・ いじわるなおにいちゃんがいるとたのしくない
- ・ 知らない子がいっぱいいて、はづかしかったりするから。
- ・ あまり友達がいないから
- ・ ひとがおおくてあつい。じゅうちょうにえをかくとちゅういされる。ルールがすこしお

第2章 調査結果

おい。

- ・ すぐ先生におこられるから など

◇まったく楽しくない理由(14 件)

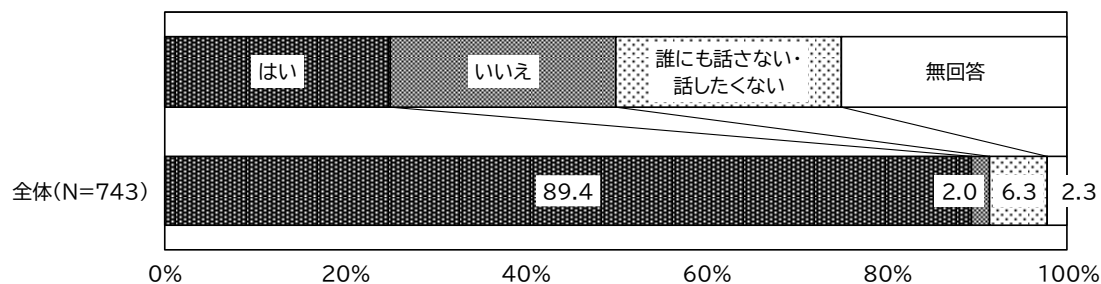
- ・ 上級生の子にドッチボールで嫌な思いをした
- ・ 遊んでくれる友達がない
- ・ うるさいから
- ・ 遊びたいこともあるけど、遊ぶ道具があんまない
- ・ 先生がこわい
- ・ 家でゆっくりすることが好きだから など

6 日ごろの思いや悩み

(1) 困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無(問 13)

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無は、「はい」が89.4%、「いいえ」が2.0%、「誰にも話さない・話したくない」が6.3%となっている。

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無(全体)



性別にみると、女子は男子と比べて、「誰にも話さない・話したくない」の割合が高い。また、性別を答えたくない人は男子、女子と比べて、「はい」の割合が低く、「誰にも話さない・話したくない」の割合が高い。

学年別にみると、学年が上がるほど「いいえ」の割合が低くなり、「誰にも話さない・話したくない」の割合が高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「誰にも話さない・話したくない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「誰にも話さない・話したくない」の割合が高い。

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無

(全体、性別、学年別、自己肯定感別)

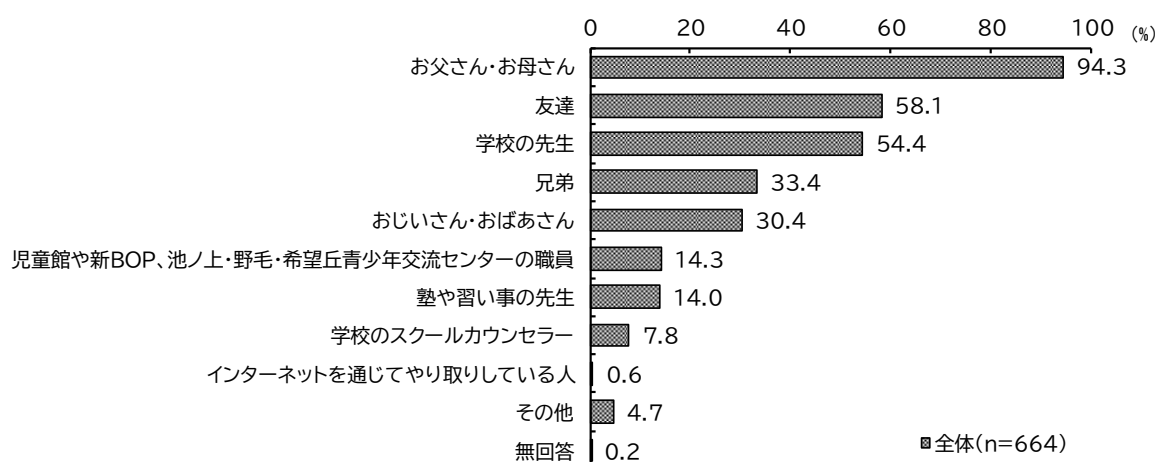
		(%)			
		はい	いいえ	誰にも話さない・話したくない	無回答
全	体 (N=743)	89.4	2.0	6.3	2.3
性別	男 子 (n=368)	90.2	2.7	4.6	2.4
	女 子 (n=351)	89.5	1.1	7.7	1.7
	答 え た く な い (n= 19)	84.2	0.0	10.5	5.3
	わ か ら な い (n= 2)	0.0	50.0	50.0	0.0
	そ の ほ か (n= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0
学年別	1 年 生 (n=224)	88.8	4.5	5.4	1.3
	2 年 生 (n=241)	90.9	1.2	6.2	1.7
	3 年 生 (n=275)	88.7	0.7	7.3	3.3
定自 感己 別肯	自 分 の こ と が 好 き (n=505)	93.5	1.8	3.0	1.8
	自 分 の こ と が 好 き で は な い (n= 76)	75.0	1.3	21.1	2.6
	ど ち ら で も な い (n=142)	85.2	1.4	11.3	2.1

(2)困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人(問 13-1)

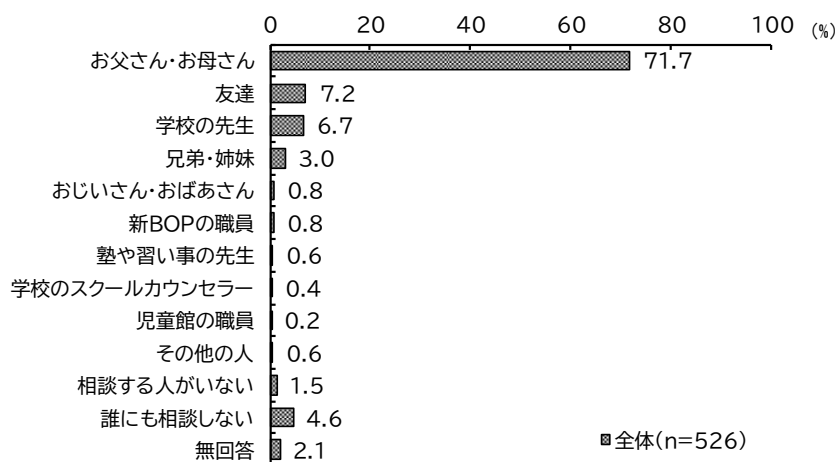
問 13 で「1. はい」と回答した人に、それは誰なのかたずねたところ、「お父さん・お母さん(94.3%)」が最も高く、「友達(58.1%)」、「学校の先生(54.4%)」が続いている。

平成 25 年度調査と比較すると、聴取形式が異なるため単純比較はできないものの、「お父さん・お母さん」が群を抜いており、「友達」、「学校の先生」が上位に続いている点から、話を聞いてくれる人・相談する相手の傾向は平成 25 年度調査から大きな変化はみられないといえる。

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人(全体):複数回答
 <困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人がいる人>



困ったときや悩みがあるときに相談する相手(全体)【平成 25 年度調査】
 <困っている、悩んでいることがあると回答した人>



7 自由意見

(1) アンケートの感想、大人に言いたいこと(問 14)

アンケートの感想、大人に言いたいことに関して、自由記述形式でたずねたところ、全体で215件の回答があった。すべての意見について確認したうえで分類を行い、全件を掲載することは難しいことから、個人や所属が特定される可能性がある意見、配慮が必要となる意見、類似した意見等は除き、一部を紹介する。

1. アンケートの感想(122件)

① アンケートの活用について(3件)

- ・ いろんなことをきかれた。このアンケートがどういふされるのか知りたいです。(2年生)
- ・ こんなアンケートをとってどうつかうんですか(1年生)

② 肯定的な意見(75件)

- ・ アンケートで答えて世田谷区がいい所になったらいいなと思います。(3年生)
- ・ こういふことを答えられて、本当になつてくれたらうれしい。でも本当にならなくても、この町はすきだから、こういうアンケートをとってくれてうれしかった。(2年生)
- ・ このアンケートで、世田谷区が楽しい場所になつて、人気な場所になつて欲しいです。またこのアンケートに答えてみたいです。(3年生)
- ・ 子どものためにこのアンケートを作つてくださった人に感謝しています。とても楽しくて明るい街にしてくれるのを待っています。(3年生)
- ・ アンケートにこたえて、こまっていることがないとわかりました。(1年生)
- ・ アンケートに言いたい事を全部いえてスッキリしました。(1年生)
- ・ いろいろなことをたくさん教えてくれてありがとうございます。いろいろなことを教えてくれるとうれしいです。ありがとうございます。(3年生)
- ・ このアンケートのなんでもこまったことを言えるのがすごかったです。(1年生)
- ・ このアンケートは子ども達が安心できるよな、アンケートでした。私や、この街のみんなも安心して過ごせると思いました。(3年生)
- ・ このアンケートをやつて、自分がやりたいこととかを知ることができました。(2年生)
- ・ このアンケートを書いたら、話せなかつた嫌なことを、話せたから、今、心が、すっきりしました。(3年生)
- ・ じぶんのことがわかつた。(2年生)
- ・ じぶんのことをかんがえられた！(2年生)
- ・ とても大事なアンケートだつたから人を大切にしようと思ひました。(3年生)
- ・ とても良いアンケートでした。本当の気持ちがつたえられるよなアンケートでした。(1年生)
- ・ 嬉しくて、話を聞いてくれる人がいて嬉しかった。(2年生)
- ・ 言いたくても言えないことを言えてスッキリしました。(2年生)
- ・ 私しか見れないから安心して答えられました。(2年生)

第2章 調査結果

- ・ 自分が思ったことを言えたから、安心した。(3年生)
- ・ 自分の気持ちをかけてよかったです。(3年生)
- ・ 自分の気持ちをきちんと話し合うことができるじしんを持つことができました。(3年生)
- ・ 自分の悩みが解決したような気がする(2年生)
- ・ 難しかったけど、自分のことを、伝えられて、うれしかった。(1年生)
- ・ アンケートがむずかしかったけど楽しかったです。最後までできて嬉しかったです。(2年生)
- ・ アンケートに答えるのが楽しかったので、またやりたいです。(1年生)

③否定的な意見(41件)

- ・ 難しかったです。(1年生)
- ・ 質問がたくさんあって大変だった。(2年生)
- ・ 考えるのが難しかった。(2年生)
- ・ 一年生にとっては長かった。(1年生)
- ・ めんどくさい。帰ってから疲れてるからあまりやりたくない(2年生)
- ・ つかれた、やっと終わった(1年生)
- ・ ちょっとながくて、たいへんだった。しらないことばもあって、むずかしかった(1年生)

④その他(3件)

- ・ アンケートの事をどう伝えればいいかわからない(1年生)
- ・ こういうことを考えるのは大へんなんだなと思いました。(2年生)

2. 大人に言いたいこと(93件)

①遊びたい(6件)

- ・ あんまり遊びに行けてないから、遊びたい(1年生)
- ・ もっといっぱい遊びたいです。(3年生)
- ・ いえであそぶじかんがあんまりない(1年生)
- ・ ゲームをたくさんしたいです。(1年生)

②遊び場、公園(3件)

- ・ どうしても東京ドーム、2個分の楽しい遊び場を作って欲しい(1年生)
- ・ 公園を作ってください。(3年生)
- ・ 公園でボールが蹴れるようにしてほしいです。(3年生)

③いじめ等(4件)

- ・ いじめを無くしてください(3年生)
- ・ 子どもが子どもをいじめるのを防ぎたい。(2年生)

④家族(4件)

- ・ 怒られたくない(3年生)
- ・ お家の人ともっとたくさん遊びたい。(2年生)

- ・ いつまでも家族といっしょにいたいです。(2年生)

⑤学校(17件)

- ・ 学校が嫌だ、楽しめない。書くのが嫌だ。(2年生)
- ・ 学校の先生が嫌な時がある。(2年生)
- ・ 学校の先生が怒っている時間が無駄。学校がうるさい。(2年生)
- ・ しゅくだいをむずかしくしてください。ひるやすみのじかんをふやしてください。(1年生)
- ・ 学校でもっと休みじかんが長くなるといいな(1年生)
- ・ 学校でもっと遊びの時間が欲しい(2年生)
- ・ 学校とBOPがたのしくなればうれしい。(2年生)
- ・ 学校の、ゆうぐを、ふやして、ほしい。(2年生)
- ・ 給食にアイスを出して欲しい、夏休みを伸ばして欲しい(3年生)
- ・ 毎日のタブレットがおもいです。(3年生)
- ・ 学校楽しいです、学童は楽しくないこともある。(1年生)
- ・ BOP(がくどう)が6年生までであると嬉しい(1年生)
- ・ 4年生になっても、がくどうに行きたい。(3年生)

⑥相談(4件)

- ・ いやなことがあったら大人に相談するので解決できるように手伝ってほしいです。(1年生)
- ・ 相談したいことはあるけど大人には、馬鹿にされそうと言えない。(3年生)
- ・ せたほっとがいいとおもいます。(2年生)
- ・ 僕はいろんな人に相談などができるので、何かがあったら相談して欲しいなと思いました。(3年生)

⑦子どもの権利、意見を聞いて(10件)

- ・ こどものいけんをこれからもきいてください(1年生)
- ・ みんなをおなじにしようとしなくて。(1年生)
- ・ 子どもが楽しく、元気に暮らせるように見守っていてほしいです。(3年生)
- ・ 子どもを大切にしてください(3年生)
- ・ 自分のペースでやりたい。理解してほしい。(1年生)
- ・ 一緒に遊んでくれないのがかなしい(1年生)
- ・ お話をさい後まで聞いてほしい。あまり怒らないでほしい。(3年生)
- ・ さわいでいるわけではないのに、うるさいと怒るのはやめてほしい。走るなどか言わないでほしい。(3年生)
- ・ 厳しくしないでほしい(3年生)
- ・ 好きなことをやらせて欲しい。ずっと寝たり、テレビを見たり、文章を書いたり、自由な時間が欲しいです。(2年生)

⑧まちづくり(9件)

- ・ これからの未来の日本や世田谷区がより良い住みやすい地域になればいいと思う。その為

第2章 調査結果

には、住みやすい環境、働きやすい街になればいいと思う思う。みんなで助け合って、豊かな世田谷区にしたい。僕達の未来は暗いのではなく、明るく安全安心できる街になってほしいと思う。(1年生)

- ・ 駅の近くに児童館や図書館を作ってほしい、職業体験がしたい(1年生)
- ・ 歩道を広くしてください。(3年生)
- ・ ほんとうに子どもがたのしいまちになってほしいです(1年生)
- ・ もっといい町になったらいい。(2年生)
- ・ 監視カメラを設置してほしい。たくさん(3年生)

⑨大人への要望・意見(9件)

- ・ 大人にいいたいことは、怒って人を殺してしまったり、暴力を振るったり、その怒っている人の家を特定して、火事などを起こしたり、詐欺や、不審者、泥棒になったりしたりして、この街の人たちが、安心して暮らせないと思ったので、まずはこの街の人のことを考え、「どうやったらこの街の人が笑顔になれるかな」と、考えてほしいし、みんなが笑顔になって欲しいです。(3年生)
- ・ 一緒に勉強手伝って欲しい(1年生)
- ・ 大人は勝手すぎる(1年生)
- ・ このじだいをたのしくしてください。(1年生)
- ・ これからも守って行ってほしい。(2年生)
- ・ 犯罪のない国にして欲しい(3年生)

⑩感謝・ねぎらい(19件)

- ・ いつもありがとうございます(1年生)
- ・ いつもありがとうね！！毎日仕事を頑張ってるね！！大好きだよ！(2年生)
- ・ いつもやさしくしてもらってうれしい(1年生)
- ・ いつも見守ってくれてありがとうございます(1年生)
- ・ おかあさん、お父さん、いままでずっと一緒にいると本当にありがとう、お母さん、お父さんは、1番大好き(3年生)
- ・ お父さんとお母さんが優しく、ホッとする。(1年生)
- ・ ままにいっぱいおいしいごはんをつくってもらっていきいきしたいです、ぱぱはおしごとをがんばってほしいです(1年生)
- ・ わたしは、かぞくもともだちもいて、とてもしあわせです。(2年生)
- ・ 育ててくれてありがとうこれからもよろしく(3年生)
- ・ 学校の先生いつもありがとうございます。(2年生)
- ・ あまりしごとでくろうをしないでほしいです。(2年生)
- ・ ずっと元気にいてください。(2年生)
- ・ 働きすぎないで会社を休みたい時は休んでちゃんと休憩をとりながら仕事をしてください。(3年生)

⑪その他(7件)

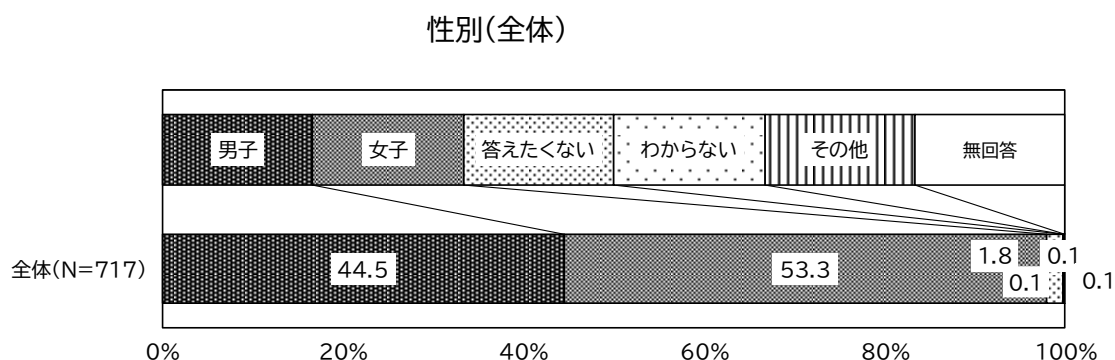
- ・ 世田谷区は楽しいです。サマースクールも楽しかったです。(2年生)
- ・ 僕は虫取りやバスケットボールが大好きです。(1年生)
- ・ うんどうかいをがんばりたい(1年生)
- ・ どうしたら勉強が好きになりますか。(3年生)

I - 2 小学生高学年調査

1 基本属性

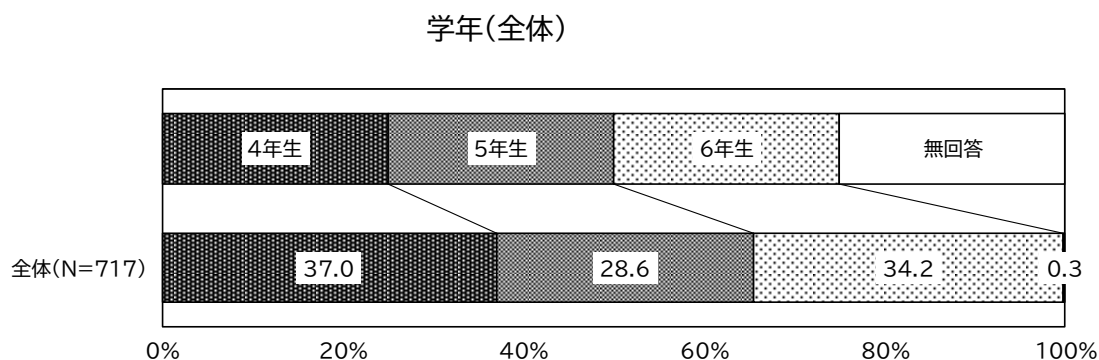
(1)性別(問1)

性別は、「男子」が44.5%、「女子」が53.3%、「答えたくない」が1.8%、「わからない」、「その他」が同率で各0.1%となっている。



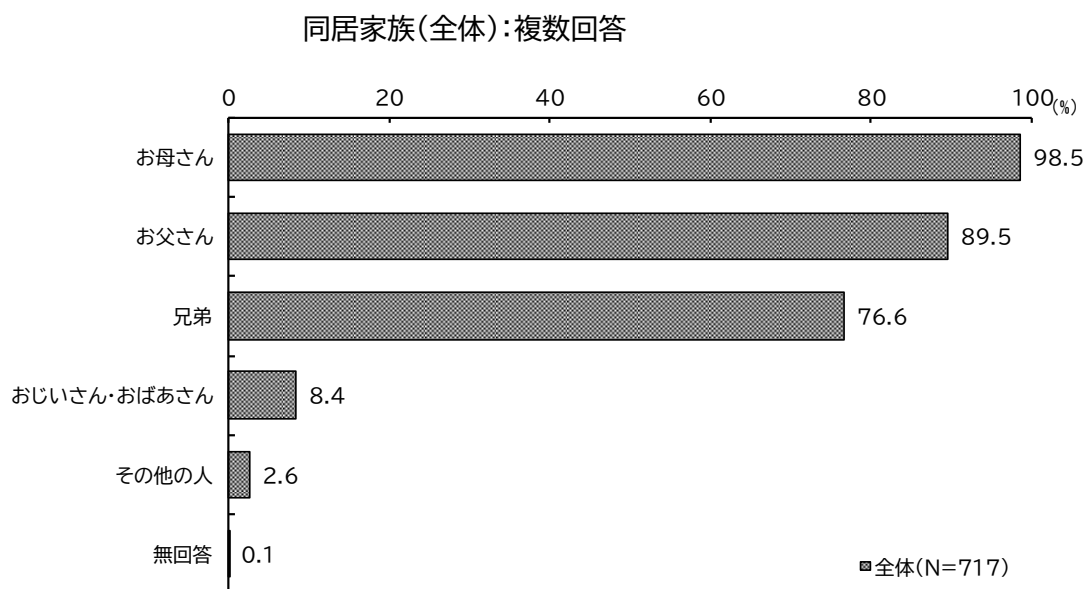
(2)学年(問2)

学年は、「4年生」が37.0%、「5年生」が28.6%、「6年生」が34.2%となっている。



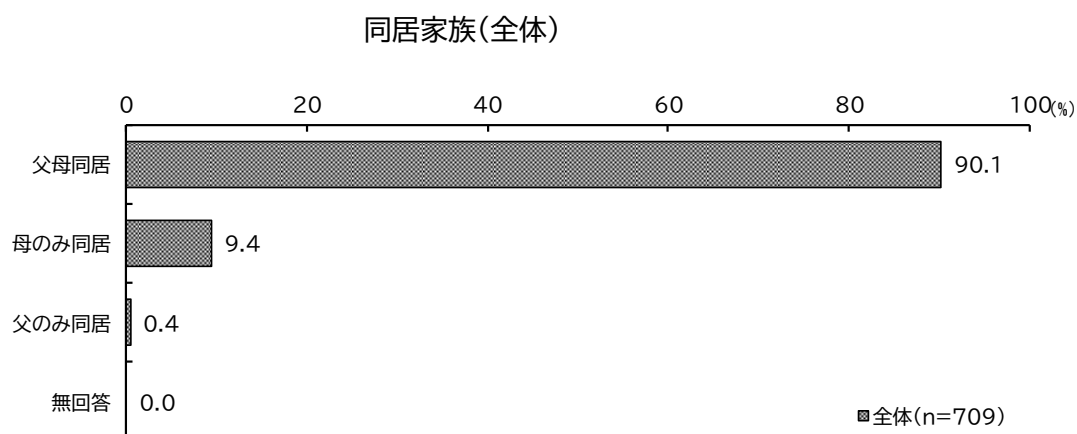
(3)同居家族(問3)

同居家族は、「お母さん(98.5%)」が最も高く、「お父さん(89.5%)」、「兄弟(76.6%)」が続いている。



(4)同居家族(新問3)

同居家族は、「父母同居(90.1%)」が最も高く、「母のみ同居(9.4%)」、「父のみ同居(0.4%)」となっている。

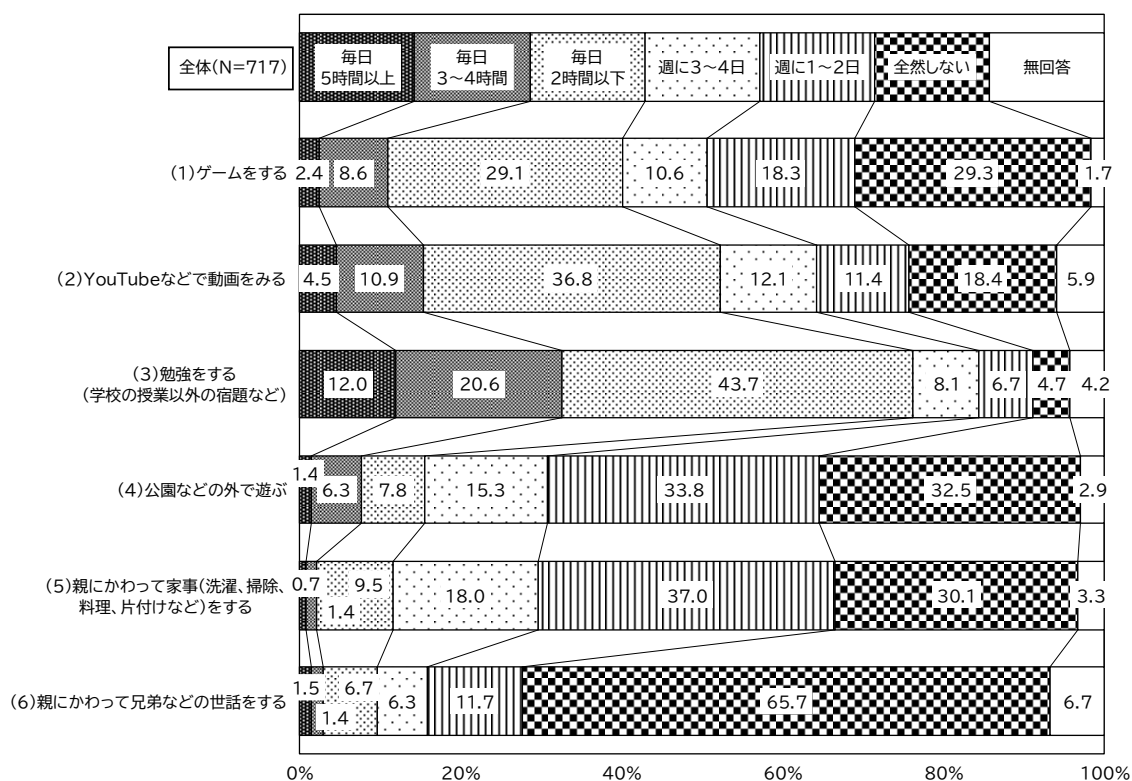


2 ふだんの生活

(1)ふだんの活動(問4)

ふだんの活動は、『毎日3時間以上』(『毎日5時間以上』と『毎日3～4時間』の合計)の割合が『(3)勉強をする(学校の授業以外の宿題など)(32.6%)』で最も高く、『(2)YouTubeなどで動画をみる(15.4%)』、『(1)ゲームをする(11.0%)』が続いている。

ふだんの活動(全体)



◆(1)ゲームをする(学年別)

『(1)ゲームをする』について学年別にみると、《毎日3時間以上》の割合は、4年生で 10.9%、5年生で 9.2%、6年生で 12.7%となっている。また、平均日数は、4年生で 2.9 日、5年生で 2.6 日、6年生で 2.6 日となっている。

ふだんの活動:(1)ゲームをする(全体、学年別)

		(%)								
		毎日5時間以上	毎日3～4時間	毎日2時間以下	週に3～4日	週に1～2日	ぜんぜんしない	無回答	平均日数	
全	体 (N=717)	2.4	8.6	29.1	10.6	18.3	29.3	1.7	2.7	
学年別	4 年生 (n=265)	1.5	9.4	32.8	10.6	18.1	25.7	1.9	2.9	
	5 年生 (n=205)	2.9	6.3	25.4	14.6	22.4	26.3	2.0	2.6	
	6 年生 (n=245)	2.9	9.8	28.6	7.3	14.7	35.5	1.2	2.6	

◆(2)YouTubeなどで動画をみる(学年別)

『(2)YouTubeなどで動画をみる』について学年別にみると、平均日数は学年が上がるほど多くなっており、4年生で 3.2 日、5年生で 3.4 日、6年生で 3.6 日となっている。なお、《毎日3時間以上》の割合は学年であまり差がなく、4年生で 15.9%、5年生で 15.1%、6年生で 15.1%となっている。

ふだんの活動:(2)YouTubeなどで動画をみる(全体、学年別)

		(%)								
		毎日5時間以上	毎日3～4時間	毎日2時間以下	週に3～4日	週に1～2日	ぜんぜんしない	無回答	平均日数	
全	体 (N=717)	4.5	10.9	36.8	12.1	11.4	18.4	5.9	3.4	
学年別	4 年生 (n=265)	3.4	12.5	32.1	11.3	13.2	19.6	7.9	3.2	
	5 年生 (n=205)	3.9	11.2	39.0	10.2	12.7	18.5	4.4	3.4	
	6 年生 (n=245)	6.1	9.0	39.6	14.7	8.6	17.1	4.9	3.6	

※平均は「毎日5時間以上」、「毎日3～4時間」、「毎日2時間以下」を 5.0、「週に3～4日」を 3.5 日、「週に1～2日」を 1.5 日、「ぜんぜんしない」を 0 日で算出している。

第2章 調査結果

◆(3)勉強をする(学校の授業以外の宿題など)(学年別)

『(3)勉強をする(学校の授業以外の宿題など)』について学年別にみると、《毎日3時間以上》の割合は学年が上がるほど高くなっており、4年生で 21.9%、5年生で 34.1%、6年生で 43.3%となっている。また、平均日数は、4年生で 4.2 日、5年生で 4.4 日、6年生で 4.5 日となっている。

ふだんの活動:(3)勉強をする(学校の授業以外の宿題など)(全体、学年別)

		(%)								
		毎日5時間以上	毎日3～4時間	毎日2時間以下	週に3～4日	週に1～2日	ぜんぜんしない	無回答	平均日数	
全	体 (N=717)	12.0	20.6	43.7	8.1	6.7	4.7	4.2	4.4	
学年別	4 年生 (n=265)	5.7	16.2	49.4	9.8	7.2	6.8	4.9	4.2	
	5 年生 (n=205)	10.7	23.4	43.4	7.3	7.8	3.9	3.4	4.4	
	6 年生 (n=245)	20.0	23.3	37.6	6.9	4.9	3.3	4.1	4.5	

◆(4)公園などの外で遊ぶ(学年別)

『(4)公園などの外で遊ぶ』について学年別にみると、「ぜんぜんしない」の割合は学年が上がるほど高くなっており、4年生で 23.0%、5年生で 32.2%、6年生で 43.3%となっている。また、平均日数は、4年生で 2.1 日、5年生で 1.8 日、6年生で 1.7 日となっている。

ふだんの活動:(4)公園などの外で遊ぶ(全体、学年別)

		(%)								
		毎日5時間以上	毎日3～4時間	毎日2時間以下	週に3～4日	週に1～2日	ぜんぜんしない	無回答	平均日数	
全	体 (N=717)	1.4	6.3	7.8	15.3	33.8	32.5	2.9	1.9	
学年別	4 年生 (n=265)	2.3	6.0	7.2	17.7	40.4	23.0	3.4	2.1	
	5 年生 (n=205)	1.5	5.9	6.3	16.1	34.6	32.2	3.4	1.8	
	6 年生 (n=245)	0.4	6.5	9.4	12.2	26.1	43.3	2.0	1.7	

※平均は「毎日5時間以上」、「毎日3～4時間」、「毎日2時間以下」を 5.0、「週に3～4日」を 3.5 日、「週に1～2日」を 1.5 日、「ぜんぜんしない」を 0 日で算出している。

◆(5)親にかわって家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど)をする(学年別)

『(5)親にかわって家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど)をする』について学年別にみると、『毎日』(「毎日 5 時間以上」、「毎日 3～4 時間」、「毎日2時間以下」の合計)の割合は、4年生で11.3%、5年生で10.3%、6年生で12.6%でいずれも1割強となっている。また、平均日数は、4年生で1.7日、5年生で1.8日、6年生で1.9日となっている。

ふだんの活動:(5)親にかわって家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど)をする(全体、学年別)

		(%)							平均日数
		毎日5時間以上	毎日3～4時間	毎日2時間以下	週に3～4日	週に1～2日	ぜんぜんしない	無回答	
全	体 (N=717)	0.7	1.4	9.5	18.0	37.0	30.1	3.3	1.8
学年別	4 年生 (n=265)	0.4	1.1	9.8	15.5	37.0	32.5	3.8	1.7
	5 年生 (n=205)	0.5	2.0	7.8	19.0	39.5	28.3	2.9	1.8
	6 年生 (n=245)	1.2	1.2	10.2	20.0	34.7	29.4	3.3	1.9

◆(6)親にかわって兄弟などの世話をする(学年別)

『(6)親にかわって兄弟などの世話をする』について学年別にみると、『毎日』の割合は、4年生で9.4%、5年生で9.4%、6年生で10.1%でいずれも1割前後となっている。また、平均日数は、4年生で0.9日、5年生で0.9日、6年生で1.0日となっている。

ふだんの活動:(6)親にかわって兄弟などの世話をする(全体、学年別)

		(%)							平均日数
		毎日5時間以上	毎日3～4時間	毎日2時間以下	週に3～4日	週に1～2日	ぜんぜんしない	無回答	
全	体 (N=717)	1.5	1.4	6.7	6.3	11.7	65.7	6.7	0.9
学年別	4 年生 (n=265)	1.1	0.8	7.5	7.5	9.1	66.0	7.9	0.9
	5 年生 (n=205)	2.0	1.5	5.9	3.9	14.6	63.9	8.3	0.9
	6 年生 (n=245)	1.6	2.0	6.5	6.9	12.2	66.5	4.1	1.0

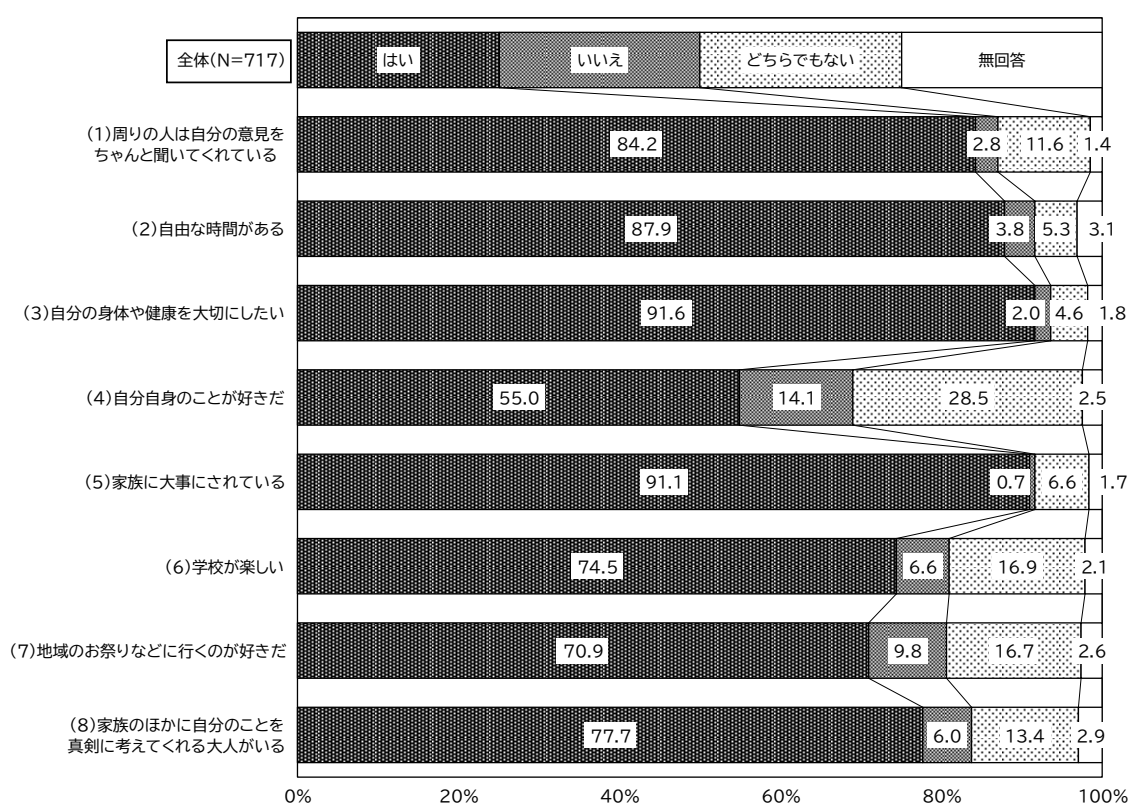
※平均は「毎日5時間以上」、「毎日3～4時間」、「毎日2時間以下」を 5.0、「週に3～4日」を 3.5日、「週に1～2日」を 1.5日、「ぜんぜんしない」を 0日 で算出している。

(2)自分への思い、家族と学校、周囲への思い(問 5)

自分への思い、家族と学校、周囲への思いは、「はい」の割合が『(3)自分の身体や健康を大切にしたい(91.6%)』で最も高く、『(5)家族に大事にされている(91.1%)』、『(2)自由な時間がある(87.9%)』が続いている。

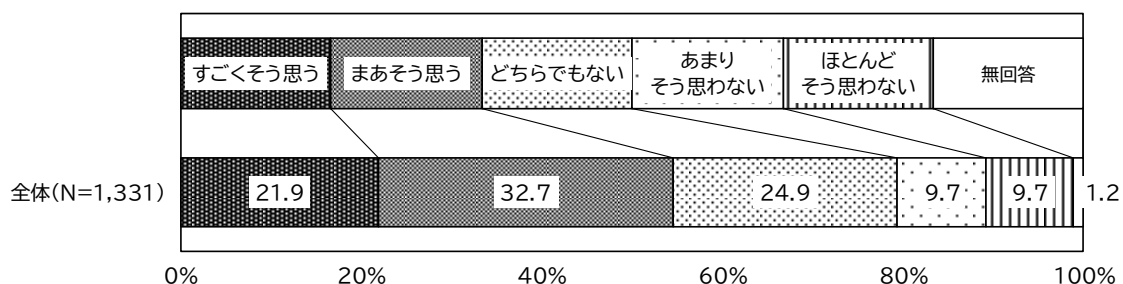
『(4)自分自身のことが好きだ』を平成 25 年度調査と比較すると、「はい(《そう思う》(「すごくそう思う」と「まあそう思う」の合計))」の割合は 54.6%から 55.0%と同水準となっている。一方で、「いいえ(《そう思わない》(「あまりそう思わない」と「ほとんどそう思わない」の合計))」の割合は 19.4%から 14.1%と、やや低くなっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い(全体)



自分への思い、家族と学校、周囲への思い『私は自分自身のことが好きだと思う』

(全体)【平成 25 年度調査】



◆(1)周りの人は自分の意見をちゃんと聞いてくれている(自己肯定感別)

『(1)周りの人は自分の意見をちゃんと聞いてくれている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「どちらでもない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「どちらでもない」の割合が高い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：

(1)周りの人は自分の意見をちゃんと聞いてくれている(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全	体 (N=717)	84.2	2.8	11.6	1.4
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=394)	93.4	1.5	5.1	0.0
	自分のことが好きではない (n=101)	60.4	4.0	33.7	2.0
	どちらでもない (n=204)	81.4	4.9	13.7	0.0

◆(2)自由な時間がある(自己肯定感別)

『(2)自由な時間がある』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「どちらでもない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「どちらでもない」の割合が高い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：(2)自由な時間がある(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全	体 (N=717)	87.9	3.8	5.3	3.1
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=394)	94.2	3.0	2.0	0.8
	自分のことが好きではない (n=101)	75.2	7.9	14.9	2.0
	どちらでもない (n=204)	86.8	3.4	7.4	2.5

◆(3)自分の身体や健康を大切にしたい(自己肯定感別)

『(3)自分の身体や健康を大切にしたい』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「どちらでもない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「いいえ」、「どちらでもない」の割合が高い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い:

(3)自分の身体や健康を大切にしたい(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全	体 (N=717)	91.6	2.0	4.6	1.8
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=394)	99.5	0.0	0.5	0.0
	自分のことが好きではない (n=101)	72.3	12.9	13.9	1.0
	どちらでもない (n=204)	91.2	0.5	7.8	0.5

◆(5)家族に大事にされている(自己肯定感別)

『(5)家族に大事にされている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「どちらでもない」の割合が高い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い:(5)家族に大事にされている(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全	体 (N=717)	91.1	0.7	6.6	1.7
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=394)	97.5	0.3	2.3	0.0
	自分のことが好きではない (n=101)	71.3	2.0	25.7	1.0
	どちらでもない (n=204)	92.6	1.0	5.9	0.5

◆(6)学校が楽しい(自己肯定感別)

『(6)学校が楽しい』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「どちらでもない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「いいえ」の割合が高い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い:(6)学校が楽しい(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全	体 (N=717)	74.5	6.6	16.9	2.1
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=394)	86.0	3.6	9.6	0.8
	自分のことが好きではない (n=101)	52.5	15.8	29.7	2.0
	どちらでもない (n=204)	66.7	8.3	25.0	0.0

◆(7)地域のお祭りなどに行くのが好きだ(自己肯定感別)

『(7)地域のお祭りなどに行くのが好きだ』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「いいえ」の割合が高い。どちらでもない人はそれ以外の人と比べて、「どちらでもない」の割合が高い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い:

(7)地域のお祭りなどに行くのが好きだ(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全	体 (N=717)	70.9	9.8	16.7	2.6
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=394)	79.9	6.3	13.5	0.3
	自分のことが好きではない (n=101)	55.4	25.7	16.8	2.0
	どちらでもない (n=204)	64.7	9.3	24.5	1.5

第2章 調査結果

◆(8)家族のほかに自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる(自己肯定感別)

『(8)家族のほかに自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「どちらでもない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「いいえ」の割合が高い。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：

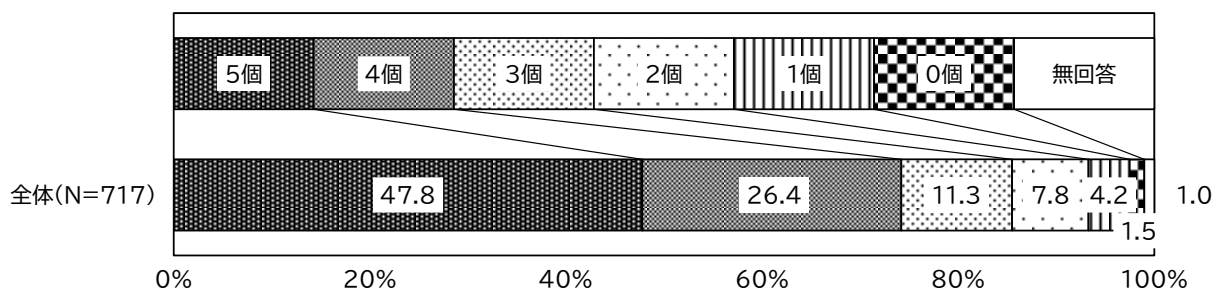
(8)家族のほかに自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる(全体、自己肯定感別)

		(%)			
		はい	いいえ	もど ちな いら で	無 回 答
全	体 (N=717)	77.7	6.0	13.4	2.9
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=394)	87.1	3.3	8.4	1.3
	自分のことが好きではない (n=101)	57.4	19.8	21.8	1.0
	どちらでもない (n=204)	74.0	4.9	19.1	2.0

◆家族・学校・周囲との肯定的な5つの体験について「はい」と回答した項目数

『(1)周りの人は自分の意見をちゃんと聞いてくれている』、『(5)家族に大事にされている』、『(6)学校が楽しい』、『(7)地域のお祭りなどに行くのが好きだ』、『(8)家族のほかに自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる』の5つの体験について、「はい」と回答した項目数は、「5個」が47.8%で最も高くなっており、平均は4.0個となっている。

家族・学校・周囲との肯定的な体験について「はい」と回答した項目数(全体)



自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人は「5個(62.4%)」が6割を超えるが、自分のことが好きではない人では「5個(22.8%)」は2割台となっている。平均個数は、自分のことが好きな人は4.4個、自分のことが好きではない人は3.0個となっている。

家族・学校・周囲との肯定的な体験について「はい」と回答した項目数(全体、自己肯定感別)

		(%)							平均個数
		5個	4個	3個	2個	1個	0個	無回答	
全	体 (N=717)	47.8	26.4	11.3	7.8	4.2	1.5	1.0	4.0
定自	自分のことが好き (n=394)	62.4	25.1	8.6	1.8	1.8	0.3	0.0	4.4
感己	自分のことが好きではない (n=101)	22.8	22.8	14.9	17.8	11.9	9.9	0.0	3.0
別肯	どちらでもない (n=204)	35.3	31.4	14.7	14.7	3.9	0.0	0.0	3.8

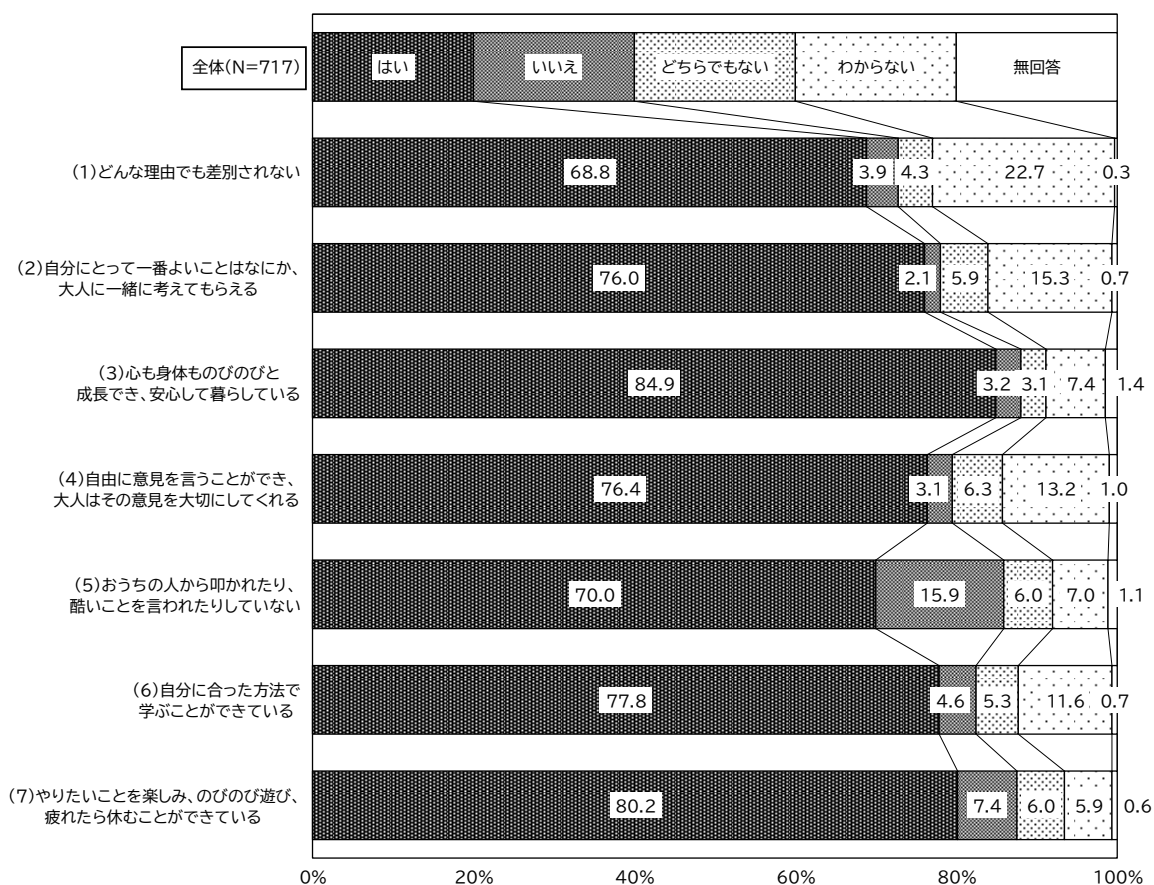
3 子どもの権利など

(1)子どもの権利は守られているか(問6)

子どもの権利は守られているかは、「はい」の割合が「(3)心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている(84.9%)」で最も高く、「(7)やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができている(80.2%)」、「(6)自分に合った方法で学ぶことができている(77.8%)」が続いている。

「いいえ」の割合は、『(5)おうちの人から叩かれたり、酷いことを言われたりしていない(15.9%)』で最も高く、『(7)やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができている(7.4%)』が続いている。

子どもの権利は守られているか(全体)



◆(1)どんな理由でも差別されない(自己肯定感別)

『(1)どんな理由でも差別されない』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「わからない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「どちらでもない」、「わからない」の割合が高い。

子どもの権利は守られているか:(1)どんな理由でも差別されない(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=717)	68.8	3.9	4.3	22.7	0.3
定 自 感 己 別 肯	自分のことが好き (n=394)	76.9	3.8	3.3	15.7	0.3
	自分のことが好きではない (n=101)	46.5	5.9	9.9	37.6	0.0
	どちらでもない (n=204)	63.7	3.4	3.9	28.4	0.5

◆(2)自分にとって一番よいことはなにか、大人と一緒に考えてもらえる(自己肯定感別)

『(2)自分にとって一番よいことはなにか、大人と一緒に考えてもらえる』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「どちらでもない」、「わからない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「いいえ」、「わからない」の割合が高い。

子どもの権利は守られているか:

(2)自分にとって一番よいことはなにか、大人と一緒に考えてもらえる(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=717)	76.0	2.1	5.9	15.3	0.7
定 自 感 己 別 肯	自分のことが好き (n=394)	83.8	1.8	3.6	10.4	0.5
	自分のことが好きではない (n=101)	51.5	6.9	8.9	32.7	0.0
	どちらでもない (n=204)	73.0	0.5	8.8	17.2	0.5

第2章 調査結果

◆(3)心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている(自己肯定感別)

『(3)心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「いいえ」、「わからない」の割合が高い。

子どもの権利は守られているか：

(3)心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全 体 (N=717)		84.9	3.2	3.1	7.4	1.4
定 自 感 己 別 肯	自 分 の こ と が 好 き (n=394)	91.4	2.0	0.5	5.1	1.0
	自 分 の こ と が 好 き で は な い (n=101)	60.4	7.9	8.9	19.8	3.0
	ど ち ら で も な い (n=204)	84.8	2.9	4.9	6.4	1.0

◆(4)自由に意見を言うことができ、大人はその意見を大切にしてくれる(自己肯定感別)

『(4)自由に意見を言うことができ、大人はその意見を大切にしてくれる』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「わからない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「いいえ」、「わからない」の割合が高い。

子どもの権利は守られているか：

(4)自由に意見を言うことができ、大人はその意見を大切にしてくれる(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全 体 (N=717)		76.4	3.1	6.3	13.2	1.0
定 自 感 己 別 肯	自 分 の こ と が 好 き (n=394)	86.3	1.3	4.3	7.1	1.0
	自 分 の こ と が 好 き で は な い (n=101)	51.5	8.9	10.9	28.7	0.0
	ど ち ら で も な い (n=204)	70.6	3.4	6.9	18.1	1.0

◆(5)おうちの人から叩かれたり、酷いことを言われたりしていない(自己肯定感別)

『(5)おうちの人から叩かれたり、酷いことを言われたりしていない』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「どちらでもない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「どちらでもない」、「わからない」の割合が高い。

子どもの権利は守られているか：

(5)おうちの人から叩かれたり、酷いことを言われたりしていない(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など どちら でも	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=717)	70.0	15.9	6.0	7.0	1.1
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=394)	76.4	14.5	2.8	5.3	1.0
	自分のことが好きではない (n=101)	49.5	17.8	13.9	16.8	2.0
	どちらでもない (n=204)	69.1	16.7	8.3	5.4	0.5

◆(6)自分に合った方法で学ぶことができている(自己肯定感別)

『(6)自分に合った方法で学ぶことができている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「いいえ」、「どちらでもない」、「わからない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「わからない」の割合が高い。また、自分のことが好きな人と比べて、「いいえ」、「どちらでもない」、「わからない」の割合が高い。

子どもの権利は守られているか：

(6)自分に合った方法で学ぶことができている(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など どちら でも	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=717)	77.8	4.6	5.3	11.6	0.7
定自 感己 別肯	自分のことが好き (n=394)	87.3	2.5	2.5	6.6	1.0
	自分のことが好きではない (n=101)	56.4	7.9	10.9	24.8	0.0
	どちらでもない (n=204)	69.6	7.4	8.3	14.7	0.0

第2章 調査結果

◆(7)やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができている(自己肯定感別)

『(7)やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「いいえ」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「いいえ」、「わからない」の割合が高い。また、自分のことが好きな人と比べて、「どちらでもない」の割合が高い。

子どもの権利は守られているか：

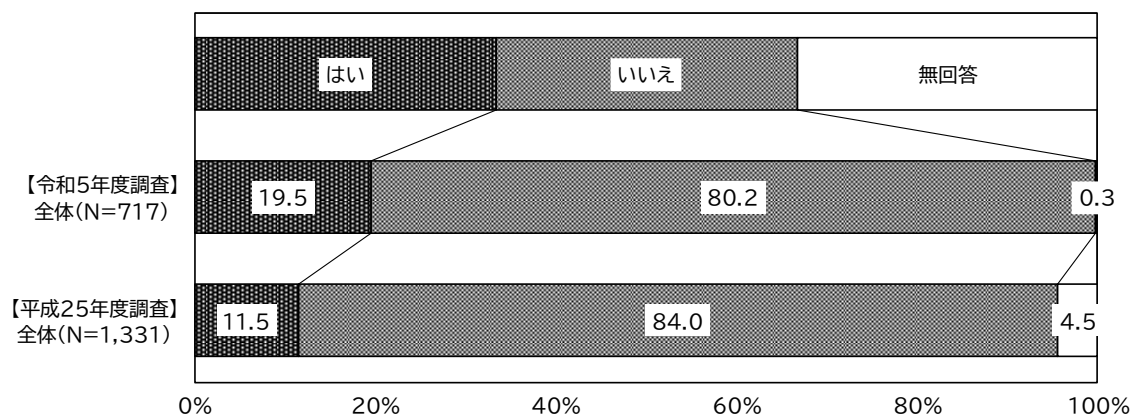
(7)やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができている(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=717)	80.2	7.4	6.0	5.9	0.6
自 己 肯 定 感 別	自分のことが好き (n=394)	87.8	3.8	3.8	4.1	0.5
	自分のことが好きではない (n=101)	57.4	15.8	10.9	15.8	0.0
	どちらでもない (n=204)	76.0	10.3	8.3	4.9	0.5

(2)世田谷区子ども条例の認知度(問7-1)

世田谷区子ども条例の認知度は、「はい」が19.5%、「いいえ」が80.2%となっている。
平成25年度調査と比較すると、「はい」の割合が11.5%から19.5%に高くなっている。

世田谷区子ども条例の認知度(全体)【経年比較】

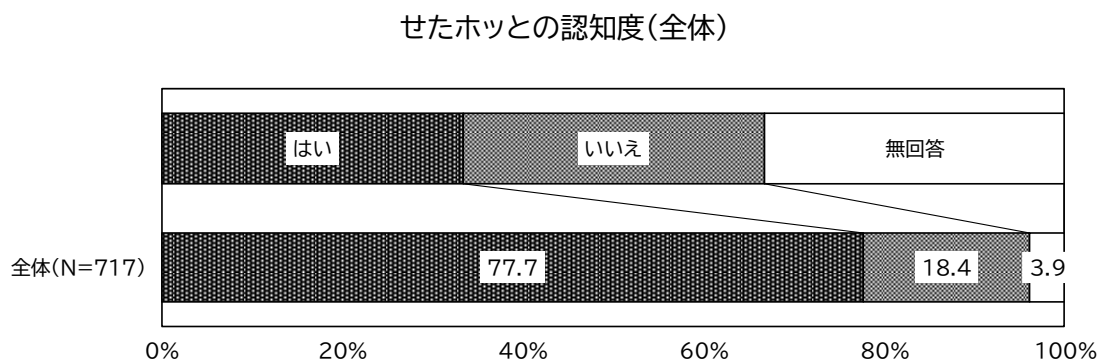


※【平成25年度調査】における選択肢は、「知っている」「知らない」で聴取している。

(3) せたホツとの認知度(問7-2)

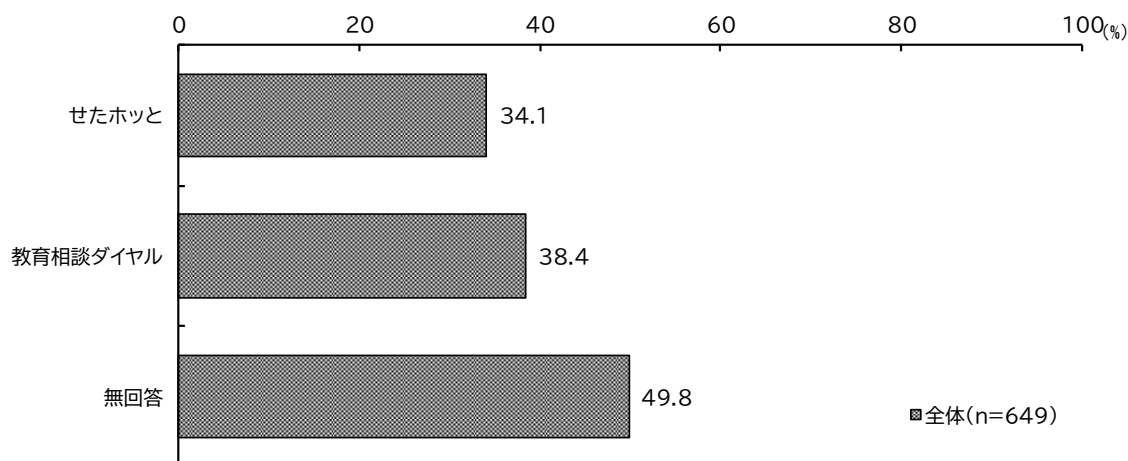
せたホツとの認知度は、「はい」が 77.7%、「いいえ」が 18.4%となっている。

平成 25 年度調査と比較すると、聴取形式が異なるため単純比較はできないものの、平成 25 年度調査では困っていること、悩んでいることがある人を対象とした「せたホツと」の認知度が 34.1%であったのに対し、今回調査では高学年全体で認知度が 77.7%となっているため、せたホツとの認知度は拡大普及していると推測される。



相談先の認知の有無(全体):複数回答【平成 25 年度調査】

<困っていること、悩んでいることがあると回答した人>



※【平成 25 年度調査】においては、「困っていること、悩んでいることの有無」に「ある」と回答した人に対して、世田谷区の相談先を聞いたことがあるかたずねた。

学年別にみると、学年が上がるほど「はい」の割合が高くなっている。

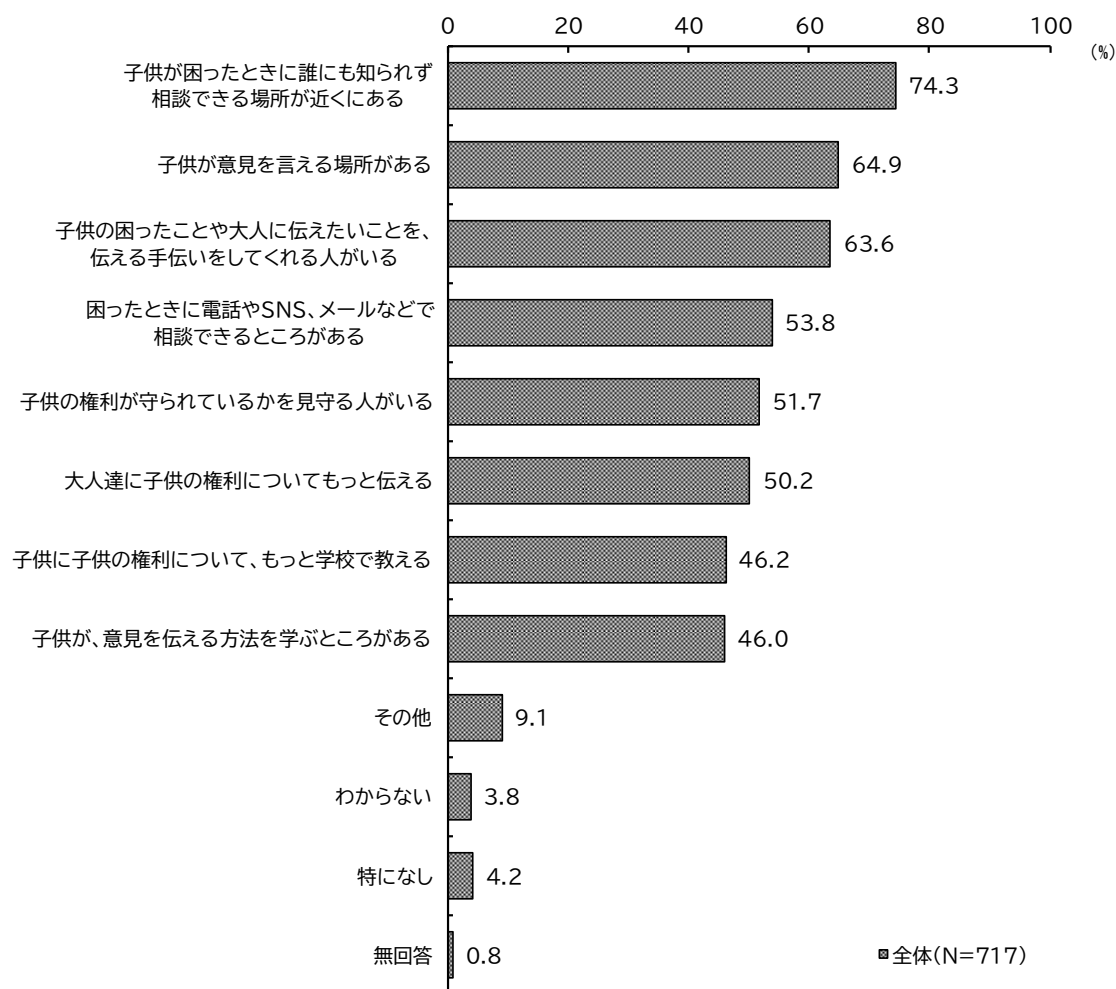
せたホツとの認知度(全体、学年別)

		はい	いいえ	無回答
全 体 (N=717)		77.7	18.4	3.9
学 年 別	4 年 生 (n=265)	71.3	23.8	4.9
	5 年 生 (n=205)	79.5	17.1	3.4
	6 年 生 (n=245)	82.9	13.9	3.3

(4)子どもの権利を守るための仕組みであるとよいと思うこと(問 8)

子どもの権利を守るための仕組みであるとよいと思うことは、「子どもが困ったときに誰にも知られず相談できる場所が近くにある(74.3%)」が最も高く、「子どもが意見を言える場所がある(64.9%)」、「子どもの困ったことや大人に伝えたいことを、伝える手伝いをしてくれる人がいる(63.6%)」が続いている。

子どもの権利を守るための仕組みであるとよいと思うこと(全体):複数回答

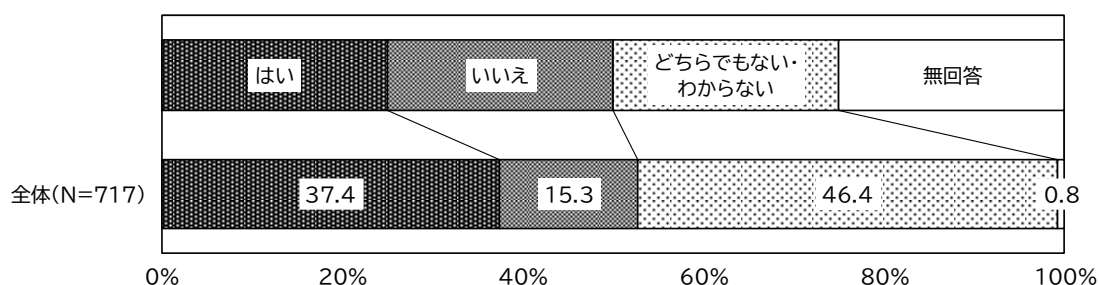


4 子どもの参加・参画・意見表明

(1)世田谷区に意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会への参加意向(問9)

世田谷区に意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会への参加意向は、「はい」が37.4%、「いいえ」が15.3%、「どちらでもない・わからない」が46.4%となっている。

世田谷区に意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会への参加意向(全体)



学年別にみると、学年が上がるほど「はい」の割合が低くなり、「どちらでもない・わからない」の割合が高い。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が高く、「どちらでもない・わからない」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「どちらでもない・わからない」の割合が高い。また、自分のことが好きな人と比べて、「いいえ」の割合が高い。

周りの人が意見を聞いてくれるか別にみると、周りの人が意見を聞いてくれる人は「はい」の割合が高く、「いいえ」の割合も低い。

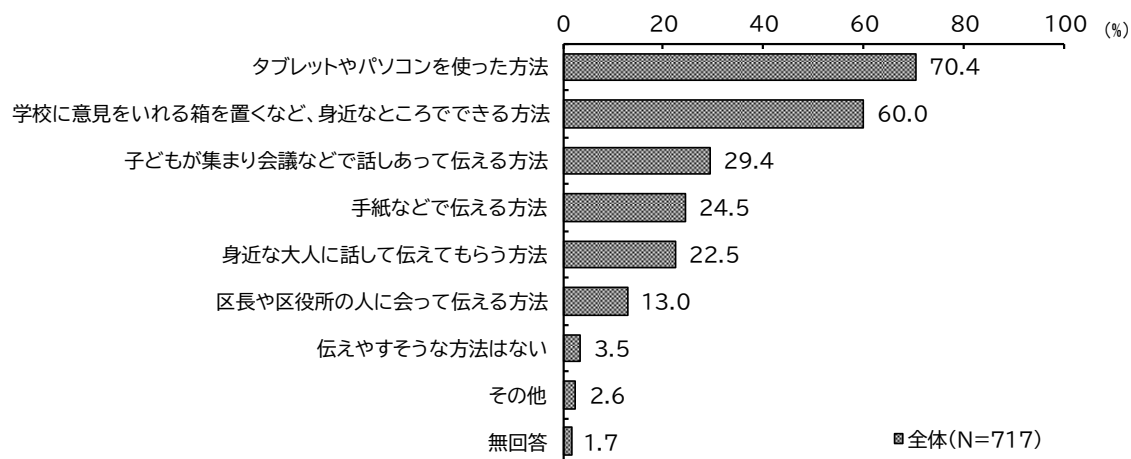
世田谷区に意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会への参加意向
(全体、学年別、自己肯定感別、周りの人が意見を聞いてくれるか別)

		はい	いいえ	どちらでもない・わからない	無回答
全 体 (N=717)		37.4	15.3	46.4	0.8
学 年 別	4 年 生 (n=265)	43.4	15.5	40.0	1.1
	5 年 生 (n=205)	37.6	12.7	49.3	0.5
	6 年 生 (n=245)	30.6	17.6	51.0	0.8
自 己 肯 定 別	自 分 の こ と が 好 き (n=394)	45.9	13.7	39.8	0.5
	自 分 の こ と が 好 き で は な い (n=101)	21.8	18.8	58.4	1.0
	ど ち ら で も な い (n=204)	29.9	16.2	53.4	0.5
周 り の 人 が 意 見 を 聞 い て け れ る か 別	周 り の 人 が 意 見 を 聞 い て け れ る (n=604)	40.2	14.7	44.5	0.5
	周 り の 人 が 意 見 を 聞 い て け れ な い (n= 20)	35.0	20.0	45.0	0.0
	ど ち ら で も な い (n= 83)	19.3	18.1	61.4	1.2

(2)世田谷区に意見を伝えやすい方法(問10)

世田谷区に意見を伝えやすい方法は、「タブレットやパソコンを使った方法(70.4%)」が最も高く、「学校に意見をいれる箱を置くなど、身近なところのできる方法(60.0%)」、「子どもが集まり会議などで話しあって伝える方法(29.4%)」が続いている。

世田谷区に意見を伝えやすい方法(全体):複数回答



学年別にみると、どの学年でも「タブレットやパソコンを使った方法」が最も高く、「学校に意見をいれる箱を置くなど、身近なところのできる方法」が続いている。また、4年生は5・6年生と比べて、「手紙などで伝える方法」の割合が高い。6年生は4・5年生と比べて、「タブレットやパソコンを使った方法」の割合が高い。

世田谷区に意見を伝えやすい方法(全体、学年別)

		(%)								
		使 タ ブ レ ッ ト や パ ソ コ ン を	ど 学 校 に 身 近 な 意 見 を い れ る こ ろ で 可 能 な	話 し あ っ て 集 ま り 会 議 な ど で	手 紙 な ど で 伝 え る 方 法	伝 え て も 大 人 に 話 し て	伝 え る 方 法 に 会 っ て	伝 え やす そ う な 方 法 は な い	そ の 他	無 回 答
全	体 (n=717)	70.4	60.0	29.4	24.5	22.5	13.0	3.5	2.6	1.7
学 年 別	4 年 生 (n=265)	65.3	60.8	30.2	35.5	25.7	11.3	3.4	1.9	1.1
	5 年 生 (n=205)	66.3	61.5	32.2	18.0	25.4	14.1	4.4	3.9	3.4
	6 年 生 (n=245)	79.2	57.6	26.5	18.4	16.3	13.5	2.9	2.4	0.8

(3)子どもにとってこんなまち(世田谷)になったらいいな、と思うこと (問 11)

子どもにとって「こんなまち(世田谷)になったらいいな」、「こんな社会にしたいな」などについて、意見や願いを自由記述形式でたずねたところ、全体で 395 件の回答があった。すべての意見について確認したうえで分類を行い、全件を掲載することは難しいことから、個人や所属が特定される可能性がある意見、配慮が必要となる意見、類似した意見等は除き、一部を紹介する。

1. 遊び場・公園

◇公園に関するもの(13 件)

- ・ 知らない人でも交流できて安心できる公園(4年生)
- ・ 住宅地やもう使われていない場所などに公園や施設を作り、高齢者や障害者により良い環境にする。(5年生)
- ・ サッカーができる公園を増やして欲しい(4年生)
- ・ 見守る大人がいる公園を増やす。子どもが安心して過ごせる、遊んだり勉強したりできる屋内型施設を増やす(家の近くに少ない)。いろいろな体験ができる無料のワークショップなどを行う。(5年生)
- ・ 日陰があって、涼しくしながら楽しい公園を作る(6年生)

◇遊び場に関するもの(11 件)

- ・ 子ども同士で遊び合う機会が増えるような世田谷になったらいいと思います。(6年生)
- ・ 子どもたちが自由に遊べる所を作ってほしい(4年生)
- ・ 子ども達が笑顔のなる遊び場(学校の学童とは別)を作りたいです。(4年生)
- ・ もっと、走り回れる遊び場が欲しい(4年生)
- ・ もっと遊べる場所を増やしていろいろなところで遊べるようにする。(4年生)
- ・ 子どもが遊んだり、勉強したりする施設がたくさんある町にしたい(5年生)
- ・ 大人が仕事の事を忘れて自由に子どもと遊べる場所をつくってほしい(4年生)

2. 居場所(3件)

- ・ 好きなように過ごせる(5年生)
- ・ 綺麗なみんなの居場所があるところ(5年生)

3. 施設(3件)

- ・ 児童館ではなくてもいいからそう言うところをもっとたくさん増やしてほしい(雨の時でもあそべるように=公園 NG)(6年生)
- ・ 児童館や図書館、公園などの公共施設を増やし、区の人との関わりが増えると子どもが好奇心を抱き、子どもがいきいきわくわく育つ街になると思います。(4年生)

4. 運動(2件)

- ・ 全てのスポーツができる楽しいまち(5年生)
- ・ バasketボールのゴールを川原や公園などに設置してほしい。(6年生)

5. 学校(24件)

- ・ ブラック校則(理不尽なのや意味のわからない校則)をなくす(5年生)
- ・ 先生の言葉の暴力を減らし、私達子どもたちが楽しく勉強に取り組めるようにしてほしい。(4年生)
- ・ ただでさえ中学受験の事で忙しく、遊ぶ時間も暇もないのに、休み時間を 15 分だけしか取らず、休み時間に使うタブレットルールを制限しないでほしい。友達と、最後の小学校生活をもっと楽しみたいのに、委員会の仕事などで「休み時間」を削られている。(6年生)
- ・ タブレットでも、僕は英語が苦手なので、英語の学習のできるアプリを入れてほしい。(5年生)
- ・ 学区関係なく中学を選びたい(5年生)
- ・ 自分のために好きなことをやる、学校がいい！(5年生)
- ・ 受験しなくても自分の行きたい学校に行けるようにする。(4年生)
- ・ 学校の設備とかを綺麗にしたり、子どもが相談できる設備をつける(5年生)
- ・ 世田谷区の全部の小学校で、誰も学校に行きたくないと思わないようなこと。(4年生)
- ・ 先生によって学校生活の楽しさが大きく違うため、できるだけ同じにしてほしい(4年生)
- ・ 先生達が「自分は絶対に正しい」ではなく「他の人の声にも耳を傾けて本当に正しいのかを考えよう」と思えるようになってほしい。(6年生)
- ・ 学校で自分の意見を言ったら反応してくれると嬉しい(4年生)
- ・ 学校行事にもっと自然と触れ合う機会などを作って欲しいです。(6年生)

6. 祭り・イベント(5件)

- ・ 子ども向けのお祭りや、子どもが安心して過ごせる環境にしてほしい(6年生)
- ・ お祭りがたくさんあってほしい。(5年生)

7. 店、まちづくり(8件)

- ・ おおきなショッピングモールやスーパーを作る。(4年生)
- ・ いつでも誰にでも電話ができるように公衆電話を駅や公園、商店街など人が集まりやすいところに設置する。(4年生)
- ・ もう少し活気のある街になったらいいと思うゲームセンターが世田谷区南部(玉川地区、砧地区、瀬田地区)に増えてくれたら嬉しい(6年生)
- ・ 子どもだけで行けるレストランとかカフェが欲しい！(6年生)

8. 自然(11件)

- ・ 「都会」だけではなく「自然」も増やして安心して社会に取り組みたい。(5年生)

第2章 調査結果

- ・ もっとたくさんの植物がある世田谷(6年生)
- ・ 自然がたくさんあって虫がたくさんいる。(4年生)
- ・ 自然に優しい街にしたい(6年生)
- ・ 自然豊かな遊びが続くようになってほしい(6年生)

9. 相談(9件)

- ・ 少しでも学校や家で嫌なことがあったら相談できるサイト(5年生)
- ・ 気軽に相談できるところがある街。(4年生)
- ・ 悩み事や辛いことがあったら、相談できる場所を作った方がいい。(4年生)
- ・ 児童館などで、遊びながら大人に悩みを伝えられるといいです。(4年生)

10. いじめ・暴力・犯罪等がない(48件)

- ・ いじめられてたり親に暴力をされたりしてたらすぐに連絡して話し合いをする。(4年生)
- ・ ケンカや、どなったり、暴力、犯罪をしなくなる良い街にしたい。(5年生)
- ・ 自分の意見が正しく言える暴力がない世界にしたい(4年生)
- ・ 虐待などを全員の大人がしなくて私達が安心して生活できる(4年生)
- ・ 虐待や、いじめなどが無い安心して過ごせるような世田谷になってほしい。今でもご飯が食べられない子どもがたくさんいます。世田谷だけじゃなく世界中の人々が幸せに暮らせるようになって欲しいです。(6年生)
- ・ いじめがない社会にしたい。(5年生)
- ・ いじめやその人が嫌な気持ちにならない生活や学校になると良いなと思います。(6年生)
- ・ 厳しい縛りやぎゃくたい、差別やいじめの無い世界にしたいです。(5年生)
- ・ 友達がたくさんいて、いじめがなく、差別されないまち。難しいことだが、誰も苦しむことなく、学校生活を送れたり、生活することができるまち。高学年は特に、受験勉強に追われて、ストレスが溜まり、自害行為に出たり、潰れてしまうことがないようなまち。(6年生)
- ・ いじめや差別されず全ての人が平等に過ごせる社会(5年生)
- ・ 犯罪などが起こらないようにして、自然を大切にす世田谷区にしたい。こうれいしゃも大人も子ども達も楽しくすごしやすい世田谷区をつくりたい。(4年生)

11. 共生・平等・差別がない(40件)

- ・ 子どもだけではなくてしょうがいしゃなどのみんなも楽しく過ごせるような街(4年生)
- ・ 誰でも住める町になりたいです。たとえ、障害を持つ人や、背が高い人、背が低い人みんな同じ町に住めば、共有できるとおもうからです。(4年生)
- ・ その人の個性や気持ちを受け入れて、尊重してくれる社会。(6年生)
- ・ どんな人でもくらしやすい社会になると良いなと思いました。(4年生)
- ・ みんなが差別しないで仲良くするまちになったらいいと思っている。(4年生)
- ・ みんなが平等に暮らせる社会にしたいです。(4年生)
- ・ みんな仲良しな世田谷、男女の差別がない世田谷、誰とでも喋ることができる世田谷(6年

生)

- ・ 一人称で差別されない町になってほしい、女の子で「僕」という一人称でも笑われずに過ごせる町になってほしい(6年生)
- ・ 差別がないまちになったらいいです。体の不自由な方々が安心して暮らせるまちになったらいいです。(6年生)
- ・ 差別がなく、子どもの権利が尊重され、子どもがのびのび暮らせる世田谷。(5年生)
- ・ 差別がなく、友達がいなくていい。孤独がない。(6年生)
- ・ 差別などのない学校で生徒、先生などで協力、助けてあう学校にしたいです。(4年生)
- ・ 差別などもなく、平和で発達した社会になってほしいです(4年生)
- ・ 誰の意見も差別されない(6年生)
- ・ 平等に誰も取り残さない社会(6年生)
- ・ 私は、耳や目が不自由の人やお年寄りの人も安全に安心して暮らせる。そしてみんなで協力して助け合う共生社会を作りたいです。(4年生)

12.ごみのない・きれいなまち(9件)

- ・ きれいな町(5年生)
- ・ ポイ捨てがない世田谷(6年生)
- ・ ゴミの落ちていない世田谷区(4年生)

13.楽しい・優しい・明るいまち(61件)

- ・ 子ども、大人関係なくみんなが協力できるまちにしたい(6年生)
- ・ 人の嫌な事はしない。困ったら助け合う。辛い時は辛いと言える様な社会にしたい。(6年生)
- ・ 他人でもお互いに助け合うことができる世田谷区になってほしいです。(6年生)
- ・ 誰とでもあいさつをする社会にしたい。(6年生)
- ・ 私は世田谷区に限らず、世界で誰1人悲しまない、悩みを作らない、あったとしても相談してくれる人がそばにいるような社会にしたいです。なぜなら、このようなことが実現できたら自殺などの事故が減ると思ったからです。(5年生)
- ・ 自由に思いやりができる、とてものびのびとした社会(4年生)
- ・ みんながモヤモヤすることなくいきいきしている町になったらいいなと思います。(4年生)
- ・ ゆずりあいができる(4年生)
- ・ 一人でいても寂しくない社会(6年生)
- ・ みんなが楽しく自由に暮らしていける社会にしたい！(5年生)
- ・ みんなが元気に育つまち(4年生)
- ・ みんなが満足に幸せに過ごせるといいと思う。(4年生)
- ・ みんなが夢を持って過ごせる(4年生)
- ・ 楽しく、幸せにみんなが暮らせるまち(6年生)
- ・ 子どもも大人も幸せに暮らせる世田谷区(4年生)

第2章 調査結果

- ・ 疲れすぎないでのびのびできる社会 誰の目も気にしなくていい社会(6年生)
- ・ 未来が明るい(5年生)
- ・ だれもが笑顔でいられる社会(4年生)
- ・ 皆楽しく仲良く笑顔で時には学べる素敵な世田谷区(4年生)
- ・ 色々な人が笑顔で暮らせる世田谷にしたい(4年生)
- ・ 無理矢理笑うことがない社会(4年生)

14. 子どもの権利・意見を聴いて(55件)

- ・ 区の人と話したり、そのことを実現できるようなプロジェクトを作る(6年生)
- ・ 大人に悩みを言えなくても、子ども同士で自分の悩みを言える。(4年生)
- ・ 子どもが自由に自分の意見を言えるようなまち。(6年生)
- ・ 子どもたちにとって負担が無い自由な社会になるといいとおもいます(4年生)
- ・ 子どもと大人が自由に交流できる(6年生)
- ・ 大人が子どものことをよく考えて行動してほしい(4年生)
- ・ 子ども一人一人が間違ったりしても他の人に笑われたり、馬鹿にされたりしない社会(5年生)
- ・ 学校も家も好きではないので、アップスのような子どもが気軽に行ける場所が増えるといい、親に子どもの全てを決められるのではなく、子どもの考えもちゃんと聞いてくれる社会にしたい(6年生)
- ・ 「大人が全て決めたことを子どもが全て従う」のではなく、子どもにも最低限自分の好きなようにできることがある社会になって欲しい(6年生)
- ・ どんな人でも子どもが困っていたら、助けてくれる街。(4年生)
- ・ こどもが大切にされる(6年生)
- ・ 一人一人の子どもの権利を大切にできる社会にしたいです。(5年生)
- ・ 困ったら、ちゃんと解決してくれるような場所がほしい。もう少し子どもの意見を聞いてください。(4年生)
- ・ 子どもが成長できるまち(5年生)
- ・ 子ども考えを尊重してすぐに実行できるようになりたい。(5年生)
- ・ 子どもがイベントを企画する。(4年生)
- ・ 子どもがつらい思いをせずに過ごせるまち(4年生)
- ・ 子どもが意見を言えて子どもたちの納得いくような世田谷(4年生)
- ・ 子どもが大人に大切にされる(5年生)
- ・ 子どものことを信用してもらって、子どもたちが自分たちから主体的に学んだり、行動ができるような区になったらいいなと思います。(6年生)
- ・ 子ども意見を取り入れた、みんなが生きやすい社会にしたいです。(6年生)
- ・ 子ども居場所がある街(4年生)
- ・ 子ども達が生きやすい、住みやすい街にしてほしい。子どもが大人になる経過を応援してくれて、大人への階段を上手く進める環境を作ってほしい。手助けや手伝いサポートをして

ほしい。どんな生き方、道があるのか教えてほしい。(5年生)

- ・ 大人の行動によって傷ついたり、悲しんだりする子どもを無くしたい(6年生)
- ・ 親があんまり怒らないでほしい(6年生)
- ・ 子どもは塾ばかりだからたまには沢山遊んだりしたい(5年生)

15. 物価、税金(2件)

- ・ ふるさと納税によってお金が流出しない世田谷(6年生)
- ・ 車のガソリンが高くなならない社会がいい。(4年生)

16. 平和(8件)

- ・ みんなが安心して暮らせる平和な町(5年生)
- ・ みんなが平和に楽しく過ごせる未来。(4年生)
- ・ 平和で楽しい所がいっぱいある世田谷区になったら嬉しいです♪子どもが楽しくできる公園や楽しい所をもっといっぱい作って欲しいです🍀(4年生)
- ・ 平和で差別の無く、他国の人達と世田谷区の人が楽しく遊べる社会にしたい(5年生)

17. 安心・安全(32件)

- ・ どのような人でも楽しく安心できるのどかな生活ができるような世田谷区。(5年生)
- ・ みんなが安心、安全なまちにしたい。(5年生)
- ・ みんなが安心して楽しくのびのびと自由に暮らせる町になるといいな(4年生)
- ・ みんなが支え合って、安心して暮らせるまち(6年生)
- ・ みんなが明るく生き生きとしている治安の良い世田谷になったらいいなと思います。(6年生)
- ・ 子どもが安全に遊べるところを増やす(4年生)

18. 今のままでいい(4件)

- ・ このままの世田谷区がいちばんだと思います。(6年生)
- ・ 今のままで十分良いです。(4年生)

19. その他(13件)

- ・ お金がなくても学校に通えたり病院に通えたりする区になってほしい。(4年生)
- ・ 社会福祉や公衆衛生などが充実した社会(6年生)
- ・ 東京都の中で一番すごいと思われる区にしたい。(5年生)
- ・ 動物愛護が進んでいる町(5年生)
- ・ 科学が発達している社会。(4年生)
- ・ 車(ガソリン車)などの排気ガス(二酸化炭素)をなくすため、電気自動車などのエコカーを増やす。(5年生)
- ・ 今世界中で起こっている貧困やロシアとウクライナの侵攻(戦争)にみんなで募金活動をし、

第2章 調査結果

貧しい人々に寄付する。(戦争に苦しんでいる人たちにも寄付する)(5年生)

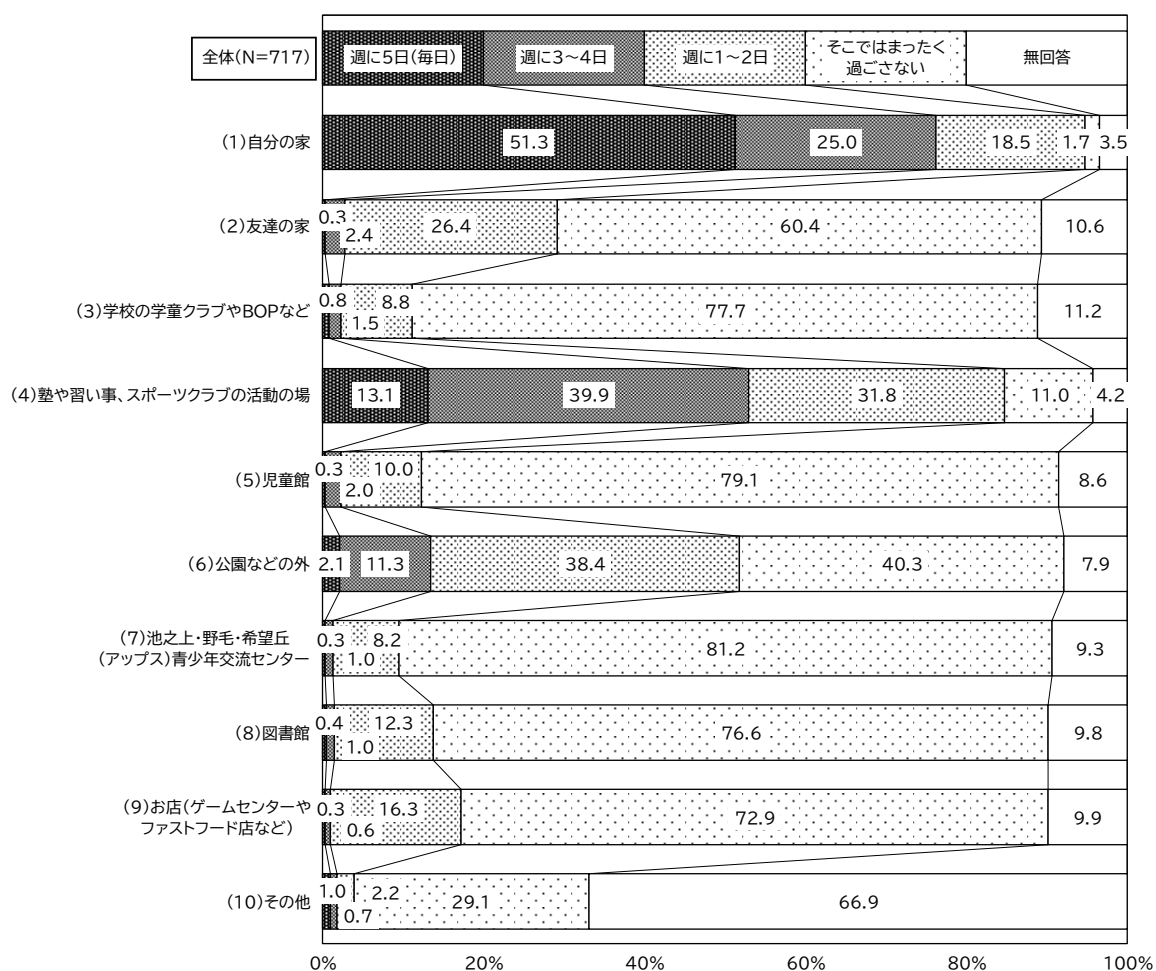
- ・ 家族とずっと一緒(6年生)
- ・ みんながゲームし放題になる社会(6年生)

5 放課後の過ごし方

(1)学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごす場所別日数(問 12)

学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごす場所別日数は、《週に3日以上》(「週に5日(毎日)」と「週に3~4日」の合計)の割合が『(1)自分の家(76.3%)』で最も高く、『(4)塾や習い事、スポーツクラブの活動の場(53.0%)』、『(6)公園などの外(13.4%)』が続いている。

学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごす場所別日数
(全体)



第2章 調査結果

『(4)塾や習い事、スポーツクラブの活動の場』について学年別にみると、6年生は4・5年生と比べて、「週に5日(毎日)」の割合が高く、「そこではまったくすごさない」の割合が低い。平均日数は、4年生が2.5日、5年生が2.6日、6年生が2.8日となっている。

学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごす場所別日数:

(4)塾や習い事、スポーツクラブの活動の場(全体、学年別)

			(%)					
			週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	そこではまったくすごさない	無回答	平均日数
全	体	(N=717)	13.1	39.9	31.8	11.0	4.2	2.6
学年別	4	年生 (n=265)	10.2	38.5	33.6	13.6	4.2	2.5
	5	年生 (n=205)	8.8	47.8	27.8	11.7	3.9	2.6
	6	年生 (n=245)	20.0	35.1	33.5	7.3	4.1	2.8

※平均は「週に5日(毎日)」を5.0、「週に3~4日」を3.5日、「週に1~2日」を1.5日、「そこではまったく過ごさない」を0日で算出している。

『(6)公園などの外』について学年別にみると、4年生は5・6年生と比べて、「週に3~4日」、「週に1~2日」の割合が高く、「そこではまったくすごさない」の割合が低い。平均日数は、4年生が1.4日、5年生が1.1日、6年生が1.0日となっている。

学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごす場所別日数:

(6)公園などの外(全体、学年別)

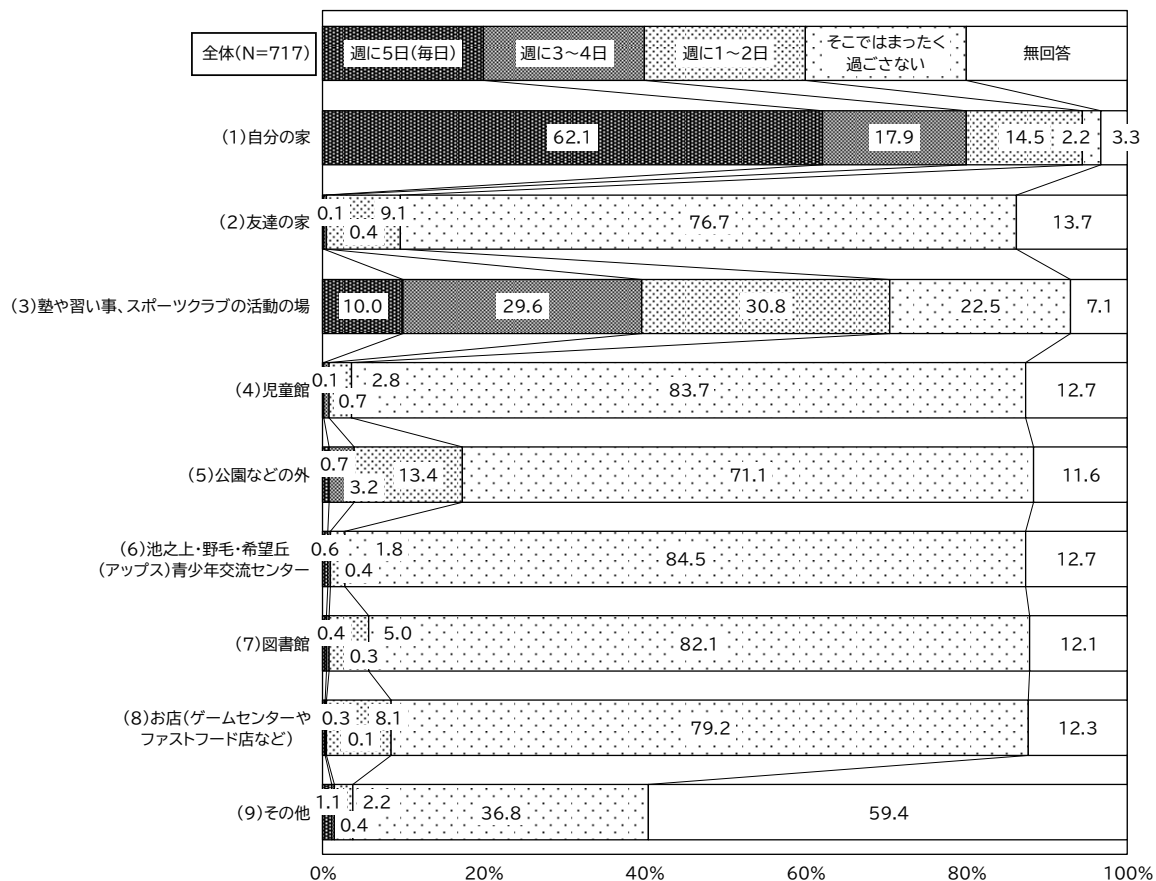
			(%)					
			週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	そこではまったくすごさない	無回答	平均日数
全	体	(N=717)	2.1	11.3	38.4	40.3	7.9	1.2
学年別	4	年生 (n=265)	2.3	15.5	44.9	32.1	5.3	1.4
	5	年生 (n=205)	2.0	9.3	38.5	45.4	4.9	1.1
	6	年生 (n=245)	1.6	8.6	31.4	45.3	13.1	1.0

※平均は「週に5日(毎日)」を5.0、「週に3~4日」を3.5日、「週に1~2日」を1.5日、「そこではまったく過ごさない」を0日で算出している。

(2)学校に行く月曜日から金曜日の夜間(6～8時)過ごす場所別日数 (問 13)

学校に行く月曜日から金曜日の夜間(6～8時)過ごす場所別日数は、《週に3日以上》(「週に5日(毎日)」と「週に3～4日」の合計)の割合が『(1)自分の家(80.0%)』で最も高く、『(3)塾や習い事、スポーツクラブの活動の場(39.6%)』、『(5)公園などの外(3.9%)』が続いている。

学校に行く月曜日から金曜日の夜間(6～8時)過ごす場所(全体)



第2章 調査結果

『(3)塾や習い事、スポーツクラブの活動の場』について学年別にみると、4年生は5・6年生と比べて、「週に1～2日」の割合が高い。5年生は4・6年生と比べて、「週に3～4日」の割合が高い。6年生は4・5年生と比べて、「週に5日(毎日)」の割合が高い。平均日数は、4年生が1.8日、5年生が2.3日、6年生が2.4日となっている。

学校に行く月曜日から金曜日の夜間(6～8時)過ごす場所別日数:

(3)塾や習い事、スポーツクラブの活動の場(全体、学年別)

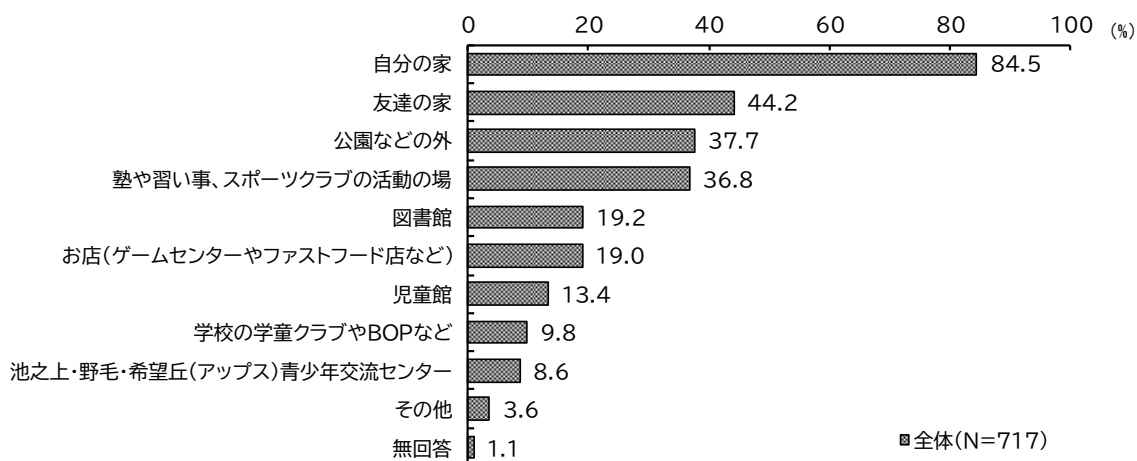
		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく過ぎさない	無回答	
全	体 (N=717)	10.0	29.6	30.8	22.5	7.1	2.2
学年別	4年生 (n=265)	5.3	23.4	39.6	24.5	7.2	1.8
	5年生 (n=205)	7.3	42.0	24.9	20.0	5.9	2.3
	6年生 (n=245)	17.6	26.1	26.5	21.6	8.2	2.4

※平均は「週に5日(毎日)」を5.0、「週に3～4日」を3.5日、「週に1～2日」を1.5日、「そこではまったく過ぎさない」を0日で算出している。

(3)放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごしたい場所 (問 14)

学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごしたい場所は、「自分の家(84.5%)」が最も高く、「友達の家(44.2%)」、「公園などの外(37.7%)」が続いている。

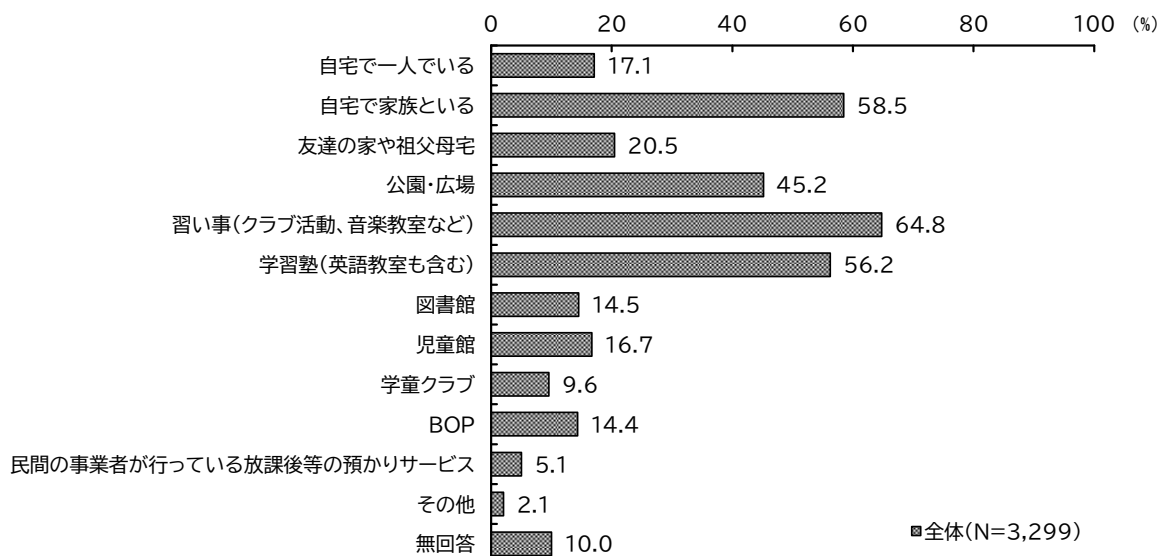
学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時ぐらいまで)過ごしたい場所
(全体):複数回答



<参考> 世田谷区就学児童保護者調査(令和4年)

就学児童保護者に子どもが4～6年生の時に放課後過ごさせたい場所についてたずねたところ、「習い事(クラブ活動、音楽教室など)(64.8%)」が最も多く、「自宅で家族といる(58.5%)」、「学習塾(英語教室も含む)(56.2%)」が続いている。

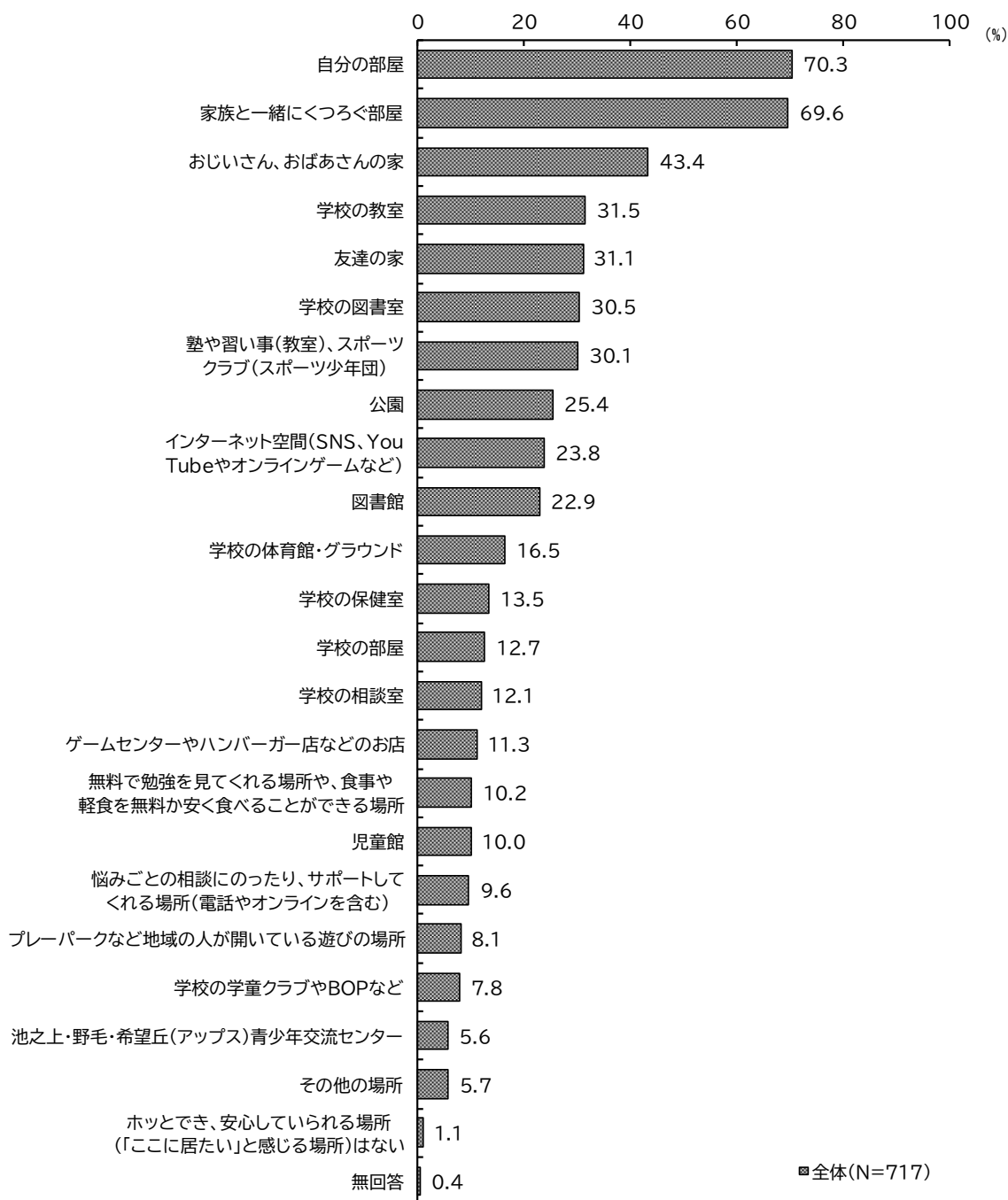
小学4～6年生のときに放課後過ごさせたい場所(全体:複数回答)



(4) ホットとでき、安心していられる場所(問 15)

ホットとでき、安心していられる場所は、「自分の部屋(70.3%)」が最も高く、「家族と一緒にくつろぐ部屋(69.6%)」、「おじいさん、おばあさんの家(43.4%)」が続いている。

ホットとでき、安心していられる場所(全体):複数回答



学年別にみると、学年が高くなるほど「自分の部屋」、「塾や習い事(教室)、スポーツクラブ(スポーツ少年団)」の割合が高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「家族と一緒にくつろぐ部屋」、「おじいさん、おばあさんの家」、「塾や習い事(教室)、スポーツクラブ(スポーツ少年団)」の割合が高く、「インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)」の割合が低い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「その他の場所」、「ホッとでき、安心していられる場所(「ここに居たい」と感じる場所)はない」の割合が高く、「自分の部屋」、「家族と一緒にくつろぐ部屋」、「学校の教室」、「公園」、「学校の部屋」、「児童館」の割合が低い。

ホッとでき、安心していられる場所(全体、学年別、自己肯定感別)

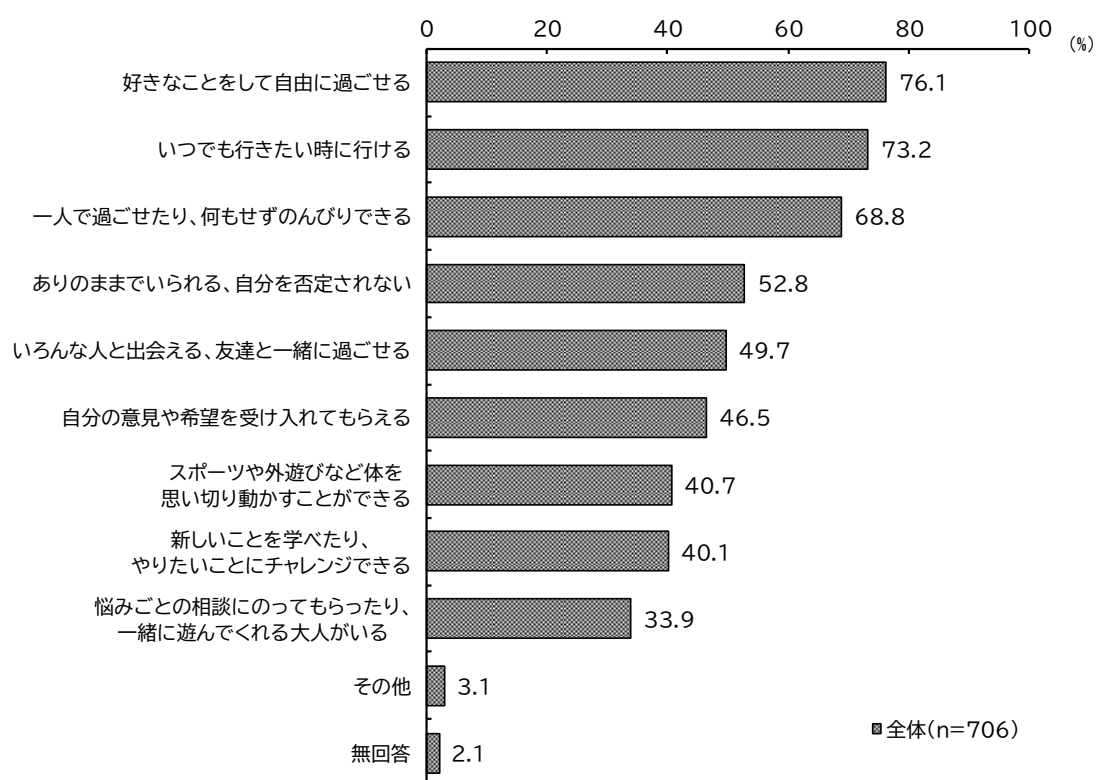
		(%)											
		自分の部屋	家族と一緒にくつろぐ部屋	おじいさん、おばあさんの家	学校の教室	友達の家	学校の図書室	塾や習い事(教室)、スポーツクラブ(スポーツ少年団)	公園	インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)	図書館	学校の体育館・グラウンド	学校の保健室
全	体 (N=717)	70.3	69.6	43.4	31.5	31.1	30.5	30.1	25.4	23.8	22.9	16.5	13.5
学年別	4年生 (n=265)	65.3	76.2	50.6	30.2	36.6	40.8	28.3	30.2	20.8	27.9	17.4	15.5
	5年生 (n=205)	71.7	69.8	43.4	29.3	27.3	26.8	29.8	20.0	19.0	20.5	13.7	13.2
	6年生 (n=245)	74.3	62.4	35.5	34.7	28.6	22.4	32.7	24.5	31.0	19.2	17.6	11.8
自己肯定感別	自分のことが好き (n=394)	72.6	81.7	50.0	36.0	32.0	31.7	36.3	27.9	19.0	23.9	18.5	15.0
	自分のことが好きではない (n=101)	64.4	37.6	33.7	17.8	26.7	27.7	17.8	16.8	39.6	27.7	11.9	11.9
	どちらでもない (n=204)	70.1	61.8	35.8	30.4	30.9	30.4	24.0	25.5	27.0	19.6	15.2	12.3

		学校の部屋	学校の相談室	ゲームセンターやパーラー店などのお店	無料で勉強を見られる場所や、食事や軽食が安く食べられることができる場所	児童館	悩みごとの相談にのったり、サポートしてくれる場所(電話やオンラインを含む)	開いている遊びの場所	学校の学童クラブやBOPなど	青少年交流センター	池之上・野毛・希望丘(アップス)	その他の場所	ホッとでき、安心していられる場所(「ここに居たい」と感じる場所)はない	無回答
全	体 (N=717)	12.7	12.1	11.3	10.2	10.0	9.6	8.1	7.8	5.6	5.7	1.1	0.4	
学年別	4年生 (n=265)	15.1	18.1	12.8	12.8	12.1	13.2	14.0	11.3	5.7	6.0	1.1	0.4	
	5年生 (n=205)	10.2	12.2	7.3	9.3	9.8	9.3	5.4	4.9	5.4	3.9	1.0	0.0	
	6年生 (n=245)	11.8	5.7	12.7	8.2	8.2	6.1	4.1	6.5	5.7	6.9	1.2	0.8	
自己肯定感別	自分のことが好き (n=394)	15.0	13.7	10.9	9.4	11.2	10.2	7.9	8.9	6.1	4.6	0.5	0.3	
	自分のことが好きではない (n=101)	5.9	9.9	11.9	10.9	5.0	9.9	5.9	5.9	4.0	12.9	5.9	0.0	
	どちらでもない (n=204)	11.8	11.3	11.8	11.8	10.3	8.8	9.3	6.9	5.9	4.9	0.0	0.5	

(5) ホットとでき、安心していられる場所はどのような場所か(問 15-1)

問15で「1. 自分の部屋」から「22. その他の場所」と回答した人にホットとでき、安心していられる場所はどのような場所かたずねたところ、「好きなことをして自由に過ごせる(76.1%)」が最も高く、「いつでも行きたい時に行ける(73.2%)」、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる(68.8%)」が続いている。

ホットとでき、安心していられる場所はどのようなところか(全体):複数回答
 <ホットとでき、安心していられる場所がある人>



学年別にみると、学年が高くなるほど「好きなことをして自由に過ごせる」、「ありのままでいられる、自分を否定されない」の割合が高くなっている。

自己肯定感別にみると、いずれでも「好きなことをして自由に過ごせる」が最も高くなっているが、自分のことが好きな人、どちらでもない人では「いつでも行きたい時に行ける」が続き、自分のことが好きではない人では「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」が続いている。

また、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「いろんな人と出会える、友達と一緒に過ごせる」、「スポーツや外遊びなど体を思い切り動かすことができる」、「新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる」、「悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる」の割合が高い。

自分のことが好きではない人は自分のことが好きな人と比べて、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」、「ありのままでいられる、自分を否定されない」の割合が高く、「悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる」の割合が低い。

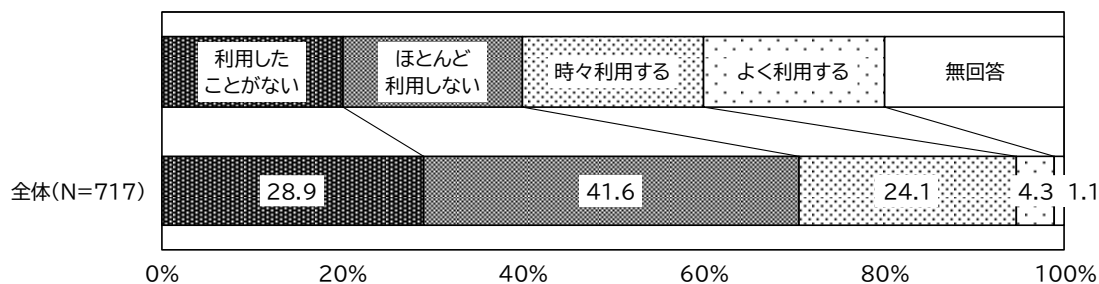
ホッとでき、安心していられる場所はどのような場所か(全体、学年別、自己肯定感別)

		(%)										
		好きなことをして自由に過ごせる	いつでも行きたい時に行ける	何一人でも過ごせたり、のんびりできる	ありのままでいられる、自分を否定されない	いろんな人と出会える、友達と一緒に過ごせる	自分の意見や希望を受け入れてもらえる	スポーツや外遊びなど体を思い切り動かすことができる	新しいことを学べたり、チャレンジできる	悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる	その他	無回答
全	体 (n=706)	76.1	73.2	68.8	52.8	49.7	46.5	40.7	40.1	33.9	3.1	2.1
学年別	4 年生 (n=265)	73.6	72.8	65.9	50.6	49.4	46.0	43.7	42.1	39.8	3.8	3.1
	5 年生 (n=205)	76.8	75.9	72.4	50.7	46.8	44.3	40.4	40.4	36.5	3.4	1.0
	6 年生 (n=245)	78.3	71.7	68.8	57.1	52.5	48.8	37.5	37.5	25.4	2.1	2.1
自己肯定感別	自分のことが好き (n=391)	75.4	74.4	66.8	51.2	53.7	49.4	45.8	45.5	36.8	2.0	1.5
	自分のことが好きではない (n= 95)	77.9	67.4	73.7	57.9	38.9	48.4	26.3	29.5	30.5	7.4	2.1
	どちらでもない (n=203)	77.3	74.4	71.9	55.7	48.3	42.9	37.4	36.5	31.5	3.4	2.5

(6)児童館の利用頻度(問 16)

児童館の利用頻度は、「ほとんど利用しない(41.6%)」が最も高く、「利用したことがない(28.9%)」、「時々利用する(24.1%)」が続いている。

児童館の利用頻度(全体)



学年別にみると、6年生は4～5年生と比べて、「ときどき利用する」の割合が低い。

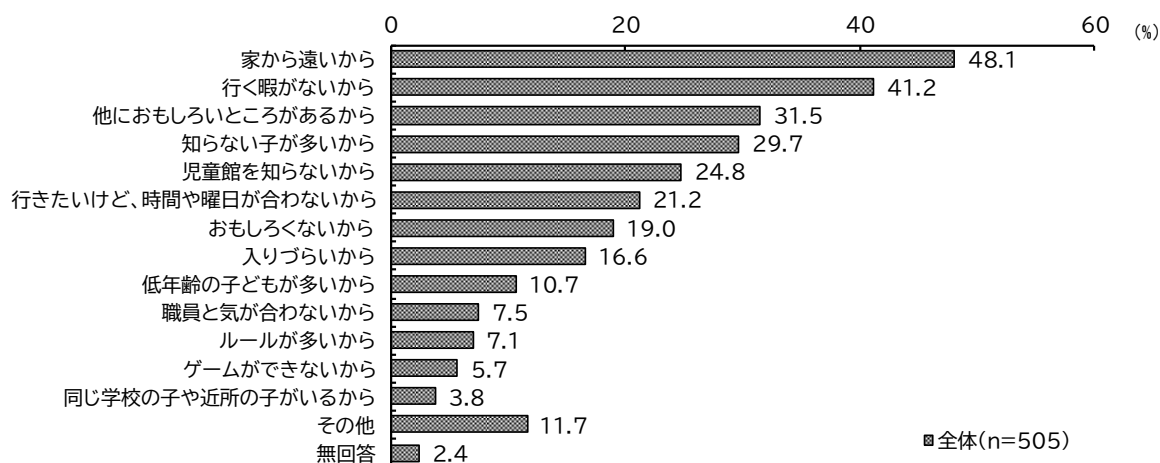
児童館の利用頻度(全体、学年別)

				(%)				
				こ と 用 が し な た い	利 用 と し ん な ど い	利 と 用 き す ど る き	利 よ く 用 す る	無 回 答
全	体	(N=717)		28.9	41.6	24.1	4.3	1.1
学 年 別	4	年	生 (n=265)	27.5	41.1	26.0	4.5	0.8
	5	年	生 (n=205)	28.3	39.5	26.8	5.4	0.0
	6	年	生 (n=245)	30.6	44.1	20.0	2.9	2.4

(7)児童館を利用しない理由(問 16-1)

問 16 で「1. 利用したことがない」か「2. ほとんど利用しない」と回答した人に、児童館を利用しない理由についてたずねたところ、「家から遠いから(48.1%)」が最も高く、「行く暇がないから(41.2%)」、「他におもしろいところがあるから(31.5%)」が続いている。

児童館を利用しない理由(全体):複数回答
 <児童館を利用したことがない又はほとんど利用しない人>



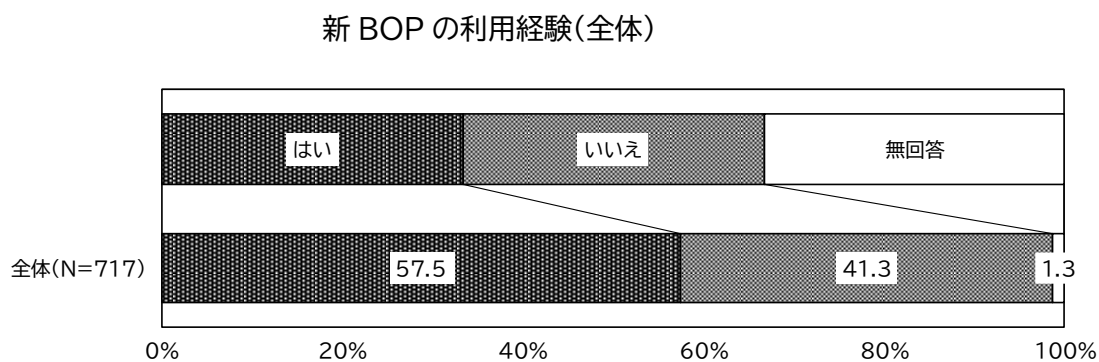
学年別にみると、学年が上がるほど「行く暇がないから」、「おもしろくないから」の割合が高くなっている。

児童館を利用しない理由(全体、学年別)

		家から遠いから	行く暇がないから	他におもしろいところがあるから	知らない子が多いから	児童館を知らないから	行きたいけど、時間や曜日が合わないから	おもしろくないから	入りづらいから	低年齢の子が多いから	職員と気が合わないから	ルールが多いから	ゲームができないから	同じ学校の子や近所の子がいるから	その他	無回答
全	体 (n=505)	48.1	41.2	31.5	29.7	24.8	21.2	19.0	16.6	10.7	7.5	7.1	5.7	3.8	11.7	2.4
学年別	4 年生 (n=182)	47.8	35.2	26.9	29.1	26.4	24.2	13.7	14.8	10.4	7.7	7.7	4.9	2.2	15.9	1.6
	5 年生 (n=139)	50.4	41.7	35.3	29.5	25.9	23.0	20.9	14.4	8.6	9.4	5.0	7.2	3.6	10.1	4.3
	6 年生 (n=183)	46.4	46.4	32.8	30.1	22.4	16.4	23.0	19.7	12.6	6.0	8.2	4.9	5.5	8.7	1.6

(8)新 BOP の利用経験(問 17)

新 BOP の利用経験は、「はい」が 57.5%、「いいえ」が 41.3%となっている。



学年別にみると、4年生は5年生と比べて、「いいえ」の割合が高い。5年生は4年生と6年生と比べて、「はい」の割合が高い。

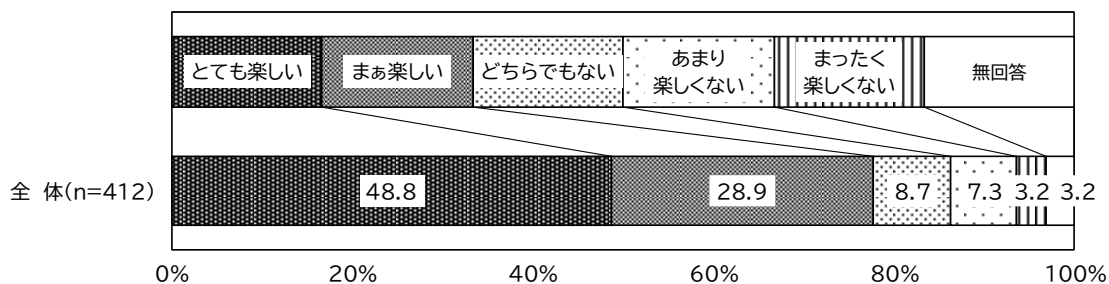
新 BOP の利用経験(全体、学年別)

		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全	体 (N=717)	57.5	41.3	1.3
学 年 別	4 年 生 (n=265)	56.2	43.0	0.8
	5 年 生 (n=205)	61.5	37.6	1.0
	6 年 生 (n=245)	55.9	42.0	2.0

(9)新 BOP を利用した感想(問 17-1)

問 17 で「1. はい」と回答した人に、新 BOP を利用した感想をたずねたところ、《楽しい》(「とても楽しい」と「まあ楽しい」の合計)の割合が 77.7%となっている。

新 BOP の利用した感想(全体)



学年別にみると、4年生は 5～6年生と比べて、「どちらでもない」の割合が低い。5年生は4年生と6年生と比べて、「とても楽しい」の割合が低い。《楽しい》の割合は、4年生が 81.2%、5年生が 73.1%、6年生が 78.1%となっており、5年生は4年生と6年生と比べて低い。

新 BOP を利用した感想(全体、学年別)

			(%)					
			とても楽しい	まあ楽しい	どちらでもない	あまり楽しくない	まったく楽しくない	無回答
全	体	(n=412)	48.8	28.9	8.7	7.3	3.2	3.2
学 年 別	4	年 生 (n=149)	53.0	28.2	4.7	6.0	3.4	4.7
	5	年 生 (n=126)	42.9	30.2	11.9	7.9	3.2	4.0
	6	年 生 (n=137)	49.6	28.5	10.2	8.0	2.9	0.7

第2章 調査結果

新 BOP 学童クラブについて、どのような気持ちで過ごすことが多かったのか、1. とても楽しい、2. まあ、楽しい、3. どちらでもない、4. あまり楽しくない、5. まったく楽しくない の5択から当てはまるもの1つとその理由を自由回答方式でたずねた。

以下、一部を掲載する。なお、回答には、複数回答や重複回答も含める。また、回答件数の多かった「とても楽しいと回答した理由」と「まあ楽しいと回答した理由」については、表形式で掲載する。

◇とても楽しい理由(188件)

理由		件数(件)
友達(みんな)と遊べるから		95
外や体育館で身体を動かす遊び ができるから	身体を動かせる	9
	体育館	5
	運動	4
	校庭	4
	サッカー	4
	バスケットボール	2
	ドッチボール	2
	野球	1
	バレーボール	1
	外で遊べる	1
	一輪車	1
	合計	34
	遊びができるから	
おもちゃ・遊び道具があるから		23
先生が優しく一緒に遊んでくれる		19
楽しいから		19
ゲームがあるから	ゲーム	8
	カードゲーム	2
	メンコ	1
	カードゲーム	1
	合計	12
本・漫画・勉強ができるから	本	5
	漫画	5
	勉強	2
	合計	12
おやつ・お菓子が食べられるから		8
自由だから		7
イベントがあるから		6

○その他

- ・ 低学年のときから通っているから
- ・ 低学年と遊べる など

◇まあ楽しい理由(95件)

理由		件数(件)
遊べるから		35
友達と遊べるから		25
楽しいから		18
外や体育館で身体を動かす遊び ができるから	外で遊べる	4
	サッカー・ボールを蹴る	3
	鬼ごっこ・一輪車	3
	運動	4
	身体を動かす	1
	外で遊べる	1
	野球	1
	合計	12
漫画・本・将棋などができるから	漫画	6
	本	2
	将棋	1
	合計	9
ゲーム・カードゲーム・レゴが できるから	ゲーム	3
	カードゲーム	1
	レゴ	1
	合計	5
イベントがあるから		5

○その他

- ・ 工作ができるから
- ・ 先生がいるから
- ・ 仲がいい人がいないと面白くないから
- ・ 外で遊ぶ時に、多数決で決まるから自分の意見が通らない時がある
- ・ スポーツができて楽しいが、勉強をしないといけないという不安がある為、長くは遊べないから
- ・ 人が多い
- ・ 最初の時は楽しかったけど、遊び道具が少なかった 人の多いところがほんの少し苦手
- ・ 低学年の人とも楽しめる(でも遊びの内容は低学年向け)
- ・ もう少し色々な遊びがあった方が面白いから。
- ・ 暇だった など

◇どちらでもない理由(27件)

- ・ 3年生までほとんど毎日そこにいたから
- ・ 友達が少ないけど、本などを読めるから
- ・ 友達がいないときがあるし、お菓子がおいしくないのがでてくるから
- ・ 仲の良い友達がいるときは楽しいがいないときは楽しくないから
- ・ あまり行ったことがないから

第2章 調査結果

- ・ 遊べるおもちゃが少なかった
- ・ 勉強していたから
- ・ 嫌な気持ちになった時もあるし楽しい気持ちにもなったことがあるから
- ・ 低学年までは楽しかったけど、高学年になってからは家に居た方が楽しくなった
- ・ 落ち着かない感じ
- ・ 特になんとも思わないから など

◇あまり楽しくない理由(28件)

- ・ 友達がいなくてひとりだとつまらないから
- ・ 校庭を半分に切られていて、男子が多過ぎて怪我をしそう
- ・ 友達とやりたいことがあってもルールが厳しく先生が怖かった
- ・ 面白い遊びがない
- ・ 苦手な人がいたから
- ・ コロナ禍で遊びが少なく、自分で持っていく必要があったから
- ・ 学童の子達が遊びやおもちゃなどを優先的に使っていて BOP の子達は浮いていたし、遊び道具がなかった。職員の方が怖くて居づらかった。
- ・ 家より自由じゃない など

◇まったく楽しくない理由(10件)

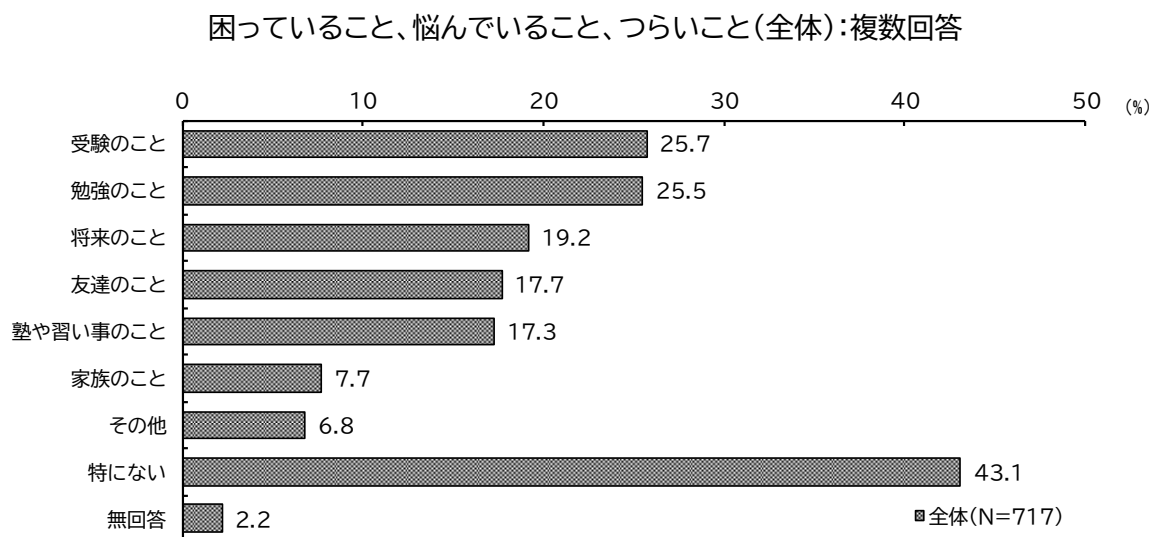
- ・ 慣れている子が多くて、先生のことよく知らないし、馴染みにくかったから
- ・ BOP の先生が話を聞いてくれないので怖い(暴力ではない)
- ・ 低学年向けのルールが多すぎ
- ・ 好きなおもちゃが壊れ、怖かった
- ・ 自分の友達がいなくて、自分がしたい遊び道具なども全然ないから など

6 日ごろの思いや悩み

(1) 困っていること、悩んでいること、つらいこと(問 18)

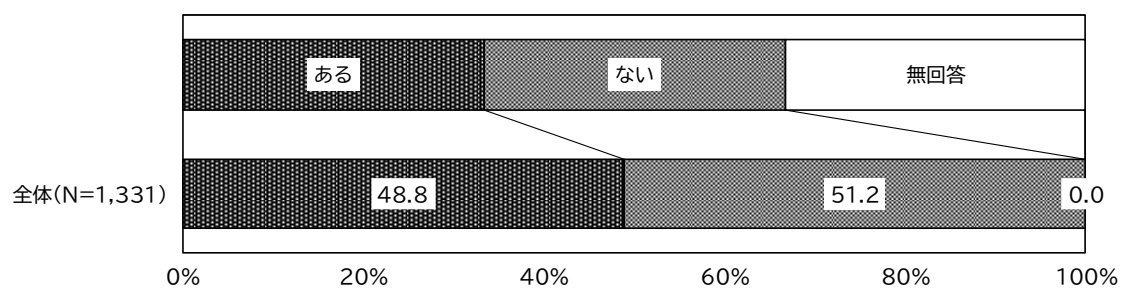
困っていること、悩んでいること、つらいことは、「受験のこと(25.7%)」が最も高く、「勉強のこと(25.5%)」、「将来のこと(19.2%)」が続いている。

平成 25 年度調査と比較すると、困っていること、悩んでいること、つらいことの有無としては、平成 25 年度調査では「ある」が 48.8%であったが、今回調査では「特にない(43.1%)」と「無回答(2.2%)」を除いた 54.7%に何らかの困っていること、悩んでいること、つらいことがある割合であり、高くなっている。困っていること、悩んでいること、つらいことの内容としては、「受験のこと」が最も多い点は変わらないものの、「友達のこと」が平成 25 年度調査では2番目であったのに対し、今回調査では4番目に位置している。



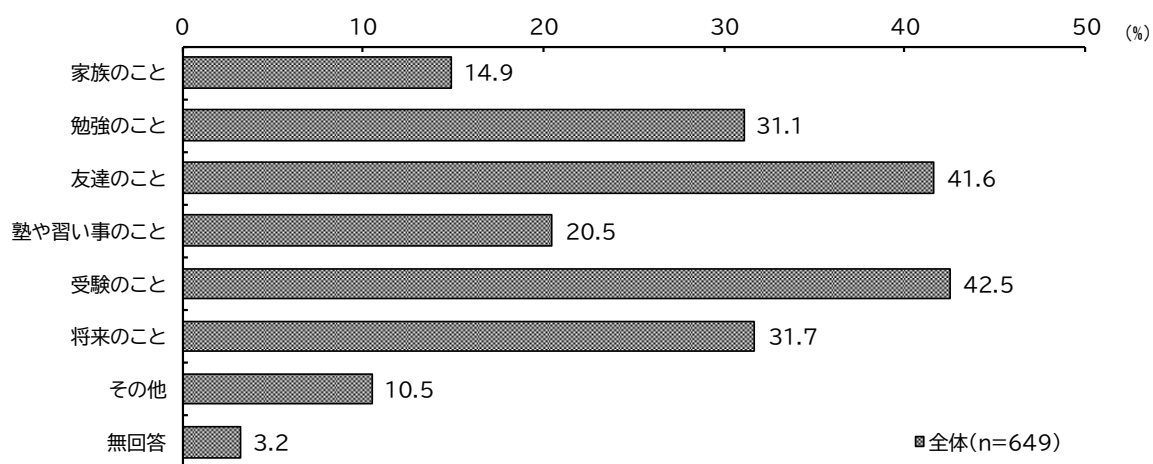
第2章 調査結果

困っていること、悩んでいることの有無(全体)【平成 25 年度調査】



困っていること、悩んでいる内容(全体):複数回答【平成 25 年度調査】

<困っていること、悩んでいることがあると回答した人>



学年別にみると、学年が上がるほど「特にない」の割合が低く、「勉強のこと」、「将来のこと」、「友達のこと」、「家族のこと」の割合が高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人はそれ以外の人と比べて、「特にない」の割合が高い。自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「勉強のこと」、「将来のこと」、「友達のこと」、「塾や習い事のこと」、「家族のこと」の割合が高い。また、自分のことが好きな人と比べて、「受験のこと」の割合が高い。

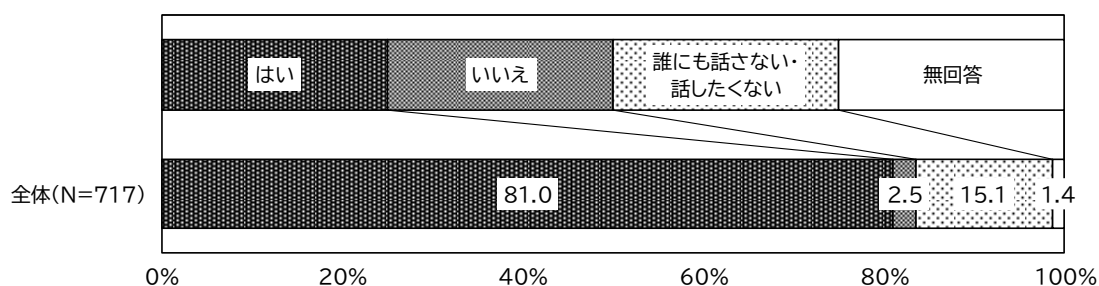
困っていること、悩んでいること、つらいこと(全体、学年別、自己肯定感別)

		(%)									
		受験のこと	勉強のこと	将来のこと	友達のこと	塾や習い事のこと	家族のこと	その他	特にない	無回答	
全	体 (N=717)	25.7	25.5	19.2	17.7	17.3	7.7	6.8	43.1	2.2	
学 年 別	4 年 生 (n=265)	21.5	19.6	18.1	15.5	12.8	6.0	6.4	46.8	2.3	
	5 年 生 (n=205)	29.8	28.3	19.0	15.6	22.0	7.3	5.9	42.9	2.0	
	6 年 生 (n=245)	26.5	29.4	20.0	21.2	18.4	9.8	8.2	39.6	2.4	
自 己 肯 定 感 別	自 分 の こ と が 好 き (n=394)	23.4	21.1	15.2	15.5	15.7	4.6	4.6	51.3	1.3	
	自 分 の こ と が 好 き で は な い (n=101)	32.7	36.6	35.6	26.7	26.7	17.8	10.9	25.7	4.0	
	ど ち ら で も な い (n=204)	27.9	30.9	18.6	17.2	16.2	8.8	9.3	36.3	2.0	

(2)困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無(問 19)

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無は、「はい」が81.0%、「いいえ」が2.5%、「誰にも話さない・話したくない」が15.1%となっている。

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無(全体)



性別にみると、女子は男子と比べて、「はい」の割合が低く、「誰にも話さない・話したくない」の割合が高い。

学年別にみると、4年生は5・6年生と比べて、「はい」の割合が高く、「誰にも話さない・話したくない」の割合が低い。6年生は4・5年生と比べて、「はい」の割合が低く、「誰にも話さない・話したくない」の割合が高い。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人はそれ以外の人と比べて、「はい」の割合が低く、「誰にも話さない・話したくない」の割合が高い。

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無
(全体、性別、学年別、自己肯定感別)

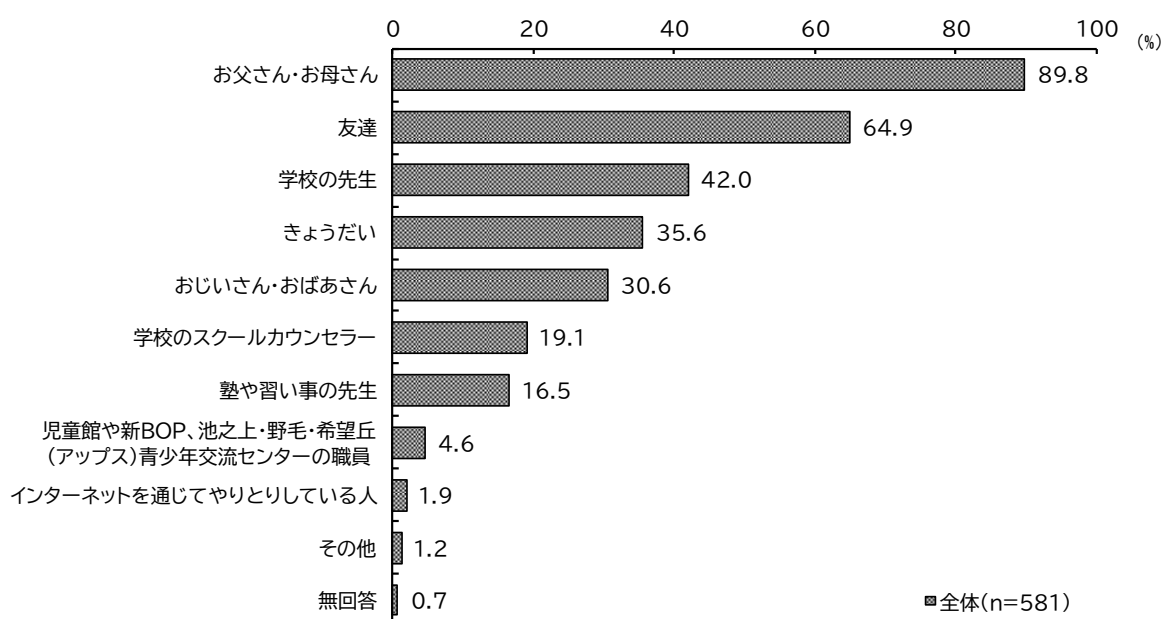
		はい	いいえ	誰にも話さない・話したくない	無回答
全 体 (N=717)		81.0	2.5	15.1	1.4
性別	男 子 (n=319)	84.6	2.8	11.0	1.6
	女 子 (n=382)	78.8	2.4	17.8	1.0
	答 え た く な い (n= 13)	61.5	0.0	30.8	7.7
	わ か ら な い (n= 1)	0.0	0.0	100.0	0.0
	そ の ほ か (n= 1)	100.0	0.0	0.0	0.0
学 年 別	4 年 生 (n=265)	85.3	3.0	10.6	1.1
	5 年 生 (n=205)	80.0	2.0	16.6	1.5
	6 年 生 (n=245)	77.1	2.4	18.8	1.6
定 自 己 肯 別 肯	自 分 の こ と が 好 き (n=394)	88.6	2.0	8.4	1.0
	自 分 の こ と が 好 き で は な い (n=101)	53.5	4.0	39.6	3.0
	ど ち ら で も な い (n=204)	80.9	2.9	15.7	0.5

(3)困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人(問 19-1)

問 19 で「1. はい」と回答した人に、それは誰なのかたずねたところ、「お父さん・お母さん(89.8%)」が最も高く、「友達(64.9%)」、「学校の先生(42.0%)」が続いている。

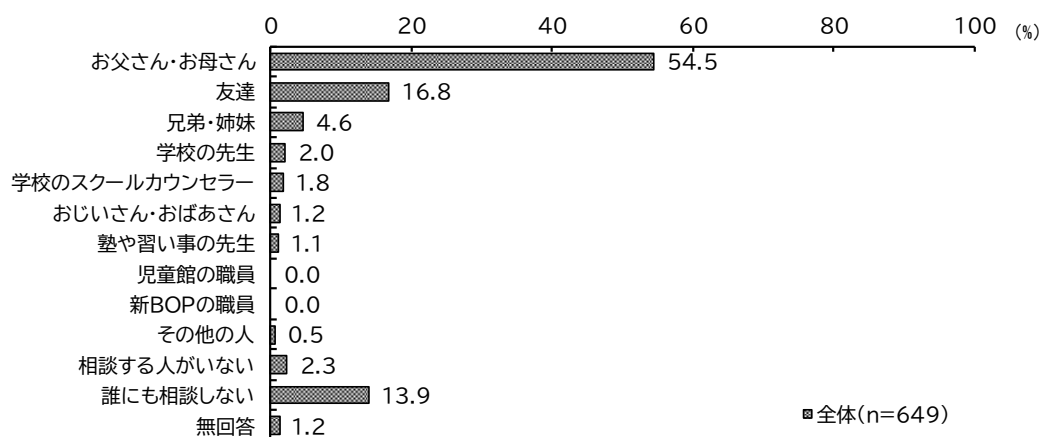
平成 25 年度調査と比較すると、聴取形式が異なるため単純比較はできないものの、「お父さん・お母さん」が最も高く、「友達」が上位に続いている点から、話を聞いてくれる人・相談する相手の傾向は平成 25 年度調査から大きな変化はみられないといえる。

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人(全体):複数回答
 <困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人がいる人>



困ったときや悩みがあるときに相談する相手(全体)【平成 25 年度調査】

<困っていること、悩んでいることがあると回答した人>



第2章 調査結果

性別にみると、女子は男子に比べて「友達」、「学校のスクールカウンセラー」が高く、それ以外は低くなっている。

学年別にみると、学年が上がるほど「お父さん・お母さん」の割合が低くなり、「塾や習い事の先生」、「インターネットを通じてやりとりしている人」の割合が高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人では、「お父さん・お母さん(75.9%)」、「きょうだい(25.9%)」、「おじいさん・おばあさん(20.4%)」、「塾や習い事の先生(7.4%)」が全体より5ポイント以上低く、「友達(72.2%)」が全体より5ポイント以上高くなっている。

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人

(全体、性別、学年別、自己肯定感別):複数回答

<困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人がいる人>

		お父さん・お母さん	友達	学校の先生	きょうだい	おじいさん・おばあさん	学校のスクールカウンセラー	塾や習い事の先生	児童館や新BOP、池之上・野毛・希望丘(アツブス)青少年交流センターの職員	インターネットを通じてやりとりしている人	その他	無回答
全	体 (n=581)	89.8	64.9	42.0	35.6	30.6	19.1	16.5	4.6	1.9	1.2	0.7
性別	男 子 (n=270)	93.0	57.4	47.0	37.4	34.4	15.9	19.6	5.6	2.2	1.1	1.1
	女 子 (n=301)	87.0	71.4	37.2	33.6	27.2	21.6	14.0	3.7	1.7	1.3	0.3
	答 え た く な い (n= 8)	100.0	75.0	37.5	62.5	25.0	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	わ か ら な い (n= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	そ の ほ か (n= 1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年別	4 年 生 (n=226)	92.0	64.6	42.0	33.2	33.6	15.9	11.5	5.3	0.4	1.3	0.4
	5 年 生 (n=164)	90.2	62.8	43.3	43.3	35.4	23.2	15.9	3.0	1.8	1.2	0.6
	6 年 生 (n=189)	87.3	66.7	41.3	31.7	22.8	18.5	23.3	5.3	3.7	1.1	1.1
自己肯定感別	自 分 の こ と が 好 き (n=349)	92.8	67.3	44.7	37.0	33.8	20.3	19.5	5.2	2.0	0.9	0.3
	自 分 の こ と が 好 き で は な い (n= 54)	75.9	72.2	40.7	25.9	20.4	22.2	7.4	3.7	1.9	0.0	1.9
	ど ち ら で も な い (n=165)	87.9	57.0	35.8	34.5	28.5	17.0	14.5	4.2	1.8	2.4	1.2

7 自由意見

(1) アンケートの感想、大人や社会に言いたいこと(問 20)

アンケートの感想、大人や社会に言いたいことに関して、自由記述形式でたずねたところ、全体で 267 件の回答があった。すべての意見について確認したうえで分類を行い、全件を掲載することは難しいことから、個人や所属が特定される可能性がある意見、配慮が必要となる意見、類似した意見等は除き、一部を紹介する。

1. アンケートの感想(83 件)

① アンケートの活用について(8件)

- ・ なぜこのアンケートを実施したのですか。(6年生)
- ・ アンケートに答えることで、みんなが暮らせるより良い社会になるといいです。(6年生)
- ・ このアンケートで少しでも差別がなくなる町になってくれたら嬉しい。(6年生)
- ・ このアンケートに答えたことが半分くらいは実現できたらいいなと思う。(5年生)
- ・ このアンケート見たいに答えやすいアンケートがあると、社会が良くなると思います。(5年生)
- ・ このようなアンケートを通してより良い世田谷区になって欲しいです。(6年生)

② 肯定的な意見(60 件)

- ・ こういうアンケートをもっとやってもらえたら嬉しいです。(4年生)
- ・ このアンケートがあればいじめを受けている子は安心できると思います。(5年生)
- ・ このアンケートでは、相談できそうな人を改めて友達や家族に話したりしたいです。(5年生)
- ・ このアンケートのように、子どもの意見を聞いてくれる場を多く設けてくれるのはいい事だと思います。(4年生)
- ・ このアンケートを答えてやはり相談できる人や、仲良くできる人がいるということは、大切ということが分かりました。アンケートを答えて平和な世田谷区になってほしいです。(4年生)
- ・ これこそ、自分の意見を聞いてくれる場所だと思った！(5年生)
- ・ 意外とすぐに終わってよかったです。悩みを話す事が苦手だけど、話してみたり、何か友達が悩んでいることがあったら聞いてあげたいです。(5年生)
- ・ 自分の意見が簡単に言えるアンケートが今悩んでいる人などの助けになると思うので良いと思った。(6年生)
- ・ 住んでるからにはもっと世田谷のことを知りたい！とおもった。(4年生)
- ・ 世田谷区が頑張っていることがとても伝わったので、つぎからぼくができることはできるだけやろうと思った。(4年生)
- ・ 世田谷区は子どものこともよく考えてくれていることを知り、嬉しい気持ちになりました。(6年生)

第2章 調査結果

- ・ 長かったけど、いろいろな子どもの悩み事について質問してくれたので、困っている子がいなくても安心できると思いました。(6年生)
- ・ 悩みを解決できる助けになると思った(4年生)
- ・ あらためて自分のことを考えてみるきっかけができたのでよかったです。(4年生)
- ・ アンケートは悩んでいる事や自分がどのように過ごしているのかを書けたので良かったと思いました。(5年生)
- ・ こういうアンケートは、自分の本心を述べられるので、いいと思います。(4年生)
- ・ このアンケートで悩みを言って解決してスッキリする人がいるといいなと思いました。(4年生)
- ・ このアンケートに関しては言いたいことを言えるのですごく良いと思った。5年に一度ではなく、3年に一度くらいで低学年の子も答えられるようにするとすごく良いと思った(6年生)
- ・ このアンケートは人に見られないので良いと思いました。(4年生)
- ・ このアンケートをして、自分は何に悩んでいるのか、日頃どのようなことをしているのかをよく考えられました。(6年生)
- ・ 自分が思ったことなどを自由にかくことができるので、良いアンケートだと思いました。(4年生)
- ・ 自分の意見を言えてよかった(6年生)
- ・ 自分の気持ちに合うアンケートがありとても答えやすかった。(4年生)
- ・ 自分の気持ちを話せて嬉しかった(4年生)
- ・ 色々と詳しく書いてあったり、絵があってとてもわかりやすかったです。(4年生)
- ・ 色々な人に意見を聞いてもらってとてもいいと思います。なので、もっと多くの回数でやってほしいと思っています。(6年生)
- ・ このアンケートでなんとなく心が救われたような感じがしました。友達がゴソゴソ話をしていると、自分はみんなから嫌われているのかな、関わらないでほしいと思われているのかなと考えます。みんなに不思議に思われないように頑張っていたが、積み重なっていき、だんだんキツくなってきたのですが、今回のアンケートで言うことができよかったです。(5年生)

③否定的な意見(12件)

- ・ アンケートが多くて長かったです。難しい文字、意味や文などが難しくてこまった問題がありました。(4年生)
- ・ アンケートが長くて大変でした。(4年生)
- ・ 今回のように iPad などアンケートをするときに、あらかじめ親にもメールを送って、iPad の使用目的をしっかりと理解してほしいです。(5年生)

④その他(3件)から一部を紹介

- ・ どんな選択肢にも「わからない」は入れた方が良いと思う。(一部、本当の気持ちとは少しずれた回答しか選択肢がないから)(6年生)

- ・ 質問に対する選択肢が有り得ないことがあり、爆笑してしまった。(5年生)

2. 大人や社会に言いたいこと(184件)

① 遊びたい(4件)

- ・ 子どもが遊べて自由にしたい(4年生)
- ・ もっと遊びたい！！！！！！(5年生)
- ・ 勉強がたくさんだからもっと遊びたい！(4年生)

② いじめ、差別、虐待等(12件)

- ・ 世間で、子どものいじめや行き場がなくなることがないように、ケンカなど起こった時には、早急に対処できるように、まずは子どもの相談できる人などを1人1人必ずいるようにする社会にしたいです。(6年生)
- ・ これからいじめなどない世界にしていきたいです。(4年生)
- ・ いじめをなくして、みんなが笑顔になるように変えていきたいと思いました。(4年生)
- ・ 誰も差別をしない暴力もない。子どもが安心して過ごせる場所にしたい。(4年生)
- ・ 差別のない世界を作ってほしい(4年生)
- ・ 子どもに虐待したり、暴言を吐かないでほしい。子どもに悪影響を与えるようなことをしないで欲しい。(5年生)
- ・ 大人に言いたいことは、叱る時などに暴力などせずに言葉で叱るようにして欲しいです。(5年生)

③ 居場所等(3件)

- ・ ネットがあり、ボールが使える公園を増やしてほしいです。(4年生)
- ・ 家族と楽しく遊んだりできる場所が欲しい(4年生)
- ・ 居場所が欲しい(5年生)

④ 家族(3件)

- ・ 本当に子どもをしっかり見てますか？って、家族に言いたいです。(6年生)
- ・ 少しだけ家族からはなれたい(4年生)

⑤ 学校(26件)

- ・ できるだけクラスみんなが意見を言いやすい場を作ってほしい(4年生)
- ・ なぜ勉強をしないといけないのか、なぜ宿題は出るのか、早く子どもたち用のデジタル教科書を出してください(5年生)
- ・ ブラック校則をなくす(6年生)
- ・ もっと今の自分の学校だけでなく他校との交流を深める行事があった方が地域の子どもと触れ合う機会があって良いと思う(6年生)
- ・ 連帯責任はやめて欲しい。やったことを正直に言った人だけ怒られる。期待しているという先生と期待していないという先生がいて困る。(6年生)
- ・ 学校行きたくないよー(6年生)
- ・ 学校の時間が長い。(6年生)

第2章 調査結果

- ・ 学校の先生が一部の生徒の話しか聞かず、何も意見を聞いてくれないし相談している子がいてもめんどくさそう、結局、子どもの意見は何も反映されない。(6年生)
- ・ 学校教育のなかでいじめがなくなっていくような教育などを増やしてほしい(6年生)
- ・ 給食を、もっと楽しいお料理にしてほしい、午前中におやつタイムを作って欲しい、お腹が空くから、音楽室の楽器の種類がもっと多いといい、学校に蚊が発生するので困る(6年生)
- ・ 軽々しく子どもが悩んでいることに触れないでほしい。授業が先生によって荒れてしまうのは、先生たちにも悪いところがあるので気づいて欲しい。(6年生)
- ・ 自分がこれから生きて行くために大切だと思った事を学ぶことができるがっこうになってほしいです。(5年生)
- ・ 先生が、忙しすぎないようにしてほしいです。スクールカウンセラーさんは、毎日誰か学校に来てほしいです。(4年生)
- ・ 通知表は、今の3段階評価ではなく、得意なことや頑張っていること、成長したことを記録するようにしてほしいと思います。(4年生)
- ・ 担任の先生が、しっかり子どもの話を聞いて対応できるように、1クラスの人数は少なくするといいと思います。(4年生)
- ・ 放課後は、やること、やりたいことがたくさんあるので宿題の量を減らして欲しいです。(5年生)

⑥祭り、イベント(2件)

- ・ 地域のお祭りが楽しかったので、来年も色々やってほしい(6年生)
- ・ イベントを増やして欲しい。(6年生)

⑦施設(1件)

- ・ 世田谷区の施設であるアップスでは、子どもたちのことを優しくみてる職員さんが多く、とても楽しむことができます。なので、もっとこのような施設を作ってほしいです。(6年生)

⑧自然(1件)

- ・ 自然を増やしてください。(5年生)

⑨相談(4件)

- ・ 悩みを何も包み隠さず言える環境を作ってほしい。(6年生)
- ・ 悩み事や辛いことがあっても話して解決できればいいです。(6年生)
- ・ もし、困ったことがあったここに相談をしたいと思った。(4年生)

⑩子どもの権利、意見を聞いて(44件)

- ・ わたしは、無理矢理笑うことにしています。そうすれば誰にも心配されずに済むからです。一部でいいから自然と笑顔になる場所を作ってください。(4年生)
- ・ 大人でなくて子どもにもできることがあるということ。(6年生)
- ・ こどもも気持ちをよくわかって欲しい(5年生)

- ・ この社会では「過保護」だけでなく、「毒親」だったり「過干渉」だったり「放置」だったり… 家が安心できない場所になってしまったらもう家以外に居場所は数少なくなる… そんな状況に陥ってしまった時に自殺を考えようとする。思い返してみれば、そんな暗いことばかり考えていて、いつしか命を絶とうとしたこともあったけど、勇気を持って人に相談すれば心が晴れました。新しい趣味を見つけたり挑戦してみたり…SNS で関わっている人の中で自ら命を絶ってしまったと思われる人は何人もいます。だから、子どもの権利のことを大人がきちんと正しく理解してほしい。(6年生)
- ・ この世界にはたくさんの子童もがいて、それぞれ違つ個性や考え方もつています。それがみんなと違つからとつて、その子がおかしいとか変だなと思つことはしないでください。(6年生)
- ・ この世界には大人だけではなく子どももみんなと同じ社会で生活しているのて少しは子どもものことも考えてほしい。大人も標識やルールを守つてほしい。(4年生)
- ・ これからも子どもの意見もしっかりと取り入れて、誰にとつても暮らしやすい街づくりを進めて言つて欲しいです。(6年生)
- ・ たまに、大人だけで意見を決めることもあるけど(場合によるけど)子どもに関わることだつたら、子どもの意見も取り入れてほしい。(4年生)
- ・ もっと子どもに私たちに優しくしてほしい、もっと私たちのことを考えてほしい、色々ごちやごちや言わないでほしい(4年生)
- ・ もっと子どもの権利を大事にしてほしい。(5年生)
- ・ 一人一人の意見を聞いてほしい。(6年生)
- ・ 言い方がきつ、ゲームの社会がいい(5年生)
- ・ 今も自分が大人になつても子どもも楽しく暮らせる世の中になつて欲しい(6年生)
- ・ 子どもに自由をください(5年生)
- ・ 子どものやるべきこととやりたいことを区別してやるときはやる、やりたい時はやらせるという考え方を持つて欲しい。(5年生)
- ・ 子どもがやりたいことなどを受け入れてくれたり、背中をおしてくれるような社会にしたいです。(6年生)
- ・ 子どもで例え勉強が苦手な子がいたとしても、勉強が苦手なのはその子の個性だから、大人に叱られることはなく認めてほしい(5年生)
- ・ 子どもにも権利を与えてほしい。(4年生)
- ・ 子どもに意見を聞くなつらそれを実現するか考慮して欲しい(5年生)
- ・ 子どもは決して大人に知力・力・権力のすべてにかなわないから子どもが何か言つたら優しく否定したり受け入れて欲しい(4年生)
- ・ 子どもを差別しないで 理不筋に殴らないで(6年生)
- ・ 私の親に殴られたりしたことはありませんが、殴られたりしている子もいると思つるので、そういう子を助けて欲しいです。(5年生)
- ・ 私は一人っ子で家でのんびりして塾にも習い事にも行つていない。みんなが塾とか習い事があつたりして遊べないのてもっとなんにも習つていない人が増えたら楽しいのてな。楽

第2章 調査結果

なのにな。と思います。(4年生)

- ・ 少しは子どもが楽しめる自由な時間を作って子どもが楽しくて納得いける時間が欲しい。
- ・ 世田谷区教育委員会の新しい教育の計画を作るための子どもの意見発表の機会は、5年生以上が対象でしたが、下の学年でも、意見を出したいと思います。(4年生)
- ・ 大人は全然遊んでくれない。(4年生)
- ・ なんで大人は私たちのやりたいことを制限して勉強しなさいというの？(5年生)
- ・ 子どもに人のことはいいから自分のことをやれっていうけど大人も子どもに注意するだけで自分のことできてない(6年生)
- ・ 子どもにも遊ぶ権利はある(5年生)
- ・ 子どもだからと言って差別しないでください。(4年生)

⑪まち、社会、区(24件)

- ・ 現代動物の殺処分が問題となっています。ペットを大事にすることで少しでも殺処分のない世の中になり、生き物たちの平和が訪れると思います。(5年生)
- ・ 母子家庭にもっと手厚くして欲しい。勉強したいのに、大学まで行きたいのに、全てにお金が掛かるから、自分の意見なんて言えないし、希望や夢なんてもてない。生活保護は、学校や、進学先や、周りの人からも、嫌な目で見られるし、見えない嫌がらせが多いから、受けられないのが現実。そういうことまで知っていますか、??(6年生)
- ・ 休日を増やしてあまり疲れがたまらないようにして欲しい(4年生)
- ・ 今はコロナなどで今まで当たり前だったことの中で、今は簡単にはできなくなってしまったことが全部できる世の中になることを願っています。(6年生)
- ・ この世田谷区をより良く過ごせる場所になるようにしてください。(5年生)
- ・ 子どもが楽しく遊べる世田谷区にして欲しい！(5年生)
- ・ みんなを笑顔にさせて欲しい。(4年生)
- ・ 世田谷区がもっと楽しい場所になったらいいなと思う。(6年生)
- ・ 社会に言いたいことは、会社で最初から厳しくせずに少しずつ厳しくした方がいいと思います。(5年生)
- ・ 社会の中は、ルールが多すぎて少し自分がやりたくてもできない時がある。(4年生)
- ・ 通学路が細いので、歩くひとと車の人を分けて欲しい(6年生)
- ・ これからもっと地域の人と触れ合いたくなった(4年生)

⑫ごみのない・きれいなまち(2件)

- ・ ゴミのない(ポイ捨てのない)世田谷区になってほしい(4年生)
- ・ ごみをポイ捨てしないでください。ちゃんとごみ箱に捨ててください。(4年生)

⑬安心・安全(10件)

- ・ 事件や事故が一切起きない世の中になることを信じています。私が大人になる頃に、今の大人の皆さんが作ってくれた世の中を守れるよう頑張りたいと思います。(6年生)
- ・ みんなで安全で安心な世田谷区にしましょう！(4年生)
- ・ もっと安全に過ごしたい(4年生)

- ・ 悪い人がいない街・助け合える街(4年生)
- ・ 犯罪0にしてほしいです。(5年生)
- ・ ネット詐欺や誘拐犯罪などの処置をしっかりとした方がいいと思います。そして子どもが安心できる環境を作って欲しいです。(6年生)

⑭政治(2件)

- ・ 国会の会議中に議員の人寝ないでください。(5年生)
- ・ どうして政治家は国会で居眠りや訳のわからない行動をしているのに大金をもらって極楽な生活を送っているんですか？なぜ国が作ったアプリやイベントはあんなにも面白くなくて使いづらいんですか？どちらかといえば会社のSE担当の方の方が才能あると思います。後、なんで政治家はやばいくらいに人が多いんですか？(6年生)

⑮戦争(3件)

- ・ 戦争をなくしてほしい。(4年生)
- ・ 戦争辞めて(4年生)
- ・ どうして戦争や争い事をするのかがわかりません。(6年生)

⑯平和(2件)

- ・ みんな平和に平等に過ごせる世界にしたいです。(6年生)
- ・ 平和な街にしてほしいです。(5年生)

⑰物価、税金他(14件)

- ・ お母さんお父さんの給料をあげてください。(6年生)
- ・ 政府へ税金下げてください。私のお母さんは個人事業主です。インボイス制度が開始されたことにより給料が減ってしまいました。なのにそこから税金を抜かれ、物価高になり、将来お金があるかもわからないのに政府が他の国に金を渡して自分の国がみんな苦しんでいるになんでなのですか？みんな税金が高くて、でも物価でお金がなぜかなくなる国になってしまったのでしょうか？(4年生)
- ・ 税金を下げしてほしい、世田谷区の無駄遣いをやめ、もう少し区民のことを考えて政治をしてほしい(6年生)
- ・ 物価高騰を無くしてほしい。(4年生)
- ・ 子どもに予算をもっとつかってほしい。(5年生)
- ・ 日本はしゃっきんしすぎ。政治家は、本来の目的を見失って、派閥闘争に明け暮れていて、あきれた。がっこうで投資について教えるべき。増税したんだから、もっと還元してほしい。(5年生)

⑱その他大人への要望(9件)

- ・ もっとたくさん SDGs に貢献してほしい。食料自給率を上げるために頑張してほしい。輸入に頼るのは良くないと思う。(5年生)
- ・ 大人なんだから、しっかりして生きてほしい。(6年生)
- ・ 僕は大人の世界はすごくせまいとおもいました。(4年生)

第2章 調査結果

- ・ 社会をもっと成長させてください、世界が終わります(5年生)

⑱感謝・ねぎらい(11件)

- ・ あなたのおかげで私は今楽しく過ごせています。ありがとうございます。(6年生)
- ・ いつも悩みや相談を聞いてくれてありがとうございます。(5年生)
- ・ 安全な世田谷をつくってくださってありがとうございます(6年生)
- ・ 楽しく生活できています(4年生)

⑳その他(6件)

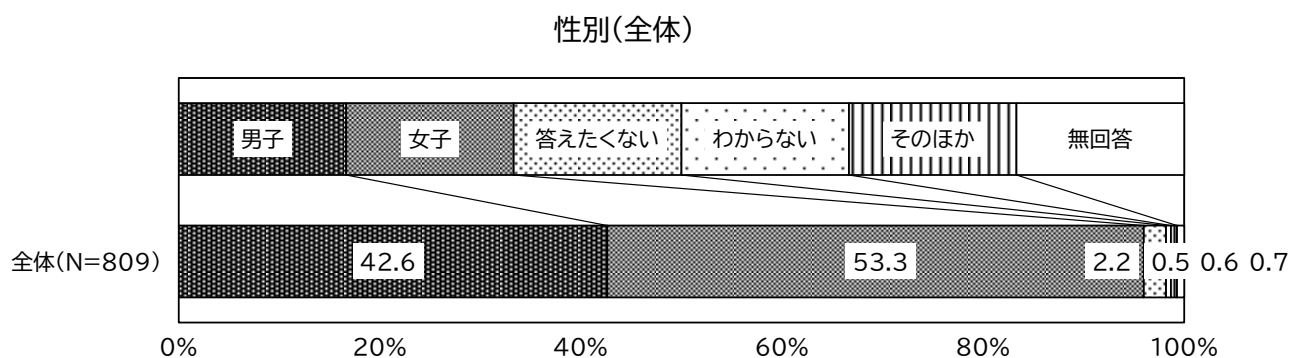
- ・ 自分の好きなことをお仕事にしたい！(5年生)
- ・ 将来何になりたいかを知る事。(4年生)
- ・ 人間関係ってめんどくさい(6年生)

Ⅱ 中学生調査

1 基本属性

(1)性別(問1)

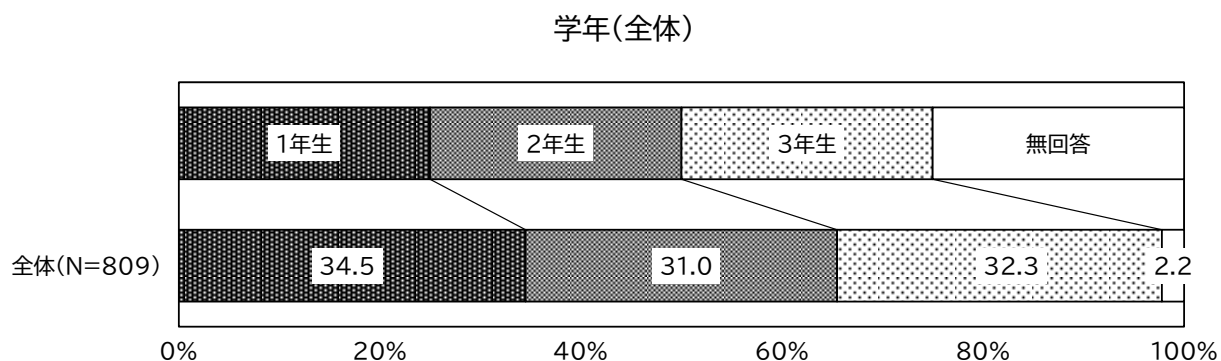
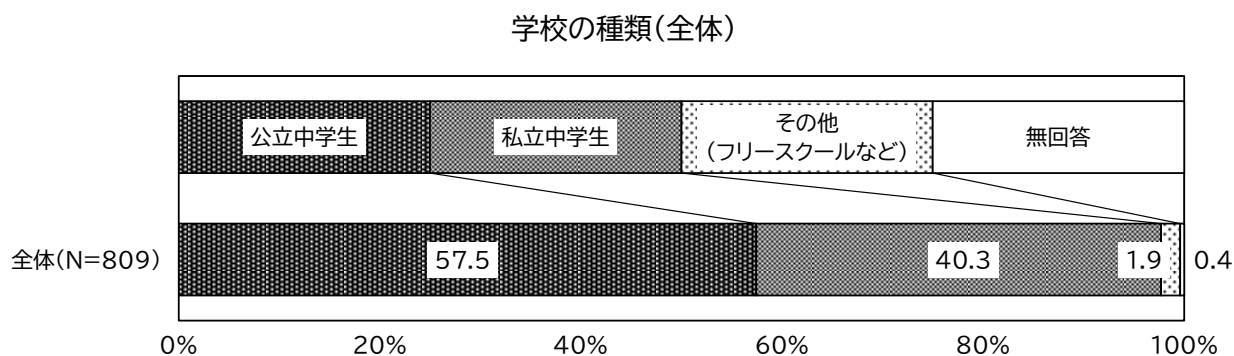
性別は、「男子」が 42.6%、「女子」が 53.3%、「答えたくない」が 2.2%、「わからない」が 0.5%、「そのほか」が 0.6%となっている。



(2)学校の種類と学年(問2)

学校の種類は、「公立中学生」が 57.5%、「私立中学生」が 40.3%、「その他(フリースクールなど)」が 1.9%となっている。

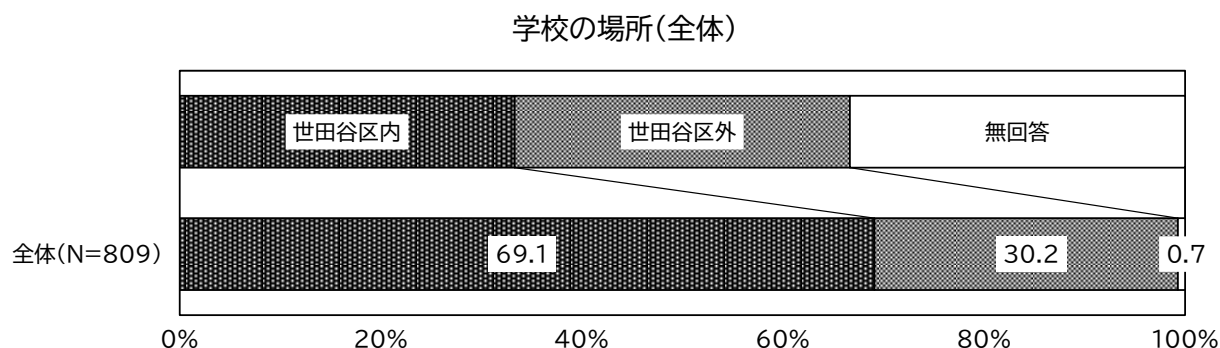
学年は、「1年生」が 34.5%、「2年生」が 31.0%、「3年生」が 32.3%となっている。



第2章 調査結果

(3)学校の場所(問3)

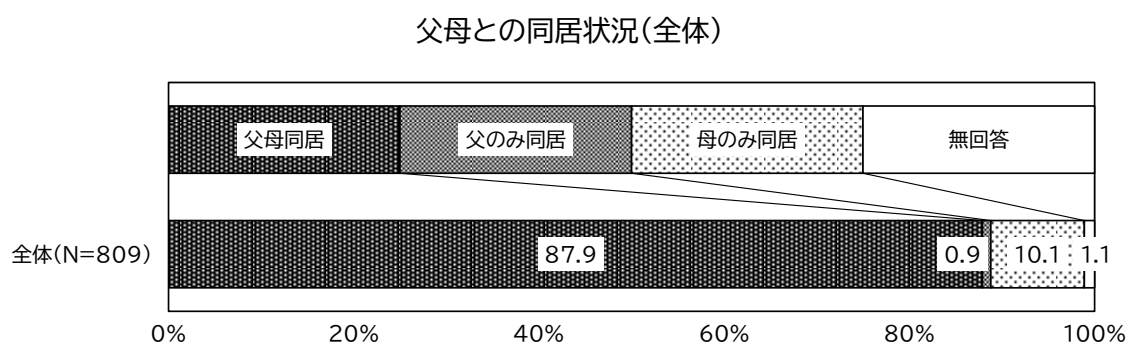
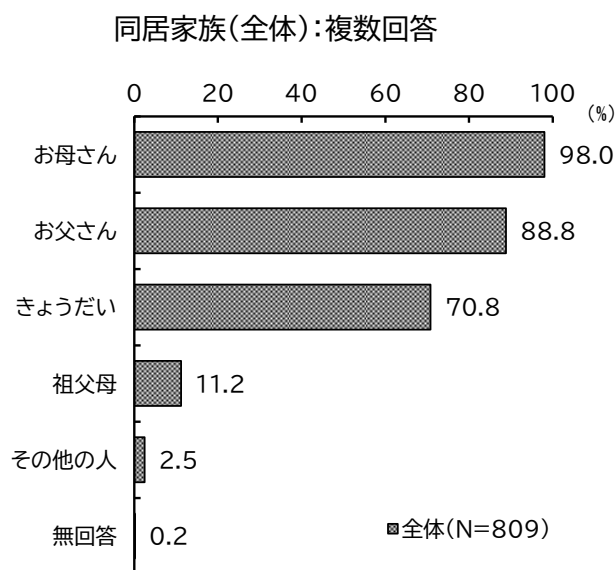
学校の場所は、「世田谷区内」が 69.1%、「世田谷区外」が 30.2%となっている。



(4)同居家族(問4)

同居家族は、「お母さん(98.0%)」が最も高く、「お父さん(88.8%)」、「きょうだい(70.8%)」が続いている。

父母との同居状況は、「父母同居」が 87.9%、「母のみ同居」が 10.1%、「父のみ同居」が 0.9%となっている。

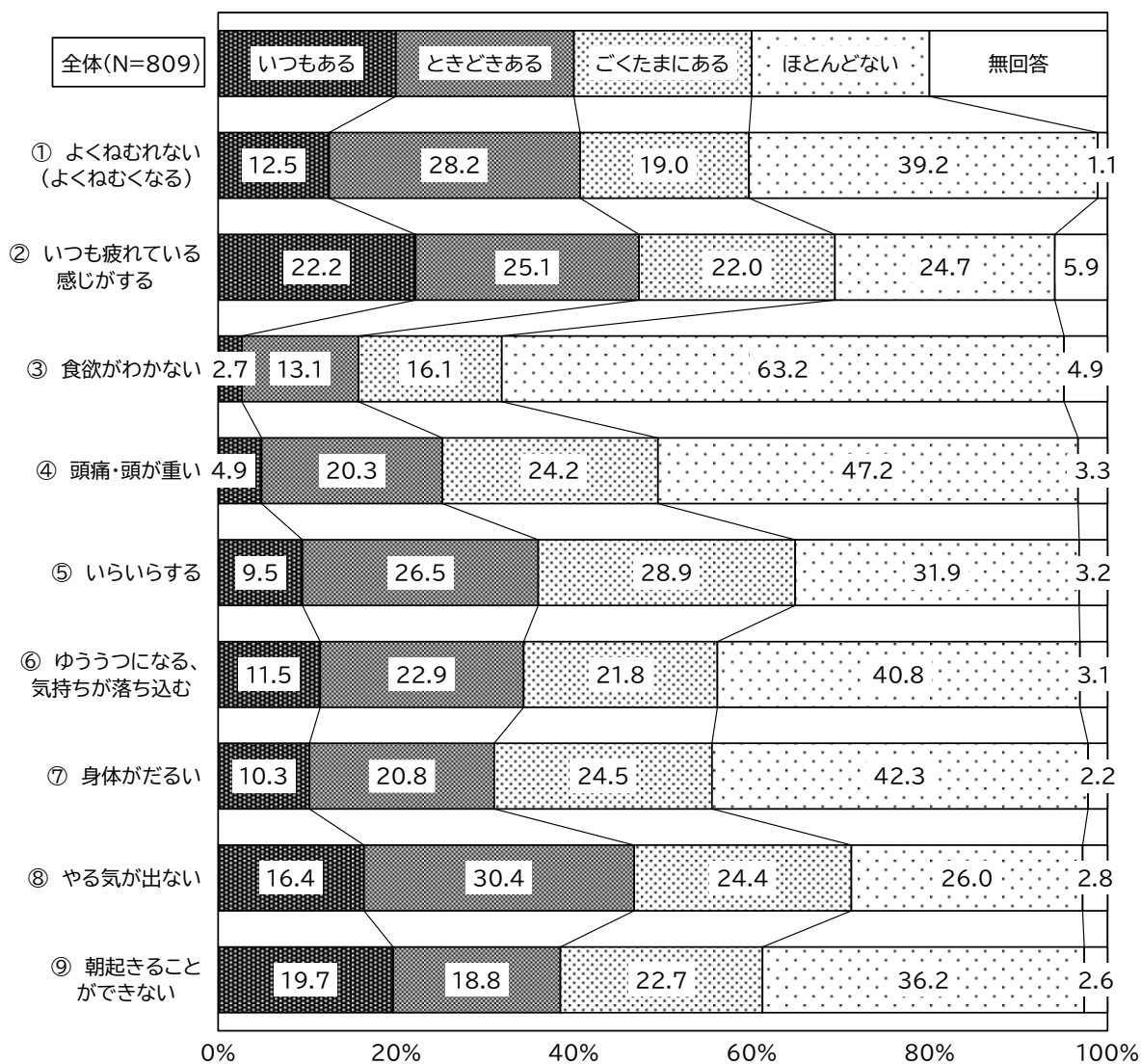


2 ふだんの生活

(1)最近の身体や心の調子(問5)

最近の身体や心の調子は、《ある》(「いつもある」、「ときどきある」、「ごくたまにある」の合計)の割合が『⑧ やる気が出ない(71.2%)』で最も高く、『② いつも疲れている感じがする(69.3%)』、『⑤ いらいらする(64.9%)』が続いている。

最近の身体や心の調子(全体)

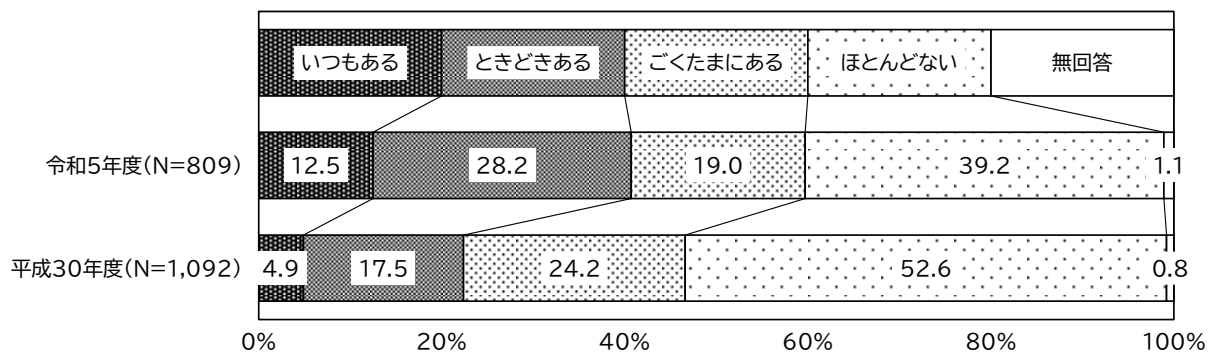


第2章 調査結果

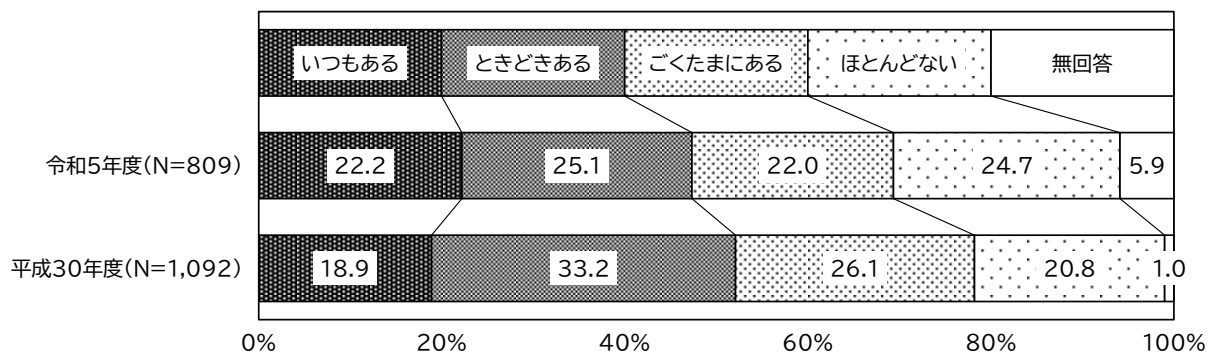
経年比較をすると、『ある』の割合が『① よくねむれない(よくねむくなる)』と『⑥ ゆううつになる、気持ちが落ち込む』、『⑧ やる気が出ない』で高くなっている。

最近の身体や心の調子(全体)【経年比較】

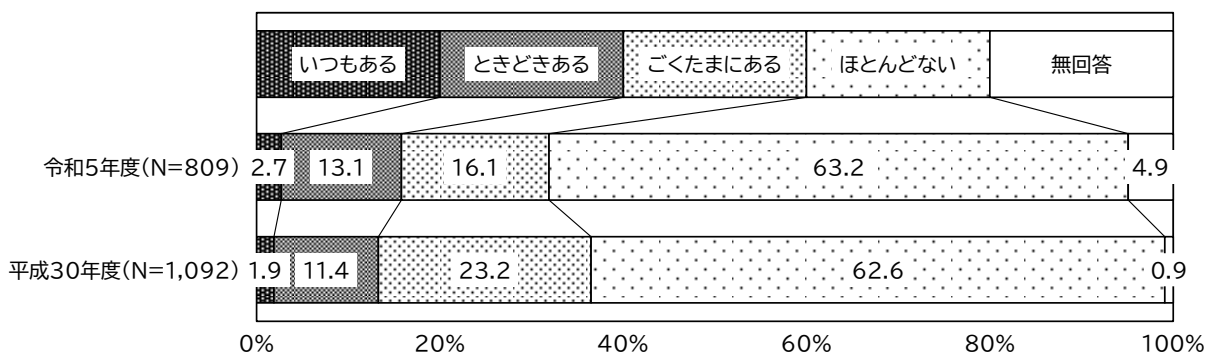
① よくねむれない(よくねむくなる) ※平成30年度は『よく眠れない』



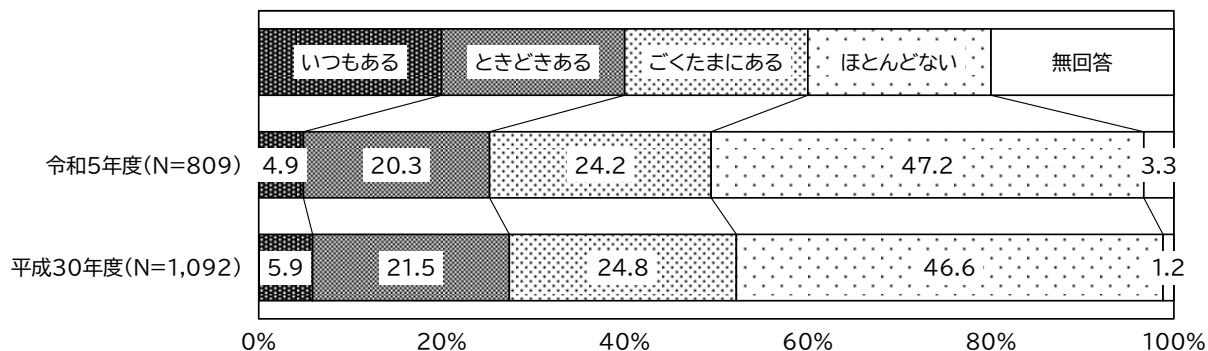
② いつも疲れている感じがする



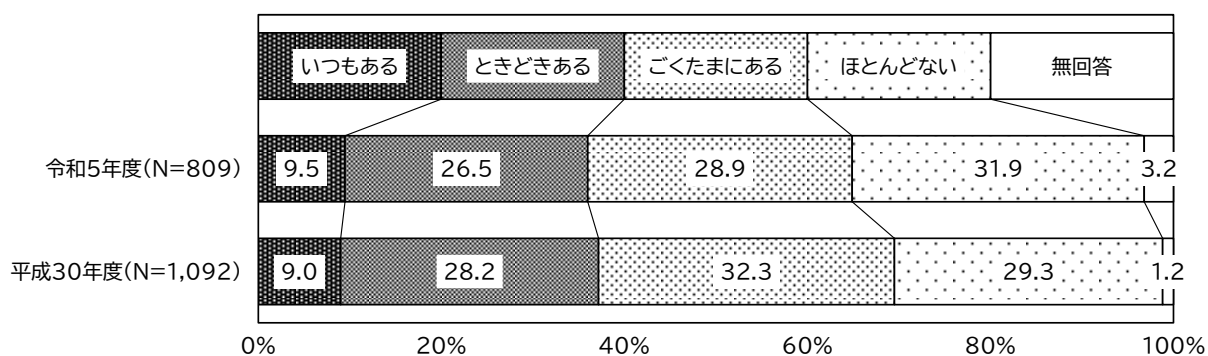
③ 食欲がわかない



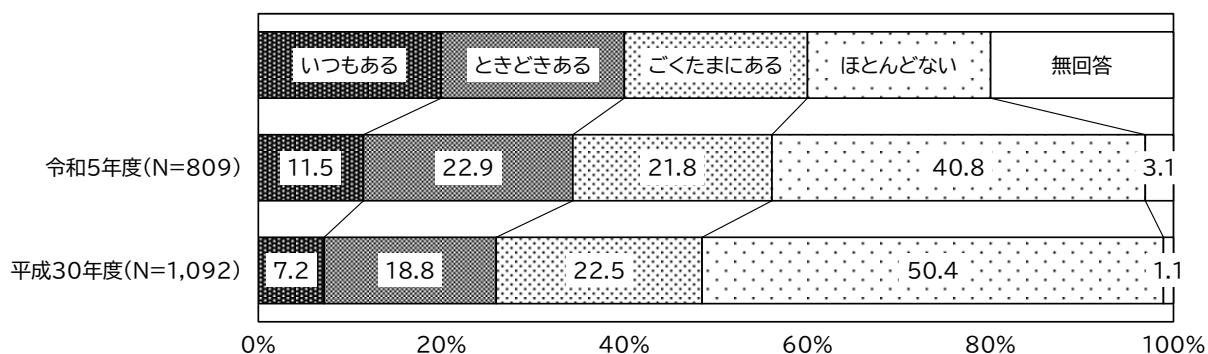
④ 頭痛・頭が重い



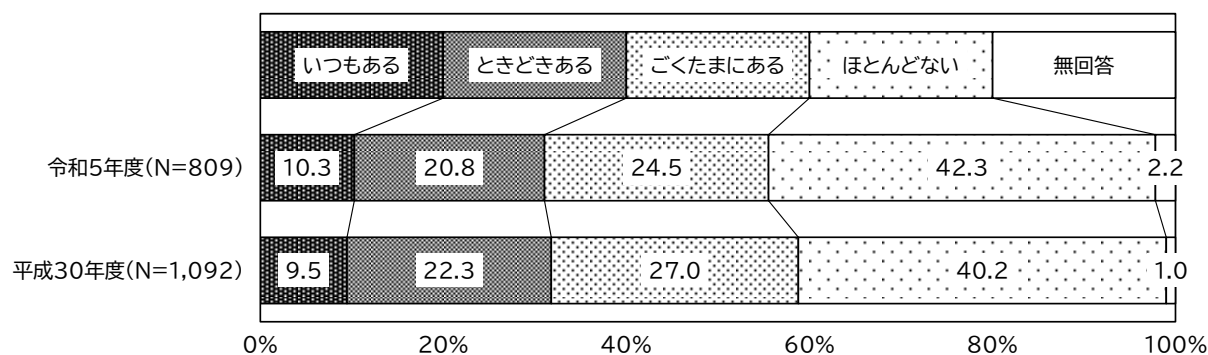
⑤ いろいろする



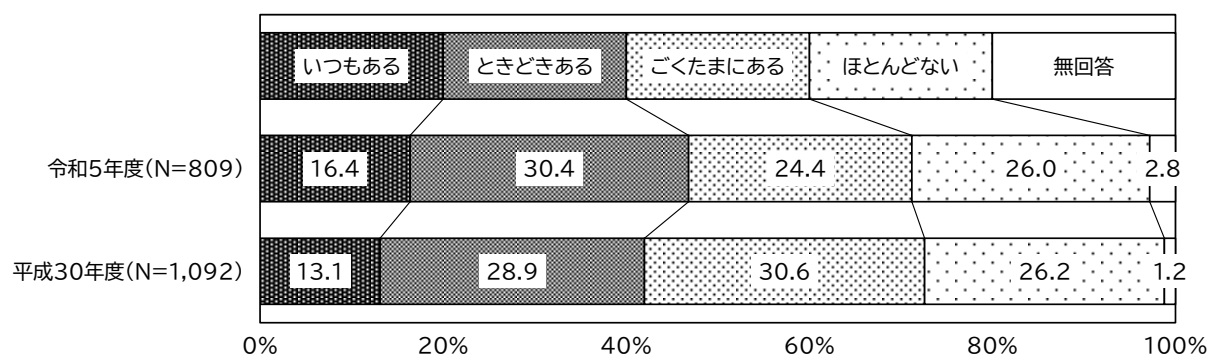
⑥ ゆううつになる、気持ちが落ち込む ※平成30年度は『ゆううつになる、気がふさぐ』



⑦ 身体がだるい



⑧ やる気が出ない



第2章 調査結果

◆① よくねむれない(よくねむくなる)(学年別、自己肯定感別)

『① よくねむれない(よくねむくなる)』について学年別にみると、学年が上がるほど《ある》の割合が高くなり、「ほとんどない」の割合が低くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、《ある》の割合が高くなり、「ほとんどない」の割合が低くなっている。

最近の身体や心の調子:① よくねむれない(よくねむくなる)(全体、学年別、自己肯定感別)

			いつも もある	とき どき ある	ごく たま にある	ほと んど ない	無 回 答
全		体 (N=809)	12.5	28.2	19.0	39.2	1.1
学 年 別	1	年 生 (n=279)	11.5	24.4	18.3	44.4	1.4
	2	年 生 (n=251)	11.6	29.1	21.1	37.8	0.4
	3	年 生 (n=261)	13.0	31.4	18.8	35.2	1.5
自 己 肯 定 感 別	自分自身のこととても好き (n=196)		10.2	12.8	15.3	60.2	1.5
	自分自身のことまあ好き (n=247)		9.7	26.3	22.7	40.1	1.2
	どちらでもない (n=182)		8.8	34.6	20.9	35.2	0.5
	自分自身のことあまり好きではない (n=102)		18.6	41.2	19.6	20.6	0.0
	自分自身のことまったく好きではない (n= 71)		26.8	42.3	11.3	18.3	1.4

◆② いつも疲れている感じがする(学年別、自己肯定感別)

『② いつも疲れている感じがする』について学年別にみると、学年が上がるほど《ある》の割合が高くなり、「ほとんどない」の割合が低くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、《ある》の割合が高くなり、「ほとんどない」の割合が低くなっている。

最近の身体や心の調子:② いつも疲れている感じがする(全体、学年別、自己肯定感別)

			いつも もある	とき どき ある	ごく たま にある	ほと んど ない	無 回 答
全		体 (N=809)	22.2	25.1	22.0	24.7	5.9
学 年 別	1	年 生 (n=279)	21.1	22.2	23.3	28.7	4.7
	2	年 生 (n=251)	24.3	21.5	23.5	25.9	4.8
	3	年 生 (n=261)	21.5	31.4	19.9	18.8	8.4
自 己 肯 定 感 別	自分自身のこととても好き (n=196)		14.8	19.4	18.4	41.3	6.1
	自分自身のことまあ好き (n=247)		15.0	27.9	27.9	24.7	4.5
	どちらでもない (n=182)		17.0	26.9	26.9	21.4	7.7
	自分自身のことあまり好きではない (n=102)		37.3	34.3	14.7	8.8	4.9
	自分自身のことまったく好きではない (n= 71)		62.0	15.5	11.3	8.5	2.8

◆③ 食欲がわからない(学年別、自己肯定感別)

『③ 食欲がわからない』について学年別にみると、学年が上がるほど《ある》の割合が高くなり、「ほとんどない」の割合が低くなっている。

自己肯定感別にみると、自分自身のことがあまり好きではない人、自分自身のことがまったく好きではない人で《ある》の割合が5割を超えている。

最近の身体や心の調子:③ 食欲がわからない(全体、学年別、自己肯定感別)

			いつも ある	とき どき ある	ごく たま にある	ほと んど ない	無 回 答
全 体 (N=809)			2.7	13.1	16.1	63.2	4.9
学 年 別	1 年 生 (n=279)		1.8	11.8	14.7	65.9	5.7
	2 年 生 (n=251)		3.2	13.5	16.3	62.5	4.4
	3 年 生 (n=261)		3.4	12.6	17.6	61.7	4.6
自 己 肯 定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)		2.0	7.1	8.2	78.6	4.1
	自分自身のことがまあ好き (n=247)		1.2	11.7	15.0	66.8	5.3
	どちらでもない (n=182)		2.2	12.1	19.2	61.5	4.9
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)		2.9	25.5	24.5	44.1	2.9
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)		11.3	16.9	23.9	42.3	5.6

◆④ 頭痛・頭が重い(学年別、自己肯定感別)

『④ 頭痛・頭が重い』について学年別にみると、2年生で《ある》が51.4%と高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、《ある》の割合が高くなり、「ほとんどない」の割合が低くなっている。

最近の身体や心の調子:④ 頭痛・頭が重い(全体、学年別、自己肯定感別)

			いつも ある	とき どき ある	ごく たま にある	ほと んど ない	無 回 答
全 体 (N=809)			4.9	20.3	24.2	47.2	3.3
学 年 別	1 年 生 (n=279)		2.9	17.2	26.9	49.8	3.2
	2 年 生 (n=251)		4.8	20.3	26.3	45.8	2.8
	3 年 生 (n=261)		7.3	22.2	19.5	46.7	4.2
自 己 肯 定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)		1.5	13.3	24.0	58.7	2.6
	自分自身のことがまあ好き (n=247)		1.6	18.6	24.3	51.8	3.6
	どちらでもない (n=182)		5.5	24.2	25.8	41.2	3.3
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)		10.8	23.5	26.5	37.3	2.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)		16.9	32.4	19.7	29.6	1.4

第2章 調査結果

◆⑤ いろいろする(学年別、自己肯定感別)

『⑤ いろいろする』について学年別にみると、2年生で《ある》が67.8%と高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、《ある》の割合が高くなり、「ほとんどない」の割合が低くなっている。

最近の身体や心の調子:⑤ いろいろする(全体、学年別、自己肯定感別)

			いつもある	ときどきある	ごくたまにある	ほとんどない	無回答
全	体 (N=809)		9.5	26.5	28.9	31.9	3.2
学年別	1 年 生 (n=279)		9.0	22.6	30.8	34.8	2.9
	2 年 生 (n=251)		7.6	29.5	30.7	29.1	3.2
	3 年 生 (n=261)		11.1	26.8	25.7	32.6	3.8
自己肯定感別	自分自身のこととても好き (n=196)		7.1	20.9	26.5	43.4	2.0
	自分自身のことまあ好き (n=247)		4.9	23.1	35.2	35.6	1.2
	どちらでもない (n=182)		3.8	26.4	33.5	30.8	5.5
	自分自身のことあまり好きではない (n=102)		15.7	43.1	19.6	17.6	3.9
	自分自身のことまったく好きではない (n= 71)		38.0	31.0	14.1	11.3	5.6

◆⑥ ゆううつになる、気持ちが落ち込む(学年別、自己肯定感別)

『⑥ ゆううつになる、気持ちが落ち込む』について学年別にみると、学年が上がるほど《ある》の割合が高くなり、「ほとんどない」の割合が低くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、《ある》の割合が高くなり、「ほとんどない」の割合が低くなっている。

最近の身体や心の調子:⑥ ゆううつになる、気持ちが落ち込む(全体、学年別、自己肯定感別)

			いつもある	ときどきある	ごくたまにある	ほとんどない	無回答
全	体 (N=809)		11.5	22.9	21.8	40.8	3.1
学年別	1 年 生 (n=279)		9.3	17.6	24.4	46.2	2.5
	2 年 生 (n=251)		12.0	22.7	19.1	43.0	3.2
	3 年 生 (n=261)		12.6	28.0	21.8	33.7	3.8
自己肯定感別	自分自身のこととても好き (n=196)		4.1	15.8	20.9	56.1	3.1
	自分自身のことまあ好き (n=247)		4.5	22.3	23.1	46.6	3.6
	どちらでもない (n=182)		8.2	22.0	29.7	37.4	2.7
	自分自身のことあまり好きではない (n=102)		22.5	43.1	13.7	20.6	0.0
	自分自身のことまったく好きではない (n= 71)		49.3	21.1	11.3	16.9	1.4

◆⑦ 身体がだるい(学年別、自己肯定感別)

『⑦ 身体がだるい』について学年別にみると、2年生で《ある》が59.0%と高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分自身のことがあまり好きではない人、自分自身のことがまったく好きではない人で《ある》の割合が7割を超えている。

最近の身体や心の調子:⑦ 身体がだるい(全体、学年別、自己肯定感別)

			いつも ある	とき どき ある	ごく たま にある	ほと んど ない	無 回 答
全		体 (N=809)	10.3	20.8	24.5	42.3	2.2
学 年 別	1	年 生 (n=279)	8.2	17.2	25.8	47.0	1.8
	2	年 生 (n=251)	11.2	22.7	25.1	39.0	2.0
	3	年 生 (n=261)	11.1	22.6	23.0	40.2	3.1
自 己 肯 定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)		5.6	12.2	21.4	58.7	2.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)		4.9	20.2	31.2	42.9	0.8
	ど ち ら で も な い (n=182)		8.8	17.6	26.9	43.4	3.3
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)		14.7	44.1	18.6	19.6	2.9
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)		38.0	21.1	11.3	26.8	2.8

◆⑧ やる気が出ない(学年別、自己肯定感別)

『⑧ やる気が出ない』について学年別にみると、学年が上がるほど《ある》の割合が高くなり、「ほとんどない」の割合が低くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、「いつもある」の割合が高くなっている。

最近の身体や心の調子:⑧ やる気が出ない(全体、学年別、自己肯定感別)

			いつも ある	とき どき ある	ごく たま にある	ほと んど ない	無 回 答
全		体 (N=809)	16.4	30.4	24.4	26.0	2.8
学 年 別	1	年 生 (n=279)	12.2	26.2	29.4	29.4	2.9
	2	年 生 (n=251)	16.7	32.7	20.3	27.5	2.8
	3	年 生 (n=261)	20.3	33.7	21.8	21.1	3.1
自 己 肯 定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)		8.7	19.9	28.1	41.3	2.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)		9.3	31.6	28.7	28.3	2.0
	ど ち ら で も な い (n=182)		15.9	33.5	25.8	22.0	2.7
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)		30.4	44.1	15.7	8.8	1.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)		43.7	32.4	7.0	12.7	4.2

第2章 調査結果

◆⑨ 朝起きることができない(学年別、自己肯定感別)

『⑨ 朝起きることができない』について学年別にみると、学年が上がるほど《ある》の割合が低くなり、「ほとんどない」の割合が高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分自身のことがまったく好きではない人は「いつもある」が39.4%と高くなっている。

最近の身体や心の調子:⑨ 朝起きることができない(全体、学年別、自己肯定感別)

			いつもある	ときどきある	ごくたまにある	ほとんどない	無回答
全		体 (N=809)	19.7	18.8	22.7	36.2	2.6
学年別	1	年 生 (n=279)	16.5	22.2	24.0	35.1	2.2
	2	年 生 (n=251)	23.9	18.7	19.9	36.3	1.2
	3	年 生 (n=261)	18.4	15.3	24.9	36.8	4.6
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き (n=196)		20.4	12.8	21.9	43.4	1.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)		15.4	18.6	28.3	35.6	2.0
	どちらでもない (n=182)		20.3	21.4	19.8	35.2	3.3
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)		14.7	26.5	24.5	32.4	2.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)		39.4	18.3	8.5	31.0	2.8

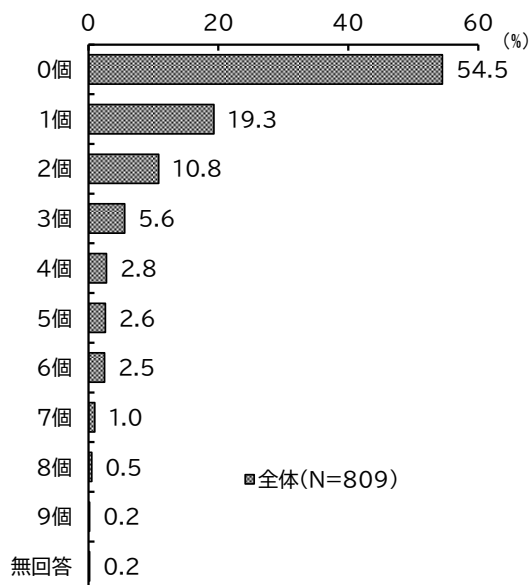
◆「いつもある」と回答した項目数

9つの項目について、「いつもある」と回答した項目数は、「0個(54.5%)」が半数を超えており、平均は1.1個となっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人は個数が多く、自分自身のことがあまり好きではない人は平均1.7個、自分自身のことがまったく好きではない人は平均3.3個となっている。

ゲーム時間別、SNS時間別、動画視聴時間別にみると、どれでも毎日5時間以上活動している人は平均個数が高い傾向にある。

最近の身体や心の調子「いつもある」と回答した個数(全体)



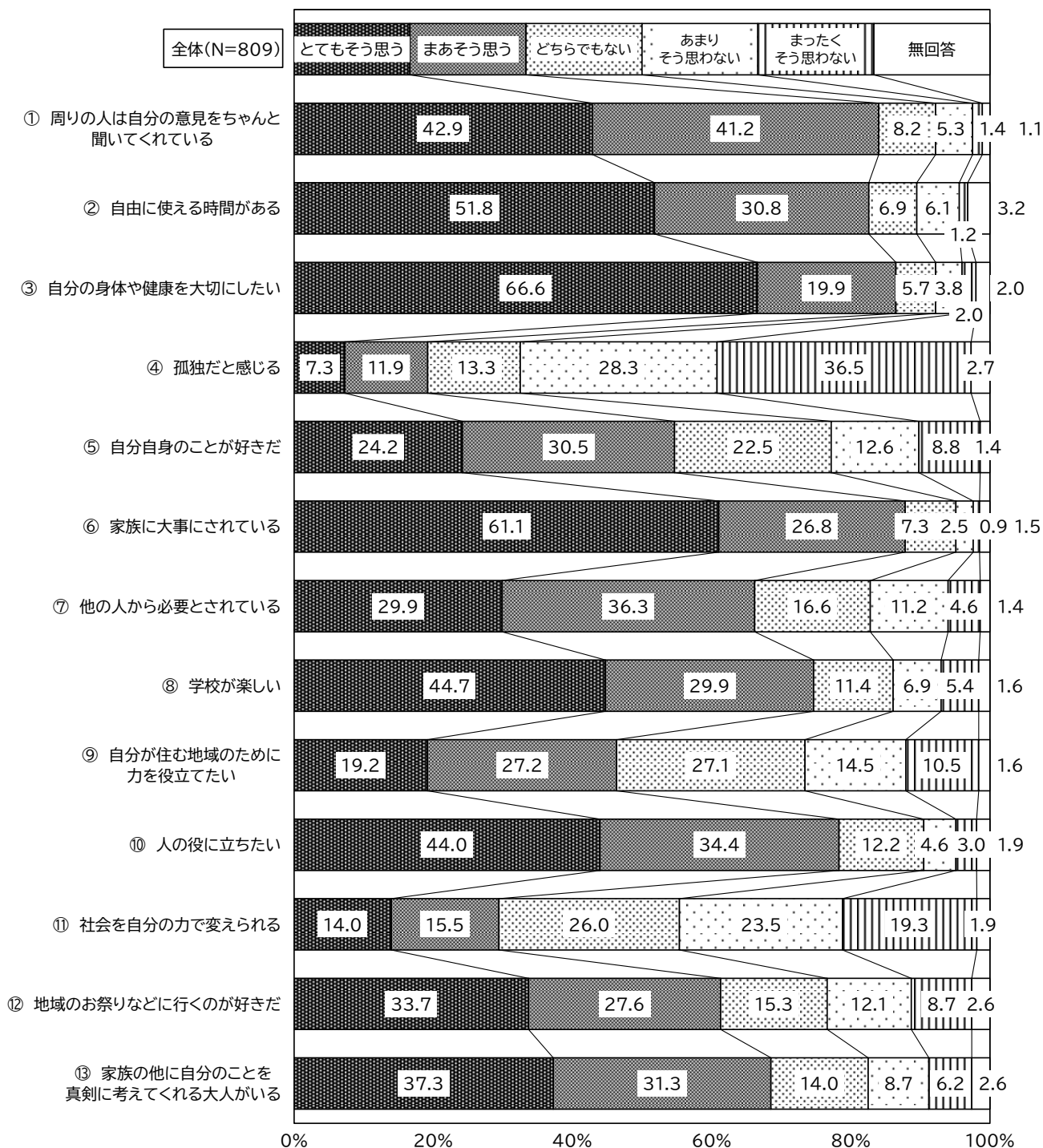
最近の身体や心の調子「いつもある」と回答した個数
(全体、自己肯定感別、ゲーム時間別、SNS時間別、動画視聴時間別)

		0個	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個	8個	9個	無回答	平均個数
全 体 (N=809)		54.5	19.3	10.8	5.6	2.8	2.6	2.5	1.0	0.5	0.2	0.2	1.1
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き (n=196)	65.3	16.3	7.7	3.6	2.0	2.0	1.0	0.5	0.5	0.0	1.0	0.8
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	66.0	18.6	8.5	2.8	1.6	0.4	0.8	0.8	0.4	0.0	0.0	0.7
	どちらでもない (n=182)	54.9	23.1	11.5	4.4	1.1	3.3	1.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.9
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	33.3	22.5	16.7	14.7	3.9	2.9	4.9	0.0	1.0	0.0	0.0	1.7
	自分自身のことがまったく好きではない (n=71)	15.5	15.5	14.1	9.9	12.7	9.9	12.7	5.6	1.4	2.8	0.0	3.3
ゲーム時間別	毎日5時間以上 (n=26)	30.8	23.1	7.7	7.7	11.5	11.5	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0	2.2
	毎日3～4時間 (n=85)	51.8	20.0	10.6	8.2	2.4	0.0	3.5	1.2	0.0	1.2	1.2	1.2
	毎日2時間以下 (n=256)	55.5	19.1	9.0	5.9	4.3	2.0	2.3	0.8	1.2	0.0	0.0	1.1
	週に3～4日 (n=93)	61.3	17.2	14.0	1.1	3.2	1.1	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
	週に1～2日 (n=103)	46.6	22.3	13.6	3.9	1.0	5.8	3.9	1.9	1.0	0.0	0.0	1.4
ぜんぜんしない (n=230)	58.7	18.3	10.0	6.5	1.3	1.7	1.7	1.3	0.0	0.0	0.4	0.9	
SNS時間別	毎日5時間以上 (n=33)	21.2	30.3	9.1	12.1	6.1	15.2	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
	毎日3～4時間 (n=97)	44.3	14.4	10.3	10.3	6.2	4.1	8.2	0.0	0.0	1.0	1.0	1.7
	毎日2時間以下 (n=493)	57.8	19.3	10.8	3.9	2.4	1.8	1.4	1.6	0.6	0.2	0.2	1.0
	週に3～4日 (n=47)	63.8	19.1	8.5	2.1	0.0	2.1	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	0.8
	週に1～2日 (n=31)	61.3	12.9	9.7	6.5	3.2	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
ぜんぜんしない (n=84)	54.8	22.6	10.7	8.3	1.2	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	
動画視聴時間別	毎日5時間以上 (n=63)	33.3	22.2	12.7	7.9	9.5	9.5	1.6	3.2	0.0	0.0	0.0	1.9
	毎日3～4時間 (n=162)	48.8	16.7	13.0	7.4	1.2	3.7	4.3	2.5	1.2	0.6	0.6	1.5
	毎日2時間以下 (n=409)	57.9	20.0	10.5	4.2	2.9	1.7	1.2	0.5	0.5	0.2	0.2	0.9
	週に3～4日 (n=76)	63.2	18.4	6.6	5.3	1.3	1.3	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
	週に1～2日 (n=41)	61.0	17.1	7.3	7.3	0.0	2.4	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
ぜんぜんしない (n=47)	53.2	23.4	10.6	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	

(2)自分への思い、家族と学校、周囲への思い(問6)

自分への思い、家族学校、周囲への思いは、《そう思う》(「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計)の割合が『⑥ 家族に大事にされている(87.9%)』で最も高く、『③ 自分の身体や健康を大切にしたい(86.5%)』、『① 周りの人は自分の意見をちゃんと聞いてくれている(84.1%)』、『② 自由に使える時間がある(82.6%)』で8割を超えている。

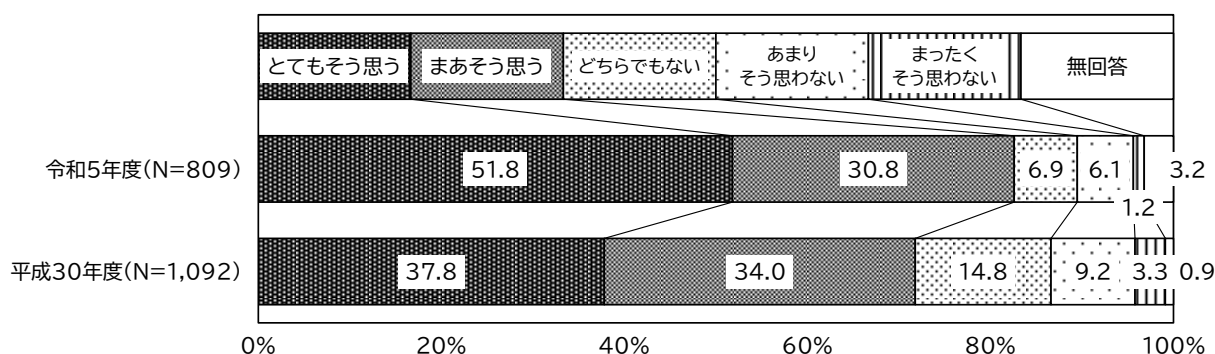
自分への思い、家族と学校、周囲への思い(全体)



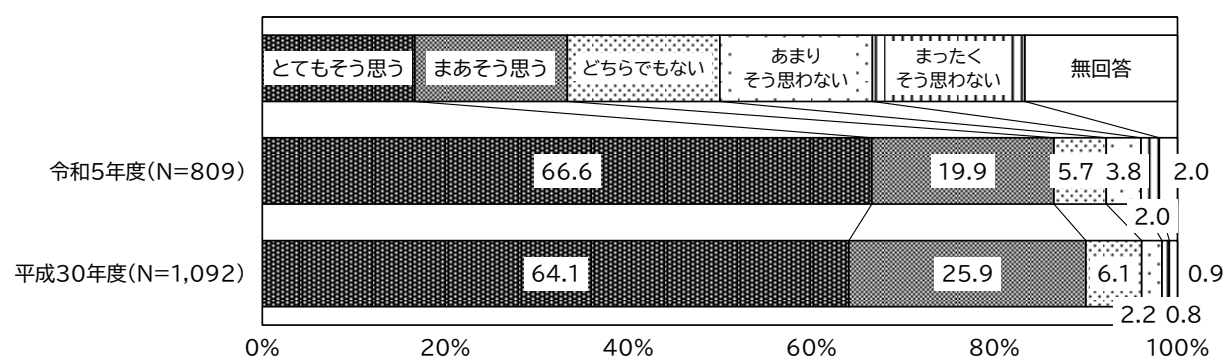
経年比較をすると、『そう思う』の割合が『② 自由に使える時間がある』、『④ 孤独だと感じる』、『⑤ 自分自身のことが好きだ』、『⑦ 他の人から必要とされている』で高くなっている。また、『⑨自分が住む地域のために力を役立てたい』、『⑩人の役に立ちたい』は低くなっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い(全体)【経年比較】

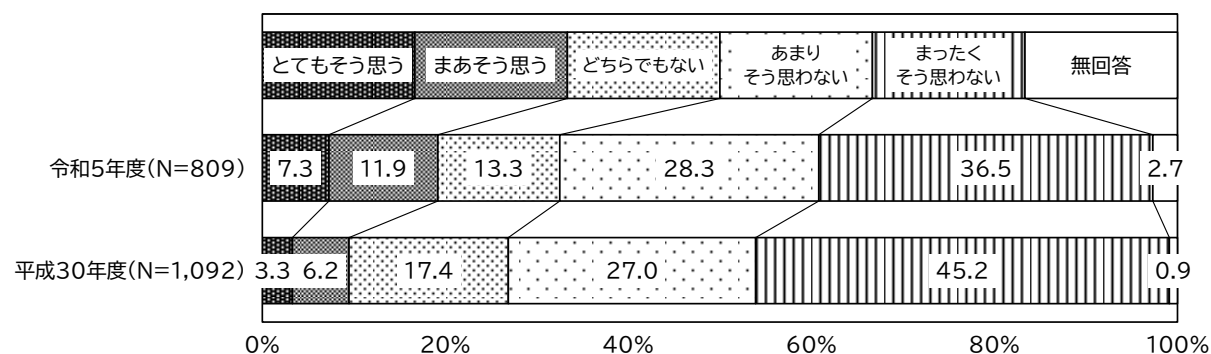
② 自由に使える時間がある ※平成 30 年度は『私は自由な時間があると思う』



③ 自分の身体や健康を大切にしたい ※平成 30 年度は『自分の体や健康を大切にしたいと思う』



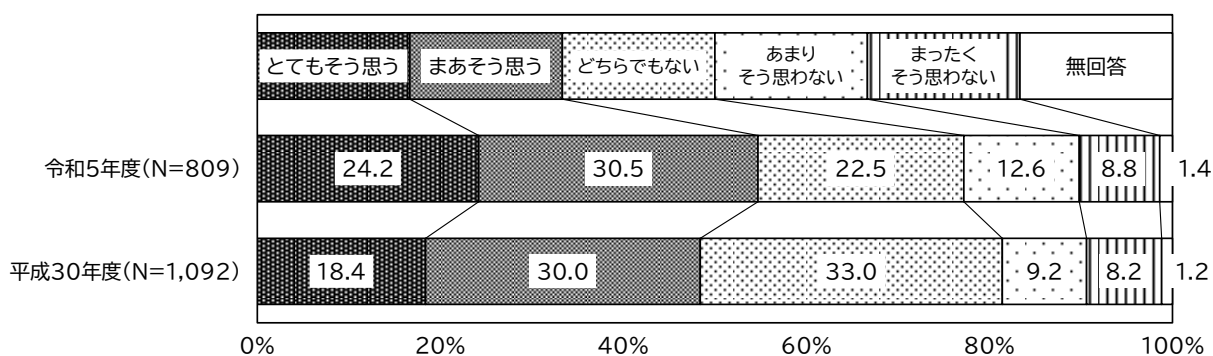
④ 孤独だと感じる ※平成 30 年度は『私は孤独だと感じる』



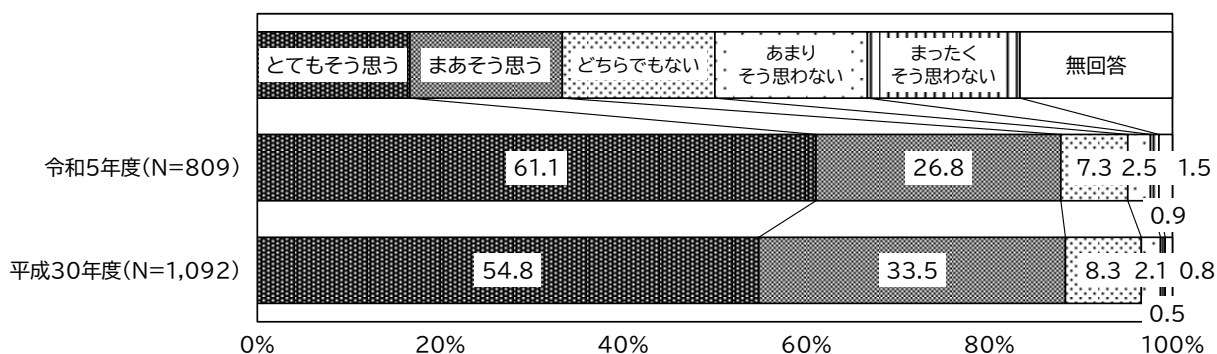
※平成 30 年度は、選択肢が「すごくそう思う」、「まあそう思う」、「どちらでもない」、「あまりそう思わない」、「ほとんどそう思わない」となっている。

第2章 調査結果

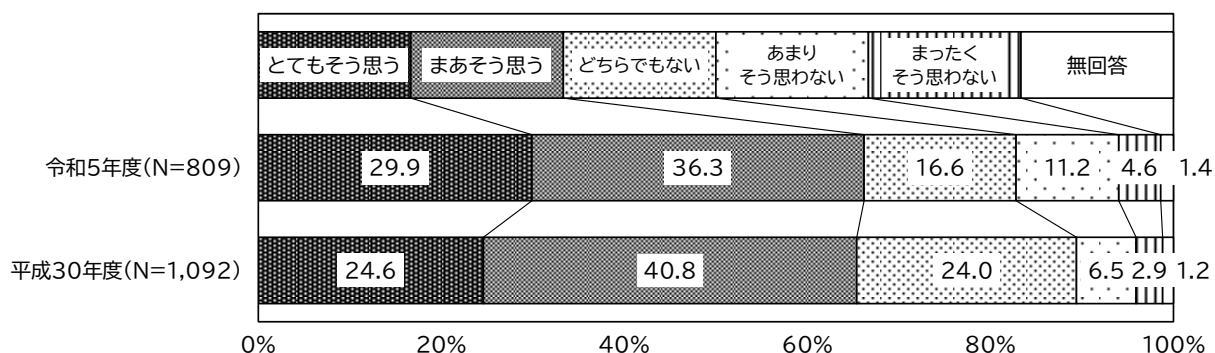
⑤ 自分自身のことが好きだ ※平成 30 年度は『自分自身のことが好きだと思う』



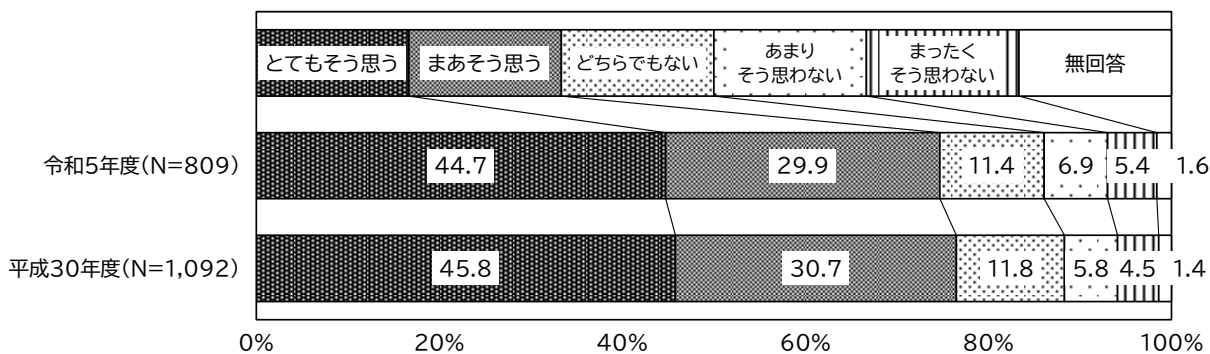
⑥ 家族に大事にされている ※平成 30 年度は『自分は家族に大事にされていると思う』



⑦ 他の人から必要とされている ※平成 30 年度は『他の人から必要とされていると思う』



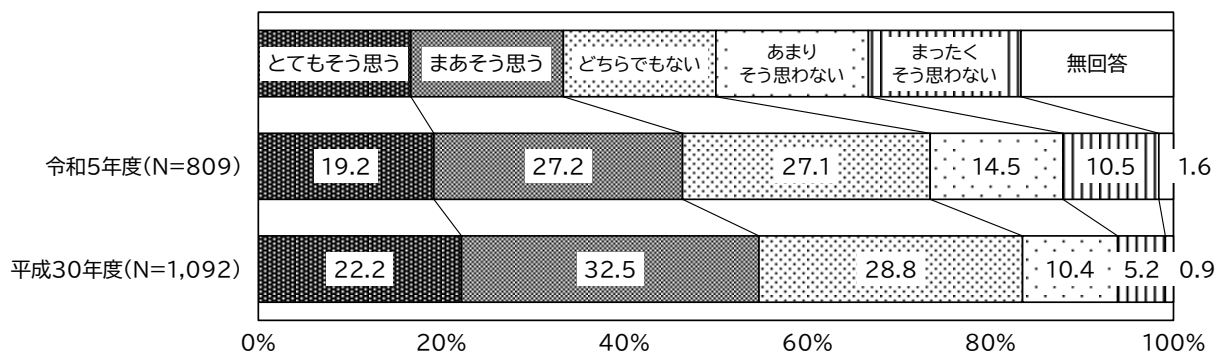
⑧ 学校が楽しい ※平成 30 年度は『学校が楽しいと思う』



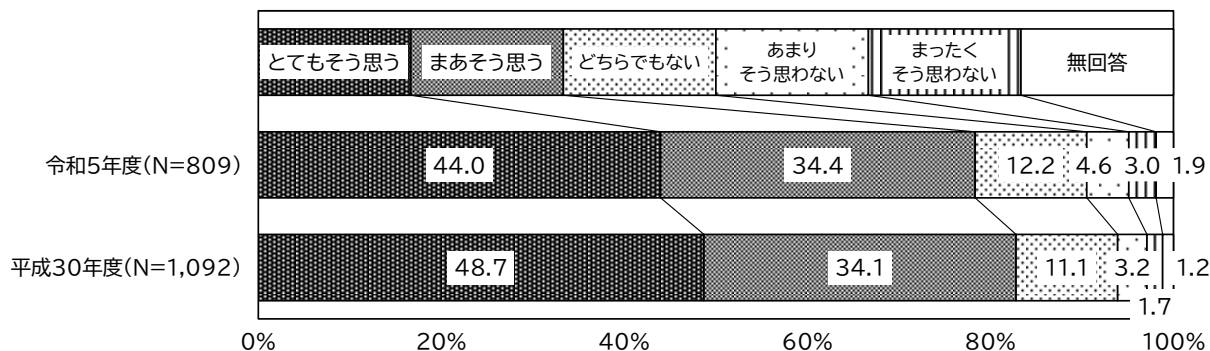
※平成 30 年度は、選択肢が「すごくそう思う」、「まあそう思う」、「どちらでもない」、「あまりそう思わない」、「ほとんどそう思わない」となっている。

⑨ 自分が住む地域のために力を役立てたい

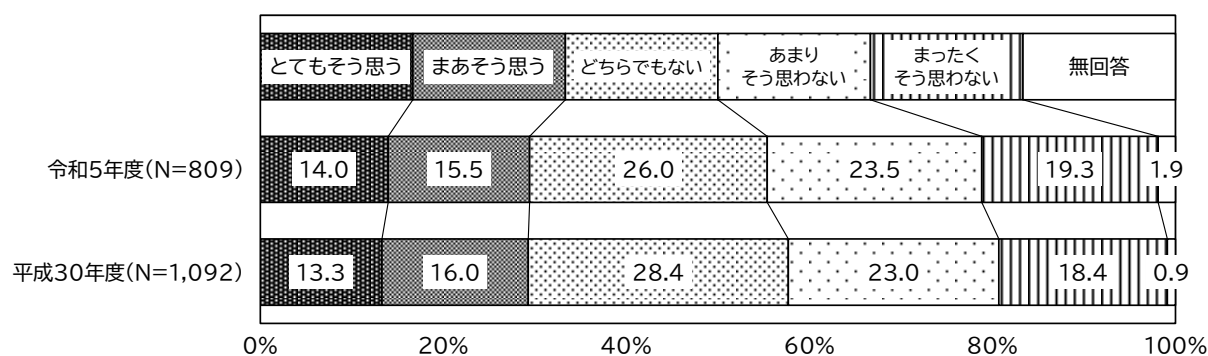
※平成 30 年度は『自分が住む地域のために力を役立てたいと思う』



⑩ 人の役に立ちたい ※平成 30 年度は『人の役に立ちたいと思う』



⑪ 社会を自分の力で変えられる ※平成 30 年度は『社会を自分の力で変えられると思う』



※平成 30 年度は、選択肢が「すごくそう思う」、「まあそう思う」、「どちらでもない」、「あまりそう思わない」、「ほとんどそう思わない」となっている。

第2章 調査結果

◆① 周りの人は自分の意見をちゃんと聞いている(自己肯定感別)

『① 周りの人は自分の意見をちゃんと聞いている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、《そう思う》の割合が低く、自分自身のことがとても好きな人では94.9%であるが、自分自身のことがまったく好きではない人では52.1%となっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い:① 周りの人は自分の意見をちゃんと聞いている
(全体、自己肯定感別)

		(%)					
		とても そう 思う	まあ そう 思う	ど ち ら で も な い	な あ ま り そ う 思 わ	わ ま っ た く そ う 思	無 回 答
全	体 (N=809)	42.9	41.2	8.2	5.3	1.4	1.1
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	66.8	28.1	3.1	0.0	1.5	0.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	48.6	40.5	6.9	3.2	0.4	0.4
	どちらでもない (n=182)	33.5	51.1	11.5	3.3	0.0	0.5
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	20.6	56.9	9.8	12.7	0.0	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	16.9	35.2	16.9	21.1	9.9	0.0

◆② 自由に使える時間がある(自己肯定感別)

『② 自由に使える時間がある』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、《そう思う》の割合が低く、自分自身のことがとても好きな人では86.7%であるが、自分自身のことがまったく好きではない人では63.4%となっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い:② 自由に使える時間がある(全体、自己肯定感別)

		(%)					
		とても そう 思う	まあ そう 思う	ど ち ら で も な い	な あ ま り そ う 思 わ	わ ま っ た く そ う 思	無 回 答
全	体 (N=809)	51.8	30.8	6.9	6.1	1.2	3.2
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	69.4	17.3	4.6	4.1	2.0	2.6
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	50.6	33.6	5.7	5.7	1.2	3.2
	どちらでもない (n=182)	45.6	38.5	9.3	4.4	0.0	2.2
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	46.1	37.3	7.8	6.9	0.0	2.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	33.8	29.6	11.3	16.9	4.2	4.2

◆③ 自分の身体や健康を大切にしたい(自己肯定感別)

『③ 自分の身体や健康を大切にしたい』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、《そう思う》の割合が低く、自分自身のことがとても好きな人では 97.0%であるが、自分自身のことがまったく好きではない人では 49.3%となっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い:③ 自分の身体や健康を大切にしたい
(全体、自己肯定感別)

							(%)
		とても そう 思う	まあ そう 思う	ど ち ら で も な い	な あ い ま り そ う 思 わ	わ ま な い た く そ う 思	無 回 答
全	体 (N=809)	66.6	19.9	5.7	3.8	2.0	2.0
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	88.8	8.2	1.5	0.0	0.5	1.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	76.9	18.2	1.6	2.0	0.0	1.2
	ど ち ら で も な い (n=182)	57.7	30.8	8.8	1.1	0.0	1.6
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	45.1	28.4	13.7	10.8	2.0	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	31.0	18.3	12.7	18.3	18.3	1.4

◆④ 孤独だと感じる(自己肯定感別)

『④ 孤独だと感じる』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人では《そう思う》の割合が高く、自分自身のことがあまり好きではない人では 28.4%、自分自身のことがまったく好きではない人では 49.3%となっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い:④ 孤独だと感じる(全体、自己肯定感別)

							(%)
		とても そう 思う	まあ そう 思う	ど ち ら で も な い	な あ い ま り そ う 思 わ	わ ま な い た く そ う 思	無 回 答
全	体 (N=809)	7.3	11.9	13.3	28.3	36.5	2.7
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	10.2	6.1	6.1	18.9	56.6	2.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	1.6	11.3	9.3	35.2	39.7	2.8
	ど ち ら で も な い (n=182)	2.7	11.5	21.4	33.5	28.6	2.2
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	8.8	19.6	20.6	28.4	22.5	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	28.2	21.1	16.9	14.1	15.5	4.2

第2章 調査結果

◆⑥ 家族に大事にされている(自己肯定感別)

『⑥ 家族に大事にされている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、《そう思う》の割合が低く、自分自身のことがとても好きな人では 95.9%であるが、自分自身のことがまったく好きではない人では 57.8%となっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い:⑥ 家族に大事にされている(全体、自己肯定感別)
(%)

		とても そう 思う	まあ そう 思う	ど ち ら で も な い	な あ い ま り そ う 思 わ	わ ま な い た く そ う 思	無 回 答
全	体 (N=809)	61.1	26.8	7.3	2.5	0.9	1.5
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	86.2	9.7	3.1	0.5	0.0	0.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	63.6	29.6	4.9	1.2	0.0	0.8
	どちらでもない (n=182)	50.0	36.3	9.9	2.2	0.0	1.6
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	48.0	38.2	7.8	3.9	1.0	1.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	31.0	26.8	19.7	11.3	8.5	2.8

◆⑦ 他の人から必要とされている(自己肯定感別)

『⑦ 他の人から必要とされている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、《そう思う》の割合が低く、自分自身のことがとても好きな人では 90.9%であるが、自分自身のことがまったく好きではない人では 14.1%となっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い:⑦ 他の人から必要とされている(全体、自己肯定感別)
(%)

		とても そう 思う	まあ そう 思う	ど ち ら で も な い	な あ い ま り そ う 思 わ	わ ま な い た く そ う 思	無 回 答
全	体 (N=809)	29.9	36.3	16.6	11.2	4.6	1.4
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	67.9	23.0	4.1	2.0	1.5	1.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	27.5	53.4	10.5	6.9	1.2	0.4
	どちらでもない (n=182)	15.4	41.8	33.5	8.8	0.5	0.0
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	10.8	28.4	24.5	28.4	7.8	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	1.4	12.7	19.7	35.2	31.0	0.0

◆⑧ 学校が楽しい(自己肯定感別)

『⑧ 学校が楽しい』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、『そう思う』の割合が低く、自分自身のことがとても好きな人では86.7%であるが、自分自身のことがまったく好きではない人では36.7%となっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：⑧ 学校が楽しい(全体、自己肯定感別)

		(%)					
		とても そう 思う	まあ そう 思う	ど ち ら で も な い	な あ ま り そ う 思 わ	わ ま っ た く そ う 思	無 回 答
全	体 (N=809)	44.7	29.9	11.4	6.9	5.4	1.6
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	71.4	15.3	7.1	3.1	2.0	1.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	49.0	36.4	7.7	4.5	2.0	0.4
	どちらでもない (n=182)	36.8	34.1	18.7	6.0	2.7	1.6
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	23.5	38.2	14.7	15.7	7.8	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	9.9	26.8	14.1	15.5	31.0	2.8

◆⑨ 自分が住む地域のために力を役立てたい(自己肯定感別)

『⑨ 自分が住む地域のために力を役立てたい』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、『そう思う』の割合が低く、自分自身のことがとても好きな人では60.2%であるが、自分自身のことがまったく好きではない人では22.6%となっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：⑨ 自分が住む地域のために力を役立てたい
(全体、自己肯定感別)

		(%)					
		とても そう 思う	まあ そう 思う	ど ち ら で も な い	な あ ま り そ う 思 わ	わ ま っ た く そ う 思	無 回 答
全	体 (N=809)	19.2	27.2	27.1	14.5	10.5	1.6
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	37.2	23.0	21.4	11.7	6.1	0.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	18.6	33.2	25.5	12.6	8.5	1.6
	どちらでもない (n=182)	9.9	31.3	35.7	15.4	7.1	0.5
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	7.8	27.5	30.4	22.5	11.8	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	12.7	9.9	25.4	12.7	38.0	1.4

第2章 調査結果

◆⑩ 人の役に立ちたい(自己肯定感別)

『⑩ 人の役に立ちたい』について自己肯定感別にみると、自分自身のことがまったく好きではない人では、《そう思う》が59.1%と低くなっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：⑩ 人の役に立ちたい(全体、自己肯定感別)

		(%)					
		と と も そ う 思 う	ま あ そ う 思 う	ど ち ら で も な い	な あ ま り そ う 思 わ ない	わ ま っ た く そ う 思 い	無 回 答
全	体 (N=809)	44.0	34.4	12.2	4.6	3.0	1.9
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	65.3	24.0	5.6	2.0	2.6	0.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	44.9	39.3	8.1	3.6	2.4	1.6
	どちらでもない (n=182)	30.8	39.6	20.9	5.5	1.6	1.6
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	32.4	43.1	13.7	9.8	1.0	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	38.0	21.1	21.1	5.6	12.7	1.4

◆⑪ 社会を自分の力で変えられる(自己肯定感別)

『⑪ 社会を自分の力で変えられる』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、《そう思う》の割合が低く、自分自身のことがとても好きな人では53.0%であるが、自分自身のことがまったく好きではない人では9.8%となっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：⑪ 社会を自分の力で変えられる(全体、自己肯定感別)

		(%)					
		と と も そ う 思 う	ま あ そ う 思 う	ど ち ら で も な い	な あ ま り そ う 思 わ ない	わ ま っ た く そ う 思 い	無 回 答
全	体 (N=809)	14.0	15.5	26.0	23.5	19.3	1.9
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	35.7	17.3	16.3	17.3	12.2	1.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	9.7	21.9	34.0	20.6	12.1	1.6
	どちらでもない (n=182)	5.5	14.3	34.1	28.6	16.5	1.1
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	4.9	6.9	18.6	36.3	33.3	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	4.2	5.6	16.9	19.7	52.1	1.4

◆⑫ 地域のお祭りなどに行くのが好きだ(自己肯定感別)

『⑫ 地域のお祭りなどに行くのが好きだ』について自己肯定感別にみると、自分自身のことがまったく好きではない人では、《そう思う》が42.3%と低くなっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：⑫ 地域のお祭りなどに行くのが好きだ
(全体、自己肯定感別)

		(%)					
		とても そう 思う	まあ そう 思う	ど ち ら で も な い	な あ い ま り そ う 思 わ	わ ま な い た く そ う 思	無 回 答
全	体 (N=809)	33.7	27.6	15.3	12.1	8.7	2.6
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	49.0	25.0	11.7	7.1	5.1	2.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	38.5	27.1	13.4	12.6	5.7	2.8
	どちらでもない (n=182)	20.3	34.1	24.2	13.2	7.1	1.1
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	25.5	32.4	15.7	18.6	7.8	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	26.8	15.5	11.3	11.3	33.8	1.4

◆⑬ 家族の他に自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる(自己肯定感別)

『⑬ 家族の他に自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、《そう思う》の割合が低く、自分自身のことがとても好きな人では83.2%であるが、自分自身のことがまったく好きではない人では42.3%となっている。

自分への思い、家族と学校、周囲への思い：

⑬ 家族の他に自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる(全体、自己肯定感別)

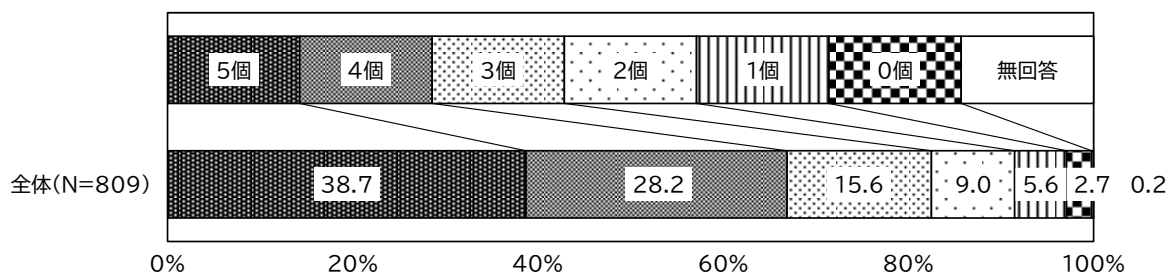
		(%)					
		とても そう 思う	まあ そう 思う	ど ち ら で も な い	な あ い ま り そ う 思 わ	わ ま な い た く そ う 思	無 回 答
全	体 (N=809)	37.3	31.3	14.0	8.7	6.2	2.6
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	68.4	14.8	7.1	2.6	5.6	1.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	36.0	38.9	11.3	7.3	2.8	3.6
	どちらでもない (n=182)	24.2	38.5	20.9	10.4	4.9	1.1
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	22.5	33.3	19.6	15.7	7.8	1.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	14.1	28.2	16.9	16.9	21.1	2.8

第2章 調査結果

◆家族・学校・周囲との肯定的な5つの体験について「はい」と回答した項目数

『① 周りの人は自分の意見をちゃんと聞いてくれている』、『⑥ 家族に大事にされている』、『⑧ 学校が楽しい』、『⑫ 地域のお祭りなどに行くのが好きだ』、『⑬ 家族の他に自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる』の5つの体験について、「とてもそう思う」・「まあそう思う」と回答した項目数は、「5個」が38.7%で最も高くなっており、平均は3.8個となっている。

家族・学校・周囲との肯定的な体験について「とてもそう思う」・「まあそう思う」と回答した項目数
(全体)



家族・学校・周囲との肯定的な5つの体験について「とてもそう思う」・「まあそう思う」と回答した項目数を自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人は個数が少ない傾向にあり、自分自身のことがあまり好きではない人は平均3.4個、自分自身のことがまったく好きではない人は平均2.3個となっている。

家族・学校・周囲との肯定的な体験について「とてもそう思う」・「まあそう思う」と回答した項目数
(全体、自己肯定感別)

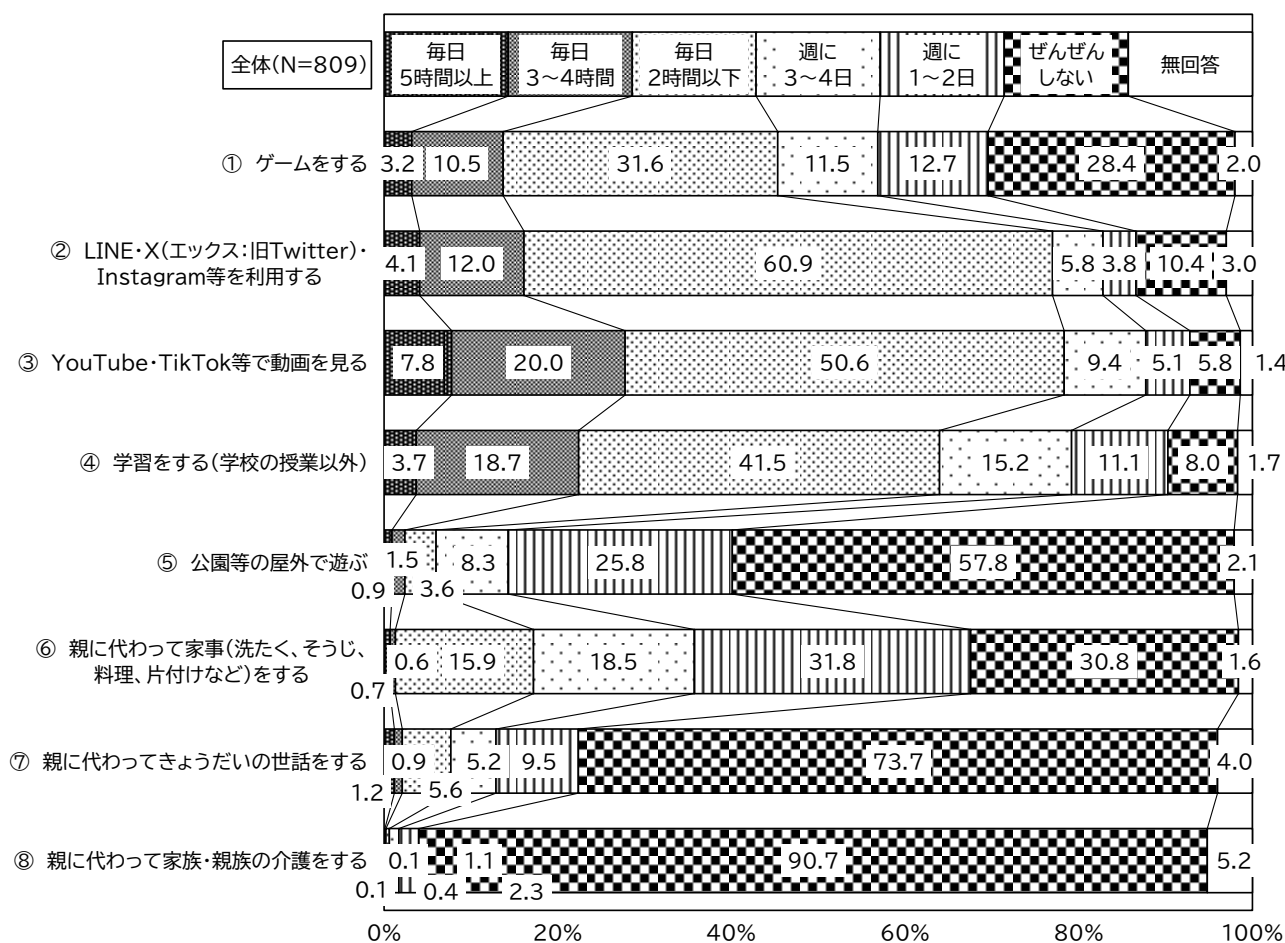
		(%)							平均 個数
		5 個	4 個	3 個	2 個	1 個	0 個	無 回 答	
全	体 (N=809)	38.7	28.2	15.6	9.0	5.6	2.7	0.2	3.8
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	56.6	27.6	11.2	3.6	0.5	0.5	0.0	4.4
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	45.7	30.8	13.4	6.9	2.4	0.8	0.0	4.1
	どちらでもない (n=182)	32.4	27.5	19.2	11.0	7.1	2.7	0.0	3.6
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	21.6	31.4	23.5	12.7	9.8	1.0	0.0	3.4
	自分自身のことがまったく好きではない (n=71)	9.9	18.3	16.9	21.1	15.5	18.3	0.0	2.3

(3)ふだんの活動(問7)

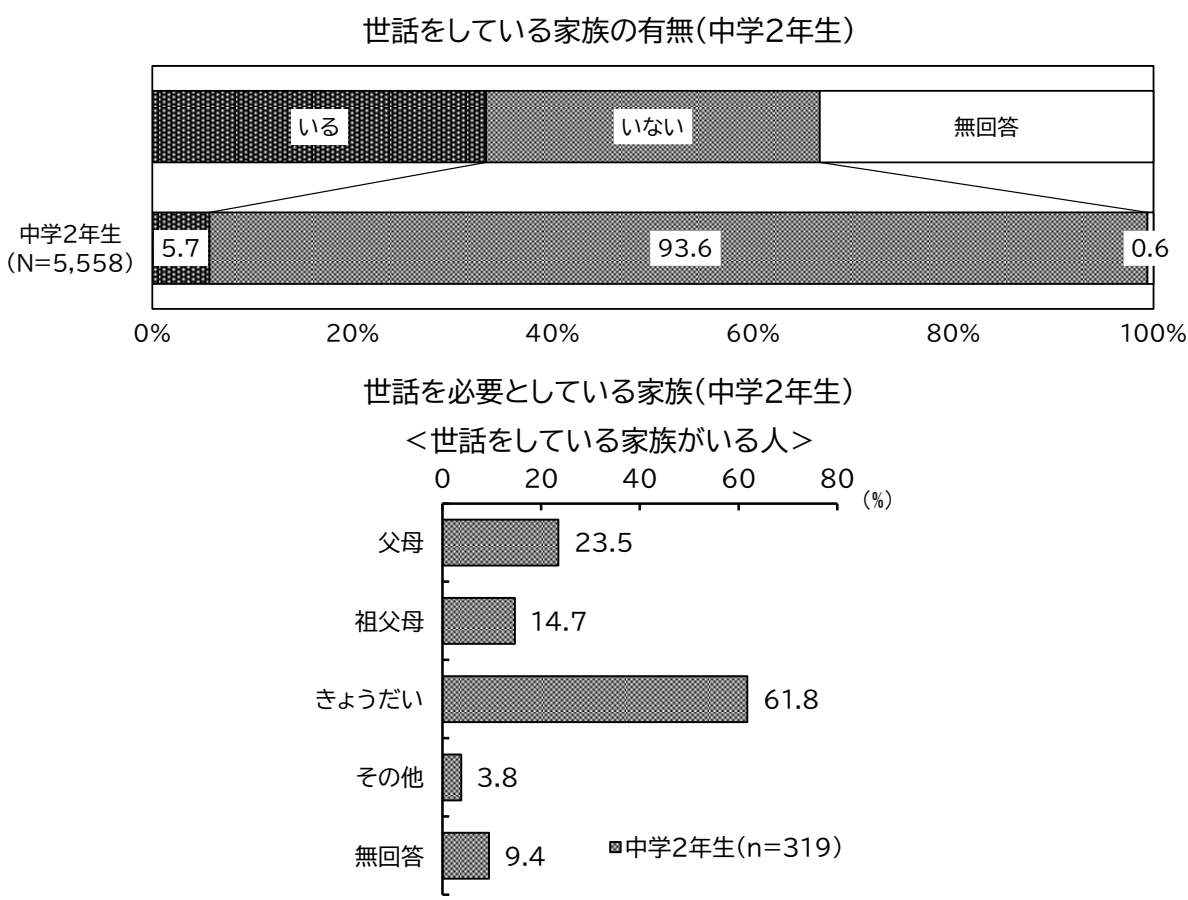
ふだんの活動は、「毎日5時間以上」の割合が『③ YouTube・TikTok 等で動画を見る(7.8%)』で最も高く、『② LINE・X(エックス:旧 Twitter)・Instagram 等を利用する(4.1%)』、『④ 学習をする(学校の授業以外)(3.7%)』が続いている。

また、「毎日」(「毎日5時間以上」、「毎日3~4時間」、「毎日2時間以下」の計)の割合は、『③ YouTube・TikTok 等で動画を見る(78.4%)』と『② LINE・X(エックス:旧 Twitter)・Instagram 等を利用する(77.0%)』で7割を超えている。

ふだんの活動(全体)



<参考> 国のヤングケアラーに関する実態調査: 中学2年生(公立中学校)



◆① ゲームをする(学年別)

『① ゲームをする』について学年別にみると、2年生で《毎日(51.5%)》が半数を超えて高く、平均日数も 3.2 日と他の学年より高くなっている。

ふだんの活動:① ゲームをする(全体、学年別)

		(%)							
		毎日 5時間 以上	毎日 3 〜 4時間	毎日 2時間 以下	週に 3 〜 4日	週に 1 〜 2日	ぜん ぜん しない	無 回 答	平均 日 数
全	体 (N=809)	3.2	10.5	31.6	11.5	12.7	28.4	2.0	2.9
学 年 別	1年生 (n=279)	2.9	9.0	30.5	14.0	14.3	28.0	1.4	2.9
	2年生 (n=251)	4.0	12.0	35.5	11.2	12.7	22.7	2.0	3.2
	3年生 (n=261)	3.1	9.6	30.7	9.6	11.1	33.7	2.3	2.7

※平均は毎日を 5.0、「週に3〜4日」を 3.5 日、「週に1〜2日」を 1.5 日、「ぜんぜんしない」を 0 日で算出している。

◆② LINE・X(エックス:旧 Twitter)・Instagram 等を利用する(学年別)

『② LINE・X(エックス:旧 Twitter)・Instagram 等を利用する』について学年別にみると、3年生で《毎日(80.1%)》が8割を超えて高く、平均日数も 4.4 日と他の学年より高くなっている。

ふだんの活動:② LINE・X(エックス:旧 Twitter)・Instagram 等を利用する(全体、学年別)
(%)

		毎日5時間以上	毎日3～4時間	毎日2時間以下	週に3～4日	週に1～2日	ぜんぜんしない	無回答	平均日数
全 体 (N=809)		4.1	12.0	60.9	5.8	3.8	10.4	3.0	4.2
学 年 別	1 年 生 (n=279)	5.0	10.8	58.8	6.8	4.7	11.8	2.2	4.1
	2 年 生 (n=251)	4.8	12.7	58.6	6.8	2.8	11.2	3.2	4.2
	3 年 生 (n=261)	2.7	12.6	64.8	4.2	4.2	8.0	3.4	4.4

◆③ YouTube・TikTok 等で動画を見る(学年別)

『③ YouTube・TikTok 等で動画を見る』について学年別にみると、2年生、3年生で《毎日》が8割を超えて高く、いずれも平均日数は 4.5 日となっている。

ふだんの活動:③ YouTube・TikTok 等で動画を見る(全体、学年別)
(%)

		毎日5時間以上	毎日3～4時間	毎日2時間以下	週に3～4日	週に1～2日	ぜんぜんしない	無回答	平均日数
全 体 (N=809)		7.8	20.0	50.6	9.4	5.1	5.8	1.4	4.4
学 年 別	1 年 生 (n=279)	8.2	17.2	48.0	12.2	5.4	8.6	0.4	4.2
	2 年 生 (n=251)	8.8	23.1	49.4	8.4	3.6	5.2	1.6	4.5
	3 年 生 (n=261)	6.5	18.8	55.2	8.0	6.1	3.4	1.9	4.5

※平均は毎日を 5.0、「週に3～4日」を 3.5 日、「週に1～2日」を 1.5 日、「ぜんぜんしない」を 0 日で算出している。

第2章 調査結果

◆④ 学習をする(学校の授業以外)(学年別)

『④ 学習をする(学校の授業以外)』について学年別にみると、3年生で《毎日(72.9%)》が7割を超えて高く、平均日数は4.3日となっている。

ふだんの活動:④ 学習をする(学校の授業以外)(全体、学年別)

		(%)							平均日数
		毎日5時間以上	毎日3～4時間	毎日2時間以下	週に3～4日	週に1～2日	ぜんぜんしない	無回答	
全	体 (N=809)	3.7	18.7	41.5	15.2	11.1	8.0	1.7	4.0
学 年 別	1年生 (n=279)	3.2	17.6	40.9	18.3	13.6	5.4	1.1	4.0
	2年生 (n=251)	2.4	15.5	39.4	15.5	11.6	13.9	1.6	3.6
	3年生 (n=261)	5.4	23.4	44.1	11.5	8.4	5.0	2.3	4.3

◆⑤ 公園等の屋外で遊ぶ(学年別)

『⑤ 公園等の屋外で遊ぶ』について学年別にみると、3年生で「ぜんぜんしない(72.4%)」が7割を超えて高くなっている。

ふだんの活動:⑤ 公園等の屋外で遊ぶ(全体、学年別)

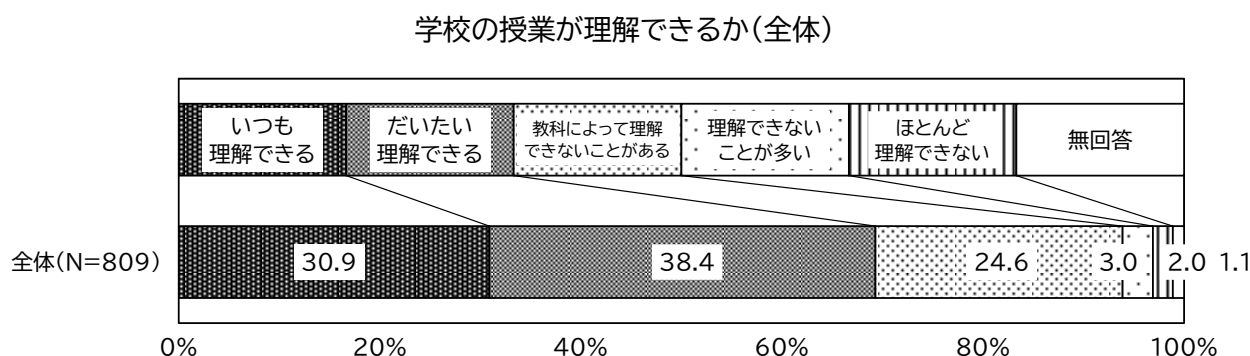
		(%)							平均日数
		毎日5時間以上	毎日3～4時間	毎日2時間以下	週に3～4日	週に1～2日	ぜんぜんしない	無回答	
全	体 (N=809)	0.9	1.5	3.6	8.3	25.8	57.8	2.1	1.0
学 年 別	1年生 (n=279)	0.7	3.2	5.4	11.5	29.0	49.5	0.7	1.3
	2年生 (n=251)	1.6	0.8	4.8	8.4	29.9	52.2	2.4	1.1
	3年生 (n=261)	0.4	0.4	0.8	4.6	18.4	72.4	3.1	0.5

※平均は毎日を5.0、「週に3～4日」を3.5日、「週に1～2日」を1.5日、「ぜんぜんしない」を0日で算出している。

3 学校生活と放課後の過ごし方

(1)学校の授業が理解できるか(問8)

学校の授業が理解できるかについてたずねたところ、「だいたい理解できる(38.4%)」が最も高く、「いつも理解できる(30.9%)」、「教科によって理解できないことがある(24.6%)」が続いている。《理解できる》(「いつも理解できる」と「だいたい理解できる」の合計)の割合は69.3%となっている。



学年別にみると、2年生で《理解できる》が66.9%と低くなっている。

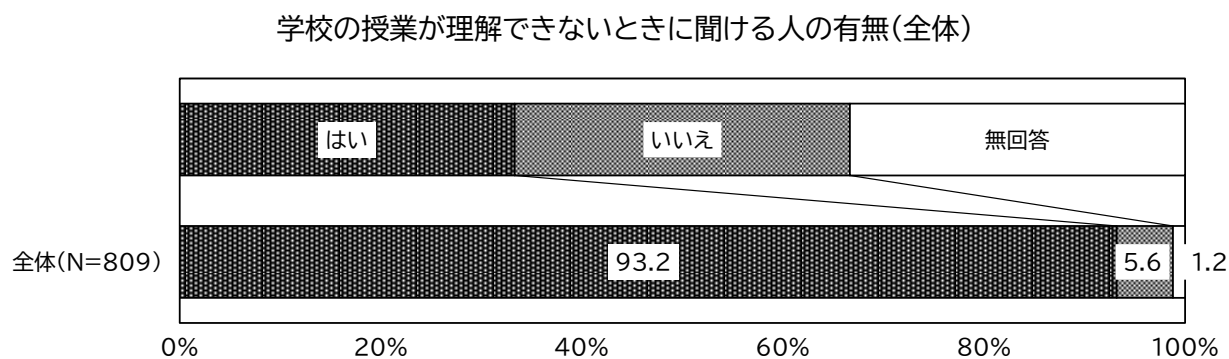
自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人は《理解できる》の割合が低い傾向にあり、その割合は、自分自身のことがとても好きな人では76.0%であるが、自分自身のことがまったく好きではない人では54.9%となっている。

学校の授業が理解できるか(全体、学年別、自己肯定感別)

		いつも理解できる	だいたい理解できる	教科によって理解できないことがある	理解できないことが多い	ほとんど理解できない	無回答
全 体 (N=809)		30.9	38.4	24.6	3.0	2.0	1.1
学 年 別	1 年 生 (n=279)	34.4	38.4	22.2	2.9	1.1	1.1
	2 年 生 (n=251)	27.5	39.4	24.7	3.6	4.0	0.8
	3 年 生 (n=261)	31.4	38.3	25.7	2.3	0.8	1.5
自 己 肯 定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	41.3	34.7	20.4	2.0	1.0	0.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	33.2	40.1	23.1	0.8	1.2	1.6
	どちらでもない (n=182)	23.6	43.4	27.5	3.3	0.5	1.6
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	27.5	36.3	27.5	5.9	2.0	1.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n=71)	21.1	33.8	26.8	8.5	9.9	0.0

(2)学校の授業が理解できないときに聞ける人の有無(問9)

学校の授業が理解できないときに聞ける人の有無は、「はい」が93.2%、「いいえ」が5.6%となっている。



学年別にみると、「はい」の割合は、1年生で92.5%、2年生で93.6%、3年生で93.9%となっている。

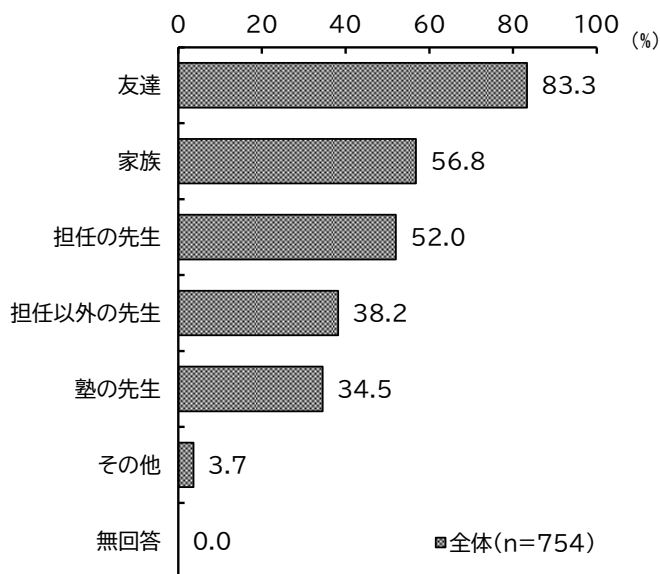
学校の授業が理解できないときに聞ける人の有無(全体)
(%)

		はい	いいえ	無回答
全 体 (N=809)		93.2	5.6	1.2
学 年 別	1 年 生 (n=279)	92.5	5.4	2.2
	2 年 生 (n=251)	93.6	6.4	0.0
	3 年 生 (n=261)	93.9	5.0	1.1

(3)学校の授業が理解できないときに聞ける人が誰か(問9-1)

問9で「1. はい」と回答した人に学校の授業が理解できないときに聞ける人が誰かについてたずねたところ、「友達(83.3%)」が最も高く、「家族(56.8%)」、「担任の先生(52.0%)」が続いている。

学校の授業が理解できないときに聞ける人が誰か(全体):複数回答
 <学校の授業が理解できないときに聞ける人がいる人>



学年別にみると、学年が上がるほど「塾の先生」の割合が高くなり、「家族」、「友達」の割合が低くなっている。

学校の授業が理解できないときに聞ける人が誰か(全体、学年別):複数回答
 <学校の授業が理解できないときに聞ける人がいる人>

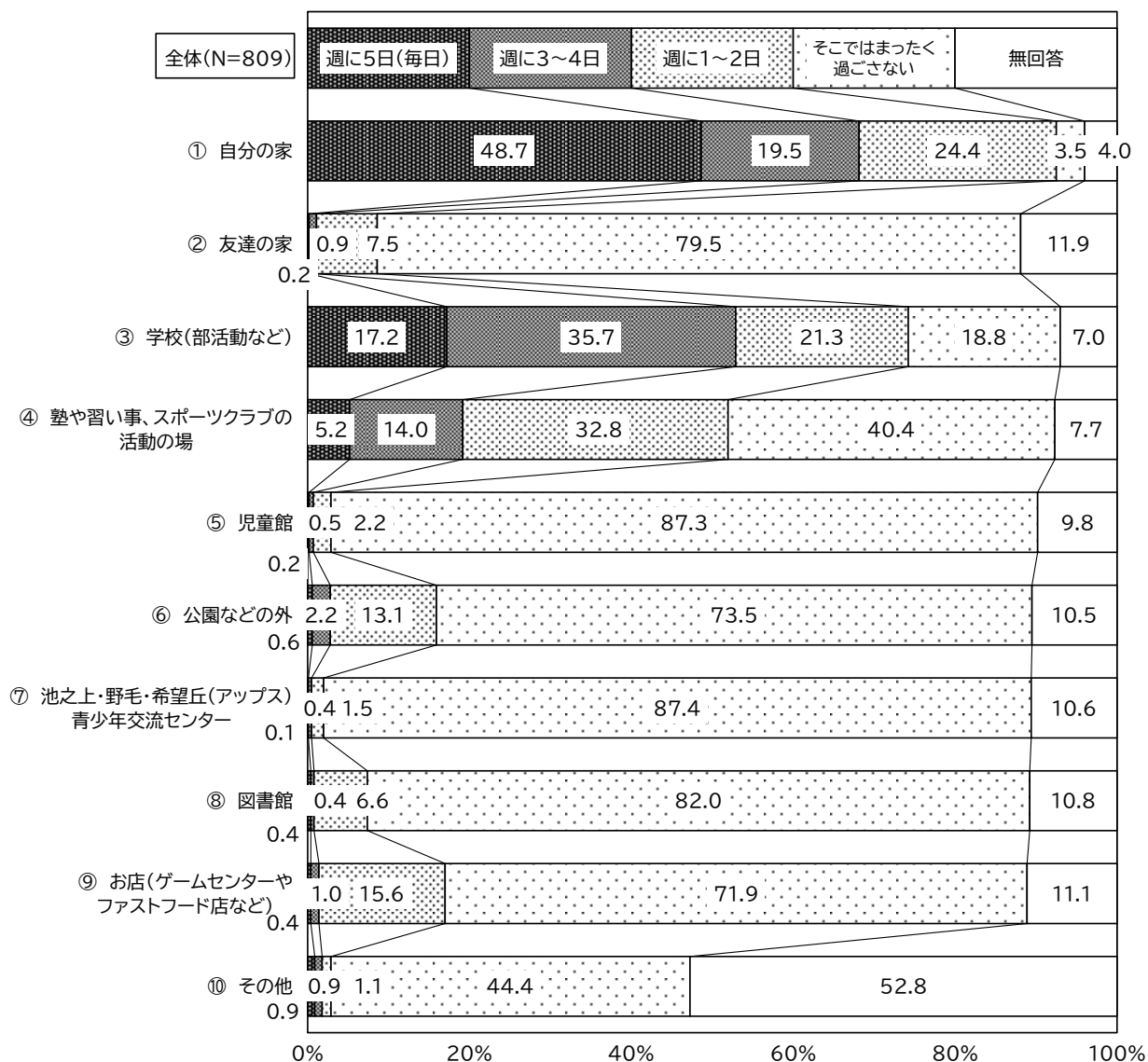
		(%)						
		友達	家族	担任の先生	担任以外の先生	塾の先生	その他	無回答
全	体 (n=754)	83.3	56.8	52.0	38.2	34.5	3.7	0.0
学 年 別	1 年 生 (n=258)	85.3	66.3	57.0	38.8	27.5	2.7	0.0
	2 年 生 (n=235)	84.3	55.3	48.1	34.9	30.6	5.5	0.0
	3 年 生 (n=245)	81.2	47.8	51.8	41.6	46.1	2.9	0.0

(4)平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数(問 10)

平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数は、「週に5日(毎日)」の割合が『① 自分の家(48.7%)』で最も高く、『③ 学校(部活動など)(17.2%)』、『④ 塾や習い事、スポーツクラブの活動の場(5.2%)』が続いている。

「そこではまったく過ごさない」の割合は『⑦ 池之上・野毛・希望丘(アップス)青少年交流センター(87.4%)』、『⑤ 児童館(87.3%)』、『⑧ 図書館(82.0%)』で8割を超えている。

平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数(全体)



◆① 自分の家(学年別、学校の場所別)

『① 自分の家』について学年別にみると、3年生で「週に5日(毎日)」が 56.3%と高くなっている。

学校の場所別にみると、「週に5日(毎日)」の割合は、区内で 52.2%、区外で 40.6%と差があり、平均日数も区内で 3.7 日、区外で 3.4 日となっている。

平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数:① 自分の家
(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	週に1日以下	無回答	
全 体 (N=809)		48.7	19.5	24.4	3.5	4.0	3.6
学 年 別	1 年 生 (n=279)	45.2	21.5	24.4	5.0	3.9	3.5
	2 年 生 (n=251)	45.8	18.7	27.9	2.4	5.2	3.5
	3 年 生 (n=261)	56.3	18.0	20.7	2.7	2.3	3.8
所 学 校 別	区 内 (n=559)	52.2	18.4	21.8	3.4	4.1	3.7
	区 外 (n=244)	40.6	22.5	29.9	3.7	3.3	3.4

◆② 友達の家(学年別、学校の場所別)

『② 友達の家』について学年別にみると、学年が上がるほど「そこではまったく過ごさない」の割合が高くなっている。

学校の場所別にみると、「そこではまったく過ごさない」の割合は、区内で 77.8%、区外で 84.4%となっている。

平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数:② 友達の家
(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	週に1日以下	無回答	
全 体 (N=809)		0.2	0.9	7.5	79.5	11.9	0.2
学 年 別	1 年 生 (n=279)	0.4	1.4	10.4	74.9	12.9	0.3
	2 年 生 (n=251)	0.4	0.4	9.2	80.1	10.0	0.2
	3 年 生 (n=261)	0.0	0.4	3.4	83.9	12.3	0.1
所 学 校 別	区 内 (n=559)	0.4	1.3	8.8	77.8	11.8	0.2
	区 外 (n=244)	0.0	0.0	3.7	84.4	11.9	0.1

第2章 調査結果

◆③ 学校(部活動など)(学年別、学校の場所別)

『③ 学校(部活動など)』について学年別にみると、学年が上がるほど「そこではまったく過ぎさない」の割合が高くなっている。

学校の場所別にみると、「そこではまったく過ぎさない」の割合は、区内で 22.7%、区外で 10.2%となっている。

平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数:③ 学校(部活動など)
(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	過そこ ごさ ない はま った く	無回答	
全 体 (N=809)		17.2	35.7	21.3	18.8	7.0	2.6
学 年 別	1 年 生 (n=279)	18.6	45.5	18.6	11.1	6.1	3.0
	2 年 生 (n=251)	19.1	35.9	21.9	17.1	6.0	2.7
	3 年 生 (n=261)	13.8	26.8	23.0	28.0	8.4	2.2
所の学 別場校	区 内 (n=559)	15.4	33.6	20.0	22.7	8.2	2.4
	区 外 (n=244)	21.3	39.8	24.6	10.2	4.1	2.9

◆④ 塾や習い事、スポーツクラブの活動の場(学年別、学校の場所別)

『④ 塾や習い事、スポーツクラブの活動の場』について学年別にみると、3年生で「そこではまったく過ぎさない」が 35.2%で低く、平均日数も 1.5 日と他の学年より高くなっている。

学校の場所別にみると、「そこではまったく過ぎさない」の割合は、区内で 38.5%、区外で 45.1%となっている。

平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数:④ 塾や習い事、スポーツクラブの活動の場
(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	過そこ ごさ ない はま った く	無回答	
全 体 (N=809)		5.2	14.0	32.8	40.4	7.7	1.3
学 年 別	1 年 生 (n=279)	6.1	11.8	33.3	41.2	7.5	1.3
	2 年 生 (n=251)	4.0	13.1	31.5	44.6	6.8	1.2
	3 年 生 (n=261)	5.4	16.9	34.5	35.2	8.0	1.5
所の学 別場校	区 内 (n=559)	6.6	16.8	30.8	38.5	7.3	1.5
	区 外 (n=244)	1.6	7.8	37.3	45.1	8.2	1.0

◆⑤ 児童館(学年別、学校の場所別)

『⑤ 児童館』について学年別にみると、学年が上がるほど「そこではまったく過ごさない」の割合が高くなっている。

学校の場所別にみると、「そこではまったく過ごさない」の割合は、区内で 86.6%、区外で 89.3%となっている。

平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数:⑤ 児童館
(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	そこではまったく	無回答	
全 体 (N=809)		0.2	0.5	2.2	87.3	9.8	0.1
学 年 別	1 年 生 (n=279)	0.4	0.7	4.3	85.7	9.0	0.1
	2 年 生 (n=251)	0.0	0.8	2.0	87.6	9.6	0.1
	3 年 生 (n=261)	0.4	0.0	0.0	89.7	10.0	0.0
所の学 別場校	区 内 (n=559)	0.4	0.5	2.7	86.6	9.8	0.1
	区 外 (n=244)	0.0	0.4	0.8	89.3	9.4	0.0

◆⑥ 公園などの外(学年別、学校の場所別)

『⑥ 公園などの外』について学年別にみると、学年が上がるほど「そこではまったく過ごさない」の割合が高くなっている。

学校の場所別にみると、「そこではまったく過ごさない」の割合は、区内で 70.1%、区外で 81.6%となっている。

平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数:⑥ 公園などの外
(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	そこではまったく	無回答	
全 体 (N=809)		0.6	2.2	13.1	73.5	10.5	0.3
学 年 別	1 年 生 (n=279)	0.7	2.5	17.2	69.9	9.7	0.4
	2 年 生 (n=251)	0.8	2.8	14.3	71.3	10.8	0.4
	3 年 生 (n=261)	0.4	0.8	6.9	81.6	10.3	0.2
所の学 別場校	区 内 (n=559)	0.7	2.3	16.3	70.1	10.6	0.4
	区 外 (n=244)	0.4	2.0	6.1	81.6	9.8	0.2

第2章 調査結果

◆⑦ 池之上・野毛・希望丘(アップス)青少年交流センター(学年別、学校の場所別)

『⑦ 池之上・野毛・希望丘(アップス)青少年交流センター』について学年別にみると、学年が上がるほど「そこではまったく過ごさない」の割合が高くなっている。

学校の場所別にみると、「そこではまったく過ごさない」の割合は、区内で 86.9%、区外で 88.5%となっている。

平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数:

⑦ 池之上・野毛・希望丘(アップス)青少年交流センター(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	そこではまったく	無回答	
全 体 (N=809)		0.1	0.4	1.5	87.4	10.6	0.0
学 年 別	1 年 生 (n=279)	0.4	0.4	2.9	86.7	9.7	0.1
	2 年 生 (n=251)	0.0	0.0	0.8	88.0	11.2	0.0
	3 年 生 (n=261)	0.0	0.4	0.8	88.5	10.3	0.0
所 学 校 別	区 内 (n=559)	0.2	0.5	1.8	86.9	10.6	0.1
	区 外 (n=244)	0.0	0.0	0.8	88.5	10.7	0.0

◆⑧ 図書館(学年別、学校の場所別)

『⑧ 図書館』について学年別にみると、2年生で「そこではまったく過ごさない」が 84.9%と高くなっている。

学校の場所別にみると、「そこではまったく過ごさない」の割合は、区内で 83.0%、区外で 79.9%となっている。

平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数:⑧ 図書館

(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	そこではまったく	無回答	
全 体 (N=809)		0.4	0.4	6.6	82.0	10.8	0.1
学 年 別	1 年 生 (n=279)	0.4	0.4	9.0	80.6	9.7	0.2
	2 年 生 (n=251)	0.4	0.4	3.6	84.9	10.8	0.1
	3 年 生 (n=261)	0.0	0.4	6.9	81.6	11.1	0.1
所 学 校 別	区 内 (n=559)	0.5	0.4	4.8	83.0	11.3	0.1
	区 外 (n=244)	0.0	0.4	10.2	79.9	9.4	0.2

◆⑨ お店(ゲームセンターやファストフード店など)(学年別、学校の場所別)

『⑨ お店(ゲームセンターやファストフード店など)』について学年別にみると、2年生で「そこではまったく過ごさない」が74.1%と高くなっている。

学校の場所別にみると、区内、区外どちらも全体と同様の傾向となっている。

平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数:

⑨ お店(ゲームセンターやファストフード店など)(全体、学年別、学校の場所別)

(%)

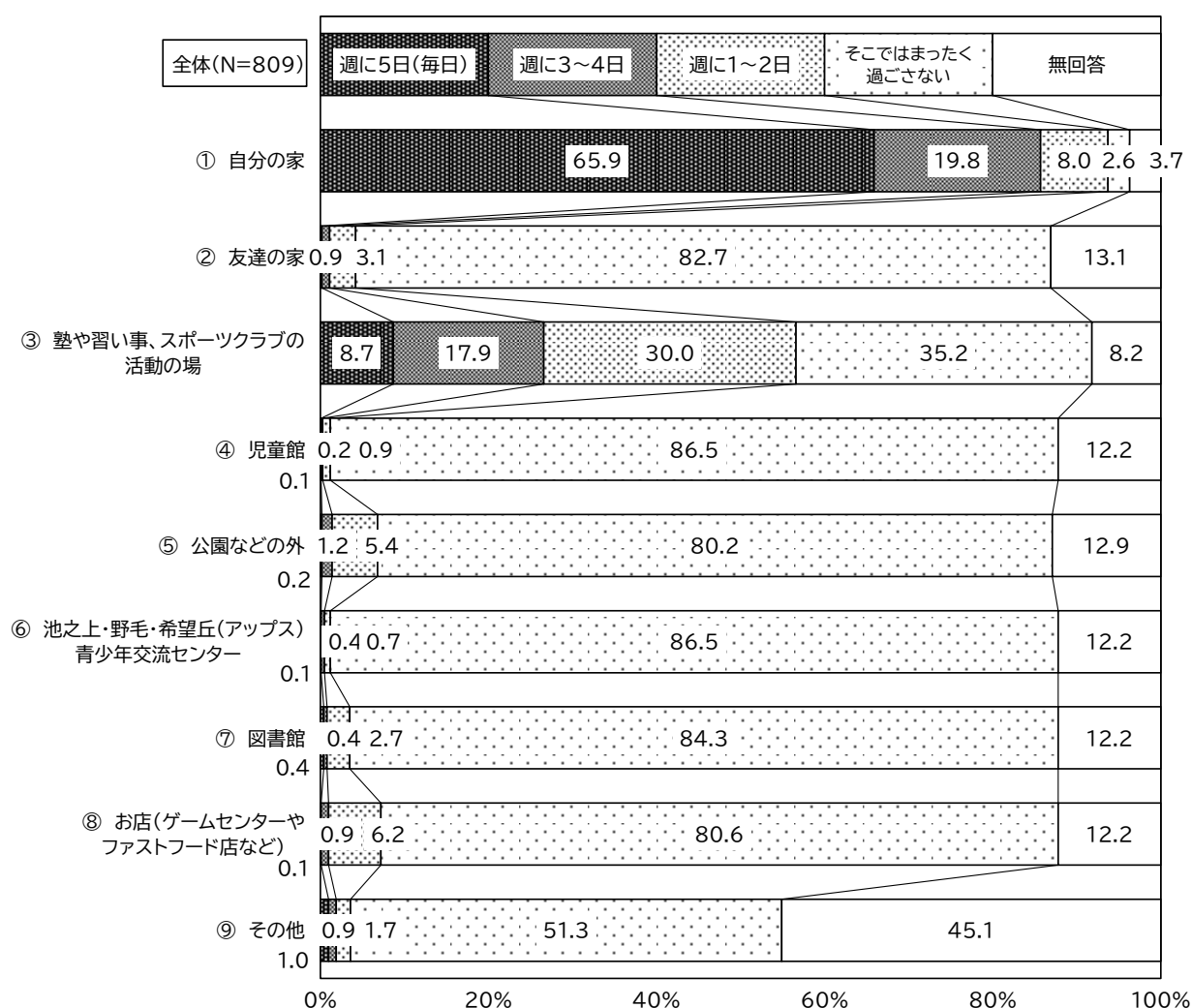
		週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	過ごさない	その他	無回答	平均日数
全 体 (N=809)		0.4	1.0	15.6	71.9	11.1	0.3	
学 年 別	1 年 生 (n=279)	0.4	1.4	14.7	72.4	11.1	0.3	
	2 年 生 (n=251)	0.4	0.4	15.9	74.1	9.2	0.3	
	3 年 生 (n=261)	0.4	0.8	16.1	70.5	12.3	0.3	
所 学 別 場 校	区 内 (n=559)	0.4	0.9	15.4	72.3	11.1	0.3	
	区 外 (n=244)	0.4	0.8	16.0	71.7	11.1	0.3	

(5)平日夜間(夕方6～8時)過ごす場所別日数(問 11)

平日放課後(夕方6時まで)過ごす場所別日数は、「週に5日(毎日)」の割合が『① 自分の家(65.9%)』で最も高く、『③ 塾や習い事、スポーツクラブの活動の場(8.7%)』が続いている。

「そこではまったく過ごさない」の割合は『④ 児童館(86.5%)』、『⑥ 池之上・野毛・希望丘(アpps)青少年交流センター(86.5%)』、『⑦ 図書館(84.3%)』、『② 友達の家(82.7%)』、『⑧ お店(ゲームセンターやファストフード店など)(80.6%)』、『⑤ 公園などの外(80.2%)』で8割を超えている。

平日夜間(夕方6～8時)過ごす場所別日数(全体)



◆① 自分の家(学年別、学校の場所別)

『① 自分の家』について学年別にみると、1年生で「週に5日(毎日)」が 68.8%と高くなっている。

学校の場所別にみると、「週に5日(毎日)」の割合は、区内で64.2%、区外で69.7%となっている。

平日夜間(夕方6～8時)過ごす場所別日数:① 自分の家
(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3～4日	週に1～2日	週ごさなはいまったく	無回答	
全	体 (N=809)	65.9	19.8	8.0	2.6	3.7	4.3
学年別	1年生 (n=279)	68.8	17.2	6.8	3.9	3.2	4.3
	2年生 (n=251)	64.9	21.9	8.8	1.2	3.2	4.3
	3年生 (n=261)	64.8	19.5	8.8	2.7	4.2	4.2
所の学別場所校	区内 (n=559)	64.2	20.8	8.8	2.3	3.9	4.2
	区外 (n=244)	69.7	18.0	6.1	3.3	2.9	4.3

◆② 友達の家(学年別、学校の場所別)

『② 友達の家』について学年別にみると、2年生で「そこではまったく過ごさない」が 86.1%と高くなっている。

学校の場所別にみると、「そこではまったく過ごさない」の割合は、区内で 81.0%、区外で 87.3%となっている。

平日夜間(夕方6～8時)過ごす場所別日数:② 友達の家
(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3～4日	週に1～2日	週ごさなはいまったく	無回答	
全	体 (N=809)	0.2	0.9	3.1	82.7	13.1	0.1
学年別	1年生 (n=279)	0.4	0.7	5.7	79.6	13.6	0.1
	2年生 (n=251)	0.4	0.8	2.0	86.1	10.8	0.1
	3年生 (n=261)	0.0	0.8	1.5	83.5	14.2	0.1
所の学別場所校	区内 (n=559)	0.4	1.3	3.9	81.0	13.4	0.1
	区外 (n=244)	0.0	0.0	0.4	87.3	12.3	0.0

第2章 調査結果

◆③ 塾や習い事、スポーツクラブの活動の場(学年別、学校の場所別)

『③ 塾や習い事、スポーツクラブの活動の場』について学年別にみると、3年生で「週に5日(毎日)(10.3%)」が1割を超えており、平均日数も1.8日と他の学年より高くなっている。

学校の場所別にみると、区内で「週に5日(毎日)(10.4%)」が1割を超えている。平均日数は、区内で1.9日、区外で1.0日となっている。

平日夜間(夕方6～8時)過ごす場所別日数:③ 塾や習い事、スポーツクラブの活動の場
(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3～4日	週に1～2日	週に1日以下	無回答	
全 体 (N=809)		8.7	17.9	30.0	35.2	8.2	1.6
学 年 別	1 年 生 (n=279)	7.2	14.7	33.0	37.3	7.9	1.5
	2 年 生 (n=251)	8.0	19.1	28.3	36.7	8.0	1.6
	3 年 生 (n=261)	10.3	20.7	29.1	31.8	8.0	1.8
所の学 校 別 場 校	区 内 (n=559)	10.4	22.0	30.6	29.3	7.7	1.9
	区 外 (n=244)	4.1	9.0	28.7	49.2	9.0	1.0

◆④ 児童館(学年別、学校の場所別)

『④ 児童館』について学年別にみると、2年生で「そこではまったく過ごさない」が88.4%と高くなっている。

学校の場所別にみると、「そこではまったく過ごさない」の割合は、区内で86.2%、区外で88.1%となっている。

平日夜間(夕方6～8時)過ごす場所別日数:④ 児童館
(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3～4日	週に1～2日	週に1日以下	無回答	
全 体 (N=809)		0.1	0.2	0.9	86.5	12.2	0.0
学 年 別	1 年 生 (n=279)	0.4	0.0	1.8	85.7	12.2	0.1
	2 年 生 (n=251)	0.0	0.0	0.8	88.4	10.8	0.0
	3 年 生 (n=261)	0.0	0.4	0.0	86.6	13.0	0.0
所の学 校 別 場 校	区 内 (n=559)	0.2	0.4	0.7	86.2	12.5	0.0
	区 外 (n=244)	0.0	0.0	0.4	88.1	11.5	0.0

◆⑤ 公園などの外(学年別、学校の場所別)

『⑤ 公園などの外』について学年別にみると、3年生で「そこではまったく過ごさない」が82.0%と高くなっている。

学校の場所別にみると、「そこではまったく過ごさない」の割合は、区内で 79.4%、区外で82.0%となっている。

平日夜間(夕方6～8時)過ごす場所別日数:⑤ 公園などの外
(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく	無回答	
全 体 (N=809)		0.2	1.2	5.4	80.2	12.9	0.2
学 年 別	1 年 生 (n=279)	0.4	0.7	6.5	80.3	12.2	0.2
	2 年 生 (n=251)	0.0	1.6	7.2	79.3	12.0	0.2
	3 年 生 (n=261)	0.4	1.1	2.7	82.0	13.8	0.1
所 学 校 別	区 内 (n=559)	0.2	1.6	5.5	79.4	13.2	0.2
	区 外 (n=244)	0.4	0.4	5.3	82.0	11.9	0.1

◆⑥ 池之上・野毛・希望丘(アップス)青少年交流センター(学年別、学校の場所別)

『⑥ 池之上・野毛・希望丘(アップス)青少年交流センター』について学年別にみると、2年生で「そこではまったく過ごさない」が88.4%と高くなっている。

学校の場所別にみると、「そこではまったく過ごさない」の割合は、区内で 85.9%、区外で88.1%となっている。

平日夜間(夕方6～8時)過ごす場所別日数:

⑥ 池之上・野毛・希望丘(アップス)青少年交流センター(全体、学年別、学校の場所別)
(%)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく	無回答	
全 体 (N=809)		0.1	0.4	0.7	86.5	12.2	0.0
学 年 別	1 年 生 (n=279)	0.4	0.4	0.7	86.0	12.5	0.0
	2 年 生 (n=251)	0.0	0.0	0.8	88.4	10.8	0.0
	3 年 生 (n=261)	0.0	0.4	0.8	86.2	12.6	0.0
所 学 校 別	区 内 (n=559)	0.2	0.5	0.9	85.9	12.5	0.0
	区 外 (n=244)	0.0	0.0	0.4	88.1	11.5	0.0

第2章 調査結果

◆⑦ 図書館(学年別、学校の場所別)

『⑦ 図書館』について学年別にみると、2年生で「そこではまったく過ごさない」が 86.9%と高くなっている。

学校の場所別にみると、区内、区外ともに「そこではまったく過ごさない」が 84.4%となっている。

平日夜間(夕方6～8時)過ごす場所別日数:⑦ 図書館
(全体、学年別、学校の場所別)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく	無回答	
全 体 (N=809)		0.4	0.4	2.7	84.3	12.2	0.1
学 年 別	1 年 生 (n=279)	0.4	0.7	3.6	83.9	11.5	0.1
	2 年 生 (n=251)	0.4	0.0	1.6	86.9	11.2	0.0
	3 年 生 (n=261)	0.4	0.0	3.1	83.1	13.4	0.1
所の学 校 別 場 校	区 内 (n=559)	0.5	0.4	2.0	84.4	12.7	0.1
	区 外 (n=244)	0.0	0.4	4.1	84.4	11.1	0.1

◆⑧ お店(ゲームセンターやファストフード店など)(学年別、学校の場所別)

『⑧ お店(ゲームセンターやファストフード店など)』について学年別にみると、2年生で「そこではまったく過ごさない」が 83.3%と高くなっている。

学校の場所別にみると、「そこではまったく過ごさない」の割合は、区内で 81.2%、区外で 79.9%となっている。

平日夜間(夕方6～8時)過ごす場所別日数:

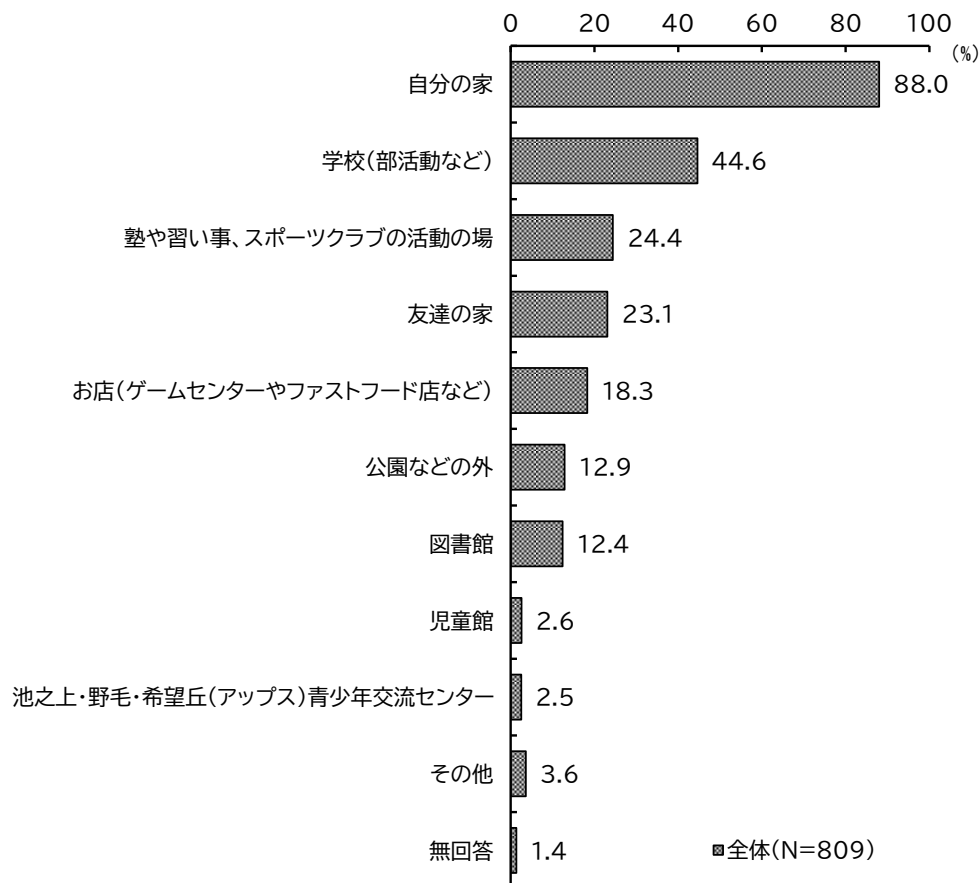
⑧ お店(ゲームセンターやファストフード店など)(全体、学年別、学校の場所別)
(%)

		(%)					平均日数
		週に5日(毎日)	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく	無回答	
全 体 (N=809)		0.1	0.9	6.2	80.6	12.2	0.1
学 年 別	1 年 生 (n=279)	0.4	1.4	5.7	80.3	12.2	0.2
	2 年 生 (n=251)	0.0	0.4	5.6	83.3	10.8	0.1
	3 年 生 (n=261)	0.0	0.4	7.3	79.3	13.0	0.1
所の学 校 別 場 校	区 内 (n=559)	0.2	1.1	5.2	81.2	12.3	0.1
	区 外 (n=244)	0.0	0.0	8.2	79.9	11.9	0.1

(6)平日放課後(夕方6時まで)過ごしたい場所(問 12)

平日放課後(夕方6時まで)過ごしたい場所は、「① 自分の家(88.0%)」が最も高く、「学校(部活動など)(44.6%)」、「塾や習い事、スポーツクラブの活動の場(24.4%)」が続いている。

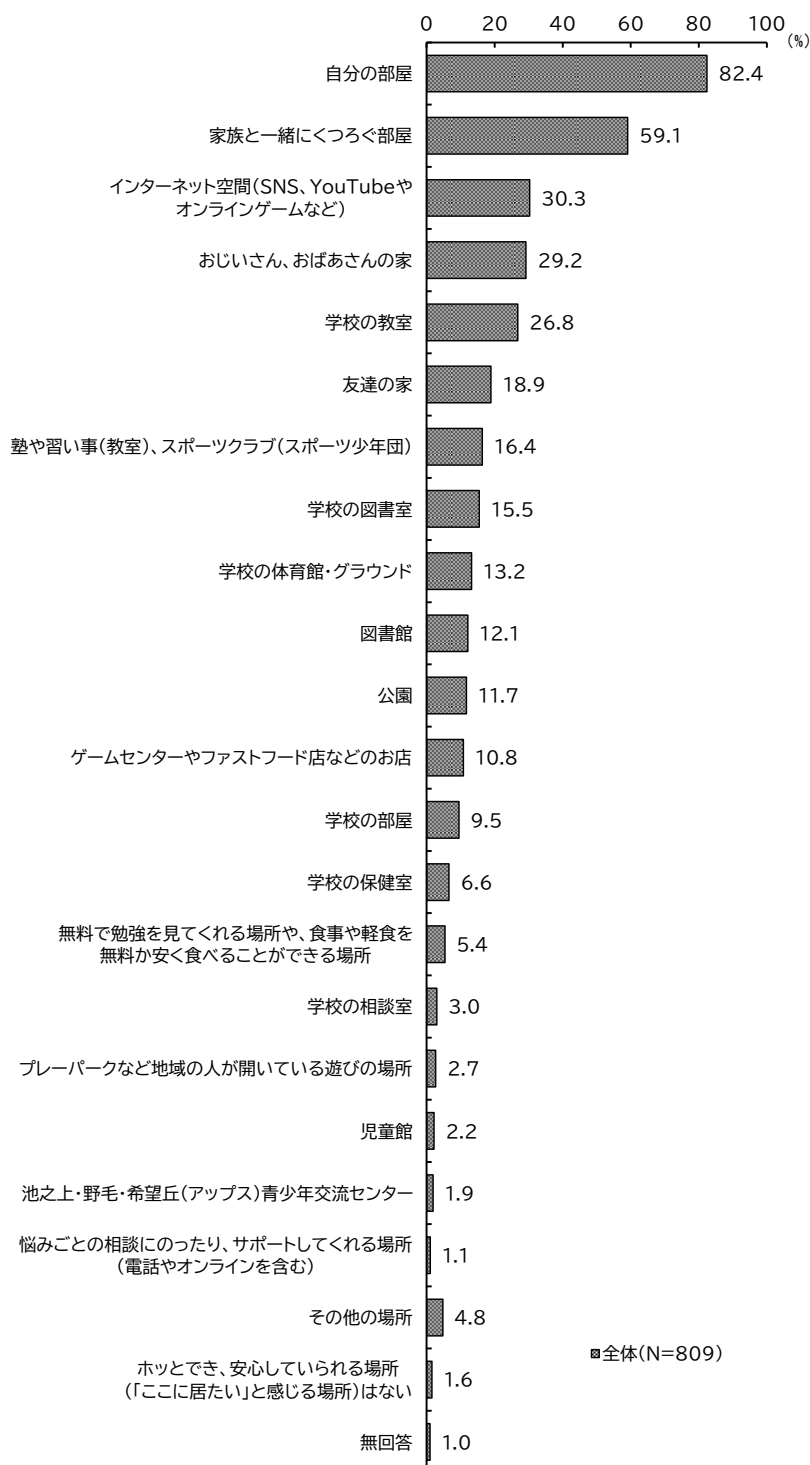
平日放課後(夕方6時まで)過ごしたい場所(全体):複数回答



(7) ホットでき、安心していられる場所(問 13)

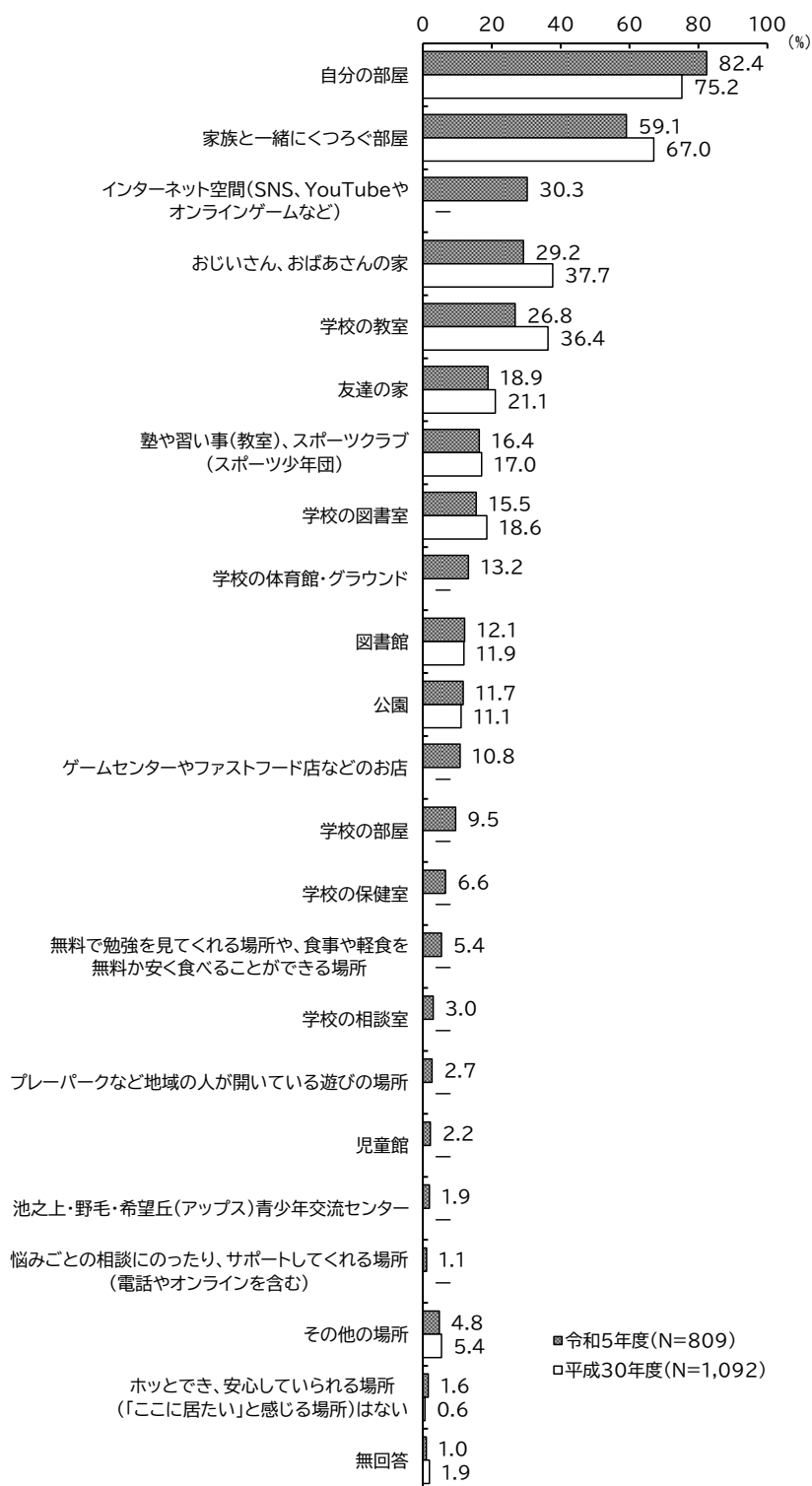
ホットでき、安心していられる場所は、「自分の部屋(82.4%)」が最も高く、「家族と一緒にくつろぐ部屋(59.1%)」、「インターネット空間(SNS、YouTube やオンラインゲームなど)(30.3%)」が続いている。「ホットでき、安心していられる場所(「ここに居たい」と感じる場所)はない」は1.6%となっている。

ホットでき、安心していられる場所(全体):複数回答



経年比較をすると、「自分の部屋」が 7.2 ポイント高くなっており、「学校の教室」9.6 ポイント、「おじいさん、おばあさんの家」は 8.5 ポイント、「家族と一緒にくつろぐ部屋」は 7.9 ポイント低くなっている。その他の項目では大きな変化はみられない。

ホッとでき、安心していられる場所(全体):複数回答【経年比較】



※平成 30 年度は、選択肢が「自宅の自分の部屋」、「家族が集まる部屋」、「祖父母の家」、「公立の図書館」、「塾・習い事先」、「安心できる場所、居心地がよい場所がない」となっている。

第2章 調査結果

学年別にみると、学年が上がるほど「自分の部屋」、「ゲームセンターやファストフード店などのお店」の割合が高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分自身のことが好きな人ほど、「家族と一緒にくつろぐ部屋」、「おじいさん、おばあさんの家」、「学校の教室」の割合が高い。

自分のことが好きではない人は「インターネット空間(SNS、YouTube やオンラインゲームなど)」の割合が高い傾向にあり、その割合は、自分自身のことがまったく好きではない人では5割を超えている。また、自分自身のことがまったく好きではない人では、「ホッとでき、安心していられる場所(「ここに居たい」と感じる場所)はない(9.9%)」が約1割となっている。

ホッとでき、安心していられる場所はどのような場所か(全体、学年別、自己肯定感別):複数回答

<ホッとでき、安心していられる場所がある人>

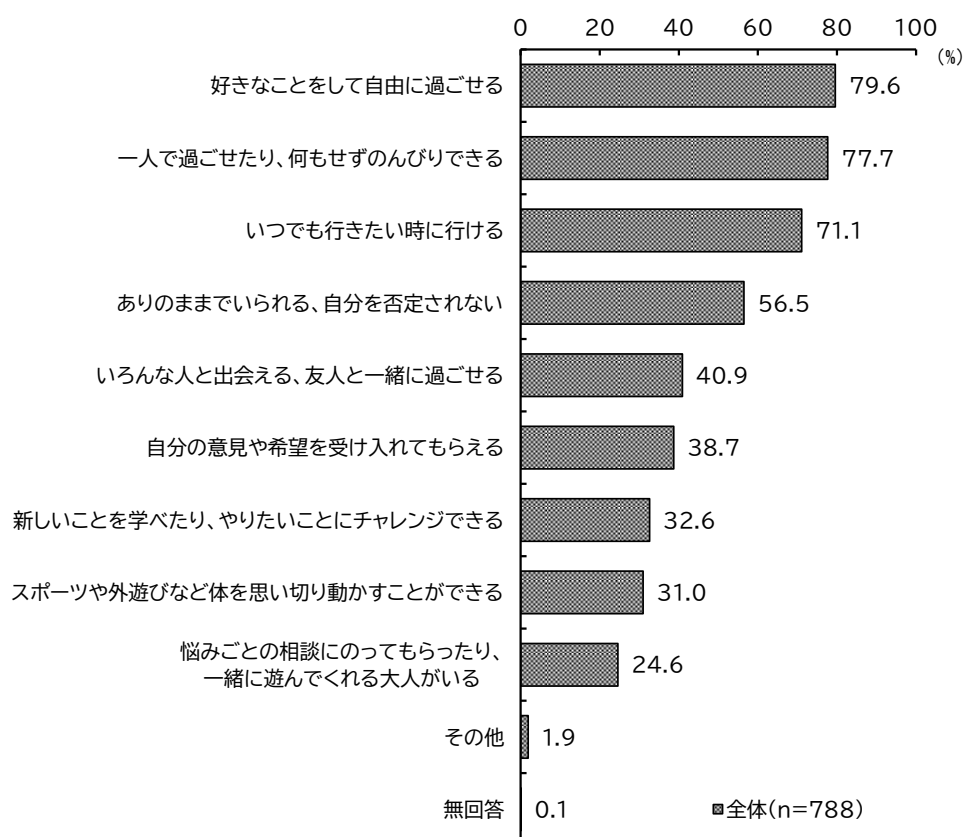
		自分の部屋	家族と一緒にくつろぐ部屋	インターネット空間(SNS、YouTube など)	おじいさん、おばあさんの家	学校の教室	友達の家	塾や習い事(教室)、スポーツクラブ(スポーツ少年団)	学校の図書室	学校の体育館・グラウンド	図書館	公園	ゲームセンターやファストフード店などのお店	(%)
全	体 (N=809)	82.4	59.1	30.3	29.2	26.8	18.9	16.4	15.5	13.2	12.1	11.7	10.8	
学年別	1 年 生 (n=279)	79.6	67.7	26.9	33.0	33.3	20.4	17.2	21.1	16.8	14.7	14.7	6.5	
	2 年 生 (n=251)	84.1	57.0	33.9	28.3	21.1	21.5	16.7	13.5	12.4	10.4	12.0	12.0	
	3 年 生 (n=261)	85.1	53.3	29.5	26.1	26.4	14.9	13.8	10.7	10.3	10.0	8.8	14.2	
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き (n=196)	85.7	69.4	26.5	38.3	34.2	25.5	18.9	18.9	24.0	12.8	16.8	9.2	
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	87.4	66.8	23.1	32.8	30.8	15.0	19.8	13.8	10.1	14.2	9.7	11.3	
	どちらでもない (n=182)	79.1	57.1	29.7	25.3	25.8	17.6	10.4	14.3	11.5	9.9	11.0	9.9	
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	75.5	49.0	42.2	23.5	17.6	21.6	14.7	18.6	6.9	13.7	10.8	15.7	
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	74.6	26.8	50.7	12.7	9.9	12.7	12.7	8.5	8.5	5.6	7.0	5.6	

		学校の部屋	学校の保健室	無料で勉強を見てくれる場所や、食事や軽食を無料か安く食べることができる場所	学校の相談室	プレイパークなど地域の人が開いている遊	児童館	池之上・野毛・希望丘(アツプス)青少年交流センター	悩みごとの相談にのつたり、サポートしてくれる場所(電話やオンラインを含む)	その他の場所	ホッとでき、安心していられる場所(「ここに居たい」と感じる場所)はない	無回答
全	体 (N=809)	9.5	6.6	5.4	3.0	2.7	2.2	1.9	1.1	4.8	1.6	1.0
学年別	1 年 生 (n=279)	13.3	7.5	5.4	2.5	3.2	3.9	2.2	1.8	4.7	0.7	1.1
	2 年 生 (n=251)	6.4	6.8	5.2	4.4	2.4	1.6	1.2	0.8	6.8	2.8	0.4
	3 年 生 (n=261)	8.8	5.4	5.4	1.9	1.9	1.1	2.3	0.4	3.1	1.1	0.8
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き (n=196)	17.3	8.7	9.2	5.6	6.1	3.6	4.1	2.0	3.6	0.5	1.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	7.3	3.2	2.8	0.4	1.2	1.6	1.2	0.0	3.6	0.4	0.8
	どちらでもない (n=182)	7.1	4.4	5.5	2.7	2.2	2.2	1.1	0.5	4.9	1.6	1.1
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	7.8	12.7	2.9	4.9	2.0	2.0	0.0	2.0	7.8	1.0	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	4.2	8.5	5.6	2.8	1.4	1.4	2.8	2.8	5.6	9.9	1.4

(8) ホットとでき、安心していられる場所はどのような場所か(問 13-1)

問 13 で「1. 自分の家」から「21. その他」と回答した人にホットとでき、ホットとでき、安心していられる場所はどのような場所かたずねたところ、「好きなことをして自由に過ごせる(79.6%)」が最も高く、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる(77.7%)」、「いつでも行きたい時に行ける(71.1%)」が続いている。

ホットとでき、安心していられる場所はどのような場所か(全体):複数回答
 <ホットとでき、安心していられる場所がある人>



第2章 調査結果

学年別にみると、1・2年生では「好きなことをして自由に過ごせる」が最も高く、3年生では「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」が最も高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分自身のことがあまり好きではない人、自分自身のことがまったく好きではない人いずれも、全体と同様に「好きなことをして自由に過ごせる」が最も高く、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」、「いつでも行きたい時に行ける」が続いている。

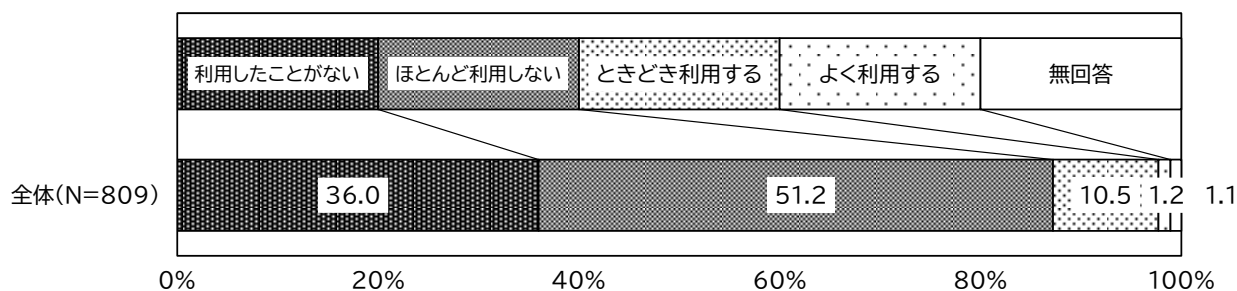
ホッとでき、安心していられる場所はどのような場所か(全体、学年別、自己肯定感別):複数回答
 <ホッとでき、安心していられる場所がある人>

		好きなことをして自由に過ごせる	一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	いつでも行きたい時に行ける	ありのままにいられる、自分を否定されない	いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる	自分の意見や希望を受け入れてもらえる	新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	スポーツや外遊びなど体を思い切り動かすことができる	一緒に遊んでくれる大人がいる	その他	無回答
全	体 (n=788)	79.6	77.7	71.1	56.5	40.9	38.7	32.6	31.0	24.6	1.9	0.1
学年別	1 年 生 (n=274)	80.7	74.8	69.7	58.0	43.4	42.0	36.9	33.6	24.5	3.3	0.0
	2 年 生 (n=243)	80.7	78.2	69.5	58.4	39.1	39.5	31.7	32.1	25.9	0.8	0.4
	3 年 生 (n=256)	77.3	81.3	73.8	53.9	39.8	34.4	27.7	27.0	23.0	1.6	0.0
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き (n=192)	77.1	72.4	77.6	62.0	45.3	50.0	46.9	41.1	35.4	3.1	0.0
	自分自身のことがまあ好き (n=244)	82.4	80.3	75.8	60.2	46.3	36.5	34.0	32.4	23.4	0.8	0.0
	どちらでもない (n=177)	77.4	81.9	66.7	49.2	35.6	34.5	23.2	26.0	17.5	0.0	0.6
	自分自身のことがあまり好きではない (n=101)	81.2	72.3	63.4	52.5	33.7	32.7	23.8	22.8	21.8	2.0	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 63)	82.5	81.0	61.9	55.6	30.2	34.9	23.8	22.2	20.6	7.9	0.0

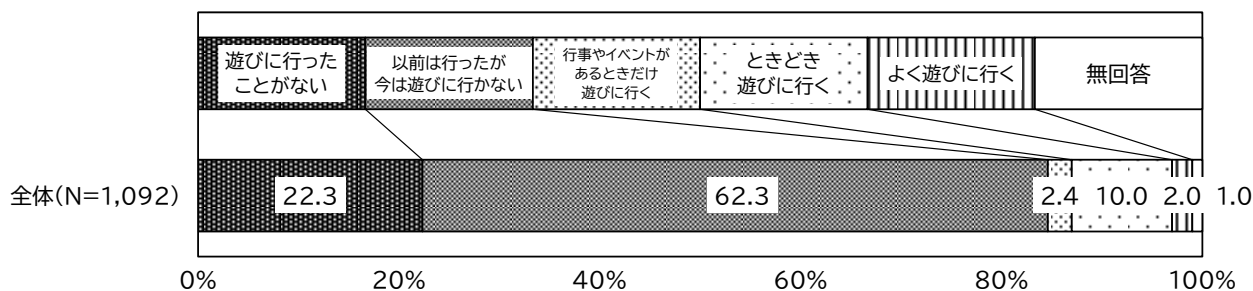
(9)児童館の利用頻度(問 14)

児童館の利用頻度は、「ほとんど利用しない(51.2%)」が最も高く、「利用したことがない(36.0%)」、「ときどき利用する(10.5%)」が続いている。

児童館の利用頻度(全体)



<参考> 児童館の利用頻度(全体)【H30 年度調査】



学年別にみると、学年が上がるほど「利用したことがない」の割合が高くなり、「利用する」(「ときどき利用する」と「よく利用する」の計)の割合が低くなっている。

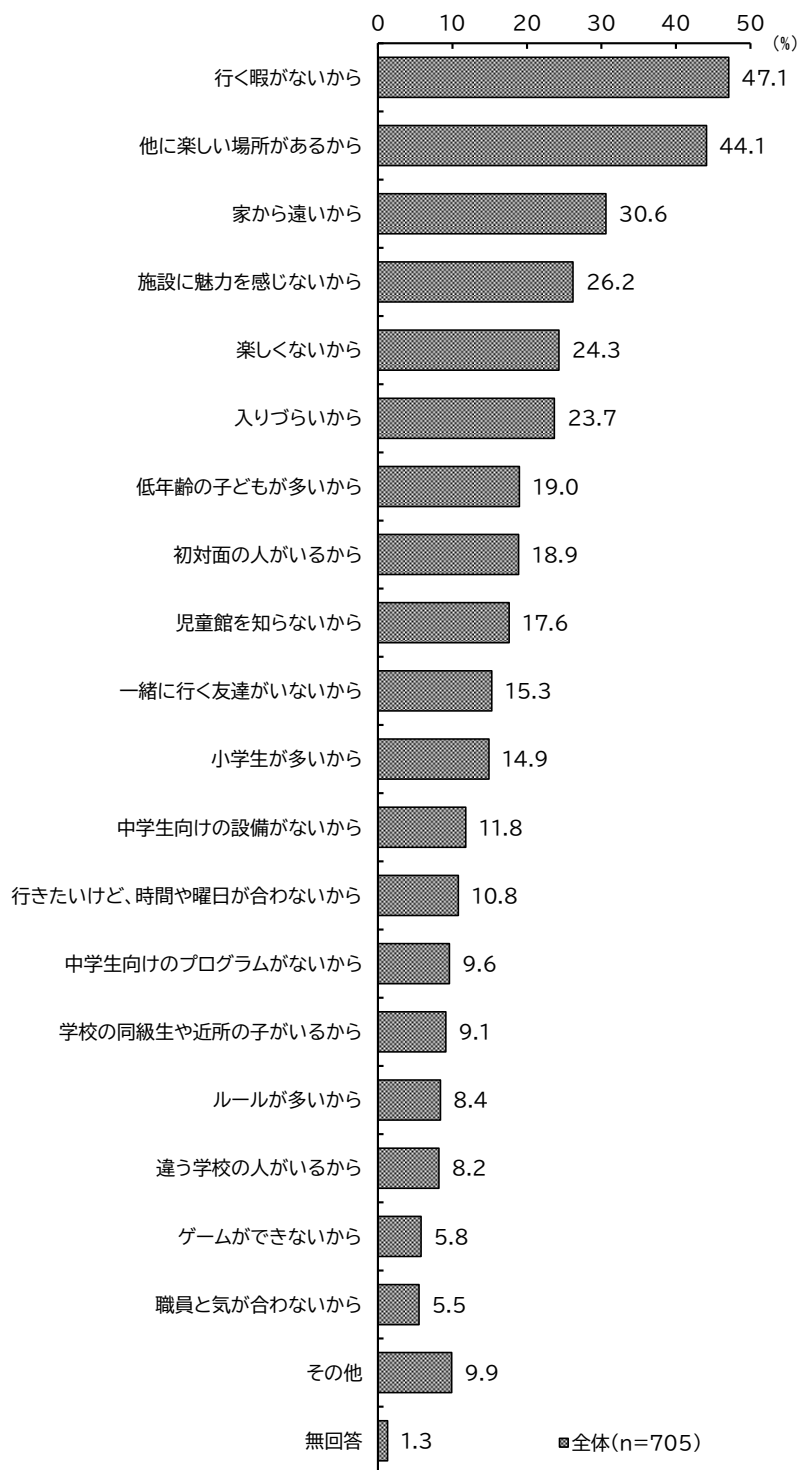
児童館の利用頻度(全体、学年別)

		(%)				
		な い 利 用 し た こ と が	な ほ と ん ど 利 用 し	る と き ど き 利 用 す	よ く 利 用 す る	無 回 答
全	体 (N=809)	36.0	51.2	10.5	1.2	1.1
学 年 別	1 年 生 (n=279)	30.5	49.1	18.3	1.1	1.1
	2 年 生 (n=251)	36.3	53.4	6.8	2.4	1.2
	3 年 生 (n=261)	41.0	52.1	5.7	0.4	0.8

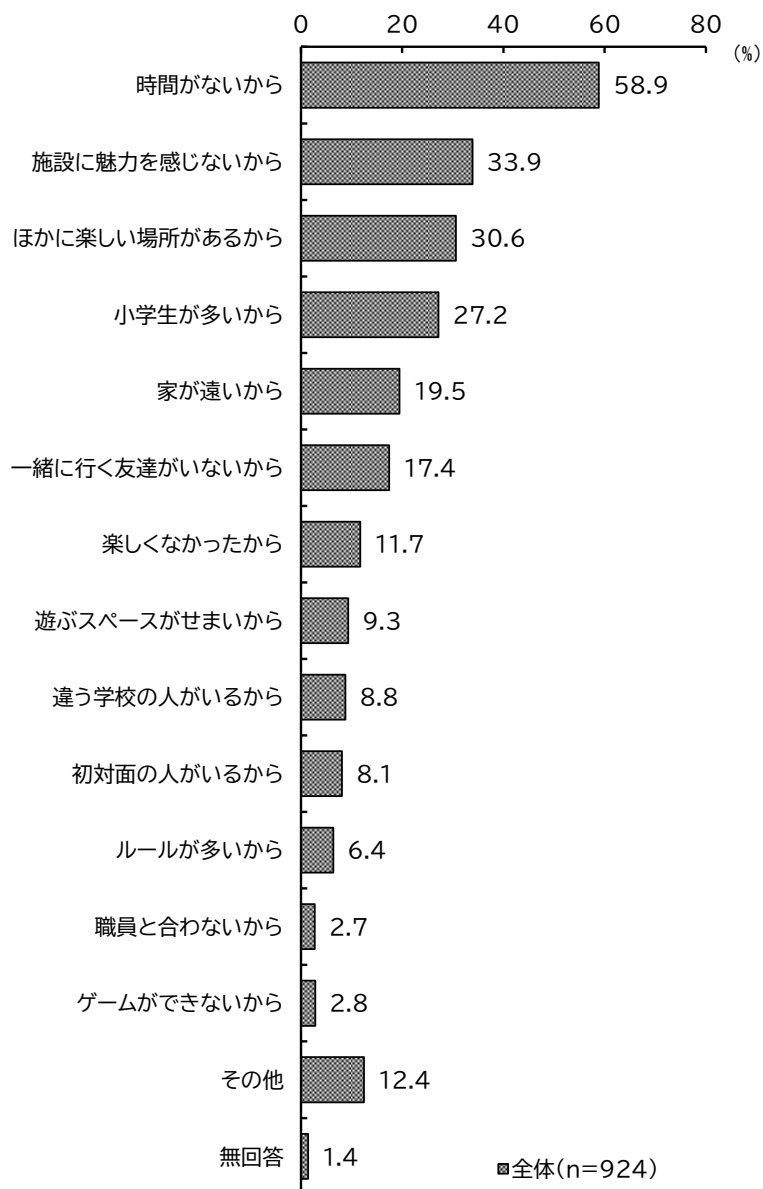
(10)児童館を利用しない理由(問 14-1)

問 14 で「1. 利用したことがない」か「2. ほとんど利用しない」と回答した人に、児童館を利用しない理由についてたずねたところ、「行く暇がないから(47.1%)」が最も高く、「他に楽しい場所があるから(44.1%)」、「家から遠いから(30.6%)」が続いている。

児童館を利用しない理由(全体):複数回答
 <児童館を利用したことがない又はほとんど利用しない人>



<参考> 児童館を利用しない理由(全体):複数回答【H30 年度調査】
 <以前は行ったが今は遊びに行かない人、遊びに行ったことがない人>



第2章 調査結果

学年別にみると、1・3年生では「行く暇がないから」が最も高く、2年生では「他に楽しい場所があるから」が最も高くなっている。

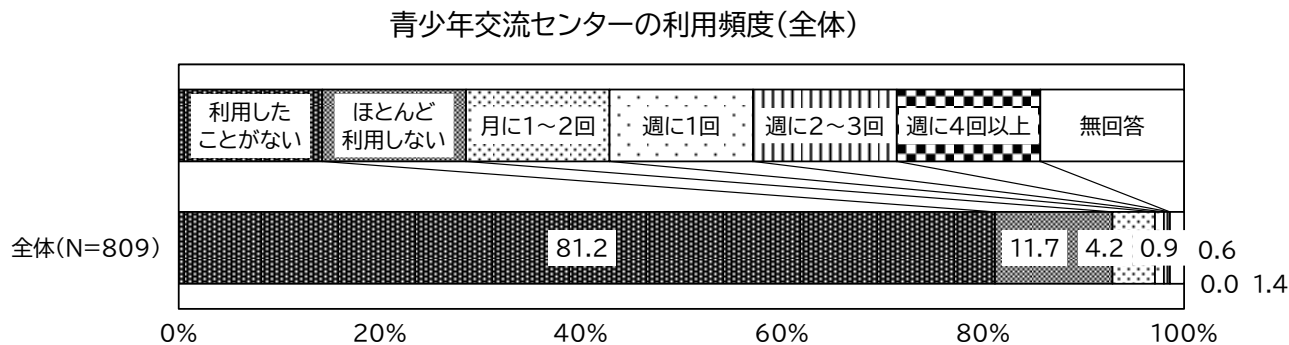
児童館を利用しない理由(全体、学年別):複数回答
 <児童館を利用したことがない又はほとんど利用しない人>

		行く暇がないから	他に楽しい場所があるから	家から遠いから	施設に魅力を感じないから	楽しくないから	入りづらいから	低年齢の子が多いから	初対面の人がいるから	児童館を知らないから	一緒に行く友達がいないから	小学生が多いから
全 体 (n=705)		47.1	44.1	30.6	26.2	24.3	23.7	19.0	18.9	17.6	15.3	14.9
学 年 別	1 年 生 (n=222)	52.3	45.9	33.8	25.7	23.9	19.8	16.2	18.5	17.6	13.5	10.8
	2 年 生 (n=225)	42.2	46.2	30.2	28.4	30.2	28.0	19.1	21.8	11.6	15.6	16.4
	3 年 生 (n=243)	47.7	41.2	28.8	25.1	19.8	23.9	21.8	16.9	22.2	16.0	17.7

		中学生向けの設備がないから	曜日合い合わせなど、時間や曜日が合わないから	中学生向けのプログラムがないから	学校の同級生や近所の子がいるから	ルールが多いから	違う学校の人がいるから	ゲームができないから	職員と気が合わないから	その他	無回答
全 体 (n=705)		11.8	10.8	9.6	9.1	8.4	8.2	5.8	5.5	9.9	1.3
学 年 別	1 年 生 (n=222)	8.6	14.4	6.8	6.8	6.3	5.0	6.3	4.5	13.1	2.7
	2 年 生 (n=225)	14.7	10.2	12.0	11.1	12.0	11.1	6.7	6.7	12.9	0.0
	3 年 生 (n=243)	12.3	8.2	10.7	9.1	7.4	8.6	4.5	5.8	4.5	0.8

(11) 青少年交流センターの利用頻度(問 15)

青少年交流センターの利用頻度は、「利用したことがない(81.2%)」が最も高く、「ほとんど利用しない(11.7%)」、「月に1～2回(4.2%)」が続いている。



学年別にみると、学年が上がるほど「利用したことがない」の割合が高くなっている。

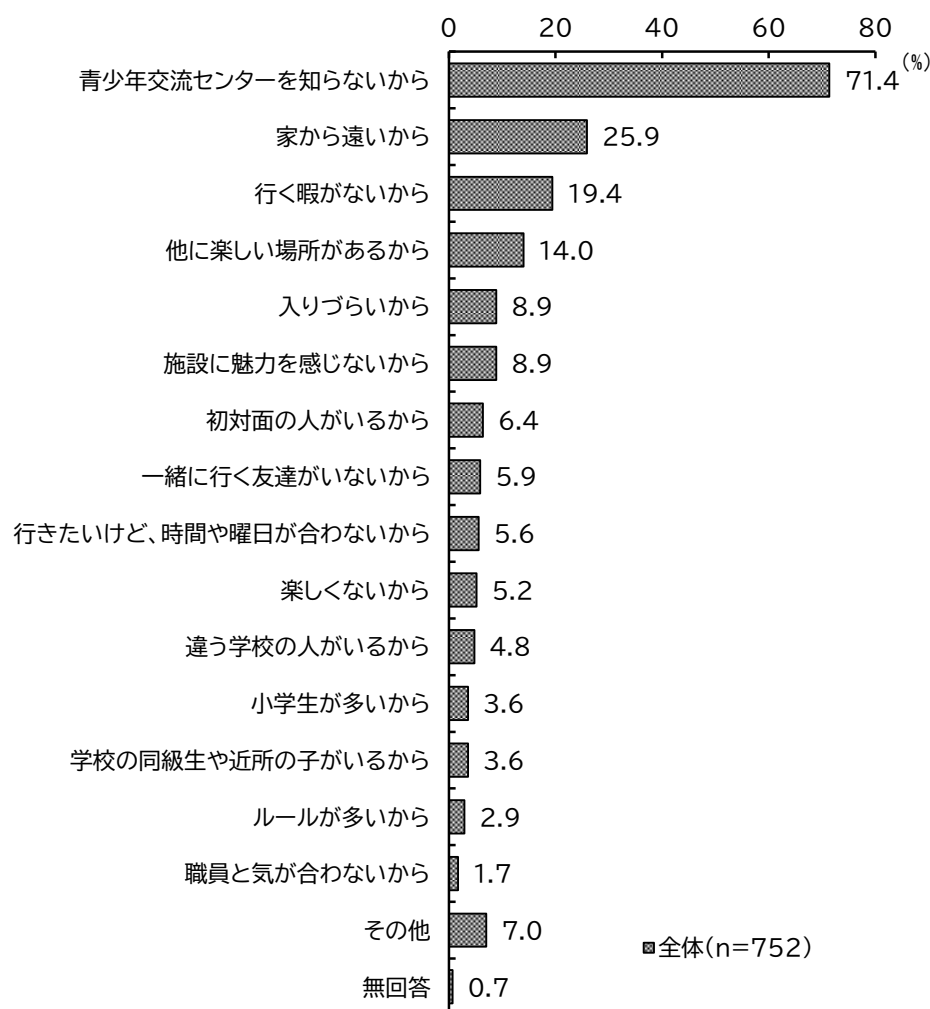
青少年交流センターの利用頻度(全体、学年別)

		利用頻度 (%)						
		な 利 用 し た こ と が	な ほ と ん ど 利 用 し	月 に 1 ～ 2 回	週 に 1 回	週 に 2 ～ 3 回	週 に 4 回 以 上	無 回 答
全	体 (N=809)	81.2	11.7	4.2	0.9	0.6	0.0	1.4
学 年 別	1 年 生 (n=279)	75.6	11.5	8.2	1.8	1.1	0.0	1.8
	2 年 生 (n=251)	82.9	13.9	1.6	0.8	0.4	0.0	0.4
	3 年 生 (n=261)	85.1	10.7	2.7	0.0	0.4	0.0	1.1

(12) 青少年交流センターを利用しない理由(問 15-1)

問 15 で「1. 利用したことがない」か「2. ほとんど利用しない」と回答した人に、青少年交流センターを利用しない理由についてたずねたところ、「青少年交流センターを知らないから(71.4%)」が最も高く、「家から遠いから(25.9%)」、「行く暇がないから(19.4%)」が続いている。

青少年交流センターを利用しない理由(全体):複数回答
 <青少年交流センターを利用したことがない又はほとんど利用しない人>



学年別にみると、学年が上がるほど「青少年交流センターを知らないから」の割合が高くなっている。

青少年交流センターを利用しない理由(全体、学年別):複数回答
 <青少年交流センターを利用したことがない又はほとんど利用しない人>

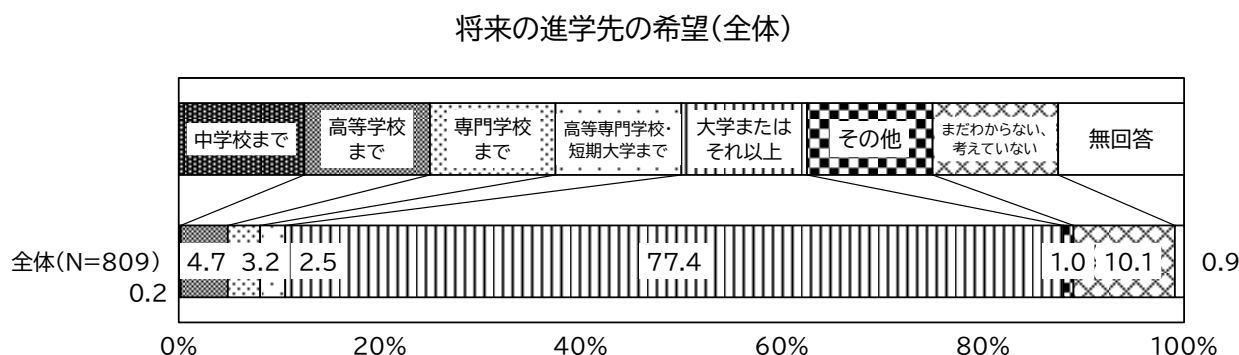
		知青少年交流センターを知らないから	家から遠いから	行く暇がないから	他に楽しい場所があるから	入りづらいから	施設に魅力を感じないから	初対面の人がいるから	一緒に行く友達がいないから	曜日や時間、曜日が合わないから	(%)
全	体 (n=752)	71.4	25.9	19.4	14.0	8.9	8.9	6.4	5.9	5.6	
学 年 別	1年生 (n=243)	68.7	28.0	21.8	12.3	10.3	10.3	7.8	7.0	7.8	
	2年生 (n=243)	71.2	28.4	16.9	16.0	9.5	8.6	7.4	5.8	6.2	
	3年生 (n=250)	74.4	21.2	19.2	14.0	7.6	8.4	4.4	4.4	3.2	
		楽しくないから	違う学校の人がいるから	小学生が多いから	学校の同級生や近所の子がいるから	ルールが多いから	職員と気が合わないから	その他	無回答		
全	体 (n=752)	5.2	4.8	3.6	3.6	2.9	1.7	7.0	0.7		
学 年 別	1年生 (n=243)	4.5	7.0	3.3	4.1	2.5	1.6	10.3	0.8		
	2年生 (n=243)	6.2	4.9	2.5	3.7	4.1	1.2	7.8	0.8		
	3年生 (n=250)	5.2	2.8	5.2	2.8	2.4	2.4	3.2	0.4		

4 将来

(1) 将来の進学先の希望(問 16)

将来の進学先の希望は、「大学またはそれ以上(77.4%)」が最も高く、「高等学校まで(4.7%)」、「専門学校まで(3.2%)」が続いている。「まだわからない、考えていない」は 10.1% となっている。

自己肯定感別にみると、自分自身のことがとても好きな人、自分自身のことがまあ好きな人では「大学またはそれ以上」が8割を超えて高くなっている。また、どちらでもない人、自分自身のことがあまり好きではない人では、「まだわからない、考えていない」が1割を超えて高くなっている。



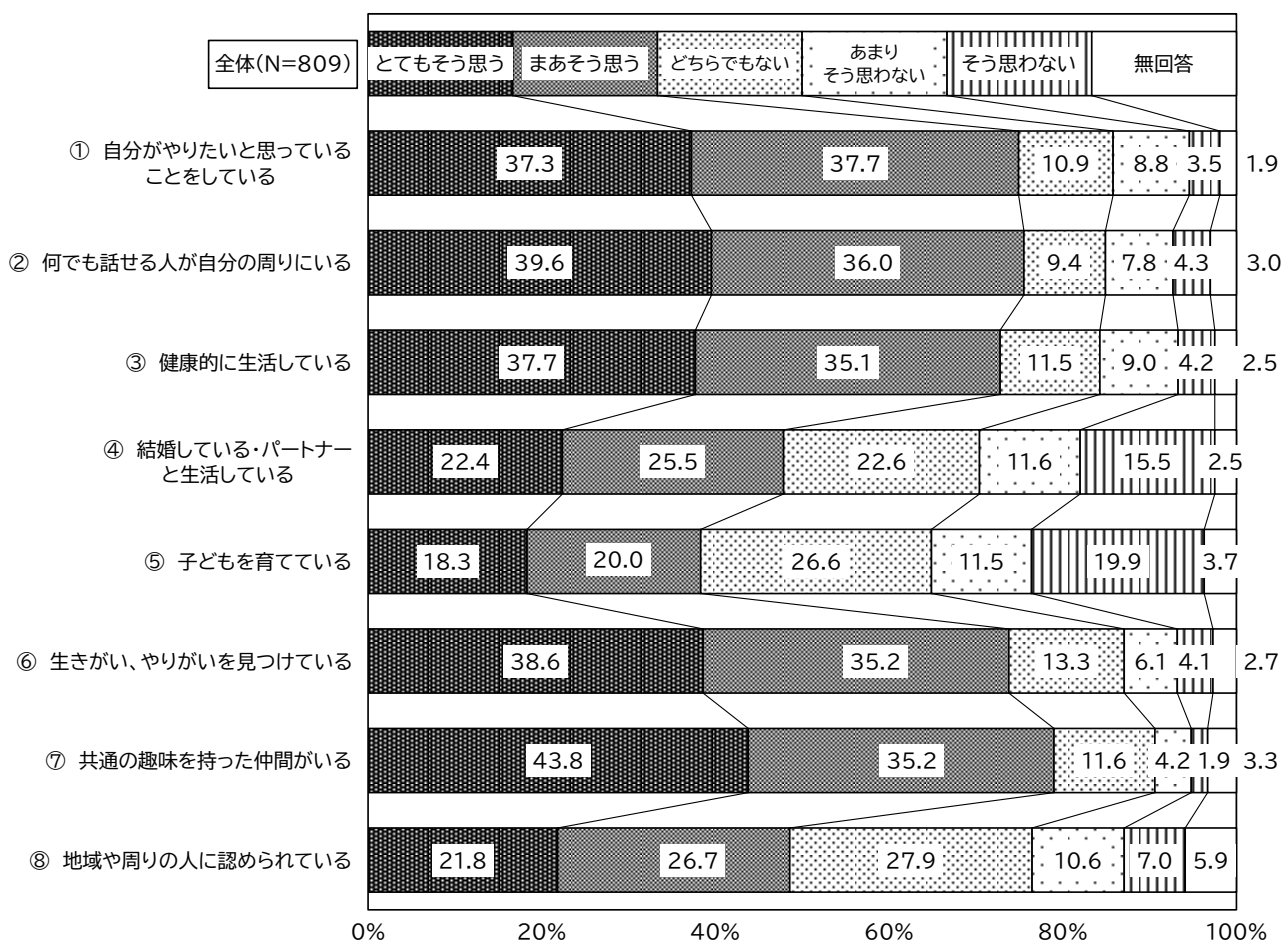
将来の進学先の希望(全体、自己肯定感別)

		(%)							
		中学校まで	高等学校まで	専門学校まで	高等専門学校・短期大学まで	大学またはそれ以上	その他	まだわからない、考えていない	無回答
全	体 (N=809)	0.2	4.7	3.2	2.5	77.4	1.0	10.1	0.9
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き (n=196)	0.0	2.6	1.5	2.0	83.7	1.0	7.7	1.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	0.4	5.7	2.8	1.2	81.4	0.0	7.7	0.8
	どちらでもない (n=182)	0.0	2.2	3.8	3.8	73.6	1.6	14.3	0.5
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	0.0	4.9	6.9	3.9	66.7	2.0	15.7	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	1.4	9.9	2.8	1.4	73.2	1.4	8.5	1.4

(2)20年後の自分のイメージ(問 17)

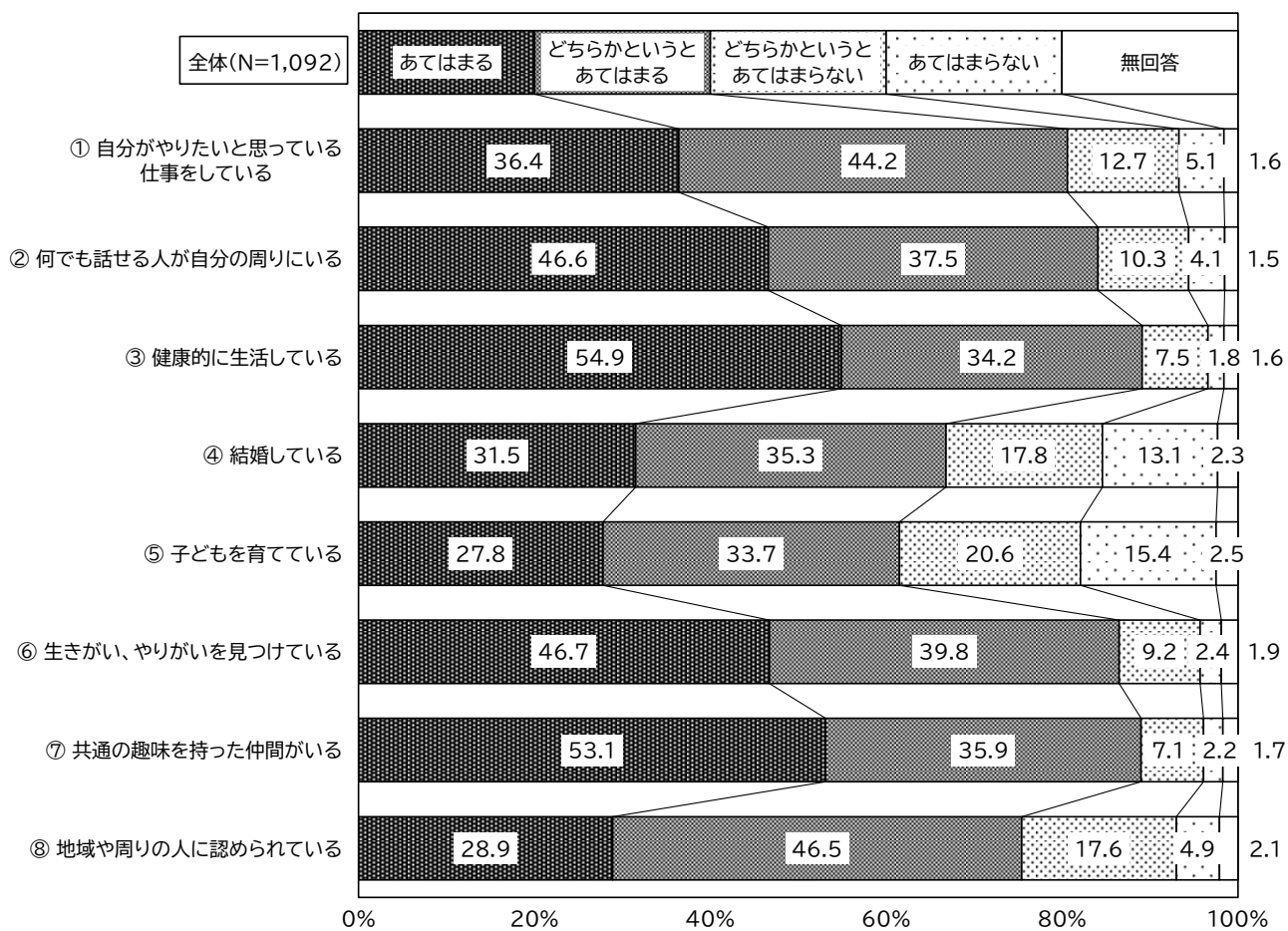
20年後の自分のイメージは、『《そう思う》(「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計)の割合が『⑦ 共通の趣味を持った仲間がいる(79.0%)』で最も高く、『② 何でも話せる人が自分の周りにいる(75.6%)』、『① 自分がやりたいと思っていることをしている(75.0%)』、『⑥ 生きがい、やりがいを見つけている(73.8%)』、『③ 健康的に生活している(72.8%)』で7割を超えている。

20年後の自分のイメージ(全体)



第2章 調査結果

<参考> 20年後の自分のイメージ(全体)【H30年度調査】



◆① 自分がやりたいと思っていることをしている(自己肯定感別)

『① 自分がやりたいと思っていることをしている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど《そう思わない》(「そう思わない」と「あまりそう思わないの合計」)の割合が高い傾向にあり、その割合は、自分自身のことがまったく好きではない人では 35.2%となっている。

20 年後の自分のイメージ:① 自分がやりたいと思っていることをしている(全体、自己肯定感別)
(%)

		思とうてもそう	うまあそう思	などいちらでも	思あわまなりそう	いそう思わな	無回答
全 体 (N=809)		37.3	37.7	10.9	8.8	3.5	1.9
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き (n=196)	64.3	25.0	4.1	3.6	1.5	1.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	36.4	47.4	8.1	5.3	0.8	2.0
	どちらでもない (n=182)	27.5	43.4	17.6	7.7	1.1	2.7
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	15.7	36.3	18.6	20.6	8.8	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	23.9	29.6	9.9	21.1	14.1	1.4

◆② 何でも話せる人が自分の周りにいる(自己肯定感別)

『② 何でも話せる人が自分の周りにいる』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど《そう思わない》の割合が高い傾向にあり、その割合は、自分自身のことがまったく好きではない人では 39.4%となっている。

20 年後の自分のイメージ:② 何でも話せる人が自分の周りにいる(全体、自己肯定感別)

		思とうてもそう	うまあそう思	などいちらでも	思あわまなりそう	いそう思わな	無回答
全 体 (N=809)		39.6	36.0	9.4	7.8	4.3	3.0
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き (n=196)	67.3	21.9	3.1	3.1	2.6	2.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	46.2	36.4	9.7	4.0	1.2	2.4
	どちらでもない (n=182)	23.1	52.2	12.6	6.0	2.2	3.8
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	17.6	39.2	13.7	19.6	7.8	2.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	18.3	26.8	11.3	18.3	21.1	4.2

第2章 調査結果

◆③ 健康的に生活している(自己肯定感別)

『③ 健康的に生活している』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど《そう思わない》の割合が高い傾向にあり、その割合は、自分自身のことがまったく好きではない人では 36.6%となっている。

20年後の自分のイメージ:③ 健康的に生活している(全体、自己肯定感別)

		(%)					
		思 と う も そ う	う ま あ そ う 思	な ど い ち ら で も	思 あ わ ま な り い そ う	い そ う 思 わ な	無 回 答
全	体 (N=809)	37.7	35.1	11.5	9.0	4.2	2.5
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	64.3	21.9	5.1	3.6	2.6	2.6
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	41.3	40.1	6.9	8.5	0.8	2.4
	どちらでもない (n=182)	24.7	47.8	17.0	3.3	4.4	2.7
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	16.7	32.4	22.5	23.5	4.9	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	19.7	23.9	15.5	18.3	18.3	4.2

◆④ 結婚している・パートナーと生活している(自己肯定感別)

『④ 結婚している・パートナーと生活している』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど《そう思わない》の割合が高い傾向にあり、その割合は、自分自身のことがまったく好きではない人では 49.3%となっている。

20年後の自分のイメージ:④ 結婚している・パートナーと生活している(全体、自己肯定感別)

		(%)					
		思 と う も そ う	う ま あ そ う 思	な ど い ち ら で も	思 あ わ ま な り い そ う	い そ う 思 わ な	無 回 答
全	体 (N=809)	22.4	25.5	22.6	11.6	15.5	2.5
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	40.8	20.9	18.9	6.1	11.7	1.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	23.5	30.0	25.1	9.7	9.3	2.4
	どちらでもない (n=182)	9.3	27.5	31.3	13.2	15.4	3.3
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	13.7	25.5	14.7	22.5	23.5	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	12.7	16.9	16.9	14.1	35.2	4.2

◆⑤ 子どもを育てている(自己肯定感別)

『⑤ 子どもを育てている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど《そう思わない》の割合が高い傾向にあり、その割合は、自分自身のことがまったく好きではない人では59.2%となっている。

20年後の自分のイメージ:⑤ 子どもを育てている(全体、自己肯定感別)

		(%)					
		思 と う も そ う	う ま あ そ う 思	な ど い ち ら で も	思 あ わ ま な り い そ う	い そ う 思 わ な	無 回 答
全	体 (N=809)	18.3	20.0	26.6	11.5	19.9	3.7
自 己 肯 定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	34.2	17.3	23.0	6.1	14.8	4.6
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	19.4	23.5	28.7	11.3	13.0	4.0
	ど ち ら で も な い (n=182)	7.7	22.0	37.4	9.9	19.8	3.3
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	9.8	17.6	19.6	22.5	29.4	1.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	11.3	11.3	14.1	15.5	43.7	4.2

◆⑥ 生きがい、やりがいを見つけている(自己肯定感別)

『⑥ 生きがい、やりがいを見つけている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど《そう思わない》の割合が高い傾向にあり、その割合は、自分自身のことがまったく好きではない人では35.3%となっている。

20年後の自分のイメージ:⑥ 生きがい、やりがいを見つけている(全体、自己肯定感別)

		(%)					
		思 と う も そ う	う ま あ そ う 思	な ど い ち ら で も	思 あ わ ま な り い そ う	い そ う 思 わ な	無 回 答
全	体 (N=809)	38.6	35.2	13.3	6.1	4.1	2.7
自 己 肯 定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	68.9	19.4	5.1	3.6	1.0	2.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	38.9	45.7	9.3	2.0	1.2	2.8
	ど ち ら で も な い (n=182)	25.3	41.8	22.0	6.6	1.1	3.3
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	15.7	40.2	20.6	17.6	5.9	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	23.9	21.1	15.5	8.5	26.8	4.2

第2章 調査結果

◆⑦ 共通の趣味を持った仲間がいる(自己肯定感別)

『⑦ 共通の趣味を持った仲間がいる』について自己肯定感別にみると、自分自身のことがまったく好きではない人で《そう思わない(22.6%)》の割合が2割を超えて高くなっている。

20年後の自分のイメージ:⑦ 共通の趣味を持った仲間がいる(全体、自己肯定感別)

		(%)					
		思と うても そう	うま あ そう 思	など い ち ら で も	思あ わま なり ない そう	いそ う 思 わ な	無 回 答
全	体 (N=809)	43.8	35.2	11.6	4.2	1.9	3.3
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	67.9	19.4	6.6	2.0	1.0	3.1
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	47.4	36.8	8.9	3.2	0.4	3.2
	どちらでもない (n=182)	30.2	45.6	15.4	3.8	2.2	2.7
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	23.5	49.0	19.6	4.9	1.0	2.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	32.4	26.8	12.7	12.7	9.9	5.6

◆⑧ 地域や周りの人に認められている(自己肯定感別)

『⑧ 地域や周りの人に認められている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど《そう思わない》の割合が高い傾向にあり、その割合は、自分自身のことがまったく好きではない人では39.5%となっている。

20年後の自分のイメージ:⑧ 地域や周りの人に認められている(全体、自己肯定感別)

		(%)					
		思と うても そう	うま あ そう 思	など い ち ら で も	思あ わま なり ない そう	いそ う 思 わ な	無 回 答
全	体 (N=809)	21.8	26.7	27.9	10.6	7.0	5.9
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	43.9	26.0	15.3	5.1	3.1	6.6
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	21.9	38.5	21.1	8.9	3.2	6.5
	どちらでもない (n=182)	11.5	23.1	45.6	9.9	4.9	4.9
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	6.9	12.7	37.3	24.5	13.7	4.9
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	9.9	16.9	29.6	12.7	26.8	4.2

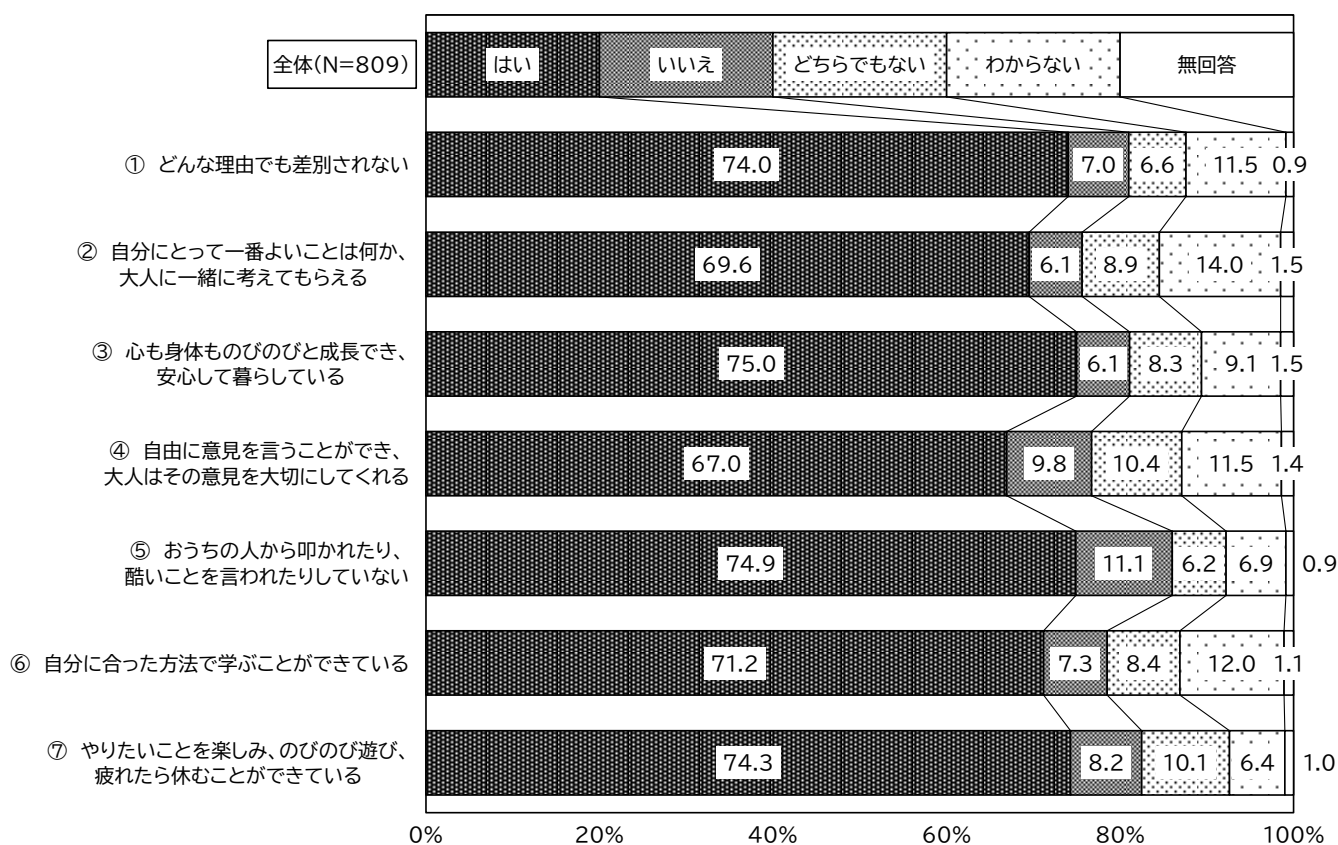
5 子どもの権利など

(1)子どもの権利は守られているか(問 18)

子どもの権利は守られているかは、「はい」の割合が『③ 心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている(75.0%)』で最も高く、『⑤ おうちの人から叩かれたり、酷いことを言われたりしていない(74.9%)』、『⑦ やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができる(74.3%)』、『① どんな理由でも差別されない(74.0%)』、『⑥ 自分に合った方法で学ぶことができる(71.2%)』で7割を超えている。

また、「いいえ」の割合は、『⑤ おうちの人から叩かれたり、酷いことを言われたりしていない(11.1%)』のみ1割を超えている。

子どもの権利は守られているか(全体)



第2章 調査結果

◆(1)どんな理由でも差別されない(自己肯定感別)

『(1)どんな理由のでも差別されない』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人で「いいえ」の割合が高い傾向にあり、自分自身のことがまったく好きではない人では21.1%となっている。

子どもの権利は守られているか:(1)どんな理由でも差別されない(全体、自己肯定感別)

			はい	いいえ	など いちら でも	わ か ら な い	無 回 答
全 体 (N=809)			74.0	7.0	6.6	11.5	0.9
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)		81.6	4.1	6.6	6.6	1.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)		81.0	4.5	4.9	8.5	1.2
	ど ち ら で も な い (n=182)		73.6	4.4	6.6	14.8	0.5
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)		63.7	12.7	5.9	17.6	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)		45.1	21.1	14.1	18.3	1.4

◆(2)自分にとって一番よいことはなにか、大人と一緒に考えてもらえる(自己肯定感別)

『(2)自分にとって一番よいことはなにか、大人と一緒に考えてもらえる』について自己肯定感別にみると、自分自身のことがまったく好きではない人では「いいえ(16.9%)」が1割を超えており高くなっている。

子どもの権利は守られているか:

(2)自分にとって一番よいことはなにか、大人と一緒に考えてもらえる(全体、自己肯定感別)

			はい	いいえ	など いちら でも	わ か ら な い	無 回 答
全 体 (N=809)			69.6	6.1	8.9	14.0	1.5
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)		82.7	4.6	4.1	7.1	1.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)		78.5	4.5	6.1	10.1	0.8
	ど ち ら で も な い (n=182)		65.9	4.4	15.4	12.1	2.2
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)		51.0	6.9	10.8	29.4	2.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)		39.4	16.9	14.1	28.2	1.4

◆(3)心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている(自己肯定感別)

『(3)心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人で「いいえ」の割合が高い傾向にあり、自分自身のことがまったく好きではない人では16.9%となっている。

子どもの権利は守られているか:

(3)心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=809)	75.0	6.1	8.3	9.1	1.5
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	85.2	4.1	4.1	3.6	3.1
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	84.6	3.6	4.5	6.1	1.2
	どちらでもない (n=182)	74.2	4.4	8.2	12.1	1.1
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	62.7	10.8	15.7	10.8	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	35.2	16.9	21.1	25.4	1.4

◆(4)自由に意見を言うことができ、大人はその意見を大切にしてくれる(自己肯定感別)

『(4)自由に意見を言うことができ、大人はその意見を大切にしてくれる』について自己肯定感別にみると自分のことが好きではない人で「いいえ」の割合が高い傾向にあり、自分自身のことがまったく好きではない人では21.1%となっている。

子どもの権利は守られているか:

(4)自由に意見を言うことができ、大人はその意見を大切にしてくれる(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=809)	67.0	9.8	10.4	11.5	1.4
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	81.6	7.1	2.6	7.1	1.5
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	74.1	7.3	9.7	7.3	1.6
	どちらでもない (n=182)	64.8	8.8	12.1	12.6	1.6
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	48.0	13.7	18.6	19.6	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	36.6	21.1	16.9	23.9	1.4

第2章 調査結果

◆(5)おうちの人から叩かれたり、酷いことを言われたりしていない(自己肯定感別)

『(5)おうちの人から叩かれたり、酷いことを言われたりしていない』について自己肯定感別にみると、自分自身のことがまったく好きではない人では「いいえ(19.7%)」が2割弱と高くなっている。

子どもの権利は守られているか:

(5)おうちの人から叩かれたり、酷いことを言われたりしていない(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=809)	74.9	11.1	6.2	6.9	0.9
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	81.1	8.2	3.6	6.1	1.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	76.9	10.9	6.5	4.5	1.2
	どちらでもない (n=182)	76.4	9.9	7.1	6.0	0.5
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	69.6	13.7	5.9	10.8	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	52.1	19.7	11.3	15.5	1.4

◆(6)自分に合った方法で学ぶことができている(自己肯定感別)

『(6)自分に合った方法で学ぶことができている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人で「いいえ」の割合が高い傾向にあり、自分自身のことがあまり好きではない人では 15.7%、自分自身のことがまったく好きではない人では 15.5%となっている。

子どもの権利は守られているか:

(6)自分に合った方法で学ぶことができている(全体、自己肯定感別)

		(%)				
		はい	いいえ	など い ち ら で も	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=809)	71.2	7.3	8.4	12.0	1.1
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	81.1	5.6	4.1	8.2	1.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	80.2	4.0	7.3	7.7	0.8
	どちらでもない (n=182)	65.9	5.5	9.9	17.6	1.1
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	52.9	15.7	16.7	14.7	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	56.3	15.5	8.5	16.9	2.8

◆(7)やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができている(自己肯定感別)

『(7)やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができている』について自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人で「いいえ」の割合が高い傾向にあり、自分自身のことがまったく好きではない人では16.9%となっている。

子どもの権利は守られているか：

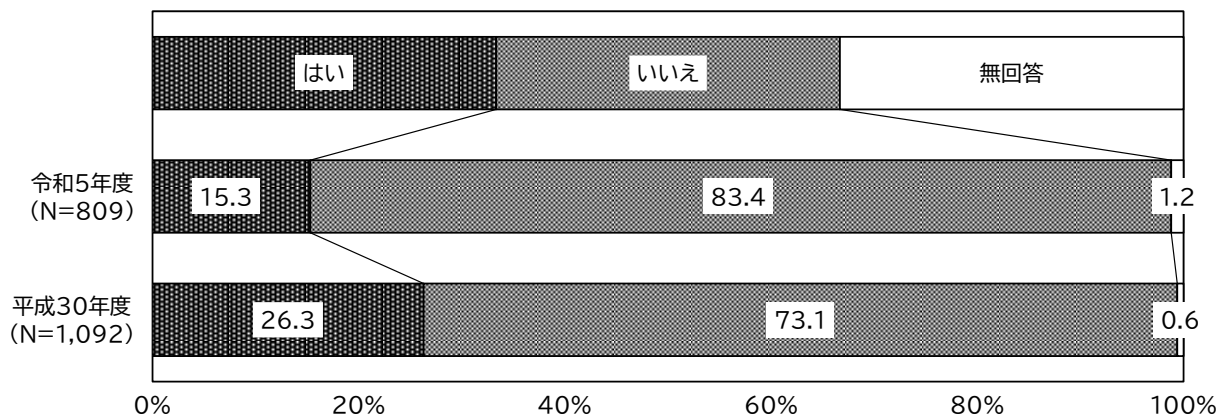
(7)やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができている(全体、自己肯定感別)
(%)

		はい	いいえ	など いちら でも	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=809)	74.3	8.2	10.1	6.4	1.0
自己 肯定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	82.7	6.1	3.6	5.6	2.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	80.6	4.9	9.3	4.5	0.8
	ど ち ら で も な い (n=182)	74.2	8.8	10.4	6.0	0.5
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	61.8	13.7	13.7	10.8	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	46.5	16.9	25.4	9.9	1.4

(2)世田谷区子ども条例の認知度(問 19-1)

世田谷区子ども条例の認知度は、「はい」が15.3%、「いいえ」が83.4%となっている。
 経年比較をすると、「はい」が11.0ポイント低くなっている。

世田谷区子ども条例の認知度(全体)【経年比較】



※平成30年度は、選択肢が「知っていた」、「知らなかった」となっている。

学校の場所別にみると、区内、区外どちらも「はい」が15%台となっている。

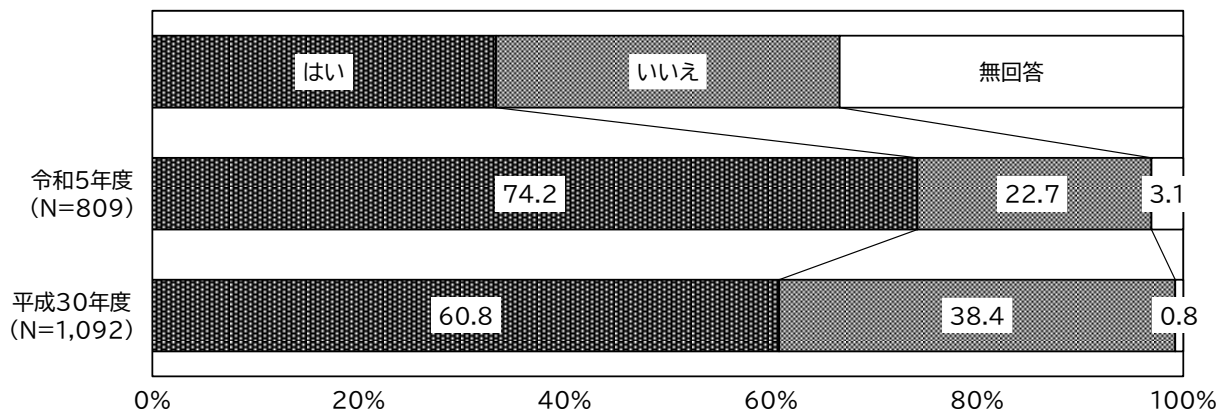
世田谷区子ども条例の認知度(全体、学校の場所別)

		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全	体 (N=809)	15.3	83.4	1.2
所の学	区内 (n=559)	15.0	83.5	1.4
別場校	区外 (n=244)	15.6	83.6	0.8

(3) せたホツとの認知度(問 19-2)

せたホツとの認知度は、「はい」が 74.2%、「いいえ」が 22.7%となっている。
 経年比較をすると、「はい」が 13.4 ポイント高くなっている。

せたホツとの認知度(全体)【経年比較】



※平成 30 年度は、選択肢が「知っていた」、「知らなかった」となっている。

学校の場所別にみると、「はい」の割合は、区内が 79.1%、区外が 62.7%となっている。

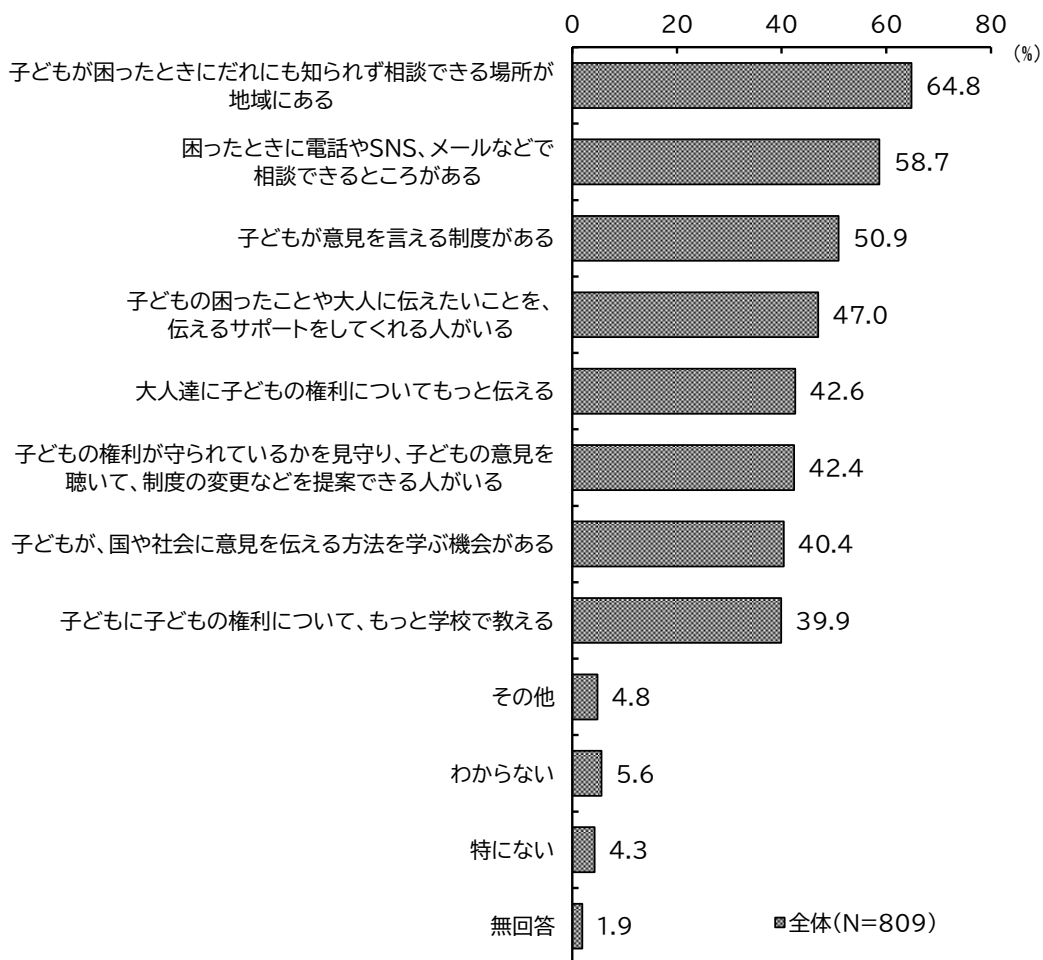
せたホツとの認知度(全体、学校の場所別)

		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全	体 (N=809)	74.2	22.7	3.1
所の学	区 内 (n=559)	79.1	17.7	3.2
別場校	区 外 (n=244)	62.7	34.8	2.5

(4)子どもの権利を守るための仕組みであるとよいと思うこと(問 20)

子どもの権利を守るための仕組みであるとよいと思うことは、「子どもが困ったときにだれにも知られず相談できる場所が地域にある(64.8%)」が最も高く、「困ったときに電話や SNS、メールなどで相談できるところがある(58.7%)」、「子どもが意見を言える制度がある(50.9%)」が続いている。

子どもの権利を守るための仕組みであるとよいと思うこと(全体):複数回答



学年別にみると、1年生、2年生では全体と同じく「子どもが困ったときにだれにも知られず相談できる場所が地域にある」が最も高く、「困ったときに電話や SNS、メールなどで相談できるところがある」、「子どもが意見を言える制度がある」が続いている。3年生では、「困ったときに電話や SNS、メールなどで相談できるところがある(60.9%)」と「子どもが困ったときにだれにも知られず相談できる場所が地域にある(60.5%)」が6割強で高くなっている。

学校の場所別にみると、区内、区外ともに上位の項目は全体と同様の傾向である。

子どもの権利を守るための仕組みであるとよいと思うこと

(全体、学年別、学校の場所別):複数回答

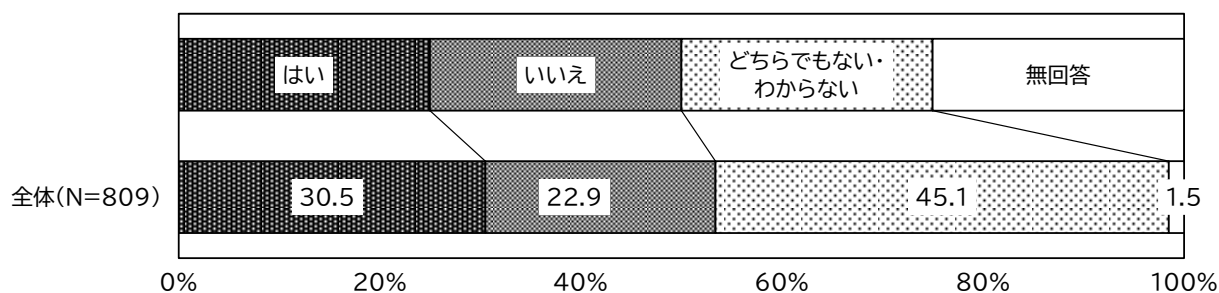
		子どもが困ったときにだれにも知られず相談できる場所が地域にある	困ったときに電話や SNS、メールなどで相談できるところがある	子どもが意見を言える制度がある	子どもの困ったことや大人に伝えたいことを、伝えるサポートをしてくれる人がいる	大人達に子どもの権利についてもっと伝える	子どもの権利が守られているかを見守り、子どもの意見を聴いて、制度の変更などを提案できる人がいる	子どもが、国や社会に意見を伝える方法を学ぶ機会がある	子どもに子どもの権利について、もっと学校で教える	その他	わからない	特にない	無回答
全	体 (N=809)	64.8	58.7	50.9	47.0	42.6	42.4	40.4	39.9	4.8	5.6	4.3	1.9
学 年 別	1年生 (n=279)	65.9	55.9	50.5	48.7	41.2	39.1	37.3	41.2	4.3	5.7	5.4	2.5
	2年生 (n=251)	66.9	58.6	53.8	46.2	44.6	44.6	41.8	41.0	4.4	4.4	5.2	1.6
	3年生 (n=261)	60.5	60.9	48.3	45.2	42.1	43.3	42.9	36.8	4.6	6.9	2.7	1.5
所 の 学 校 別 場 校	区 内 (n=559)	65.3	58.1	50.3	47.9	42.4	42.8	41.1	39.7	5.5	6.3	4.1	1.6
	区 外 (n=244)	63.5	60.2	52.5	44.7	43.0	41.4	38.5	39.8	3.3	4.1	4.9	2.0

6 子どもの参加・参画・意見表明

(1)世田谷区に意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会への参加意向(問 21)

世田谷区に意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会への参加意向は、「はい」が30.5%、「いいえ」が22.9%となっている。

世田谷区に意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会への参加意向(全体)



学年別にみると、3年生で「はい」が33.7%で高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分自身のことが好きな人は「はい」が高く、とても好きな人は38.3%、まあ好きな人は34.4%となっている。

周りの人が意見を聞いてくれるか別にみると、周りの人が意見を聞いてくれるととてもそう思う人、周りの人が意見を聞いてくれるとまったくそう思わない人どちらも「はい」が36%台で高くなっている。

世田谷区に意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会への参加意向

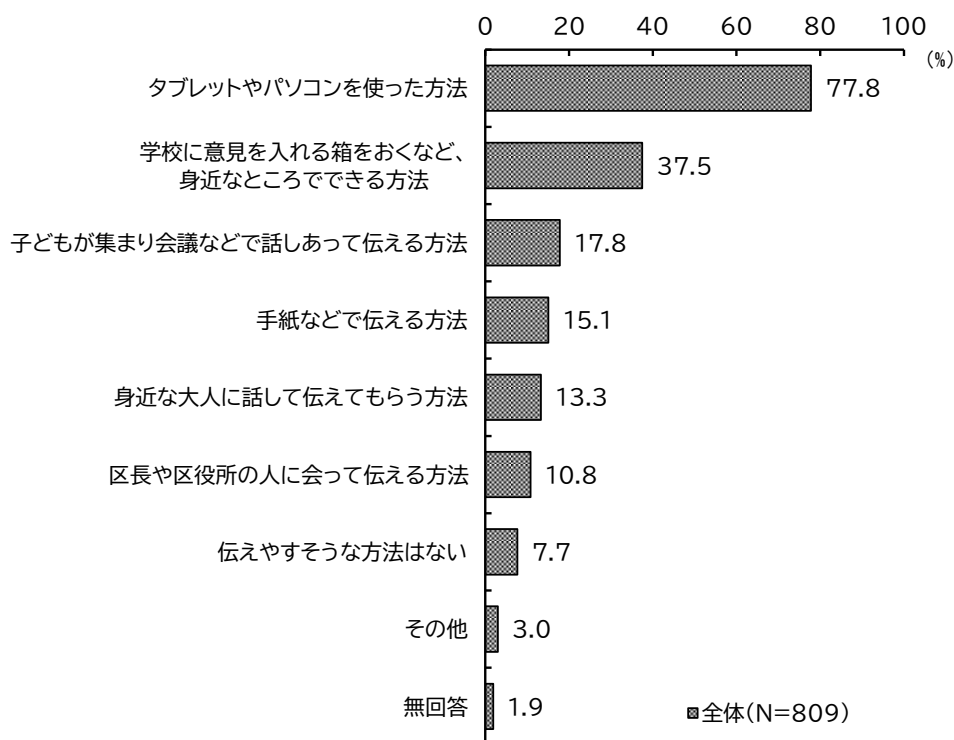
(全体、学年別、自己肯定感別、周りの人が意見を聞いてくれるか別)

			はい	いいえ	どちらでもない・わからない	無回答
			(%)			
全	体	(N=809)	30.5	22.9	45.1	1.5
学年別	1	年生 (n=279)	28.3	23.3	47.0	1.4
	2	年生 (n=251)	27.9	22.3	48.2	1.6
	3	年生 (n=261)	33.7	23.4	41.4	1.5
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き (n=196)		38.3	21.9	36.7	3.1
	自分自身のことがまあ好き (n=247)		34.4	20.6	43.7	1.2
	どちらでもない (n=182)		23.6	21.4	53.8	1.1
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)		22.5	29.4	48.0	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n=71)		25.4	26.8	46.5	1.4
見周りをりる聞のかい人別てがく意	周りの人が意見を聞いてくれるととてもそう思う (n=347)		36.6	18.7	42.4	2.3
	周りの人が意見を聞いてくれるとまあそう思う (n=333)		24.6	24.0	50.8	0.6
	どちらでもない (n=66)		27.3	25.8	45.5	1.5
	周りの人が意見を聞いてくれるとあまりそう思わない (n=43)		30.2	37.2	32.6	0.0
	周りの人が意見を聞いてくれるとまったくそう思わない (n=11)		36.4	36.4	27.3	0.0

(2)世田谷区に意見を伝えやすい方法(問 22)

世田谷区に意見を伝えやすい方法は、「タブレットやパソコンを使った方法(77.8%)」が最も高く、「学校に意見をいれる箱をおくなど、身近なところのできる方法(37.5%)」、「子どもが集まり会議などで話しあって伝える方法(17.8%)」が続いている。

世田谷区に意見を伝えやすい方法(全体):複数回答



(3)子どもや若者にとって「こんなまち(世田谷)になったらいいな」「こんな社会にしたい」など、意見・願い(問 23)

子どもや若者にとって「こんなまち(世田谷)になったらいいな」「こんな社会にしたい」など、意見・願いに関して、自由記述形式でたずねたところ、全体で405件の回答があった。すべての意見について確認したうえで分類を行い、全件を掲載することは難しいことから、個人や所属が特定される可能性がある意見、配慮が必要となる意見、類似した意見等は除き、一部を紹介する。

1. 遊び場・公園

◇公園に関するもの(17件)

- ・ ボールを安全に使える公園をいくつか作る(フェンスで囲まれている公園のスペースに屋根としてネットを張るなど)。また、フェンスだけでなく壁当てができる壁もあると良いと思う。(3年生)
- ・ 青年などでも、外で遊びたいと思える公園やもう少し緑がほしい。(2年生)
- ・ 地域に公園を増やし、公園の広さを広くする サッカーができる公園がほしい(1年生)
- ・ 近くにのびのび遊べる広い公園が少ないので広い公園を増やしてほしいです。(3年生)
- ・ 気軽にスポーツができる広場や公園の数を増やしてほしい。(バスケットボールのリングがあり、平らな地面がある)(3年生)

◇運動・遊びに関するもの(19件)

- ・ もっと自由に運動できる場所がある(2年生)
- ・ 目とかが不自由な人とかに暮らしやすいまち もっと子どもの遊ぶところを増やしてほしい(1年生)
- ・ 中学生から高校生向けの遊べる施設がほしいです。(ボーリング施設や、大きいゲームセンターなど)(3年生)
- ・ もっと子どもが好きなことに打ち込める場所が増えたらいいなと思います。例えばもっとサッカーのコートなどのグラウンドを増やしたり、ダンススタジオを増やしたりするなどで。(2年生)
- ・ 映画館や、遊べる場所がたくさんある(2年生)
- ・ 世田谷区には遊べる場所が少なく、遊ぶときは駅を跨いで遊ぶことが多いので、もっと遊べる場所があれば友達と楽しめるのかなと思います。(1年生)

2. 居場所(18件)

- ・ 子どもが自由に出入りできるすごしやすい施設(室内)(1年生)
- ・ もっと沢山の学生が利用できる子ども食堂のような飲食店や自学室があればいいな、と思います。(1年生)
- ・ 子ども同士が集まれる場所や地域で繋がれる場所をもっと作り、交流を広げやすくしてほしい。子どもも大人も偏った意見や偏見のないどんなものでも広い心で受け入れることができるような社会になってほしい。(3年生)

- ・ 学生が充実して学習できる自習室がほしいです。(1年生)
- ・ 自分の将来やりたい仕事に合った大学や学部を相談できる信頼できて、何時でも頼れる大人がいる施設とかあったらいいと思う。もしかしたらあるけれど、私が知らないだけという可能性もあるので、あるのならばもっと私立学校も含めポスターを貼るなど中学生に幅広く宣伝する必要があると思う。(1年生)
- ・ 子どもの意見を積極的に取り入れてくれるまち(子どもを集めて会議をしたりネットなどで意見を募集して)・不安なことやネガティブな気持ちを吐き出したいときに名前も顔も知られずに簡単に話せる場所があるまち・子どもがなにか興味があることや新しいことにチャレンジできる機会が多いまち・人前で意見を言う機会が多いまち(3年生)
- ・ 何にもとらわれないのんびりとした空間があるといい。(1年生)
- ・ 家みたいなルールもなくて誰にも監視されたりしない施設。(1年生)

3. 施設(2件)

- ・ 家の近くに大きな水族館を作ってほしい(1年生)

4. 学校(37件)

- ・ 子どもが学習に対して関心を更に持てるように、学校教育の仕組みを更に改善してほしい。(3年生)
- ・ 私や私の周りの友達は学校の「校則」についてとても苦しんでいます。肉体的に辛いことはないのですが、今、私は大人も子どもも一人一人がやりたいことをのびのびとできる社会にしたいと考えています。中学生である私たちに縛りをすることによって、将来やりたいことなどもそこから興味が薄れていってしまうのではないかと考えています。なので、私立、市立、区立、国立、学校がどの建ち方であっても全ての学生の「校則」は見直してほしいと考えています。(3年生)
- ・ 学費を無料にしてください(3年生)
- ・ みんなが気軽に学校に行ったり、男女関係なく喋れたらいいと思います(1年生)
- ・ 一つ目は学校にいらなくても、インターネット等で、評価されるシステムを導入してほしいです。今の時代、学校や友達が自分に合わなかったりする人は少なくないと思います。でも、学校を転校するのが怖かったり、踏み込めない人もいます。だから、学校にいらなくても、評価されたり、内申点を取ることができ、他の人と変わらず、卒業できるようなシステムを導入してほしいです。(1年生)
- ・ 子どもが学校の運営や行事、校則等に対して先生も含めて議論し実現できる環境を整備してほしい。(1年生)
- ・ 子どもが学校の先生に持っている不満を気兼ねなく伝えることができる場(2年生)
- ・ 不登校児童への理解がある 学校や家庭に居場所が無い児童に他の居場所を与えられるカウンセラーとの距離を縮められる どんな人にでも優しくできる思いやりのある街(2年生)
- ・ 校則を緩ませよう、みたいな方向に考えが向いている人、学校が多いように感じます。今

第2章 調査結果

の中学校は、ルールを緩めて、ルールを必要としない自立した人間になれという考えなのだと思います。しかし、そんないきなり自立は無理です。中学生の、中学校のルールをもう少しきちんと作ってもいいのではないのでしょうか。(3年生)

- ・ 連絡手段としてスマホを学校に持って行くことを認めてほしい(3年生)
- ・ 先生達のお気に入り、目をつける、先生達の想像でものを考えるその人の性格を決めつけるなどがなくなり、平等に評価してほしい。(2年生)
- ・ 世田谷区が貸出をしているタブレットのカバーがとても重く、それに重い教科書を毎日もって行くのはとても大変なので、タブレットカバーを少しでも軽くしてほしいと思います。(2年生)

5. 祭り・イベント(3件)

- ・ お祭りなどで、周囲の人間関係が深まるような行事を開催したり、子どもたちが楽しいようなイベントを開催したり、何をしてもいいようなスペースを作るところをしてほしいです。(2年生)

6. 地域交流(5件)

- ・ 地域の人との交流を増やしたい。(3年生)
- ・ 地域住民との交流の機会を増やして、知り合いがたくさんいる！というまちになったらいいと思います。(3年生)

7. まちづくり(18件)

- ・ 暮らすのに不便を感じない。交通の便がいい。治安がいい。(3年生)
- ・ 駅にお店を増やしてほしい！本屋を増やしてほしい！(1年生)
- ・ 段差が少なくなって、車椅子が通りやすい道(2年生)
- ・ 街中にフリーWi-Fiを設置してほしい。(2年生)
- ・ 公園にお店を作る際お酒を売るアンケートをしていた時、大人しか答えてはならないと言われ、本当は酔っ払いとか増えて治安が悪くなるのはやだったのに年齢制限でできなかった。お酒を飲む人も重要だが、周りの意見も受け入れてほしかった。(2年生)

8. バス(4件)

- ・ 路線バスが減少したので増やしてほしい 公共交通機関の学割がほしい(中・高生用)(3年生)

9. 自然(6件)

- ・ 自然や公園等を増やしてほしい(3年生)
- ・ 自然の摂理や大切さを学ぶために、森林を壊さず、積極的に残してほしいです。そして、動植物と触れ合う機会や自分の育った区の中で自然を感じる機会を増やしてほしいです。(2年生)

10. 相談(7件)

- ・ 全ての人が悩みや困ったことを一人で悩まず誰かに相談できるようにしたい！(1年生)
- ・ 身近な人に知られずに虐待やいじめを受けている人の相談にのれて、助けてあげる人がいてほしい(1年生)
- ・ 身近な人になにか嫌なことを言われたりされたりしたときにメモや日記のようになにも考えずそのままの気持ちを誰かに聞いてもらいたいです(1年生)
- ・ 悩みを相談できる LINE のチャットがほしい(1年生)

11. いじめ・差別等がない(23件)

- ・ 差別されない、みんなが楽しく幸せに生きられる環境、いじめや虐待がない町、セクハラやパワハラがない町や社会、辛いことがあっても相談できる家族や友達が必ずみんなにいる、好きな人などが同性でも異性でも何も言われず付き合えたりする(差別)社会、町になってほしいです。(2年生)
- ・ いじめが無くなる社会 差別が無くなる社会(1年生)
- ・ 学校に行くこと、社会に出て会社で働くことなどは大事だけど、それを強要しすぎない。それぞれに合った生き方があるから、それを尊重してくれる場所になってほしい。いじめや差別をなくしたい。それで誰かの人生が奪われることは絶対にあってはいけないと思う。(1年生)
- ・ ちゃんと話し合いができ、差別がなく楽しい思いで過ごせる社会(2年生)

12. 虐待がない(5件)

- ・ 精神的、肉体的に虐待を受けている子の保護、アフターケア、証拠が掴めなかった場合の親の監視。SNS で自殺予告などをしている子の保護。政治に子どもの意見などが反映されること。(1年生)
- ・ 子どもが虐待を受けず、健康に生活できる社会(2年生)

13. 暴力・犯罪がない(6件)

- ・ 犯罪件数が多いのでそれが少ない街にしてほしいです(3年生)
- ・ 治安のいい街(3年生)

14. ごみのない・きれいなまち(8件)

- ・ 道にゴミが落ちていることをなくしたい(2年生)
- ・ ポイ捨てが多いので至る所にゴミ箱などを設置してポイ捨てを少しでも減らせる努力をする。(2年生)
- ・ 公園などの公共の場をゴミなどが無い、綺麗で遊びやすい場所になり、子どもが怪我をしないようになってほしいと思います。(2年生)
- ・ 路上喫煙を控えてほしいです(1年生)

15. 楽しい・優しい・明るいまち(24 件)

- ・ みんなが心から「たのしい」と思えるまち(1年生)
- ・ みんなが、みんな生きやすい街(1年生)
- ・ みんながあたたかい街(3年生)
- ・ 明るくて、みんなが思いやりを大事にしてる街(3年生)
- ・ 障がいを持っている人、お年寄り、子ども、外国人などが自由にのびのびと住むことのできる街 様々な人の違いが認められる街(3年生)
- ・ 老若男女問わずみんなが不自由なく幸せに暮らせる社会にしたい。(3年生)
- ・ みんなが笑顔&健康でいられる！！(1年生)
- ・ だれも他人のことを見捨てない街(2年生)
- ・ みんなひとりぼっちにならない(1年生)
- ・ とても明るく子どもがみんな楽しく生活できる世田谷であってほしい(1年生)

16. 子どもの権利・意見を聞いて(76 件)

- ・ どんな人でも自分がやりたいことをやりたいときにやりたいただけやれる社会(1年生)
- ・ 一人一人の個性が認められて、みんなが仲の良い世田谷区になったら良いと思う。(1年生)
- ・ 自分のやりたい事、好きなことを胸を張ってできるような社会になってほしい。たとえそれが、まだ誰も挑戦のしたことのない事だとしても、その人自身の考え方があるのだから、尊重するべきだと思う。最初から無理なんて誰もわからないし、私たちには未知の可能性が秘めていると信じている。だからこそ、この大事な時期を十分に、自分の好きなこと、やってみみたいことに時間を使い、挑戦できるような環境になってほしい！(3年生)
- ・ 16歳だから高校生になっていなければならないとか、22歳だから必ず就職を目指さなくてはならないとかでなく、どんな生き方や学び方を選んでいても尊重される社会になってほしい。(3年生)
- ・ どんな人でも努力が正当に、平等に評価され、周りの人がその人の努力を気づいてあげられる社会(まち)になってほしいです。(3年生)
- ・ 誰でも意見を発言できる社会(3年生)
- ・ 誰もが自分の好きなスタンスで人と関われるまち(2年生)
- ・ このように自分の意見を言う場などを学校などで取り組む活動をする。(2年生)
- ・ 将来の夢を叶えるための場を作ってほしい。(2年生)
- ・ お金に困らず、親も子どもに好きなことをやらせて、意見を尊重する(3年生)
- ・ 私はもっと、子どもに支援をしてくれる世田谷区になってほしいと思います。留学のサポートなどを世田谷区は他の市区よりも取り組んでいます、やはり、行ける人は限られてしまっているので、どんな人でもやりたいことをできる世田谷区になってほしいです(1年生)
- ・ 周りの大人の方々が分け隔てなく子どもを下に見ず、権利がある事を理解して発言に耳を傾けて頂き、子どもたちの自己肯定感を上げていける様な世の中にしてほしい。(3年生)
- ・ 子どもの意見に耳を傾け、それを策に取り入れてくれるようなまちになってほしい。そうす

れば、多くの人が過ごしやすく、色とりどりのまちになると思う。また、青少年交流センターのような、集えるような場所があると暇な時など、気軽に行けて良いと思う。(2年生)

- ・ 親の事情などで学ぶ機会が平等でないという状況が多くなりすぎて少しでも減ったら良い。(1年生)
- ・ もう少し時間を自由に使いたい(1年生)
- ・ 子どもも自分の意思で物事を決められるような社会にしたい。(3年生)
- ・ 子どもを誰もが見守っている(3年生)
- ・ 子どもがのびのびと楽しく過ごせる街にしたい。何よりもまず、子どもの気持ちを考えてくれる社会になってくれたら良い。(1年生)
- ・ ギフテッドの子どもや知的障害、身体障害を持っている子どもたちが差別されずに自分のやりたいように勉強したり遊んだりできる社会 お年寄りの方がいちばん強いという風潮がない世界(1年生)
- ・ 自分の夢に向けての道を支えてくれる町が良いと思います。(1年生)
- ・ 子どもの意見も取り入れてほしい(今もしてくれていると思いますが)(2年生)
- ・ 子どもの意見や考えを大切にする(1年生)
- ・ 学校の授業や課題、部活、塾等に行くと何かにチャレンジしたり、ゆっくりできる時間がないので、そのような時間を何とかして作って頂きたいです。(3年生)
- ・ 親のプレッシャーがない社会(3年生)
- ・ 大人と子どもで話し合える場をもっと作って、どんな人でも納得ができる制度を作りたい。(3年生)

17. 区の実組みの発信(2件)

- ・ 世田谷区が現在行っている取組みや制定されている条例及びその内容がいまいちよくわからないので詳しく教えてくれたら今よりもっと世田谷区の実組みを理解してくれる人が増えると思う。(3年生)

18. 政策(14件)

- ・ 今の世田谷区は住みやすいと思うけれど、世田谷区をより良くしよう！なんて思わないし、区の実策についても全く知らないと思う。だから、学校ともっと密に関わった方がいいし、駅前での政策について広めたら良いと思う。ただ、大きな音を出すのはやめてほしい。(1年生)
- ・ こどもも主権者だと、伝えて教育し、投票率が上がり、政治について活発に話せる街。政治を自分のこととして、若者も考えられる社会。(1年生)
- ・ 若者の選挙率を上げるためにも、若者に有意義な世田谷区にしてほしい(1年生)
- ・ 議員の人たちが積極的に議会できちんと質問・意見を出して、より良い世田谷にしてほしい。(3年生)
- ・ 政治について知れたり、地域の取組みなどが理解できるイベントを開く。(3年生)

19. 物価、税金他(10件)

- ・ みんなが子育てしやすいように給付金を配る(3年生)
- ・ 学費が無料になったら、将来の夢のために習いごとなどにお金を使えるし、学費が払えない心配がなくなるので良いと思います。(3年生)
- ・ 税金とかを減らして、平等に暮らせるようにしたい。(2年生)

20. 社会像(14件)

- ・ 貧困がない社会(3年生)
- ・ 多種多様な社会(1年生)
- ・ 子どもが見ていて恥ずかしくない大人がいる社会になってほしい(3年生)
- ・ できるだけストレスが少ない社会にしたい(3年生)
- ・ 一部の人に搾取されない世界(3年生)
- ・ 人のことを疑ったりしない社会(2年生)
- ・ 平和(1年生)

21. 安全・安心(13件)

- ・ みんなが安心して過ごせる社会になれば良いなと思います。(1年生)
- ・ もっと安心して、暮らせるようになる 道などがもっと安全になったら良い(1年生)
- ・ 安全に過ごせる街(3年生)
- ・ 全ての人が安心して過ごせる社会(3年生)

22. 今のままでいい(6件)

- ・ 今の状態で十分子どもが成長できるすてきな街だと思います！(3年生)

23. その他(18件)

- ・ 通学時の電車賃をなしに(1年生)
- ・ そんなこと、願い、書いても、意味がない(1年生)
- ・ 勉強方法についてなど、チラシにして送ってくれる(1年生)
- ・ 勉強がない世界。(2年生)
- ・ 子ども同士のコミュニティーの幅、数が広くなれば良いと思います。(2年生)
- ・ 世田谷区に住みたい人や住みに来た人に対して、住みやすいように土地をできるだけ安くする。(2年生)
- ・ こんなはずじゃなかったということがないまちになってほしい(1年生)
- ・ 一人一人にあった勉強法を知りたい(1年生)
- ・ 興味を持った内容について知っている大人を増やしてほしい(1年生)
- ・ 月に1回、ドーナツやファストフード店で使える無料券を配布してほしい。(3年生)

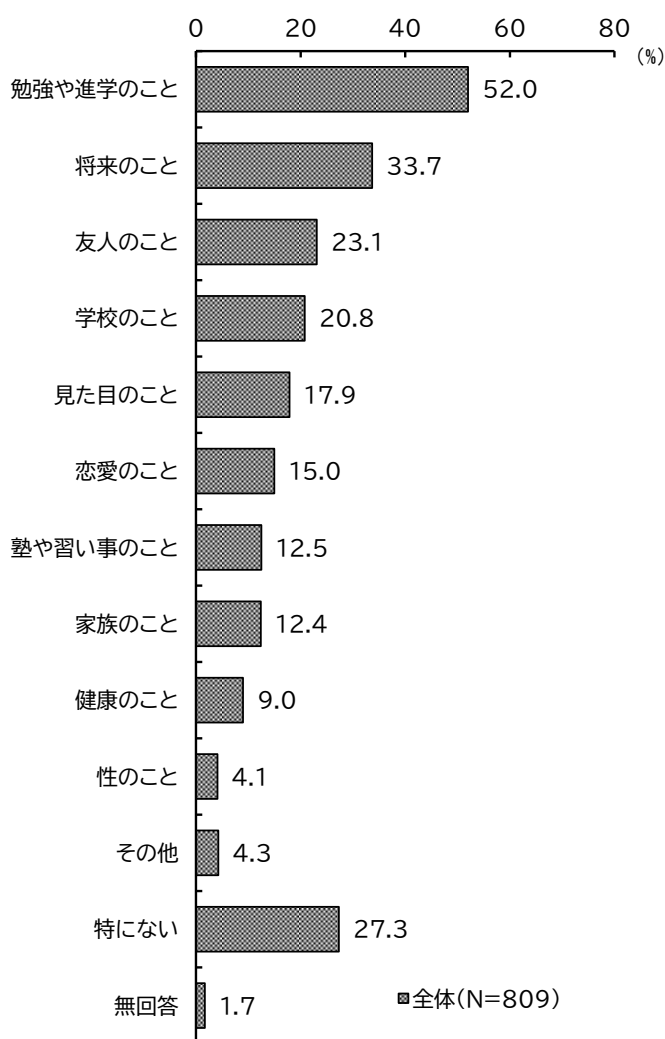
7 日ごろの思いや悩み

(1) 困っていること、悩んでいること、つらいこと(問 24)

困っていること、悩んでいること、つらいことは、「勉強や進学のこと(52.0%)」が最も高く、「将来のこと(33.7%)」、「友人のこと(23.1%)」が続いている。「特にない」は 27.3%となっている。

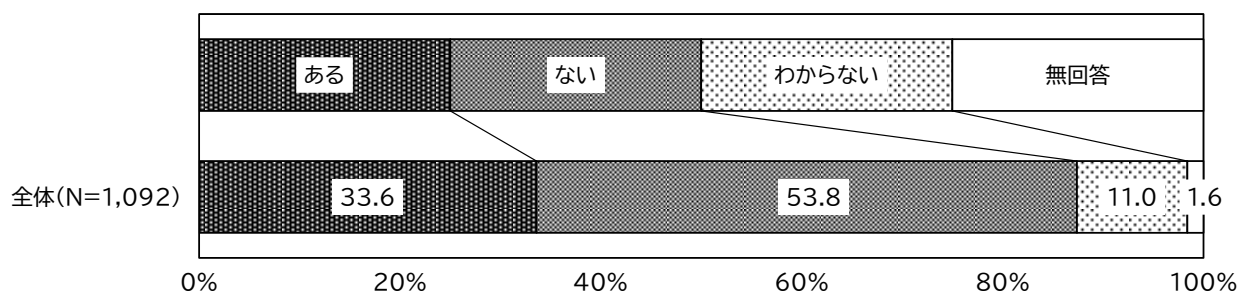
平成 30 年度調査と比較すると、困っていること、悩んでいること、つらいことの有無としては、平成 30 年度調査では「ある」が 33.6%であったが、今回調査では「特にない(27.3%)」と「無回答(1.7%)」を除いた 71.0%に何らかの困っていること、悩んでいること、つらいことがある割合であり、高くなっている。困っていること、悩んでいること、つらいことの内容としては、上位 5位は同様となっている。

困っていること、悩んでいること、つらいこと(全体):複数回答



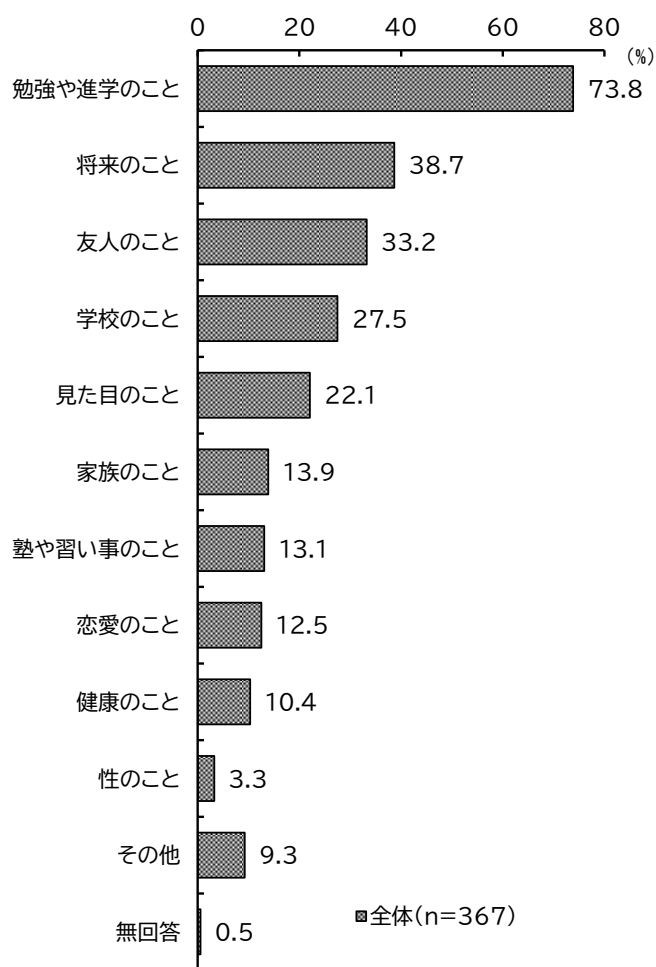
第2章 調査結果

<参考> 悩んでいること、不安なことの有無(全体)【H30年度調査】



悩んでいること、不安なこと(全体):複数回答【H30年度調査】

<悩んでいること、不安なことがある人>



学年別にみると、学年が上がるほど、「勉強や進学のこと」、「将来のこと」、「塾や習い事のこと」、「家族のこと」、「健康のこと」の割合が高くなり、「友人のこと」の割合が低くなっている。また、「特にない」の割合は、1年生で30.8%、2年生で33.5%、3年生で19.2%となっている。

自己肯定感別にみると、自分自身のことがあまり好きではない人、自分自身のことがまったく好きではない人いずれも、すべての項目で全体を上回っている。自分自身のことがまったく好きではない人では、特に「友人のこと(54.9%)」、「学校のこと(49.3%)」でそれぞれ31.8ポイント、28.5ポイントと大きく全体を上回っている。

困っていること、悩んでいること、つらいこと(全体、学年別、自己肯定感別):複数回答

		勉強や進学のこと	将来のこと	友人のこと	学校のこと	見た目のこと	恋愛のこと	塾や習い事のこと
全	体 (N=809)	52.0	33.7	23.1	20.8	17.9	15.0	12.5
学年別	1 年生 (n=279)	45.5	28.7	24.0	19.4	18.6	16.5	11.1
	2 年生 (n=251)	49.0	30.3	21.5	18.7	16.7	10.8	12.0
	3 年生 (n=261)	60.5	41.0	21.1	22.2	17.2	17.2	14.2
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き (n=196)	38.3	24.0	16.8	12.8	8.2	17.9	10.7
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	51.4	27.5	18.2	14.6	15.4	12.6	12.1
	どちらでもない (n=182)	51.6	35.2	18.7	19.2	17.0	8.8	9.9
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	69.6	50.0	32.4	33.3	32.4	20.6	13.7
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	67.6	53.5	54.9	49.3	35.2	23.9	21.1

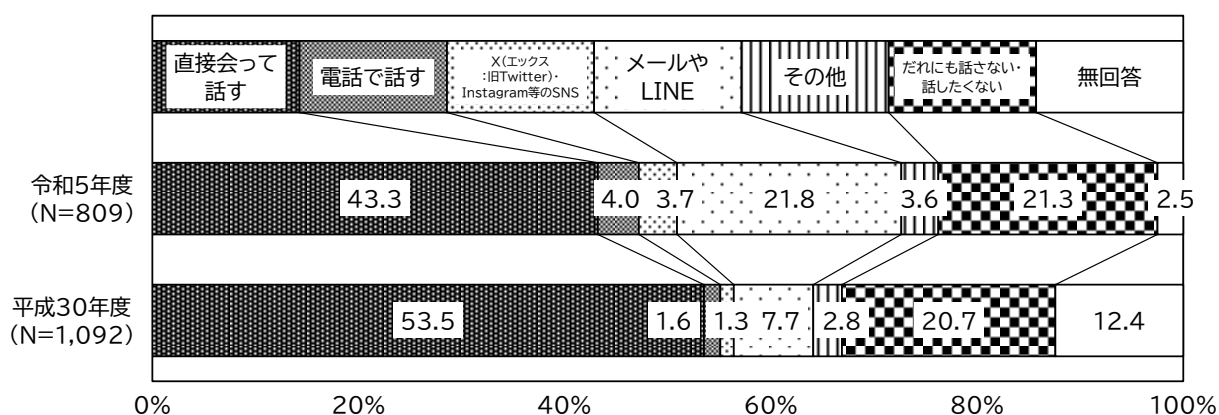
		家族のこと	健康のこと	性のこと	その他	特にない	無回答
全	体 (N=809)	12.4	9.0	4.1	4.3	27.3	1.7
学年別	1 年生 (n=279)	10.8	7.5	3.2	5.4	30.8	1.4
	2 年生 (n=251)	12.4	8.0	4.4	4.0	33.5	1.6
	3 年生 (n=261)	13.4	10.3	4.2	3.4	19.2	2.3
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き (n=196)	8.2	6.1	3.6	6.6	34.2	2.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	8.9	5.3	3.2	3.6	31.2	0.8
	どちらでもない (n=182)	9.3	6.6	3.3	1.6	29.1	3.3
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	22.5	16.7	4.9	6.9	11.8	1.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	28.2	21.1	7.0	2.8	12.7	1.4

(2)自分の悩みを話す方法(問 25)

自分の悩みを話す方法は、「直接会って話す(43.3%)」が最も高く、「メールや LINE(21.8%)」、「電話で話す(4.0%)」が続いている。「だれにも話さない・話したくない」は21.3%となっている。

経年比較をすると、「メールや LINE」が14.1ポイント高くなっており、「直接会って話す」が10.2ポイント低くなっている。

自分の悩みを話す方法(全体)【経年比較】



※平成30年度は、選択肢が「直接会って話す」、「電話で話す」、「ツイッター、インスタグラム等のSNS」、「携帯やスマートフォン等のラインやメール」、「その他」、「自分の悩みを人に話さない」となっている。

性別にみると、「だれにも話さない・話したくない」の割合は、男性で 17.7%、女性で 22.5% となっている。

学年別にみると、2年生で「だれにも話さない・話したくない」が 24.7%と高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど「だれにも話さない・話したくない」の割合が高い傾向にあり、その割合は自分のことがまったく好きではない人では 38.0%となっている。

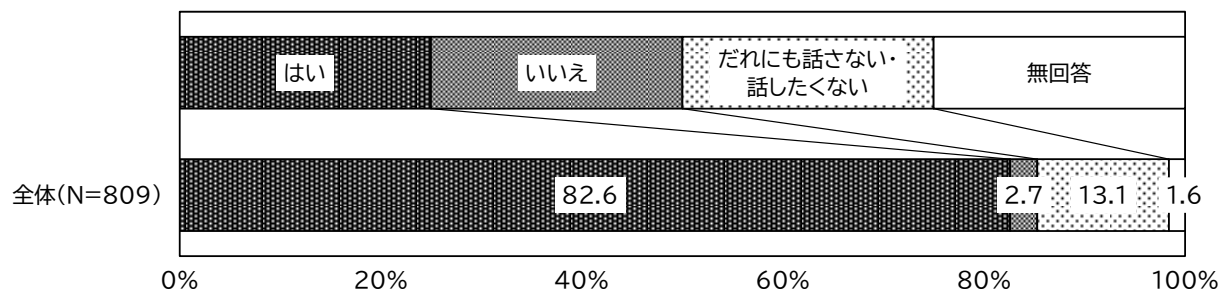
自分の悩みを話す方法(全体、性別、学年別、自己肯定感別)

			直接会 つて話 す	電 話 で 話 す	I X (E t t a g r a m T w i t t e r) ・ S t a t e m e n t S e r v i c e	メ ー ル や L I N E	そ の 他	だ れ に も 話 さ な い ・ 話 し た く な い	(%) 無 回 答
全	体 (N=809)		43.3	4.0	3.7	21.8	3.6	21.3	2.5
性別	男 性 (n=345)		45.2	4.3	2.0	25.2	3.2	17.7	2.3
	女 性 (n=431)		42.2	3.7	4.9	20.0	4.2	22.5	2.6
	答 え た く な い (n= 18)		33.3	0.0	5.6	11.1	0.0	44.4	5.6
	わ か ら な い (n= 4)		25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	そ の ほ か (n= 5)		20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0
学年別	1 年 生 (n=279)		39.8	3.9	1.8	28.3	5.0	17.9	3.2
	2 年 生 (n=251)		47.0	2.4	4.0	16.3	2.8	24.7	2.8
	3 年 生 (n=261)		42.9	5.4	5.4	20.7	2.3	21.8	1.5
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き (n=196)		52.6	5.1	3.6	19.4	4.6	11.7	3.1
	自分自身のことがまあ好き (n=247)		49.0	5.3	1.6	25.5	2.0	14.2	2.4
	どちらでもない (n=182)		37.9	3.3	3.3	22.0	3.3	27.5	2.7
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)		34.3	1.0	3.9	19.6	6.9	33.3	1.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)		23.9	2.8	11.3	18.3	2.8	38.0	2.8

(3)困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無(問 26)

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無については、「はい」が 82.6%、「いいえ」が 2.7%、「だれにも話さない・話したくない」が 13.1%となっている。

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無(全体)



性別にみると、「だれにも話さない・話したくない」の割合は、男性が 7.8%、女性が 16.9%となっている。

学年別にみると、「だれにも話さない・話したくない」の割合は、1年生で 10.4%、2年生で 16.3%、3年生で 13.4%となっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きな人ほど、「はい」の割合が高く、自分自身のことがとても好きな人では「はい(91.3%)」が9割を超えている。自分自身のことがあまり好きではない人、自分自身のことがまったく好きではない人では、「はい」が6割前後であり、「だれにも話さない・話したくない」が3割台と高くなっている。

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人の有無
(全体、性別、学年別、自己肯定感別)

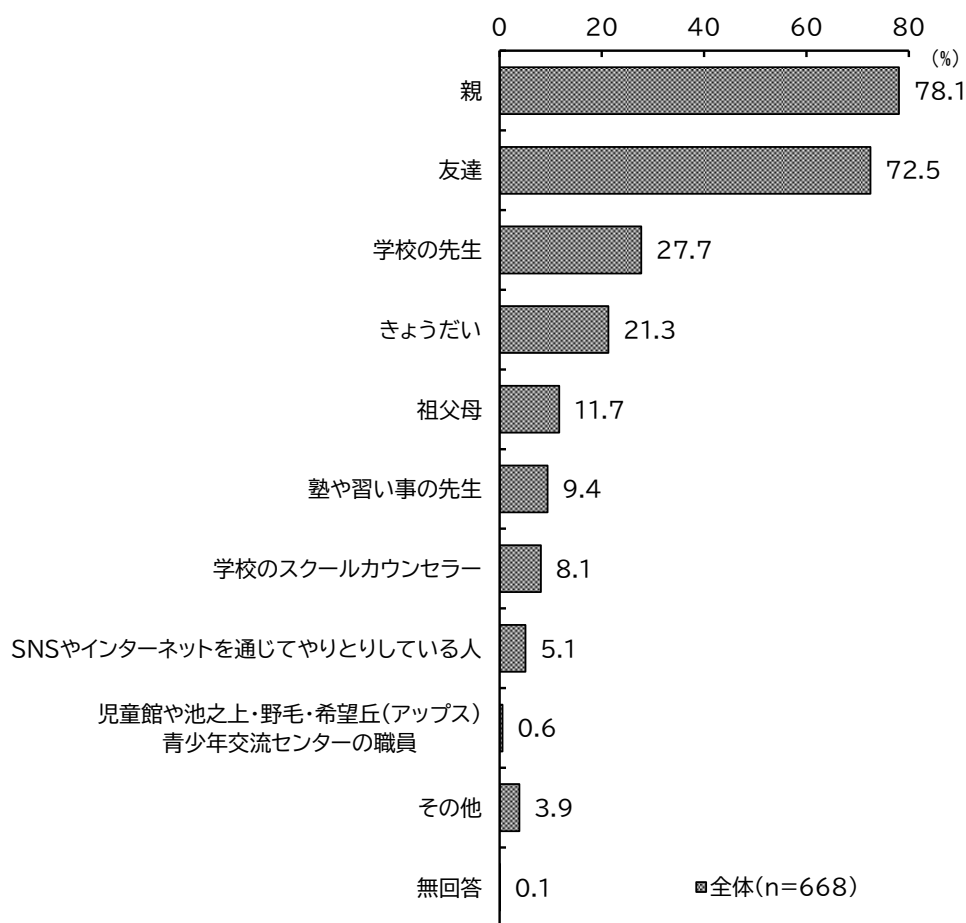
		(%)			
		はい	いいえ	いだ・れ話にも話さない	無回答
全	体 (N=809)	82.6	2.7	13.1	1.6
性別	男 性 (n=345)	87.8	2.6	7.8	1.7
	女 性 (n=431)	79.6	2.6	16.9	0.9
	答 え た く な い (n= 18)	66.7	5.6	22.2	5.6
	わ か ら な い (n= 4)	50.0	0.0	50.0	0.0
	そ の ほ か (n= 5)	60.0	0.0	0.0	40.0
学年別	1 年 生 (n=279)	84.9	2.5	10.4	2.2
	2 年 生 (n=251)	80.1	2.4	16.3	1.2
	3 年 生 (n=261)	83.5	2.3	13.4	0.8
自己肯定感別	自分自身のことがとても好き (n=196)	91.3	3.1	3.6	2.0
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	88.3	0.8	10.1	0.8
	どちらでもない (n=182)	85.2	2.2	9.9	2.7
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	63.7	3.9	31.4	1.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	59.2	7.0	32.4	1.4

(4)困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人(問 26-1)

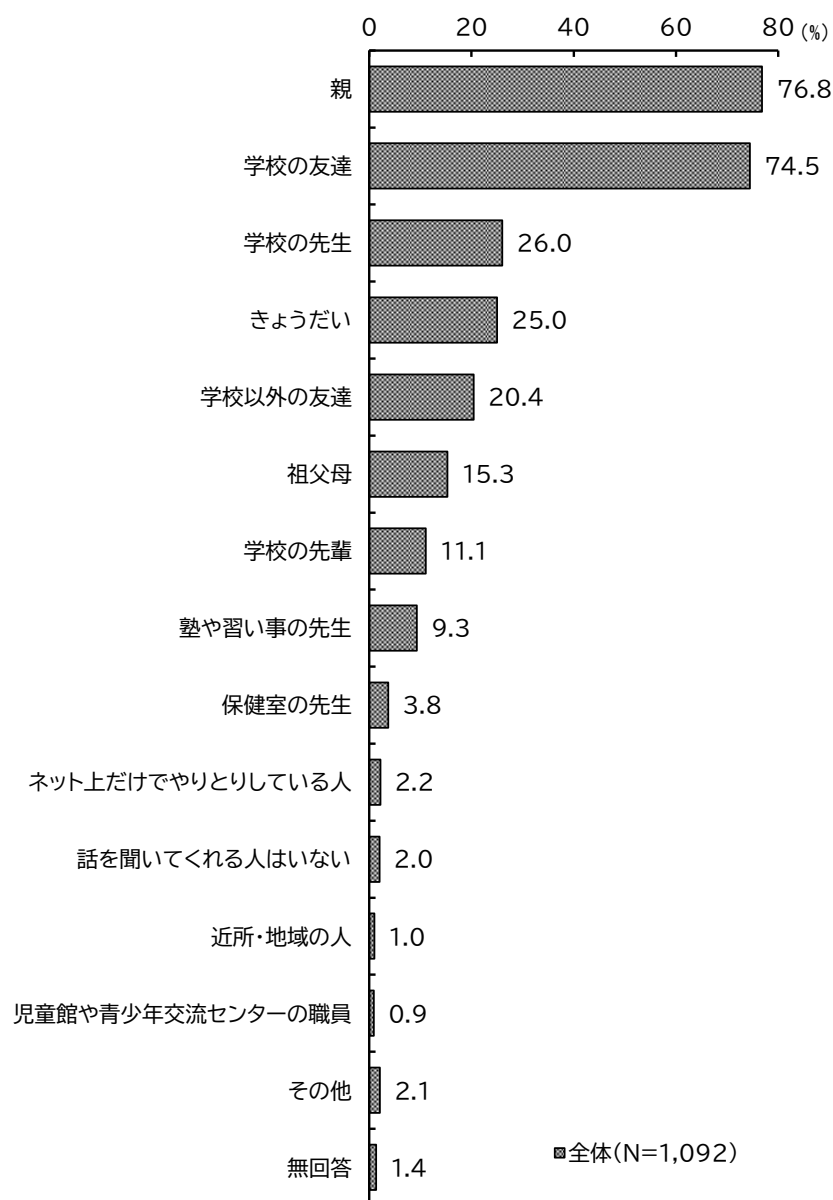
問 26 で「1. はい」と回答した人に、それは誰なのかたずねたところ、「親(78.1%)」が最も高く、「友達(72.5%)」、「学校の先生(27.7%)」が続いている。

平成 30 年度調査と比較すると、聴取形式が異なるため単純比較はできないものの、「親」、「友達」が飛び抜けて高く、「学校の先生」、「きょうだい」が上位に続いている点から、話を聞いてくれる人・相談する相手の傾向は平成 30 年度調査から大きな変化はみられないといえる。

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人(全体):複数回答
 <困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人がいる人>



<参考> 困ったときに話を聞いてくれる人(全体:複数回答):複数回答【H30 年度調査】



※平成 30 年度は、全員に困ったときに話を聞いてくれる人について聞いている。

第2章 調査結果

性別にみると、女性は男性に比べて「友達」、「学校のスクールカウンセラー」、「SNSやインターネットを通じてやりとりしている人」が高く、それ以外は低くなっている。

学年別にみると、学年が上がるほど「親」、「祖父母」、学校のスクールカウンセラー」の割合が低くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど、「親」の割合が低くなっている。また、自分自身のことがまったく好きではない人では、「SNSやインターネットを通じてやりとりしている人(11.9%)」が1割を超えて高くなっている。

困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人

(全体、性別、学年別、自己肯定感別):複数回答

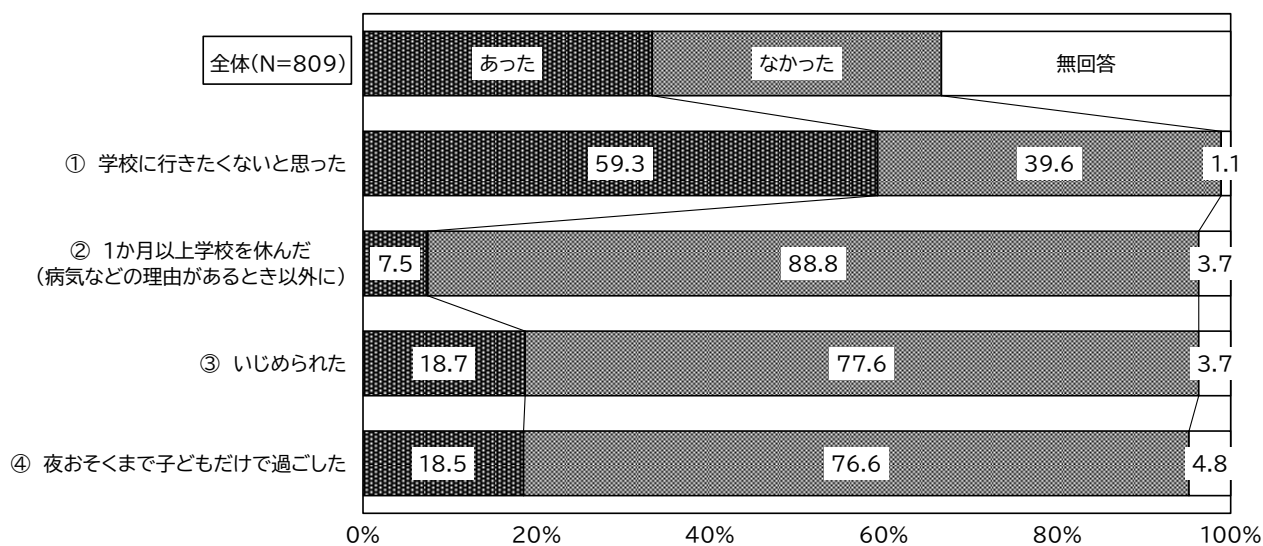
<困っていること、悩んでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人がいる人>

		親	友達	学校の先生	きょうだい	祖父母	塾や習い事の先生	学校のスクールカウンセラー	SNSやインターネットを通じてやりとりしている人	児童館や池之上・野毛・希望丘(アツブス)青少年交流センターの職員	その他	無回答
全	体 (n=668)	78.1	72.5	27.7	21.3	11.7	9.4	8.1	5.1	0.6	3.9	0.1
性別	男 性 (n=303)	79.2	71.6	32.3	21.5	13.2	11.6	7.6	3.3	1.0	3.0	0.3
	女 性 (n=343)	78.4	73.8	24.8	21.3	10.5	7.6	7.9	6.4	0.0	4.7	0.0
	答 え た く な い (n= 12)	58.3	58.3	16.7	16.7	8.3	16.7	33.3	8.3	0.0	8.3	0.0
	わ か ら な い (n= 2)	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年別	そ の ほ か (n= 3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	1 年 生 (n=237)	82.7	72.6	29.1	21.5	16.0	10.1	12.2	5.5	0.8	3.8	0.4
	2 年 生 (n=201)	79.1	73.1	24.9	20.9	10.0	7.0	7.0	5.5	0.5	3.5	0.0
自己肯定感別	3 年 生 (n=218)	72.9	72.9	30.3	22.5	8.7	11.0	5.0	4.1	0.5	4.1	0.0
	自分自身のことがとても好き (n=179)	81.6	76.0	38.5	30.2	20.7	13.4	12.3	5.0	1.7	4.5	0.0
	自分自身のことがまあ好き (n=218)	81.2	72.9	25.7	22.5	9.6	9.6	4.6	5.0	0.0	2.8	0.0
	どちらでもない (n=155)	75.5	70.3	21.3	12.3	5.2	3.9	7.7	3.2	0.6	2.6	0.6
自己肯定感別	自分自身のことがあまり好きではない (n= 65)	72.3	76.9	27.7	18.5	9.2	10.8	9.2	6.2	0.0	1.5	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 42)	69.0	57.1	19.0	14.3	14.3	9.5	9.5	11.9	0.0	11.9	0.0

(5)不登校、いじめ等の経験(問 27)

不登校、いじめ等の経験は、「あった」の割合が『① 学校に行きたくないと思った(59.3%)』で最も高く、『③ いじめられた(18.7%)』、『④ 夜おそくまで子どもだけで過ごした(18.5%)』が続いている。

不登校、いじめ等の経験(全体)



第2章 調査結果

◆① 学校に行きたくないと考えた(学年別、自己肯定感別、睡眠程度別、起床程度別)

『① 学校に行きたくないと考えた』について、学年別にみると、学年が上がるほど、「あった」の割合が高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど「あった」の割合が高い傾向にある。

睡眠程度別にみると、よくねれない(よくねむくなる)ことがある人ほど、「あった」の割合が高い傾向にある。

起床程度別にみると、朝起きることができないことがある人ほど、「あった」の割合が高い傾向にある。

不登校、いじめ等の経験:① 学校に行きたくないと考えた
(全体、学年別、自己肯定感別、睡眠程度別、起床程度別)

		(%)		
		あ っ た	な か っ た	無 回 答
全	体 (N=809)	59.3	39.6	1.1
学 年 別	1 年 生 (n=279)	57.3	41.2	1.4
	2 年 生 (n=251)	59.4	39.4	1.2
	3 年 生 (n=261)	60.5	38.7	0.8
自 己 肯 定 感 別	自分自身のこととても好き (n=196)	50.5	48.5	1.0
	自分自身のことまあ好き (n=247)	50.6	49.0	0.4
	どちらでもない (n=182)	57.1	40.7	2.2
	自分自身のことあまり好きではない (n=102)	79.4	20.6	0.0
	自分自身のことまったく好きではない (n= 71)	90.1	8.5	1.4
睡 眠 程 度 別	よくねれない(よくねむくなる)ことがいつもある (n=101)	79.2	18.8	2.0
	よくねれない(よくねむくなる)ことがときどきある (n=228)	74.6	25.0	0.4
	よくねれない(よくねむくなる)ことがごくまれにある (n=154)	58.4	40.3	1.3
	よくねれない(よくねむくなる)ことがほとんどない (n=317)	42.3	56.5	1.3
起 床 程 度 別	朝起きることができないことがいつもある (n=159)	74.8	23.9	1.3
	朝起きることができないことがときどきある (n=152)	68.4	30.9	0.7
	朝起きることができないことがごくまれにある (n=184)	58.7	39.7	1.6
	朝起きることができないことがほとんどない (n=293)	46.1	53.2	0.7

◆② 1か月以上学校を休んだ(学年別、自己肯定感別)

『② 1か月以上学校を休んだ(病気などの理由があるとき以外に)』について、学年別にみると、「あった」の割合は、1年生で4.7%、2年生で8.4%、3年生で7.7%となっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人ほど「あった」の割合が高い傾向にある。

睡眠程度別にみると、よくねれない(よくねむくなる)ことがある人ほど、「あった」の割合が高い傾向にある。

起床程度別にみると、朝起きることができないことがいつもある人では、「あった(11.9%)」が1割を超えて高くなっている。

不登校、いじめ等の経験:② 1か月以上学校を休んだ(病気などの理由があるとき以外に)
(全体、学年別、自己肯定感別、睡眠程度別、起床程度別)

		(%)		
		あ っ た	な か っ た	無 回 答
全	体 (N=809)	7.5	88.8	3.7
学 年 別	1 年 生 (n=279)	4.7	91.0	4.3
	2 年 生 (n=251)	8.4	87.6	4.0
	3 年 生 (n=261)	7.7	89.3	3.1
自 己 肯 定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	3.1	93.4	3.6
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	6.1	91.1	2.8
	どちらでもない (n=182)	8.2	85.2	6.6
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	10.8	89.2	0.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n=71)	18.3	78.9	2.8
睡 眠 程 度 別	よくねれない(よくねむくなる)ことがいつもある (n=101)	18.8	78.2	3.0
	よくねれない(よくねむくなる)ことがときどきある (n=228)	10.1	86.0	3.9
	よくねれない(よくねむくなる)ことがごくまれにある (n=154)	5.2	89.6	5.2
	よくねれない(よくねむくなる)ことがほとんどない (n=317)	3.5	94.0	2.5
起 床 程 度 別	朝起きることができないことがいつもある (n=159)	11.9	85.5	2.5
	朝起きることができないことがときどきある (n=152)	7.2	88.8	3.9
	朝起きることができないことがごくまれにある (n=184)	8.2	88.6	3.3
	朝起きることができないことがほとんどない (n=293)	5.1	91.5	3.4

第2章 調査結果

◆③ いじめられた(学年別、自己肯定感別)

『③ いじめられた』について、学年別にみると、「あった」の割合は、1年生で 18.3%、2年生で 19.1%、3年生で 18.0%となっている。

自己肯定感別にみると、自分のことが好きではない人で「あった」の割合が高くなっており、自分自身のことがあまり好きではない人では 26.5%、自分自身のことがまったく好きではない人では 33.8%となっている。

不登校、いじめ等の経験:③ いじめられた(全体、学年別、自己肯定感別)

		(%)		
		あ っ た	な か っ た	無 回 答
全 体 (N=809)		18.7	77.6	3.7
学 年 別	1 年 生 (n=279)	18.3	77.4	4.3
	2 年 生 (n=251)	19.1	77.7	3.2
	3 年 生 (n=261)	18.0	78.9	3.1
自 己 肯 定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	17.3	79.6	3.1
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	15.4	82.6	2.0
	どちらでもない (n=182)	14.8	79.1	6.0
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	26.5	71.6	2.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	33.8	57.7	8.5

◆④ 夜おそくまで子どもだけで過ごした(学年別、自己肯定感別)

『④ 夜おそくまで子どもだけで過ごした』について、学年別にみると、学年が上がるほど、「あった」の割合が高くなっている。

自己肯定感別にみると、自分自身のことがあまり好きではない人では、「あった(20.6%)」が 2割を超えて高くなっている。

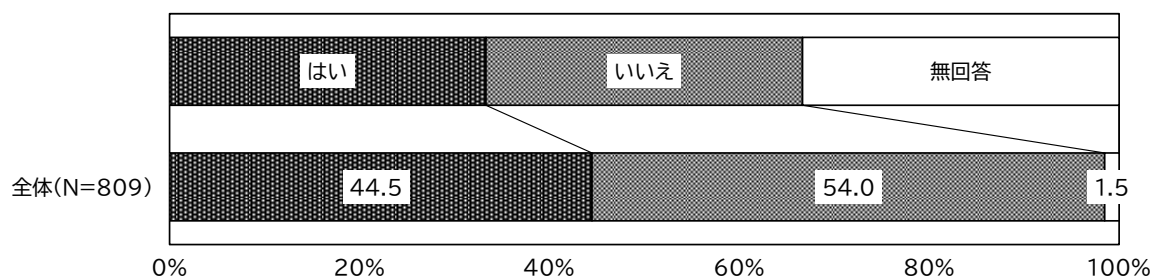
不登校、いじめ等の経験:④ 夜おそくまで子どもだけで過ごした(全体、学年別、自己肯定感別)

		(%)		
		あ っ た	な か っ た	無 回 答
全 体 (N=809)		18.5	76.6	4.8
学 年 別	1 年 生 (n=279)	16.8	77.8	5.4
	2 年 生 (n=251)	17.5	77.3	5.2
	3 年 生 (n=261)	21.5	74.7	3.8
自 己 肯 定 感 別	自分自身のことがとても好き (n=196)	19.9	76.5	3.6
	自分自身のことがまあ好き (n=247)	17.8	77.7	4.5
	どちらでもない (n=182)	17.6	74.2	8.2
	自分自身のことがあまり好きではない (n=102)	20.6	78.4	1.0
	自分自身のことがまったく好きではない (n= 71)	18.3	76.1	5.6

(6)新型コロナウイルス感染症により、生活の中で悩んだり、難しかったことの有無(問 28)

新型コロナウイルス感染症により、生活の中で悩んだり、難しかったことの有無は、「はい」が44.5%、「いいえ」が54.0%となっている。

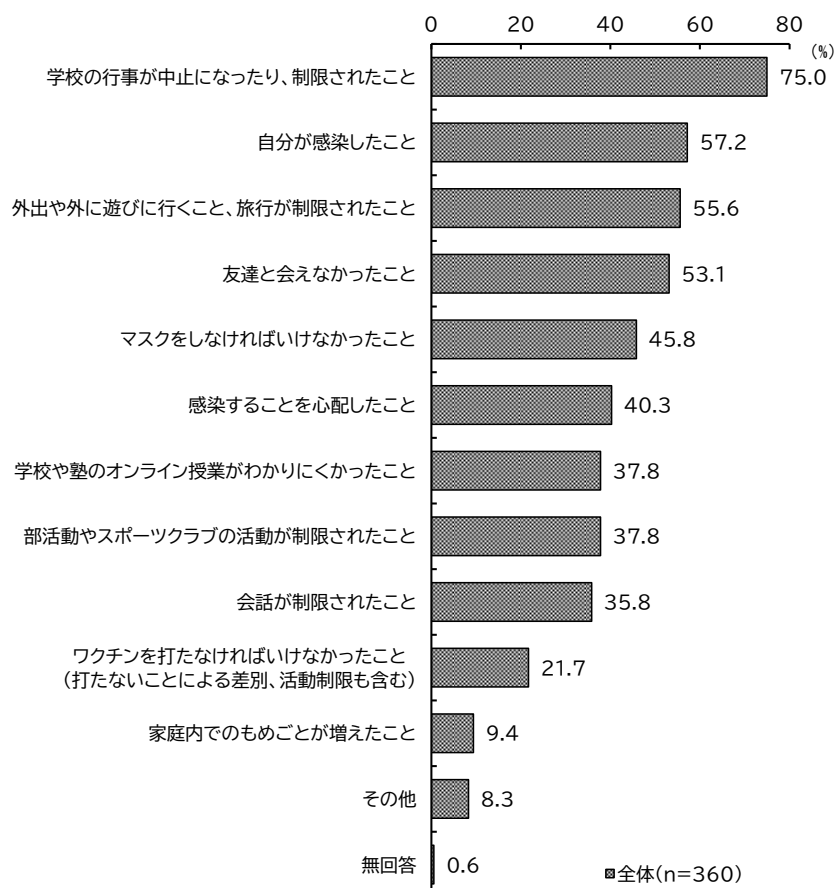
新型コロナウイルス感染症により、生活の中で悩んだり、難しかったことの有無(全体)



(7)新型コロナウイルス感染症により、生活の中で悩んだり、難しかったこと(問 28-1)

問 28 で「1. はい」と回答した人に、それはどのようなことかたずねたところ、「学校の行事が中止になったり、制限されたこと(75.0%)」が最も高く、「自分が感染したこと(57.2%)」、「外出や外に遊びに行くこと、旅行が制限されたこと(55.6%)」が続いている。

新型コロナウイルス感染症により、生活の中で悩んだり、難しかったこと(全体):複数回答
 <新型コロナウイルス感染症により、生活の中で悩んだり、難しかったことがある人>



8 自由意見

(1) 区に求めることや期待すること、大人や社会に言いたいこと、世田谷区にあったらいいなと思う場所(問 29)

区に求めることや期待すること、大人や社会に言いたいこと、世田谷区にあったらいいなと思う場所に関して、自由記述形式でたずねたところ、全体で370件の回答があった。すべての意見について確認したうえで分類を行い、全件を掲載することは難しいことから、個人や所属が特定される可能性がある意見、配慮が必要となる意見、類似した意見等は除き、一部を紹介する。

1. 遊ぶ場所(8件)

- ・ 児童館や青少年育成センターなど子どもが遊べる施設。屋内の遊び場。(1年生)
- ・ 子どもの遊ぶ場所をもっと増やしてほしい(1年生)
- ・ 家で遊べない時に個室の遊べるような施設ができれば！(1年生)

2. 学習する場所(20件)

- ・ 児童館で、ひとり親家庭の子どもに勉強を教えてくれる大学生や大人がいればいい(2年生)
- ・ 高校生以下対象に無料自習室を設置してください。大人がいると、シャーペンで物音が目立ってしまいます。図書館も限られています(閲覧のみ)そのため、駅に近い場所、バスに近い場所に設置してほしいです。(2年生)
- ・ ビルやマンションを建てるだけでなく、図書館など子どもの学びに役立つ施設を建ててほしいです。(3年生)
- ・ もっと中学生が集中して勉強できる施設を増やす(3年生)
- ・ 放課後にその時の気分で行けるような自習スペースがほしい。(2年生)
- ・ 区の塾(2年生)
- ・ 中高生が自由に勉強できる大きな自習室がほしい(個別の仕切りがあるとよい。)(3年生)
- ・ 無料で使える自習室があればいいなと思う。家では自分の部屋がないので、兄弟がうるさかったり、なかなか勉強に集中できない。有料の自習室はあるが高額なので行けない。(1年生)

3. 施設(4件)

- ・ 同じことが好きな子ども同士が集まって話したりできる場所。気軽に行ける音楽施設。(1年生)
- ・ 僕の趣味はガンダムなのですが、そういう趣味が同じ人と楽しく遊べる・話せる場所を作ってほしいです(2年生)

4. 将来を考えられる場所(2件)

- ・ 私は自分の将来について悩んでいます。何をしたいのか分からず、悩むことも多いです。なので、いろいろな職業や仕事の方に話を聞いたり体験できたらいいなと思います。パン屋とかではなく、保険会社や出版業者など普段はあまり知られてない裏側について知れる場所があったらいいなと思います！(2年生)

5. 居場所(25件)

- ・ 子どもの自由に使える施設です。例えば公園のグラウンドのように自由に使えるダンススタジオやバレエスタジオなどです。(2年生)
- ・ 自由にゲームをしたり勉強したりできるところがほしい。(2年生)
- ・ 地区会館みたいな気軽に行けて勉強したり遊んだりできる場所(2年生)
- ・ 1人になれる Wi-Fi が通ってる無料の部屋(2年生)
- ・ だれでも安心して過ごせる場所(2年生)
- ・ みんなで笑いながらのんびりすごせる場所(2年生)
- ・ もっとみんなが集まれる場所や話せる場があったらより良いと思う。(2年生)
- ・ 何してもいいような自由スペースをたくさん作ってほしいです。(2年生)
- ・ 子ども食堂や図書館のような自由に使える施設(3年生)
- ・ 私立に通っている学生も自分の地域の同年代の子と友達になれる場所(1年生)
- ・ 種類関係なく色々な音楽を気軽に聴ける所。(1年生)
- ・ 世田谷区だけの学校に行けなくて悩んでいる人や、学校以外の別の場所に通っている人のコミュニティ(1年生)
- ・ 大人が、一切入ってこない空間(1年生)
- ・ 大人のいない安全で公平で平等で平和な楽しいと思えたりホッとする場所(1年生)
- ・ 夜家を出ても通報されず過ごせる場所(1年生)

6. 公園(16件)

- ・ 自由に年齢に関わらず自由に伸び伸びと遊べる(ゆっくりする、ではなく)公園をつくってほしい(1年生)
- ・ 花火ができる場所、野球ができる場所、子どもが遊んでも苦情が言われない場所などがあったらいいなと思います。(2年生)
- ・ 海外みたいな広場がほしい(2年生)
- ・ 子どもが自由に遊べる公園を増やしてほしい。ボールを使って遊べる公園を増やしてほしい。(2年生)
- ・ 自然を感じることができる場所。(1年生)

7. スポーツ施設(31件)

- ・ 予約やお金がかからないで、自由に使える広い体育館(もちろん屋内)(2年生)
- ・ ダンススタジオ(1年生)

第2章 調査結果

- ・ バレーボールが好きなので自主練習を体育館で友達とアドバイスし合いながらできるところや、知らなかったことを知れる機会をバレーボール、体育館を通じてほしい(1年生)
- ・ サッカーができる広い公園(1年生)
- ・ サバゲーフィールド(3年生)
- ・ バasketゴールがある公園や広場(スポーツが気楽にできる場所)(3年生)
- ・ バトミントンができる体育館。個人利用をやりやすくできる体育館。(2年生)
- ・ ハンドボールコート 高校生以下だけが使えるスポーツ施設(2年生)
- ・ レンタルサイクルの場所(3年生)
- ・ 学校関係なくスポーツができる施設(1年生)
- ・ 硬式野球ができる野球場を作してほしい。(1年生)
- ・ 小学生から高校生までが遊べるような総合スポーツ施設を作してほしい(1年生)
- ・ 無料で、好きに使えるバスケコートやテニスコート。(2年生)

8. 児童館、青少年交流センター(5件)

- ・ 児童館に Wi-Fi を設置してほしい。(フリーWi-Fi ではなくパスワードのある Wi-Fi)(3年生)
- ・ 安全で設備の整った中高生がメインの児童館を作してほしい。楽器、音響の設置や、みんなが休日に気軽に集まれるようなイベント、様々なワークショップ(アートなど)を行ってほしい。(2年生)
- ・ ほっとスクール希望丘やアップスのような所を増やしてほしい。(3年生)

9. 学校(48件)

- ・ 不登校特例校分教室の「ねいろ」の様な施設を増やしてほしいです。(2年生)
- ・ 月に一回、小学生に「有休制度」がほしい。、学校に行きたくない日があっても行かなきゃいけない。そしてまた次の日もっと辛くなって不登校になる。そんな悪循環を改善するのに良いと思う。(3年生)
- ・ 教師の人手不足の中、先生こそ学校に行くのが辛くなることが多いと思う。その原因を研究したり、改善して先生も生徒もみんなが楽しく過ごして学べる環境にしてほしい。(3年生)
- ・ 不登校になったときの中学側が何としても面倒なことにならないように、という対応をされて気に食わなかったのが今後はそんなことがないといいなと思います(3年生)
- ・ 今の社会、学歴はとても大事な要素です。しかし、その学歴は基本的に学校に行くことが普通とされてしまっています。だから、それ普通とせず、評価できるシステムをインターネット等に導入してほしいです。(3年生)
- ・ 学校の冷房を整備してほしい。(1年生)
- ・ 宿題を減らして自由に勉強できるようにする(2年生)
- ・ 英語教育を強化するべき。自分も英語の方が得意だし(2年生)
- ・ 制服がとても嫌いなので、なくしてほしいです。できないのであれば着なければいけない

理由が知りたいです。(3年生)

- ・ 時代遅れの理不尽な校則を無くしてください(2年生)
- ・ 部活動の空気感。指導して下さる方が、人格を否定されるようなことを言われ、とても辛かった。個人の気持ちを大切に指導してほしい。(2年生)
- ・ 学校などで実施されるアンケートの性別の欄で、種類をもっと増やしてほしい。(2年生)
- ・ 給食費無償化や iPad の貸し出しなど子どもの保証が充実しているので、これからも続けてほしいです(3年生)
- ・ 一方通行ではなく双方向の学校教育を普及させる必要があると思います(3年生)
- ・ 学校に行かない、行けない人にももっと優しい社会になってほしいです。その人たちが十分に学べる場が少ないので、もっと増やしていただければ多くの人を感じる学習面での不安も減ると思います。多様性の時代、人それぞれの生き方があるから認めてほしいし、「不登校」の人への偏見がなくなってほしいです。(3年生)
- ・ クラスの友達が不登校になってしまっているの、その子に会いたいと思っている人はいるということとその子に伝える機会がほしいです。(1年生)
- ・ 時代遅れの教員にはしっかり令和の常識を伝えてください。自分のミスは自分の責任だと理解してください。生徒が教育方法に対して意見を言っただけでその生徒に怒らないでください。非公式的なルールの自分勝手な解釈で誰かを怒鳴らないでください。(2年生)
- ・ 中学校に教職員を指導することができる人をおく。(先生が生徒にとる態度や言動について指導する人です。なるべく教育委員会から派遣の方ではなく、企業で働き、人の下で働いたことのある人が望ましいです)(1年生)

10. 相談(23件)

- ・ 悩みを匿名でスマホなどで聞いてくれるサービスなどがあればいいと思います。(1年生)
- ・ 悩みがない子どもなんてほとんどいないです。もっと、寄り添ってくれる場所が必要だと思います。(1年生)
- ・ 気軽に相談しやすい場所があると良いのかなと思います。(3年生)
- ・ 子どもが気軽に入れる相談所(3年生)
- ・ 児童館など子どもが集いやすい所に、子どもが相談できる所があったら嬉しい(3年生)
- ・ 普通に一般人でも利用できるカウンセラーがあればいいと思いました！お年寄りや大人、小さい子ども達も使えるカウンセラーがほしいです気軽に LINE でも話せるようになってほしいです。世田谷区に住んでいる人だけでもいいのであればいいなと思いました(1年生)
- ・ せたホッとや、他の悩み相談の電話/テキストを使ってみたけれど、あまり思ったような返答がもらえなかった。話す相手の顔や性格などが書かれた自己紹介シートが見れる上でテキストなどをするともっといいと思った。(3年生)
- ・ ひきこもっている子が理解ある人と繋がりたいと思ったときに繋がれるネット支援を増やしてほしい。(3年生)

第2章 調査結果

11. 交流(10件)

- ・ すべての年代と交流できる場所(2年生)
- ・ 祭りを増やす、地域の人が交流できる場所(1年生)
- ・ 子どもと大人の意見を言い合える場を設ける！(2年生)
- ・ 私立に通っている学生も自分の地域の同年代の子と友達になれる場所(2年生)
- ・ 知らない学校同士で遊ぶ場所(3年生)

12. 娯楽施設、店舗(27件)

- ・ 遊園地、大きなショッピングモール(3年生)
- ・ ゲームセンターなど、中学生向けの場所(2年生)
- ・ サッカー場や、野球場、パソコン、ゲーム機がずらりと並んでいるゲーム部屋。子どもから大人までみんなが好きなものが詰まっていて、みんなの心によりどころにもなるような施設(2年生)
- ・ ショッピングセンター(3年生)
- ・ 映画館、遊園地、マック、人工芝グラウンド、ショッピングモール(2年生)
- ・ 若者が楽しめるお店。原宿にあるようなお店を増やしてほしい。商店街に立てるお店など子どものことも考えてほしい。(2年生)
- ・ 大きな水族館(1年生)
- ・ 中高生が安心して通える漫画喫茶 ゲームセンター(1年生)
- ・ 中高生が遊べる場所があると嬉しいです。(3年生)
- ・ ストリートピアノ(3年生)

13. トイレ(2件)

- ・ トイレが臭いのでいつも我慢しているのをどうにかしてほしい。(学校と公園)(3年生)

14. その他の場所(8件)

- ・ お父さんがアルコール依存性なので、何かあった時逃げられる家がほしい。お母さんは守ってくれているから安心して過ごせてるけどお母さんが大変。(3年生)
- ・ 政治の参加のために子どもが発表する、声を上げる場所を作してほしいです。自分の意見がないまま、中学を卒業し、高校3年生になった時、こうなってほしいと意見を持って投票に臨めるのか、不安になります。そして、自分と違ってもおかしくないんだって気づいてほしいです。(1年生)
- ・ 政治や国際情勢などをリアルタイムで詳しく知れる場所(1年生)
- ・ 大声で叫べる場所(3年生)

15. いじめ、差別等(8件)

- ・ 助けを求めている子どもを救ってほしい。差別をしないでほしい。いじめをなくしてほしい。(2年生)

- ・ いじめを見て見ぬふりしないでほしい(2年生)
- ・ いじめで精神的に病んでしまっている人などが普通の生活に取り組めるようにできる場所。(1年生)

16. 自然(4件)

- ・ 自然を壊さないでほしい(2年生)
- ・ 世田谷区を、もっと自然豊かにしてほしい。(1年生)

17. 子どもの権利、意見を聞いて(28件)

- ・ 子どもの気持ちを全て分かっているような気分にならないでほしいです。時代や社会も変わっているので、子どもの考えや感覚も変わってきています。理解しようとしてくれる姿勢は嬉しいけど、もっと寄り添ってくれている、という感覚を求めています。(1年生)
- ・ 身近にいるこどもを支えてあげてほしい(2年生)
- ・ 大人に自分の好きなものを否定されると悲しい。勉強のことで勝手に私に期待して、うるさく言わないでほしい。話しは最後まで聴いてほしい。(1年生)
- ・ 子どもの相談に乗ってくれる大人を増やし、子ども全員の個性を否定しない社会になってほしい。(1年生)
- ・ 大人が少しでも子どもに優しく手を差し伸べると子どもは必要とされている、自分はここに居ていいのだ。と考え思うことができます。(2年生)
- ・ 親が正しいと言うわけではないので、子どもの意見もしっかり通るようにする。(1年生)
- ・ 母が妹を連れてスーパーに買い物に行っていたら、おじいさんに「子どもを連れて来るな」と怒鳴られた、と悲しそうだった。だから、子どもに優しい社会になってほしい。(1年生)
- ・ 大人や社会は子どもだから～などの差別をやめてほしいです。子どもにも権利はあることをしてほしいです。(1年生)
- ・ 私たち子どもの意見を聞いてくれる機会は沢山あるが、その意見があまり実現・反映されていないような気がする。(2年生)
- ・ 大人が子どものことを考えてくれていても、それが子ども自身に伝わったりそれを子どもが納得したりしないと意味がないと思います。思ってることがあっても言えない人だっています。それをちゃんと知っておいてほしいです。(3年生)
- ・ 家庭環境やお金などの問題で子どもの未来を潰して欲しくないです。(2年生)
- ・ コロナを拡散したのは大人。卒業旅行や制限で友達との思い出まで制限されたのが嫌だった。食事の買い出しに親が行けなくなった時にもっとサポートして欲しかった。食べられない時はなかったけど毎日色々と不安な事ばかりの中に病気の親がご飯食べられなくなったり作れなかった人は居たはず。子ども食堂が近所がないし、ある地域の食堂も毎日ではないからおなかがすいてる友達もいたから。(3年生)
- ・ こども議会のようなものを開催してほしい。こどもの意見も区政に反映されるべきものは反映できるようにしてほしい。(3年生)

18. まちづくり(14件)

- ・ 自転車専用道路(3年生)
- ・ 安心して通れる通学路を増やしてほしい(1年生)
- ・ 道路を広くしてほしいです(1年生)
- ・ 世田谷区全体にフリーWi-Fiを張り巡らしてほしい。(1年生)
- ・ 駅の近くに綺麗な更衣室がついているトイレがほしい。(1年生)
- ・ 目の不自由な人とかが暮らしやすいようにしてほしい(1年生)
- ・ ルールを分かりやすく、伝わりやすく看板や掲示板に書いてほしい。外部から来た人などでよく歩き煙草をしている人が居るし、駅前で大勢が煙草を吸っていて周りが咳をしていた。(2年生)
- ・ 路上喫煙禁止条例を世田谷区でも作るべき。(3年生)

19. ごみのない・きれいなまち(4件)

- ・ 歩きタバコや、路上タバコなどのマナーを守っていない人が多いことが不満です。タバコの煙を吸ってしまって気分が悪くなります。もう少しタバコに関する条例を強化してほしいな、と思います。(3年生)
- ・ 今僕が住んでいる近くでは、学校へ通う途中に、ビールの空き缶だったり、お菓子のごみなど、ポイ捨てされていることがよくあります。僕は、もっと街が綺麗になったらいいと思います。ですから、地域清掃などボランティア活動を試みてはいかがでしょうか？(1年生)

20. 安心・安全(1件)

- ・ 防犯対策に力を入れてほしい。災害時の対応方法。(3年生)

21. 情報提供(2件)

- ・ 子どもに対する案内やこんな場所がありますというようなお知らせを送ってほしい。(3年生)
- ・ 世田谷区が行なっていることが全世代を通じて不透明であるため、周知に努めるべきだ。(3年生)

22. 政治・政策(19件)

- ・ 子育て世代でも住みやすくするために支援や土地の値段をできるだけ安くすることで世田谷区はより良くなると思います。(2年生)
- ・ 子どもも政治をする人を選びたい。納得いかないことに反対できる方法がほしい。(1年生)
- ・ 将来の日本にあまり希望を持ってない。信用できない。ただ先行き不透明な社会に身を任せただけの虚しい状況に置かれているということ。(1年生)
- ・ 生活が良くなる、改善されている気がしない。何も変わっていると感しない。世田谷区が

何を解決したい、何に取り組んでいるかもわからない。(1年生)

- ・ 子どもたちの医療費を世田谷区が全額負担してくれるのに、いつも助かっています。(1年生)
- ・ とにかく私達子どもが将来に希望を持てる世の中になるように努力してください。(3年生)
- ・ 地域政治にもっと若年層の意見を反映させやすくしてほしいということが一つです。(3年生)
- ・ 高齢な議員が多いせいで若者が得する条例が少ない→若者の意見が反映されにくい。(3年生)

23. 物価、税金他(15件)

- ・ 授業料や税金を減らしてください。(3年生)
- ・ ガソリン代の軽減を求めます。(3年生)
- ・ 消費税減税、医療費無料延長(高校生まで)(2年生)
- ・ 教育費の無償化(1年生)
- ・ ふるさと納税で失われる税金を減らすべく、ふるさと納税をしないよう呼びかけを強めるとともに、より一層返礼品競争に加わり損失を減らしてほしい。(3年生)

24. 社会像(4件)

- ・ 努力が正当に平等に報われる社会や自分の気持ちを周りの人に伝える勇気が持てず、自分の気持ちを隠しながら生きている人の気持ちを汲み取ってくれる社会になってほしいです。(3年生)
- ・ 性についての個人の自由をもっと認めていく社会になってほしい。(3年生)

25. その他、大人への要望・意見(10件)

- ・ 大人や社会に周りを見る力が足りないと思う(1年生)
- ・ 路上ライブ許可してください。路上でやると迷惑、という意見もわかりますが、夢に向かって一生懸命努力している人もたくさんいます。(1年生)
- ・ ネットが危険なのはよくわかっているのですが、ネットが大切な居場所になっている子どももいます。ネットは危険なことで満ち溢れているわけではありません。私の場合、ネットで知り合った友達によく相談に乗ってもらっていました。そのおかげで当時は毎日が楽しかったです。ネットを子どもにやらせることを反対している一部の大人のみなさん、一度ネットについて考え直してほしいです。(3年生)
- ・ ネットを見るとみんな一つの情報に踊らされすぎな気がします。大人の方々は私達と違い、小中でネットに関する授業を受けてない方が多いと思うので仕方ありませんが、一つの情報でトレンドが行ったり来たりになったり、一方を集団で悪口を言っている人を見ると少し不安が募ります。ネットの正しい使い方を全年齢向けに提示してほしいです。(3年生)

第2章 調査結果

26. 今のままでいい(5件)

- ・ 現在の状態を維持してもらいたい。(1年生)
- ・ とても満足しています！いつもありがとうございます！（2年生）

27. ねぎらい(2件)

- ・ これからも区の雰囲気良くなるような活動を続けられることを期待しています。(2年生)

28. その他(11件)

- ・ 学割とかもっと増えてほしい。(2年生)
- ・ 社会常識が学べる講習(2年生)

資料編

I-1 小学生低学年調査

しょうがくせい ていがくねん
小学生（低学年）アンケート

【はじめに】

このアンケートは、世田谷区からおねがいでいます。

- ・名前は聞きません。だれが答えたか、わからないようになっています。
- ・答えてもらったことは、世田谷区のことをきめるために役立てます。
- ・20分くらいかかります。

アンケートに答えてくれる人は、下の「アンケートに答えます」をおして、はじめてください。

わからないところはとばしてもいいので、さいごまで答えてみよう！
それではスタート！



ログインID

パスワード

アンケートに答えます

あなた自身についてお聞きします

問1 あなたのせいべつは何ですか。（1つえらぶ） (N=743)

1. 男子	49.5%	3. 答えたくない	2.6%	5. そのほか	0.0%
2. 女子	49.5%	4. わからない	0.3%	無回答	0.4%

問2 あなたは何年生ですか。（1つえらぶ） (N=743)

1年生	30.1%	2年生	32.4%	3年生	37.0%	無回答	0.4%
-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------

問3 あなたはだれといっしょに住んでいますか。（いくつでもえらぶ） (N=743)

1. お父さん	92.2%	4. おじいさん・おばあさん	8.9%
2. お母さん	98.4%	5. そのほかの人	2.6%
3. きょうだい（お兄ちゃん・お姉ちゃん・おとうと・いもうと）	73.5%	無回答	0.1%

あなたのことについてお聞きします

問4 あなたは、次の活動を、ふだんどれくらいしますか。(それぞれ1つずつえらぶ) (N=743)

よこ かいとう ヨコに回答→	まいにち 毎日	しゅう 週に 3～4日	しゅう 週に 1～2日	ぜんぜん しない	むかいとう 無回答
① ゲームをする	29.3%	15.9%	24.4%	26.9%	3.5%
② YouTubeなどでどうがをみる	43.3%	12.9%	15.7%	18.7%	9.3%
③ 勉強をする (学校のじゅ業ではないもの、宿題など)	74.4%	11.6%	4.4%	3.5%	6.1%
④ 公園などの外で遊ぶ	11.2%	19.0%	40.9%	19.2%	9.7%

問5 あなたは、つぎのことをどのように思っていますか。(それぞれ1つずつえらぶ) (N=743)

よこ かいとう ヨコに回答→	はい	いいえ	どちらでも ない	むかいとう 無回答
① まわりの人は自分の意見をちゃんと き聞いてくれている	84.4%	3.5%	10.6%	1.5%
② 自由なじかんがある	89.8%	4.0%	3.5%	2.7%
③ 自分の身体やけんこうを大切にした い	94.3%	0.8%	3.5%	1.3%
④ 自分自身のことがすきだ	68.0%	10.2%	19.1%	2.7%
⑤ かぞくに大事にされている	93.7%	1.2%	3.2%	1.9%
⑥ 学校が楽しい	77.4%	8.5%	11.7%	2.4%
⑦ ちいきのおまつりなどに行くのがす きだ	75.6%	7.8%	13.6%	3.0%
⑧ かぞくのほかに自分のことをしんけ んに考えてくれる大人がいる	77.8%	6.5%	12.2%	3.5%

子どもの権利などについてお聞きします

子どもが一人の人間として大切にされ、自分らしく成長するためにひつようなことを「子どもの権利」といい、子ども一人ひとりに「子どもの権利」があります。

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問6-① どんな理由でもさべつされない (1つえらぶ)

(N=743)

1. はい	59.4%	3. どちらでもない	1.2%	無回答	1.2%
2. いいえ	6.1%	4. わからない	32.2%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問6-② 自分にとっていちばんよいことはなにか、大人にいっしょに考えてもらえる (1つえらぶ)

(N=743)

1. はい	77.1%	3. どちらでもない	3.0%	無回答	0.9%
2. いいえ	1.7%	4. わからない	17.2%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

資料編

あなた自身^{じしん}やあなたのまわりの子ども^{こども}で、次の「子どもの権利^{けんり}」は、守られていますか^{まも}。

問6-③ 心^{こころ}も身体^{からだ}ものびのびとせいちょうでき、安心^{あんしん}してくらしている（1つえらぶ）

(N=743)

1. はい	85.5%	3. どちらでもない	2.2%	無回答 ^{むかいとう}	1.3%
2. いいえ	2.4%	4. わからない	8.6%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

あなた自身^{じしん}やあなたのまわりの子ども^{こども}で、次の「子どもの権利^{けんり}」は、守られていますか^{まも}。

問6-④ 自由^{じゆう}に意見^{いけん}を言うことができ、大人^{おとな}はその意見^{いけん}を大切^{たいせつ}にしてくれる（1つにえらぶ）

(N=743)

1. はい	74.3%	3. どちらでもない	4.7%	無回答 ^{むかいとう}	1.1%
2. いいえ	2.6%	4. わからない	17.4%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問6-⑤ おうちの人からたたかれたり、ひどいことを言われたりしていない (1つえらぶ) (N=743)

1. はい	67.6%	3. どちらでもない	6.6%	無回答	1.1%
2. いいえ	18.0%	4. わからない	6.7%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問6-⑥ 自分にあった方法で学ぶことができている (1つえらぶ) (N=743)

1. はい	81.2%	3. どちらでもない	3.4%	無回答	0.9%
2. いいえ	2.2%	4. わからない	12.4%		



【イラスト提供：ヒーノ・リ・フルドレン・ジャパン】

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問6-⑦ やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、つかれたら休むことができる (1つえらぶ)

(N=743)

1. はい	87.5%	3. どちらでもない	3.6%	無回答	1.1%
2. いいえ	2.8%	4. わからない	5.0%		

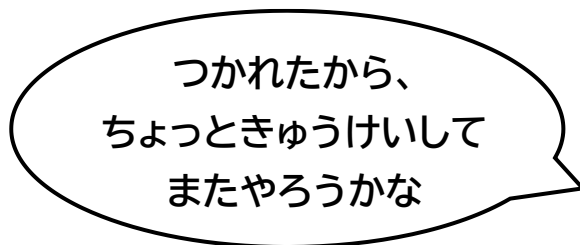


【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

問7 世田谷区は子どもの権利を守るための相談先として「せたホッと (せたがやホッと子どもサポート)」をつくりました。「せたホッと」を知っていますか。(1つえらぶ)

(N=743)

1. はい	44.8%	2. いいえ	無回答	1.1%
-------	-------	--------	-----	------



あなたの意見をきかせてください

- 問8 世田谷区は、「子どもがいきいきわくわく育つまち」をもくひょうにしています。
 これからさき、子どもにとって「こんなまち（世田谷）になったらいいな」、「こんなまちにしたいな」
 など、あなたの意見や願いがあれば、自由に入力してください。

ほうかごの過ごし方についてお聞きします

- 問9 あなたは、学校に行く、月よう日から金よう日のほうかご（学校が終わってから夕方6時くらいまで）、
 どこで過ごしますか。1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数をおしえてください。（それぞれ
 1つつえらぶ）

(N=743)

よこかいとう ヨコに回答→	しゅう 週に 5日 (まいち)	しゅう 週に 3～4日	しゅう 週に 1～2日	そこでは まったく すぎさない	むかいとう 無回答
① ① ① ① ① 自分の家	43.5%	19.4%	20.3%	7.9%	8.9%
② ② ② ② ② 友だちの家	0.5%	2.3%	16.7%	63.4%	17.1%
③ ③ ③ ③ ③ 学校の学童クラブやBOPなど	20.7%	16.2%	16.6%	38.6%	7.9%
④ ④ ④ ④ ④ じゅくや習い事、スポーツクラブの活動の場	8.2%	29.7%	38.6%	14.0%	9.4%
⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ じどうかん	0.7%	0.7%	8.9%	74.6%	15.2%
⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ 公園などの外	3.8%	6.2%	33.1%	42.7%	14.3%
⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ 池之上・野毛・希望丘(アップス) 青少 年交流センター	0.0%	0.0%	1.1%	83.0%	15.9%
⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ としょかん	0.3%	0.4%	15.6%	68.2%	15.5%
⑨ ⑨ ⑨ ⑨ ⑨ お店(ゲームセンターやシュークリーム店など)	0.0%	2.0%	9.8%	72.5%	15.6%
⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ その他 [どこですか:]	1.6%	2.3%	6.2%	35.1%	54.8%

資料編

問10 あなたには、ホッとでき、安心していられるばしょ（「ここにいたい」と感じるばしょ）はありますか。

(いくつでもえらぶ)

(N=743)

1. 自分の家	93.0%
2. 学校	48.2%
3. じどうかん	11.7%
4. 学校の学童クラブやBOPなど	32.4%
5. としょかん	25.4%
6. その他 [どこですか:]	19.5%
7. ホッとでき、安心していられるばしょ（「ここにいたい」と感じるばしょ）はない	0.8%
無回答	1.2%

【問10で1から6を選んだ人が回答】

問10-1 ホッとでき、安心していられるばしょ（「ここにいたい」と感じるばしょ）はどのようなばしょですか。

(いくつでもえらぶ)

(n=728)

1. しずかに勉強できる	44.0%
2. 友だちやかぞくとたくさんおしゃべりができる	75.0%
3. 野球やサッカーなど運動が思いきりできる	33.9%
4. ひとりでしずかにすごせる	41.1%
5. 自然の中で思いきり遊べる	37.9%
6. その他 [どのようなところですか:]	11.3%
無回答	3.2%

問11 じどうかんをどのくらい利用していますか。(1つえらぶ)

(N=743)

1. 利用したことがない	35.0%
2. ほとんど利用しない	35.4%
3. ときどき利用する	22.6%
4. よく利用する	5.0%
無回答	2.0%

【問11で1、2を選んだ人が回答】

問11-1 じどうかんを利用しない理由は何ですか。(いくつでもえらぶ) (n=523)

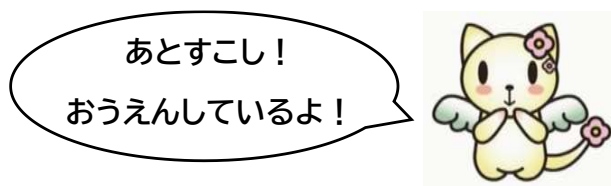
1. 知らない子が多いから	14.5%
2. おもしろくないから	6.5%
3. ほかにおもしろいところがあるから	16.6%
4. 人がたくさんいて落ち着かないから	8.8%
5. 行く時間がないから	55.1%
6. その他 [理由:]	32.7%
無回答	2.5%

問12 新BOP (区立小学校で行っているほうかごの遊び場のこと) を利用したことがありますか。

(1つえらぶ)

(N=743)

1. はい	73.4%	2. いいえ	24.4%	無回答	2.3%
-------	-------	--------	-------	-----	------



【問12で1を選んだ人が回答】

問12-1 新BOPでは、どんな気持ちで過ごすことが多かったですか。(1つえらぶ)

そして、なぜその気持ちになったのか理由をおしえてください。 (n=545)

1. とても楽しい	57.4%
[理由:]	
2. まあ楽しい	25.5%
[理由:]	
3. どちらでもない	4.8%
[理由:]	
4. あまり楽しくない	7.0%
[理由:]	
5. まったく楽しくない	3.5%
[理由:]	
無回答	1.8%

ひ おも き
日ごろの思いやなやみについてお聞きします

問13 こまっていることやなやんでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人はいますか。

(1つえらぶ)

(N=743)

1. はい	89.4%	3. だれにも話さない・話したくない	6.3%
2. いいえ	2.0%	無回答	2.3%

【問13で1を選んだ人が回答】

問13-1 それは、だれですか。(いくつでもえらぶ)

(n=664)

1. お父さん・お母さん	94.3%
2. きょうだい (お兄ちゃん・お姉ちゃん・おとうと・いもうと)	33.4%
3. おじいさん・おばあさん	30.4%
4. 学校の先生	54.4%
5. 学校のスクールカウンセラー	7.8%
6. じゅくや習い事の先生	14.0%
7. 友だち	58.1%
8. じどうかんや新BOP、池之上・野毛・希望丘 (アpps) 青少年交流センターのしょくいん	14.3%
9. インターネットをつうじてやりとりしている人	0.6%
10. その他 [だれですか:]	4.7%
無回答	0.2%

問14 さいごに、このアンケートのかんそう、大人にいわたいことがあれば、自由に入力してください

「おわり」をおすと、今まで答えたことを変えることができなくなります。

変えたいときは、「もどる」をおしてください。

今まで答えたことでよければ、「おわり」をおしてください。

もどる

おわり

かいとう
ご回答ありがとうございました。

あんけーと
アンケートはこれでおわりです。

こた ほんとう
さいごまで答えてくれて、本当にありがとうございました。

いけん たいせつ
みなさんの意見は、とても大切です。

よ せたがやく こ
すべてきちんと読んで、世田谷区が子どもにとって、

どりょく
よりよいまちになるよう努力していきます。

はなし ほっ
こまったとき、話をきいてほしいときは、「せたホッと」にれんらくしてね。

ひみつはかならずまもります。

わたしのなまえは
"なちゅ"だよ。よろしくね！



こどもの権利をまもる

せたホッと

せたがやホッと子どもサポート

せたがやくこ じんけんようごきかん
世田谷区子どもの人権擁護機関

そうだんじかん
★相談時間

げつ きん ごご じ ごご じ
月～金：午後1時～午後8時

ど ごぜん じ ごご じ
土：午前10時～午後6時

にちよう しゅくじつ ねんまつねんし
(日曜・祝日・年末年始をのぞく)

資料編



ふりーだいやる
フリーダイヤル

ほつとにきゆうさい
0120-810-293

けいたいでんわ こうしゅうでんわ むりょう
※携帯電話・公衆電話からも無料でかけられます。



(-6777



www.city.setagaya.lg.jp/inquiry/mailform999992.html

こ そうだん めー る けいたいようにゆうりよく ふ おー む
(子ども相談メール携帯用入力フォーム)



156-0051

せたがやくみやさか
世田谷区宮坂3-15-15

こ こそだ そうごう せん たー かい ほつ
子ども・子育て総合センター3階 せたホッとあて

もっと子どもの権利について知りたい人はこちらへ

<https://www.savechildren.or.jp/oyakonmikata/kodomo-no-kenri/>

しゅってん せーぶ・ざ ちるどれん じゃぱん
【出典：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

I-2 小学生高学年調査

しょうがくせい こうがくねん
小学生 (高学年) アンケート

【はじめに】

このアンケートは、世田谷区からおねがいでいます。

- ・名前は聞きません。だれが答えたか、わからないようになっています。
- ・答えてもらったことは、世田谷区のことをきめるために役立っています。
- ・20分くらいかかります。

アンケートに答えてくれる人は、下の「アンケートに答えます」をおして、はじめてください。

わからないところは飛ばしても
いいので、最後まで答えてみよう！
それではスタート！



ログインID

パスワード

アンケートにこたえます

あなた自身についてお聞きします

問1 あなたの性別は何ですか。(1つ選ぶ) (N=717)

1. 男子	44.5%	3. 答えたくない	1.8%	5. そのほか	0.1%
2. 女子	53.3%	4. わからない	0.1%	無回答	0.1%

問2 あなたは何年生ですか。(1つ選ぶ) (N=717)

4年生	37.0%	5年生	28.6%	6年生	34.2%	無回答	0.3%
-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------

問3 あなたはだれと一しょに住んでいますか。(いくつでも選ぶ) (N=717)

1. お父さん	89.5%	4. おじいさん・おばあさん	8.4%
2. お母さん	98.5%	5. そのほかの人	2.6%
3. きょうだい	76.6%	無回答	0.1%

あなたのことについてお聞きします

問4 あなたは、次の活動を、ふだんどれくらいしますか。(それぞれ1つずつ選ぶ) (N=717)

ヨコに回答→	毎日 5時間 以上	毎日 3~4 時間	毎日 2時間 以下	週に 3~4日	週に 1~2日	ぜんぜん しない	無回答
① ゲームをする	2.4%	8.6%	29.1%	10.6%	18.3%	29.3%	1.7%
② YouTubeなどで動画をみる	4.5%	10.9%	36.8%	12.1%	11.4%	18.4%	5.9%
③ 勉強をする(学校の授業以外の宿題など)	12.0%	20.6%	43.7%	8.1%	6.7%	4.7%	4.2%
④ 公園などの外で遊ぶ	1.4%	6.3%	7.8%	15.3%	33.8%	32.5%	2.9%
⑤ 親にかわって家事(せんたく、そうじ、料理、かたづけなど)をする	0.7%	1.4%	9.5%	18.0%	37.0%	30.1%	3.3%
⑥ 親にかわってきょうだいなどの世話をする	1.5%	1.4%	6.7%	6.3%	11.7%	65.7%	6.7%

子どもの権利や子ども条例などについてお聞きします

問5 あなたは、次のことをどのように思っていますか。(それぞれ1つずつ選ぶ) (N=717)

ヨコに回答→	はい	いいえ	どちらでもない	無回答
① 周りの人は自分の意見をちゃんと聞いてくれている	84.2%	2.8%	11.6%	1.4%
② 自由な時間がある	87.9%	3.8%	5.3%	3.1%
③ 自分の身体やけんこうを大切にしたい	91.6%	2.0%	4.6%	1.8%
④ 自分自身のことがすきだ	55.0%	14.1%	28.5%	2.5%
⑤ 家族に大事にされている	91.1%	0.7%		1.7%
⑥ 学校が楽しい	74.5%	6.6%	16.9%	2.1%
⑦ 地域のおまつりなどに行くのがすきだ	70.9%	9.8%	16.7%	2.6%
⑧ 家族のほかに自分のことをしんけんに考えてくれる大人がいる	77.7%	6.0%	13.4%	2.9%

子どもが一人の人間として大切にされ、自分らしく成長するために必要なことを「子どもの権利」といい、子ども一人ひとりに「子どもの権利」があります。

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問6-① どんな理由でも差別されない (1つ選ぶ)

(N=717)

1. はい	68.8%	3. どちらでもない	4.3%	無回答	0.3%
2. いいえ	3.9%	4. わからない	22.7%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問6-②自分にとって一番よいことはなにか、大人と一緒に考えてもらえる (1つ選ぶ)

1. はい	76.0%	3. どちらでもない	5.9%	無回答	0.7%
2. いいえ	2.1%	4. わからない	15.3%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

資料編

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問6 - ③心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている (1つ選ぶ) (N=717)

1. はい	84.9%	3. どちらでもない	3.1%	無回答	1.4%
2. いいえ	3.2%	4. わからない	7.4%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問6 - ④自由に意見を言うことができ、大人はその意見を大切にしてくれる (1つ選ぶ)

1. はい	76.4%	3. どちらでもない	6.3%	無回答	1.0%
2. いいえ	3.1%	4. わからない	13.2%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問6-⑤おうちの人からたたかれたり、ひどいことを言われたりしていない (1つ選ぶ)

1. はい	70.0%	3. どちらでもない	6.0%	無回答	1.1%
2. いいえ	15.9%	4. わからない	7.0%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問6-⑥自分に合った方法で学ぶことができている (1つ選ぶ)

(N=717)

1. はい	77.8%	3. どちらでもない	5.3%	無回答	0.7%
2. いいえ	4.6%	4. わからない	11.6%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

資料編

あなた自身^{じしん}やあなたのまわりの子ども^こで、次の「子どもの権利^{けんり}」は、守^{まも}られていますか。

問6-⑦ やりたいこと^{たい}を楽し^{たの}しみ、のびのび遊^{あそ}び、疲^{つか}れたら休^{やす}むことができている（1つ選^{えら}ぶ）

1. はい	80.2%	3. どちらでもない	6.0%	無回答 ^{むかいとう}	0.6%
2. いいえ	7.4%	4. わからない	5.9%		



【イラスト提供^{ていきょう}：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

問7-1 世田谷区^{せたがやく}では子ども^こがすこやかに育^{そだ}つことができるまちをつくっていくために、「世田谷区子ども条例^{じょうれい}」
というやくそく^きを決^きめています。このことを知^しっていますか。（1つ選^{えら}ぶ）

(n=717)

1. はい	19.5%	2. いいえ	80.2%	無回答 ^{むかいとう}	0.3%
-------	-------	--------	-------	----------------------	------

問7-2 世田谷区^{せたがやく}は子ども^この権利^{けんり}を守るための相談先^{まも}として「せたホッと（せたがやホッと子どもサポ
ート）」をつくりました。「せたホッと」を知^しっていますか。（1つ選^{えら}ぶ）

(n=717)

1. はい	77.7%	2. いいえ	18.4%	無回答 ^{むかいとう}	3.9%
-------	-------	--------	-------	----------------------	------

問8 あなたは、子どもの権利を守るために、どんな仕組みがあるとよいと思いますか。(いくつでも選ぶ)

(N=717)

1. 子どもがこまったときにだれにも知られず相談できる場所が近くにある	74.3%
2. こまったときに電話やSNS、メールなどで相談できるところがある	53.8%
3. 子どものこまったことや大人に伝えたいことを、伝える手つだいをしてくれる人がいる	63.6%
4. 子どもに子どもの権利について、もっと学校で教える	46.2%
5. 大人達に子どもの権利についてもっと伝える	50.2%
6. 子どもが、意見を伝える方法を学ぶところがある	46.0%
7. 子どもの権利が守られているかを見守る人がいる	51.7%
8. 子どもが意見を言える場所がある	64.9%
9. その他 [どんな仕組みですか:]	9.1%
10. わからない	3.8%
11. 特になし	4.2%
無回答	0.8%

あなたの意見をきかせてください

問9 あなたは自分の意見を言ったり、いろんな機会に参加する権利を持っています。

世田谷区では、区に意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会を増やしたいと考えています。今後、そのような機会があれば、参加したいと思いますか。(1つ選ぶ)

(N=717)

1. はい	37.4%	3. どちらでもない・わからない	46.4%
2. いいえ	15.3%	無回答	0.8%

問10 どのような方法があれば、あなたは世田谷区に意見を伝えやすいですか。(いくつでも選ぶ)

(N=717)

1. タブレットやパソコンを使った方法	70.4%
2. 手紙などで伝える方法	24.5%
3. 学校に意見をいれる箱をおくなど、身近なところでできる方法	60.0%
4. 身近な大人に話して伝えてもらう方法	22.5%
5. 区長や区役所の人にあって伝える方法	13.0%
6. 子どもが集まり会議などで話しあって伝える方法	29.4%
7. 伝えやすそうな方法はない	3.5%
8. その他 [どんな方法ですか:]	2.6%
無回答	1.7%

資料編

問11 世田谷区は、「子どもがいきいきわくわく育つまち」を目標にしています。

これから先、子どもにとって「こんなまち(世田谷)になったらいいな」「こんな社会にしたいな」など、あなたの意見や願いがあれば、自由に入力してください。

つかれたから、
ちょっと休けいして
またやろうかな



放課後の過ごし方についてお聞きします

問12 あなたは、学校に行く月曜日から金曜日の放課後(学校が終わってから夕方6時くらいまで)、どこですごしますか。1週間のうち、そこですごすおおよその日数を教えてください。

(それぞれ1つつ選ぶ) (N=717)

ヨコに回答→	週に5日(毎日)	週に3~4日	週に1~2日	そこではまったくすごさない	無回答
① 自分の家	51.3%	25.0%	18.5%	1.7%	3.5%
② 友達の家	0.3%	2.4%	26.4%	60.4%	10.6%
③ 学校の学童クラブやBOPなど	0.8%	1.5%	8.8%	77.7%	11.2%
④ 塾や習い事、スポーツクラブの活動の場	13.1%	39.9%	31.8%	11.0%	4.2%
⑤ 児童館	0.3%	2.0%	10.0%	79.1%	8.6%
⑥ 公園などの外	2.1%	11.3%	38.4%	40.3%	7.9%
⑦ 池之上・野毛・希望丘(アップス)青少年交流センター	0.3%	1.0%	8.2%	81.2%	9.3%
⑧ 図書館	0.4%	1.0%	12.3%	76.6%	9.8%
⑨ お店(ゲームセンターやファーストフード店など)	0.3%	0.6%	16.3%	72.9%	9.9%
⑩ その他[どこですか:]	1.0%	0.7%	2.2%	29.1%	66.9%

問13 あなたは、学校に行く月曜日から金曜日の夜間（夕方6時から8時くらいまで）、どこで過ごしますか。1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数を教えてください。（それぞれ1つつ選ぶ）

(N=717)

ココに回答→	しゅうに5日 週に5日 (毎日)	しゅうに 週に 3～4日	しゅうに 週に 1～2日	そこでは まったく 過ごさない	むかいとう 無回答
① ① ① ① ① ① 自分の家	62.1%	17.9%	14.5%	2.2%	3.3%
② ② ② ② ② ② 友達の家	0.1%	0.4%	9.1%	76.7%	13.7%
③ ③ ③ ③ ③ ③ 塾や習い事、スポーツクラブの活動の場	10.0%	29.6%	30.8%	22.5%	7.1%
④ ④ ④ ④ ④ ④ 児童館	0.1%	0.7%	2.8%	83.7%	12.7%
⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ 公園などの外	0.7%	3.2%	13.4%	71.1%	11.6%
⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ 池之上・野毛・希望丘（アップス） 青少年交流センター	0.6%	0.4%	1.8%	84.5%	12.7%
⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ 図書館	0.4%	0.3%	5.0%	82.1%	12.1%
⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ お店（ゲームセンターやファーストフード 店など）	0.3%	0.1%	8.1%	79.2%	12.3%
⑨ ⑨ ⑨ ⑨ ⑨ ⑨ その他 [どこですか:]	1.1%	0.4%	2.2%	36.8%	59.4%

問14 あなたは、学校に行く月曜日から金曜日の放課後（学校が終わってから夕方6時くらいまで）、どこで過ごしたいですか。（いくつでも選ぶ）

(N=717)

1. ① ① ① ① ① ① 自分の家	84.5%
2. ② ② ② ② ② ② 友達の家	44.2%
3. ③ ③ ③ ③ ③ ③ 学校の学童クラブやBOPなど	9.8%
4. ④ ④ ④ ④ ④ ④ 塾や習い事、スポーツクラブの活動の場	36.8%
5. ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ 児童館	13.4%
6. ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ 公園などの外	37.7%
7. ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ 池之上・野毛・希望丘（アップス）青少年交流センター	8.6%
8. ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ 図書館	19.2%
9. ⑨ ⑨ ⑨ ⑨ ⑨ ⑨ お店（ゲームセンターやファーストフード店など）	19.0%
10. ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ その他 [どこですか:]	3.6%
⑪ ⑪ ⑪ ⑪ ⑪ ⑪ 無回答	1.

資料編

問15 あなたには、ホッとでき、安心していられる場所（「ここに居たい」と感じる場所）はありますか。

(いくつでも選ぶ)

(N=717)

1. 自分の部屋	70.3%	15. 図書館	22.9%
2. 家族と一緒にくつろぐ部屋	69.6%	16. 公園	25.4%
3. 友達の家	31.1%	17. 塾や習い事(教室)、スポーツクラブ	
4. おじいさん、おばあさんの家	43.4%	(スポーツ少年団)	30.1%
5. 学校の教室	31.5%	18. ゲームセンターやハンバーガー店などのお店	
6. 学校の保健室	13.5%		11.3%
7. 学校の相談室	12.1%	19. 無料で勉強を見てくれる場所や、食事や軽食	
8. 学校の図書室	30.5%	を無料か安く食べることができる場所	10.2%
9. 学校の体育館・グラウンド	16.5%	20. 悩みごとの相談にのったり、サポートしてく	
10. 学校の部屋	12.7%	れる場所(電話やオンラインを含む)	9.6%
11. 児童館	10.0%	21. インターネット空間(SNS、Youtubeや	
12. 学校の学童クラブやBOPなど	7.8%	オンラインゲームなど)	23.8%
13. 池之上・野毛・希望丘(アップス)青少年		22. その他の場所[具体的に:]	5.7%
交流センター	5.6%	23. ホッとでき、安心していられる場所(「ここに	
14. プレーパークなど地域の人が開いている遊び		居たい」と感じる場所)はない	1.1%
の場所	8.1%	無回答	0.4%

【問15で1から22を選んだ人が回答】

問15-1 ホッとでき、安心していられる場所（「ここに居たい」と感じる場所）はどのような場所ですか。

(いくつでも選ぶ)

(n=706)

1. いつでも行きたい時に行ける	73.2%
2. 一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	68.8%
3. ありのままにいられる、自分を否定されない	52.8%
4. 好きなことをして自由に過ごせる	76.1%
5. 自分の意見や希望を受け入れてもらえる	46.5%
6. 新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	40.1%
7. 悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる	33.9%
8. いろんな人と出会える、友達と一緒に過ごせる	49.7%
9. スポーツや外遊びなど体を思い切り動かすことができる	40.7%
10. その他[具体的に:]	3.1%
無回答	2.1%

問16 児童館をどのくらい利用していますか。(1つ選ぶ) (N=717)

1. 利用したことがない	28.9%
2. ほとんど利用しない	41.6%
3. ときどき利用する	24.1%
4. よく利用する	4.3%
無回答	1.1%

あと少し!
おうえんしているよ!



【問16で1、2を選んだ人が回答】

問16-1 児童館を利用しない理由は何ですか。(いくつでも選ぶ) (n=505)

1. 児童館を知らないから	24.8%
2. 家から遠いから	48.1%
3. おもしろくないから	19.0%
4. 他にもおもしろいところがあるから	31.5%
5. 入りづらいから	16.6%
6. 知らない子が多いから	29.7%
7. ゲームができないから	5.7%
8. 職員と気が合わないから	7.5%
9. ルールが多いから	7.1%
10. 行きたいけど、時間や曜日が合わないから	21.2%
11. 行く暇がないから	41.2%
12. 同じ学校の子や近所の子がいるから	3.8%
13. 低年齢の子が多いから	10.7%
14. その他〔具体的に： 〕	11.7%
無回答	2.4%

資料編

問17 新BOP（区立小学校で行っている放課後の遊び場のこと）を利用したことがありますか。

(1つ選ぶ)

(N=717)

1. はい	57.5%	2. いいえ	41.3%	無回答	1.3%
-------	-------	--------	-------	-----	------

【問17で1を選んだ人が回答】

問17-1 新BOPでは、どんな気持ちで過ごすことが多かったですか。(1つ選ぶ)

そして、なぜその気持ちになったのか理由を教えてください。

(n=412)

1. とても楽しい	48.8%
理由:]
2. まあ楽しい	28.9%
理由:]
3. どちらでもない	8.7%
理由:]
4. あまり楽しくない	7.3%
理由:]
5. まったく楽しくない	3.2%
理由:]
無回答	3.2%

日ごろの思いやなやみについてお聞きします

問18 今、こまっていることやなやんでいること、つらいことはどんなことですか。(いくつでも選ぶ)

(N=717)

1. 家族のこと	7.7%	5. 受験のこと	25.7%
2. 勉強のこと	25.5%	6. 将来のこと	19.2%
3. 友達のこと	17.7%	7. その他 [どんなことですか:]	6.8%
4. 塾や習い事のこと	17.3%	8. 特にない	43.1%
		無回答	2.2%

問19 こまっていることやなやんでいること、つらいことがある時に話を聞いてくれる人はいますか。

(1つ選ぶ)

(N=717)

1. はい	81.0%	3. だれにも話さない・話したくない	15.1%
2. いいえ	2.5%	無回答	1.4%

【問19で1を選んだ人が回答】

問19-1 それは、だれですか。(いくつでも選ぶ)

(n=581)

1. お父さん・お母さん	89.8%	7. 友達	64.9%
2. きょうだい	35.6%	8. じどうかんや新BOP、池之上・野毛・希望丘	
3. おじいさん・おばあさん	30.6%	(アップス) 青少年交流センターのしょくいん	4.6%
4. 学校の先生	42.0%	9. インターネットをつうじてやりとりしている人	1.9%
5. 学校のスクールカウンセラー	19.1%	10. その他 [だれですか:]	1.2%
6. 塾や習い事の先生	16.5%	無回答	0.7%

問20 さいごに、このアンケートの感想、大人や社会にいいたいことがあれば、自由に入力してください。

「おわり」をおすと、今まで答えたことを変えることができなくなります。

変えたいときは、「もどる」をおしてください。

今まで答えたことでよければ、「おわり」をおしてください。

かいとう
ご回答ありがとうございました。

アンケートはこれでおわりです。

こた ほんとう
さいごまで答えてくれて、本当にありがとうございました。

いけん たいせつ
みなさんの意見は、とても大切です。

よ せたがやく こ
すべてきちんと読んで、世田谷区が子どもにとって、

どりよく
よりよいまちになるよう努力していきます。

はなし
こまったとき、話をきいてほしいときは、「せたホツと」にれんらくしてね。

ひみつはかならずまもります。

わたしのなまえは
"なちゅ"だよ。よろしくね！



こどもの権利をまもる

せたホツと

せたがやホツと子どもサポート

せたがやくこ じんけんようごきかん
世田谷区子どもの人権擁護機関

そうだんじかん
★相談時間

げつ きん ごご じ ごご じ
月～金：午後1時～午後8時

ど ごぜん じ ごご じ
土：午前10時～午後6時

にちよう しゅくじつ ねんまつねんし
(日曜・祝日・年末年始をのぞく)



フリーダイヤル

ほつとにきゆうさい
0120-810-293

電話で

けいたいでんわ こうしゅうでんわ むりょう
※携帯電話・公衆電話からも無料でかけられます。



-6777



Eメール

www.city.setagaya.lg.jp/inquiry/mailform999992.html

こ そうだん けいたいようにゆうりよく
(子ども相談メール携帯用入力フォーム)



156-0051

せたがやくみやさか
世田谷区宮坂3-15-15

こ こそだ そうごう かい
子ども・子育て総合センター3階 せたホッとあて

もっと子どもの権利について知りたい人はこちらへ

<https://www.savechildren.or.jp/oyakonomikata/kodomo-no-kenri/>

しゅってん
【出典：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

II 中学生調査

ちゅうがくせい
中学生アンケート

【はじめに】

このアンケートは、世田谷区からおねがいでいます。

- ・名前は聞きません。誰が答えたか、わからないようになっています。
- ・答えてもらったことは、世田谷区のことをきめるために役立てます。
- ・30分くらいかかります。

アンケートに答えてくれる人は、下の「アンケートに答えます」を押して、始めてください。

わからないところは飛ばしても
いいので、最後まで答えてみよう！
それではスタート！



ログイン I D

パスワード

アンケートにこたえます

あなた自身についてお聞きします

問1 あなたの性別は何ですか。(1つ選ぶ)

(N=809)

1. 男子	42.6%	3. 答えたくない	2.2%	5. そのほか	0.6%
2. 女子	53.3%	4. わからない	0.5%	無回答	0.7%

問2 あなたの学校の種類と学年を教えてください。学年は数字を入力してください。

(1つ選ぶ)

(N=809)

1. 公立中学生 (<input type="checkbox"/> 年生) 平均1.9年生	57.5%	3. その他 (フリースクールなど)	1.9%
2. 私立中学生 (<input type="checkbox"/> 年生) 平均2.1年生	40.3%	無回答	0.4%

問3 学校の場所を教えてください。(1つ選ぶ)

(N=809)

1. 世田谷区内	69.1%	2. 世田谷区外	30.2%	無回答	0.7%
----------	-------	----------	-------	-----	------

問4 だれと一緒に住んでいますか。(いくつでも選ぶ)

(N=809)

1. お父さん	88.8%	4. 祖父母	11.2%
2. お母さん	98.0%	5. その他の人	2.5%
3. きょうだい	70.8%	無回答	0.2%

あなたのことについてお聞きします

問5 あなたの最近の身体や心の調子についておたずねします。(それぞれ1つずつ選ぶ) (N=809)

ヨコに回答→	いつも ある	ときどき ある	ごくたまに ある	ほとんど ない	無回答
① よくねむれない (よくねむくなる)	12.5%	28.2%	19.0%	39.2%	1.1%
② いつも疲れている感じがする	22.2%	25.1%	22.0%	24.7%	5.9%
③ 食欲がわからない	2.7%	13.1%	16.1%	63.2%	4.9%
④ 頭痛・頭が重い	4.9%	20.3%	24.2%	47.2%	3.3%
⑤ いらいらする	9.5%	26.5%	28.9%	31.9%	3.2%
⑥ ゆううつになる、気持ちが落ち込む	11.5%	22.9%	21.8%	40.8%	3.1%
⑦ 身体がだるい	10.3%	20.8%	24.5%	42.3%	2.2%
⑧ やる気が出ない	16.4%	30.4%	24.4%	26.0%	2.8%
⑨ 朝起きることができない	19.7%	18.8%	22.7%	36.2%	2.6%

資料編

問6 あなたは、以下のことをどのように思っていますか。(それぞれ1つずつ選ぶ) (N=809)

ヨコに回答→	とても そう思う	まあ そう思う	どちらでも ない	あまりそう おも 思わない	まったくそう おも 思わない	むかいとう 無回答
① 周りの人は自分の意見をちゃんと聞いてくれている	42.9%	41.2%	8.2%	5.3%	1.4%	1.1%
② 自由に使える時間がある	51.8%	30.8%	6.9%	6.1%	1.2%	3.2%
③ 自分の身体や健康を大切にしたい	66.6%	19.9%	5.7%	3.8%	2.0%	2.0%
④ 孤独だと感じる	7.3%	11.9%	13.3%	28.3%	36.5%	2.7%
⑤ 自分自身のことが好きだ	24.2%	30.5%	22.5%	12.6%	8.8%	1.4%
⑥ 家族に大事にされている	61.1%	26.8%	7.3%	2.5%	0.9%	1.5%
⑦ 他の人から必要とされている	29.9%	36.3%	16.6%	11.2%	4.6%	1.4%
⑧ 学校が楽しい	44.7%	29.9%	11.4%	6.9%	5.4%	1.6%
⑨ 自分が住む地域のために力を役立てたい	19.2%	27.2%	27.1%	14.5%	10.5%	1.6%
⑩ 人の役に立ちたい	44.0%	34.4%	12.2%	4.6%	3.0%	1.9%
⑪ 社会を自分の力で変えられる	14.0%	15.5%	26.0%	23.5%	19.3%	1.9%
⑫ 地域のお祭りなどに行くのが好きだ	33.7%	27.6%	15.3%	12.1%	8.7%	2.6%
⑬ 家族の他に自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる	37.3%	31.3%	14.0%	8.7%	6.2%	2.6%

問7 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。(それぞれ1つずつ選ぶ) (N=809)

ヨコに回答→	まいにち 毎日 5時間 以上	まいにち 毎日 3~4 時間	まいにち 毎日 2時間 以下	しゅう 週に 3~4日	しゅう 週に 1~2日	ぜんぜん しない	むかいとう 無回答
① ゲームをする	3.2%	10.5%	31.6%	11.5%	12.7%	28.4%	2.0%
② LINE・X (エックス:旧 Twitter)・Instagram等を 利用する	4.1%	12.0%	60.9%	5.8%	3.8%	10.4%	3.0%
③ YouTube・TikTok等で 動画を見る	7.8%	20.0%	50.6%	9.4%	5.1%	5.8%	1.4%
④ 学習をする (学校の授業以外)	3.7%	18.7%	41.5%	15.2%	11.1%	8.0%	1.7%
⑤ 公園等の屋外で遊ぶ	0.9%	1.5%	3.6%	8.3%	25.8%	57.8%	2.1%
⑥ 親に代わって家事(洗たく、 そうじ、料理、片付けなど) をする	0.7%	0.6%	15.9%	18.5%	31.8%	30.8%	1.6%
⑦ 親に代わってきょうだいの 世話をする	1.2%	0.9%	5.6%	5.2%	9.5%	73.7%	4.0%
⑧ 親に代わって家族・親族の 介護をする	0.1%	0.1%	0.4%	1.1%	2.3%	90.7%	5.2%

学校生活と放課後等の過ごし方についてお聞きします

問8 学校の授業が理解できますか。(1つ選ぶ) (N=809)

1. いつも理解できる	30.9%	4. 理解できないことが多い	3.0%
2. だいたい理解できる	38.4%	5. ほとんど理解できない	2.0%
3. 教科によって理解できないことがある	24.6%	無回答	1.1%

ちょっとストレッチ



資料編

問9 学校の授業が理解できない時、だれか聞ける人はいますか。(1つ選ぶ) (N=809)

1. はい	93.2%	2. いいえ	5.6%	むかいとう 無回答	1.2%
-------	-------	--------	------	--------------	------

【問9で1を選んだ人が回答】

問9-1 それはだれですか。(いくつでも選ぶ) (n=754)

1. 担任の先生	52.0%	5. 家族	56.8%
2. 担任以外の先生	38.2%	6. その他 [具体的に:]	3.7%
3. 塾の先生	34.5%	むかいとう 無回答	0.0%
4. 友達	83.3%		

問10 あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)、どこで過ごしますか。1週間

のうち、そこで過ごすおおよその日数を教えてください。(それぞれ1つずつ選ぶ) (N=809)

ヨコへ回答→	しゅう 週に5日 (毎日)	しゅう 週に 3~4日	しゅう 週に 1~2日	そこでは まったく 過ごさない	むかいとう 無回答
① 自分の家	48.7%	19.5%	24.4%	3.5%	4.0%
② 友達の家	0.2%	0.9%	7.5%	79.5%	11.9%
③ 学校(部活動など)	17.2%	35.7%	21.3%	18.8%	7.0%
④ 塾や習い事、スポーツクラブの 活動の場	5.2%	14.0%	32.8%	40.4%	7.7%
⑤ 児童館	0.2%	0.5%	2.2%	87.3%	9.8%
⑥ 公園などの外	0.6%	2.2%	13.1%	73.5%	10.5%
⑦ 池之上・野毛・希望丘(アップス) 青少年交流センター	0.1%	0.4%	1.5%	87.4%	10.6%
⑧ 図書館	0.4%	0.4%	6.6%	82.0%	10.8%
⑨ お店(ゲームセンターやファストフード店 など)	0.4%	1.0%	15.6%	71.9%	11.1%
⑩ その他 [具体的に:]	0.9%	0.9%	1.1%	44.4%	52.8%

II 中学生調査

問11 あなたは、平日（学校に行く日）の夜間（夕方6時から8時くらいまで）、どこで過ごしますか。
1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数を教えてください。（それぞれ1つずつ選ぶ）

(N=809)

ヨコ ^{かいとう} に回答→	しゅう 週に 5日 まいにち (毎日)	しゅう 週に 3~4日 にち	しゅう 週に 1~2日 にち	そこでは まったく す 過ごさな い	むかいとう 無回答
① 自分 ^{じぶん} の家 ^{いえ}	65.9%	19.8%	8.0%	2.6%	3.7%
② 友達 ^{ともだち} の家 ^{いえ}	0.2%	0.9%	3.1%	82.7%	13.1%
③ 塾 ^{じゅく} や習い事 ^{ならごと} 、スポーツクラブ ^{スポーツクラブ} の活動 ^{かつどう} の場 ^ば	8.7%	17.9%	30.0%	35.2%	8.2%
④ 児童館 ^{じどうかん}	0.1%	0.2%	0.9%	86.5%	12.2%
⑤ 公園 ^{こうえん} などの外 ^{そと}	0.2%	1.2%	5.4%	80.2%	12.9%
⑥ 池之上 ^{いけのうえ} ・野毛 ^{のげ} ・希望丘 ^{きぼうがおか} （アップス）青少年 ^{せいしょうねん} 交流センター ^{こうりゅう}	0.1%	0.4%	0.7%	86.5%	12.2%
⑦ 図書館 ^{としょかん}	0.4%	0.4%	2.7%	84.3%	12.2%
⑧ お店 ^{みせ} （ゲームセンター ^{ゲームセンター} やファストフード店 ^{ファストフード店} など）	0.1%	0.9%	6.2%	80.6%	12.2%
⑨ その他 ^{ほか} （具体的に： ^{ぐたいてき} ）	1.0%	0.9%	1.7%	51.3%	45.1%

問12 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしたいですか。

（いくつでも選ぶ）

(N=809)

1. 自分 ^{じぶん} の家 ^{いえ}	88.0%
2. 友達 ^{ともだち} の家 ^{いえ}	23.1%
3. 学校 ^{がっこう} （部活動 ^{ぶかつどう} など）	44.6%
4. 塾 ^{じゅく} や習い事 ^{ならごと} 、スポーツクラブ ^{スポーツクラブ} の活動 ^{かつどう} の場 ^ば	24.4%
5. 児童館 ^{じどうかん}	2.6%
6. 公園 ^{こうえん} などの外 ^{そと}	12.9%
7. 池之上 ^{いけのうえ} ・野毛 ^{のげ} ・希望丘 ^{きぼうがおか} （アップス）青少年 ^{せいしょうねん} 交流センター ^{こうりゅう}	2.5%
8. 図書館 ^{としょかん}	12.4%
9. お店 ^{みせ} （ゲームセンター ^{ゲームセンター} やファストフード店 ^{ファストフード店} など）	18.3%
10. その他 ^{ほか} （どこですか： ^{どこですか} ）	3.6%
無回答 ^{むかいとう}	1.4%

資料編

問13 あなたには、ホッとでき、安心していられる場所（「ここに居たい」と感じる場所）はありますか。

(いくつでも選ぶ)

(N=809)

1. 自分の部屋	82.4%
2. 家族と一緒にくつろぐ部屋	59.1%
3. 友達の家	18.9%
4. おじいさん、おばあさんの家	29.2%
5. 学校の教室	26.8%
6. 学校の保健室	6.6%
7. 学校の相談室	3.0%
8. 学校の図書室	15.5%
9. 学校の体育館・グラウンド	13.2%
10. 学校の部屋	9.5%
11. 児童館	2.2%
12. 池之上・野毛・希望丘（アップス）青少年交流センター	1.9%
13. プレーパークなど地域の人が開いている遊びの場所	2.7%
14. 図書館	12.1%
15. 公園	11.7%
16. 塾や習い事（教室）、スポーツクラブ（スポーツ少年団）	16.4%
17. ゲームセンターやファストフード店などのお店	10.8%
18. 無料で勉強を見てくれる場所や、食事や軽食を無料か安く食べることができる場所	5.4%
19. 悩みごとの相談にのったり、サポートしてくれる場所（電話やオンラインを含む）	1.1%
20. インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）	30.3%
21. その他の場所〔具体的に： 〕	4.8%
22. ホッとでき、安心していられる場所（「ここに居たい」と感じる場所）はない	1.6%
無回答	1.0%

【問13で1から21を選んだ人が回答】

問13-1 ホットでき、安心していられる場所（「ここに居たい」と感じる場所）はどのような場所ですか。

(いくつでも選ぶ)

(n=788)

1. いつでも行きたい時に行ける	71.1%
2. 一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	77.7%
3. ありのままにいられる、自分を否定されない	56.5%
4. 好きなことをして自由に過ごせる	79.6%
5. 自分の意見や希望を受け入れてもらえる	38.7%
6. 新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	32.6%
7. 悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる	24.6%
8. いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる	40.9%
9. スポーツや外遊びなど体を思い切り動かすことができる	31.0%
10. その他〔具体的に： 無回答	1.9% 0.1%

問14 児童館をどのくらい利用していますか。(1つ選ぶ)

(N=809)

1. 利用したことがない	36.0%
2. ほとんど利用しない	51.2%
3. ときどき利用する	10.5%
4. よく利用する	1.2%
無回答	1.1%

つか
疲れたから、ちょっと休けいして
またやろうかな



資料編

【問14で児童館を「1. 利用したことがない」か「2. ほとんど利用しない」を選んだ人が回答】

問14-1 児童館を利用しない理由は何ですか。(いくつでも選ぶ) (n=705)

1. 児童館を知らないから	17.6%
2. 家から遠いから	30.6%
3. 楽しくないから	24.3%
4. 他に楽しい場所があるから	44.1%
5. 入りづらいから	23.7%
6. 初対面の人がいるから	18.9%
7. ゲームができないから	5.8%
8. 職員と気が合わないから	5.5%
9. ルールが多いから	8.4%
10. 行きたいけど、時間や曜日が合わないから	10.8%
11. 行く暇がないから	47.1%
12. 学校の同級生や近所の子がいるから	9.1%
13. 低年齢の子が多いから	19.0%
14. 施設に魅力を感じないから	26.2%
15. 一緒に行く友達がいらないから	15.3%
16. 小学生が多いから	14.9%
17. 中学生向けのプログラムがないから	9.6%
18. 中学生向けの設備がないから	11.8%
19. 違う学校の人がいるから	8.2%
20. その他 [具体的に：]	9.9%
無回答	1.3%

問15 池之上・野毛・希望丘（アップス）青少年交流センターをどのくらい利用していますか。

(1つ選ぶ)

(N=809)

1. 利用したことがない	81.2%
2. ほとんど利用しない	11.7%
3. 月に1～2回	4.2%
4. 週に1回	0.9%
5. 週に2～3回	0.6%
6. 週に4回以上	0.0%
無回答	1.4%

【問15で「1. 利用したことがない」か「2. ほとんど利用しない」を選んだ人が回答】

問15-1 青少年交流センターに遊びにいかない理由は何ですか。(いくつでも選ぶ)

(n=752)

1. 青少年交流センターを知らないから	71.4%
2. 家から遠いから	25.9%
3. 楽しくないから	5.2%
4. 他に楽しい場所があるから	14.0%
5. 入りづらいから	8.9%
6. 初対面の人がいるから	6.4%
7. 職員と気が合わないから	1.7%
8. ルールが多いから	2.9%
9. 行きたいけど、時間や曜日が合わないから	5.6%
10. 行く暇がないから	19.4%
11. 一緒に行く友達がいらないから	5.9%
12. 違う学校の人がいるから	4.8%
13. 小学生が多いから	3.6%
14. 学校の同級生や近所の子がいるから	3.6%
15. 施設に魅力を感じないから	8.9%
16. その他 [具体的に :]	7.0%
無回答	0.7%

しょうらい き
将来についてお聞きします

問16 将来、どの学校まで進学したいと思いますか。(1つ選ぶ) (N=809)

1. 中学校まで	0.2%	5. 大学またはそれ以上	77.4%
2. 高等学校まで	4.7%	6. その他【具体的に:]	1.0%
3. 専門学校まで	3.2%	7. まだわからない、考えていない	10.1%
4. 高等専門学校・短期大学まで	2.5%	無回答	0.9%

問17 あなたが持っている20年後の自分のイメージについてお答えください。(それぞれ1つずつ選ぶ) (N=809)

ヨコに回答→	とても そう思う	まあ そう思う	どちらでも ない	あまり そう思わない	そう 思わない	無回答
① 自分がやりたいと思っていることをしている	37.3%	37.7%	10.9%	8.8%	3.5%	1.9%
② 何でも話せる人が自分の周りにいる	39.6%	36.0%	9.4%	7.8%	4.3%	3.0%
③ 健康的に生活している	37.7%	35.1%	11.5%	9.0%	4.2%	2.5%
④ 結婚している・パートナーと生活している	22.4%	25.5%	22.6%	11.6%	15.5%	2.5%
⑤ 子どもを育てている	18.3%	20.0%	26.6%	11.5%	19.9%	3.7%
⑥ 生きがい、やりがいを見つけている	38.6%	35.2%	13.3%	6.1%	4.1%	2.7%
⑦ 共通のしゅみを持った仲間がいる	43.8%	35.2%	11.6%	4.2%	1.9%	3.3%
⑧ 地域や周りの人に認められている	21.8%	26.7%	27.9%	10.6%	7.0%	5.9%

子どもの権利や子ども条例などについてお聞きします

子どもが一人の人間として大切にされ、自分らしく成長するために必要なことを「子どもの権利」といい、子ども一人ひとりに「子どもの権利」があります。

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問18 - ①どんな理由でも差別されない (1つ選ぶ)

(N=809)

1. はい	74.0%	3. どちらでもない	6.6%	無回答	0.9%
2. いいえ	7.0%	4. わからない	11.5%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問18 - ②自分にとって一番よいことは何か、大人と一緒に考えてもらえる (1つ選ぶ)

(N=809)

1. はい	69.6%	3. どちらでもない	8.9%	無回答	1.5%
2. いいえ	6.1%	4. わからない	14.0%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

資料編

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問18 - ③心も身体ものびのびと成長でき、安心して暮らしている (1つ選ぶ) (N=809)

1. はい	75.0%	3. どちらでもない	8.3%	無回答	1.5%
2. いいえ	6.1%	4. わからない	9.1%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問18 - ④自由に意見を言うことができ、大人はその意見を大切にしてくれる (1つ選ぶ) (N=809)

1. はい	67.0%	3. どちらでもない	10.4%	無回答	1.4%
2. いいえ	9.8%	4. わからない	11.5%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問18-⑤ おうちの人からたたかれたり、ひどいことを言われたりしていない（1つ選ぶ） (N=809)

1. はい	74.9%	3. どちらでもない	6.2%	無回答	0.9%
2. いいえ	11.1%	4. わからない	6.9%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問18-⑥ 自分に合った方法で学ぶことができている（1つ選ぶ） (N=809)

1. はい	71.2%	3. どちらでもない	8.4%	無回答	1.1%
2. いいえ	7.3%	4. わからない	12.0%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

資料編

あなた自身やあなたのまわりの子どもで、次の「子どもの権利」は、守られていますか。

問18-⑦ やりたいことを楽しみ、のびのび遊び、疲れたら休むことができる（1つ選ぶ） (N=809)

1. はい	74.3%	3. どちらでもない	10.1%	無回答	1.0%
2. いいえ	8.2%	4. わからない	6.4%		



【イラスト提供：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

問19-1 世田谷区では、子どもが健やかに育つことができるまちをつかっていくために、「世田谷区子ども条例」を定めています。このことを知っていますか。（1つ選ぶ） (N=809)

1. はい	15.3%	2. いいえ	83.4%	無回答	1.2%
-------	-------	--------	-------	-----	------

問19-2 世田谷区は子どものさまざまな権利を守るための相談先として「せたホッと（せたがやホッと子どもサポート）」を設置しています。「せたホッと」を知っていますか。（1つ選ぶ） (N=809)

1. はい	74.2%	2. いいえ	22.7%	無回答	3.1%
-------	-------	--------	-------	-----	------

問20 あなたは、子どもの権利を守るために、どんな仕組みがあるとよいと思いますか。

(いくつでも選ぶ)

(N=809)

1. 子どもが困ったときにだれにも知られず相談できる場所が地域にある	64.8%
2. 困ったときに電話やSNS、メールなどで相談できるところがある	58.7%
3. 子どもの困ったことや大人に伝えたいことを、伝えるサポートをしてくれる人がいる	47.0%
4. 子どもに子どもの権利について、もっと学校で教える	39.9%
5. 大人達に子どもの権利についてもっと伝える	42.6%
6. 子どもが、国や社会に意見を伝える方法を学ぶ機会がある	40.4%
7. 子どもの権利が守られているかを見守り、子どもの意見を聴いて、制度の変更などを提案できる人がいる	42.4%
8. 子どもが意見を言える制度がある	50.9%
9. その他〔具体的に： 〕	4.8%
10. わからない	5.6%
11. 特になし	4.3%
無回答	1.9%

あなたの意見をきかせてください

問21 あなたは自分の意見を表明したり、さまざまな機会に参加する権利を持っています。

世田谷区では、区へ意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会を充実させたいと考えています。今後、そのような機会があれば、参加したいと思いますか。(1つ選ぶ) (N=809)

1. はい	30.5%	3. どちらでもない・わからない	45.1%
2. いいえ	22.9%	無回答	1.5%

資料編

問22 どのような方法や手段があれば、あなたは世田谷区に意見を伝えやすいですか。(いくつでも選ぶ)

(N=809)

1. タブレットやパソコンを使った方法	77.8%
2. 手紙などで伝える方法	15.1%
3. 学校に意見をいれる箱をおくなど、身近なところで行える方法	37.5%
4. 身近な大人に話して伝えてもらう方法	13.3%
5. 区長や区役所の人にあつて伝える方法	10.8%
6. 子どもが集まり会議などで話しあつて伝える方法	17.8%
7. 伝えやすそうな方法はない	7.7%
8. その他 [どんな方法ですか:]	3.0%
無回答	1.9%

問23 世田谷区では、子どもと若者を対象とした政策を「子ども計画」として定め、「子どもがいきいきわくわく育つまち」を目指しています。
 現在、令和7年度からの「子ども計画」の内容を検討しています。この計画に入れてほしい子どもや若者にとって「こんなまち(世田谷)になったらいいな」、「こんな社会にしたいな」等、あなたの意見や願いがあれば、自由に入力してください。

あと少し!
 応援しているよ!



ひ おも なや き 日ごろの思いや悩みについてお聞きします

問24 今、困っていること、悩んでいること、つらいことはどんなことですか。(いくつでも選ぶ)

(N=809)

1. 友人のこと	23.1%	7. 性のこと	4.1%
2. 家族のこと	12.4%	8. 見た目のこと	17.9%
3. 勉強や進学のこと	52.0%	9. 塾や習い事のこと	12.5%
4. 学校のこと	20.8%	10. 将来のこと	33.7%
5. 健康のこと	9.0%	11. その他 [具体的に:]	4.3%
6. 恋愛のこと	15.0%	12. 特にない	27.3%
		無回答	1.7%

問25 自分の悩みを話す方法として、あなたはどのような方法を使いますか。最もあてはまる方法を教

えてください。(1つ選ぶ)

(N=809)

1. 直接会って話す	43.3%	4. メールやLINE	21.8%
2. 電話で話す	4.0%	5. その他 [具体的に:]	3.6%
3. X (エックス: 旧 Twitter)・ Instagram等 SNS	3.7%	6. だれにも話さない・話したくない	21.3%
		無回答	2.5%

資料編

問26 ふだん、困っていることや悩んでいること、つらいことがある時にあなたの話を聞いてくれる人はいですか。(1つ選ぶ) (N=809)

1. はい	82.6%	3. だれにも話さない・話したくない	13.1%
2. いいえ	2.7%	むかいとう 無回答	1.6%

【問26で「1. はい」を選んだ人が回答】

問26-1 それは、だれですか。(いくつでも選ぶ) (n=668)

1. 親	78.1%	7. 友達	72.5%
2. きょうだい	21.3%	8. 児童館や池之上・野毛・希望丘 (アップス)	
3. 祖父母	11.7%	せいしょうねんこうりゅう 青少年交流センターの職員	0.6%
4. 学校の先生	27.7%	9. SNSやインターネットを通じてやりとりしている人	5.1%
5. 学校のスクールカウンセラー	8.1%	10. その他(具体的に:)	3.9%
6. 塾や習い事の先生	9.4%	むかいとう 無回答	0.1%

問27 あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。(それぞれ1つずつ選ぶ) (N=809)

ヨコへ回答→	あった	なかった	むかいとう 無回答
① 学校に行きたくないと思った	59.3%	39.6%	1.1%
② 1か月以上学校を休んだ(病気などの理由があるとき以外に)	7.5%	88.8%	3.7%
③ いじめられた	18.7%	77.6%	3.7%
④ 夜おそくまで子どもだけで過ごした	18.5%	76.6%	4.8%

問28 新型コロナウイルス感染症によって、あなたが生活の中で悩んだり、難しかったことはありますか。(1つ選ぶ) (N=809)

1. はい	44.5%	2. いいえ	54.0%	むかいとう 無回答	1.5%
-------	-------	--------	-------	--------------	------

【問28で「1. はい」を選んだ人が回答】

問28-1 それは、どのようなことですか。(いくつでも選ぶ)	(n=360)
1. 自分が感染したこと	57.2%
2. 感染することを心配したこと	40.3%
3. 学校の行事が中止になったり、制限されたこと	75.0%
4. 学校や塾のオンライン授業がわかりにくかったこと	37.8%
5. 部活動やスポーツクラブの活動が制限されたこと	37.8%
6. 外出や外に遊びに行くこと、旅行が制限されたこと	55.6%
7. マスクをしなればいけなかったこと	45.8%
8. ワクチンを打たなければいけなかったこと（打たないことによる差別、活動制限も含む）	21.7%
9. 友達と会えなかったこと	53.1%
10. 会話が制限されたこと	35.8%
11. 家庭内でのめんどごとが増えたこと	9.4%
12. その他〔具体的に： 〕	8.3%
無回答	0.6%

さいご
最後に

問29 区に求めることや期待すること、大人や社会に言いたいこと、世田谷区にあったらいいなと思う場所などがありましたら、自由に入力してください。

「おわり」をおすと、今まで答えたことを変えることができなくなります。

変えたいときは、「もどる」をおしてください。

今まで答えたことでよければ、「おわり」をおしてください。

もどる

おわり

かいとう
ご回答ありがとうございました。

お
アンケートはこれで終わりです。

さいご こた ほんとう
最後まで答えてくれて、本当にありがとうございました。

いけん たいせつ
みなさんの意見は、とても大切です。

よ せたがやく こ どりよく
すべてきちんと読んで、世田谷区が子どもにとって、よりよいまちになるよう努力していきます。

こま はなし き れんらく
困ったとき、話を聞いてほしいときは、「せたホッと」に連絡してね。

ひみつ かなら まも
秘密は必ず守ります。

わたしのなまえは
"なちゅ"だよ。よろしくね！



こどもの権利をまもる

せたホッと

せたがやホッと子どもサポート

せたがやくこ じんけんようごきかん
世田谷区子どもの人権擁護機関

そうだんじかん
★相談時間

げつ きん ごご じ ごご じ
月～金：午後1時～午後8時

ど ごぜん じ ごご じ
土：午前10時～午後6時

にちよう しゆくじつ ねんまつねんし
(日曜・祝日・年末年始をのぞく)



フリーダイヤル

ほつとにきゆうさい
0120-810-293

けいたいでんわ こうしゅうでんわ むりょう
※携帯電話・公衆電話からも無料でかけられます。



03-3439-6777



<https://www.city.setagaya.lg.jp/inquiry/mailform999992.html>

こ そうだん けいたいようにゆうりよく
(子ども相談メール携帯用入力フォーム)



156-0051

せたがやくみやさか
世田谷区宮坂3-15-15

こ こそだ そうごう かい
子ども・子育て総合センター3階 せたホッと あて

もっと子どもの権利について知りたい人はこちらへ

<https://www.savechildren.or.jp/oyakonomikata/kodomo-no-kenri/>

しゅってん
【出典：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

世田谷区小学生・中学生調査 報告書

令和6年3月発行

発行: 世田谷区 子ども・若者部 子ども・若者支援課
〒154-8504
東京都世田谷区世田谷 4丁目 21番 27号
電話 03-5432-2528

調査: 株式会社生活構造研究所
〒102-0083
千代田区麴町2丁目5番地4
電話番号 03-5275-7861